

**「まちづくりに関する市民アンケート」  
報告書**

**平成20年6月**

**福岡県 古賀市**

# 目次

I 調査の概要	
1 調査の目的・実施要領等	1
(1) 調査目的	1
(2) 実施要領	1
2 集計・分析にあたって	1
(1) 調査対象	1
(2) 集計・分析	1
(3) 標本誤差	1
3 グラフ・文中の表記について	3
II 回答者の属性	
1 性別	4
2 年齢	4
3 同居している家族	6
4 職業	7
5 居住地区（小学校区）	10
6 古賀市での居住年数	10
7 通勤・通学先	12
8 通勤・通学手段	14
9 日常生活範囲	16
(1) 日常生活で利用する主な場所	16
(2) 日常生活で利用する場所への交通手段	17
(3) 日常生活範囲について（各項目詳細）	18
III 古賀市の住みやすさや将来イメージについて	
1 古賀市の「住みやすさ」について	22
2 古賀市に住み続けたいか	25
3 今の場所から移りたいと思う主な理由	29
(1) 【一般】今の場所から移りたいと思う主な理由	29
(2) 【15～17歳】古賀市に住み続けたくないと思う理由	34
4 将来の古賀市のイメージ	35
5 古賀市の人口政策について	38
IV 満足度と優先事項	
1 都市基盤の整備	40
(1) 満足度	40
(2) 最も優先して欲しい事項	42

2	生活環境の整備	45
	（1）満足度	45
	（2）最も優先して欲しい事項	47
3	健康の増進と福祉の充実	51
	（1）満足度	51
	（2）最も優先して欲しい事項	53
4	生涯学習の推進と教育・文化の向上	55
	（1）満足度	55
	（2）最も優先して欲しい事項	57
5	産業の振興	60
	（1）満足度	60
	（2）最も優先して欲しい事項	61
6	人権の確立	63
	（1）満足度	63
	（2）最も優先して欲しい事項	64
7	市民参画	66
	（1）満足度	66
	（2）最も優先して欲しい事項	68
8	行財政	70
	（1）満足度	70
	（2）最も優先して欲しい事項	71

## V 力を入れて欲しいこと

1	【15～17歳】古賀市のまちづくりで力を入れて欲しいこと	74
---	------------------------------	----

## VI 分野別の意識・ニーズについて

1	土地利用	75
	（1）土地利用の状況	75
	（2）「山林や農地をつぶし過ぎた」「計画性に欠けた秩序のない土地利用」と答えた方がイメージする状況	78
	（3）土地利用規制	80
	（4）計画的に進める土地利用について	83
	（5）住んでいる地域（小学校区程度）に望むイメージ	86
2	景観	89
	（1）景観上保全した方がよいと考えられるところ	89
	（2）景観に問題があり改善した方がよいと考えられるところ	91
	（3）古賀市の誇りになる景観形成の必要性	93
	（4）景観を良くするための必要な取り組みについて	94

3	生活環境	95
	(1) 快適で美しい社会、資源循環型社会を保つための取り組みについて重要なこと	95
4	健康・福祉	96
	(1) 健康を維持していくために、実際に自身で取り組みたいこと	96
	(2) 少子化問題に対応するための重要な取り組みについて	98
	(3) 団塊の世代や高齢者が地域で生き生きと暮らしていくために重要なこと	100
5	教育・生涯学習・スポーツ	101
	(1) 子どもの教育で重要なこと	101
	(2) 生涯学習として取り組みたいこと	103
	(3) 運動やスポーツを新たに始めたり、継続したりするための条件	105
6	人権	107
	(1) 基本的人権が守られているか	107
7	市民参画	108
	(1) 過去1年間の自治会や子ども会など地域活動や行事の参加状況	108
	(2) まちづくりのための市民活動への参加	110
	(3) 市の行政運営に参加するとしたらどのような形で参加できるか	112
	(4) まちづくりの市民参加を進めるためにどのような点に力を注ぐとよいか	113
	(5) 地域をよりよくするためにどのような活動に協力したいか	114

## VII まちづくりへの参加意向

1	【15～17歳】まちづくりへの参加についてどのような活動に参加できる(したい)と思うか	115
---	---	-----

## VIII 調査結果のまとめ

### IX 参考資料

1	まちづくりへの自由意見	126
	(1) 一般(18歳以上)	126
	(2) 15～17歳	132
2	アンケート調査票	135

# I 調査の概要

## 1 調査の目的・実施要領等

### (1) 調査目的

- 本調査は、市民のまちづくりへの満足度や要望、将来への期待を調査し、「第四次古賀市総合振興計画・第三次古賀市国土利用計画（平成 23 年度～）」及び「古賀市都市計画マスタープラン（平成 21 年度～）」などの策定に活かすとともに、市民の皆さまと古賀市の将来について考えていくための資料とするために実施しました。

### (2) 実施要領

調査時期	平成 19 年 10 月～12 月
調査対象と配布数	①18 歳以上の市民 2,585 人 ②15～17 歳の市民 362 人
抽出方法	無作為抽出
配布・回収	・ 区長等による配布、回収 ・ 一部郵送による配布、回収
回収数	①18 歳以上 2,284 票 ②15～17 歳 305 票
有効回収数	①18 歳以上 2,179 票 ②15～17 歳 299 票
有効回収率	①18 歳以上 84.3% ②15～17 歳 82.6%

## 2 集計・分析にあたって

### (1) 調査対象

- 調査対象は、前回調査（平成 11 年）では 20 歳以上の市民であったのに対し、今回は、18 歳以上の市民を対象としています。また、青少年の意見も参考とするため 15～17 歳の市民も調査対象としています。

### (2) 集計・分析

- 分析は、単純集計結果を中心に行っています。設問ごとのクロス集計結果（地区別、年齢別、性別等）については、明確な特徴が出ている設問のみ分析しています。
- 集計は基本的に小数点第 2 位を四捨五入しています。そのため、百分率（%）の合計は、単一回答でも 100.0%にならないことがあります。また、複数回答の場合、合計が 100%を超えることがあります。

### (3) 標本誤差

- 標本調査の回答割合の誤差の幅は、設問ごとの回答者数と与えられた回答割合によって異なり、今回のような無作為抽出の場合、次のとおりです。（ただし、単純集計の場合で、その誤差率の信頼度は 95%で 100%ではありません。）今回の分析においてはこの誤差率を考慮しています。

【一般（18歳以上）】

- 標本誤差算出の数式

$$b = \pm 1.96 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(100-P)}{n}}$$

b: 標本誤差  
 N: 母集団(古賀市の18歳以上の人口45,331人)  
 n: 標本数: 有効回答数 2,179票  
 P: 回答比率 信頼水準: 95%

- 一般（18歳以上）の標本誤差

回答の比率(P)	回答者数(n)	標本誤差(%)	信頼範囲(誤差率により各設問の回答割合がずれる可能性のある範囲)
10%又は90%	2,179	± 1.2	8.8 ~ 11.2 % ( 88.8 ~ 91.2 % )
20%又は80%	2,179	± 1.6	18.4 ~ 21.6 % ( 78.4 ~ 81.6 % )
30%又は70%	2,179	± 1.9	28.1 ~ 31.9 % ( 68.1 ~ 71.9 % )
40%又は60%	2,179	± 2.0	38.0 ~ 42.0 % ( 58.0 ~ 62.0 % )
50%	2,179	± 2.0	48.0 ~ 52.0 %

- また、一般（18歳以上）のクロス集計結果（地区別、年齢別、性別等）については、それぞれ不明を除いた回答者数から標本誤差を算出し、標本誤差率が最も高い回答比率50%の値を考慮し分析しています。

■ 地区別標本誤差

地区別	回答者数(n)	標本誤差(%)
古賀東小学校区	339	± 5.2
古賀西小学校区	349	± 5.1
青柳小学校区	248	± 6.1
小野小学校区	247	± 6.1
花鶴小学校区	214	± 6.6
千鳥小学校区	227	± 6.4
舞の里小学校区	261	± 5.9
花見小学校区	290	± 5.6

※回答比率50%の場合の標本誤差を算出  
 ※地区不明数(4)を除く

■ 年齢層別標本誤差

年齢層別	回答者数(n)	標本誤差(%)
18~29歳	348	± 5.1
30~39歳	341	± 5.2
40~49歳	338	± 5.2
50~59歳	453	± 4.5
60~69歳	327	± 5.3
70歳以上	276	± 5.8

※回答比率50%の場合の標本誤差を算出  
 ※年齢層不明数(96)を除く

■ 性別標本誤差

性別	回答者数(n)	標本誤差(%)
男性	856	± 3.3
女性	1,190	± 2.8

※回答比率50%の場合の標本誤差を算出  
 ※性別不明数(133)を除く

## 【15～17 歳】

- 標本誤差算出の数式

$$b = \pm 1.96 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(100-P)}{n}}$$

b: 標本誤差

N: 母集団(古賀市の15～17歳の人口2,128人)

n: 標本数: 有効回答数 299票

P: 回答比率 信頼水準: 95%

- 15～17 歳の標本誤差

回答の比率(P)	回答者数(n)	標本誤差(%)	信頼範囲(誤差率により各設問の回答割合がずれる可能性のある範囲)
10%又は90%	299	± 3.2	6.8 ~ 13.2 % ( 86.8 ~ 93.2 % )
20%又は80%	299	± 4.2	15.8 ~ 24.2 % ( 75.8 ~ 84.2 % )
30%又は70%	299	± 4.8	25.2 ~ 34.8 % ( 65.2 ~ 74.8 % )
40%又は60%	299	± 5.1	34.9 ~ 45.1 % ( 54.9 ~ 65.1 % )
50%	299	± 5.3	44.7 ~ 55.3 %

- また、15～17 歳については母数が少なく誤差率が高くなるため、クロス集計結果(地区別、年齢別、性別等)の分析は行っていません。

### 3 グラフ・文中の表記について

- グラフの母数は特に表記のない限り、一般(18歳以上)は回答数(2,179件)、15～17歳は回答数(299件)です。設問ごとの回答数がこれと異なるときには、その都度グラフ上に表記しています。
- 各設問において、次の表現を使用しています。

「N」: 全体総数

「一般」: 18歳以上を対象にした調査結果

「15～17歳」: 15～17歳を対象にした調査結果

「〇つまで選択」: 選択回答が〇項目まで。

表記が無い場合は選択回答が1項目のみ。

## II 回答者の属性

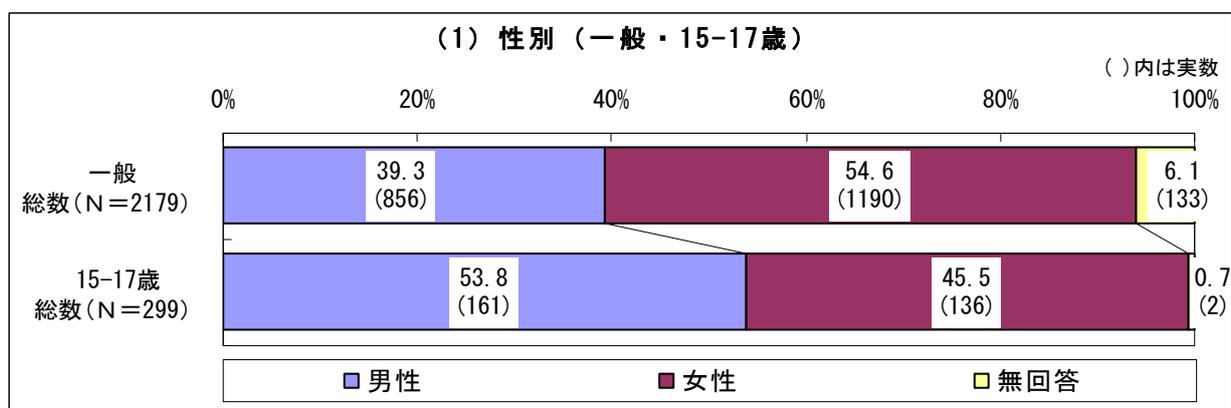
次の（１）～（７）の各項目について該当するものを１つだけ選んで、番号に○印をつけて下さい。（８）については、該当するものを全て選んで番号に○印をつけて下さい。

### 1 性別

#### （１）性別

- 一般では、男性（39.3%）、女性（54.6%）で女性の割合が高くなっています。
- 15～17歳では、男性（53.8%）、女性（45.5%）で男性の割合が高くなっています。

グラフ1

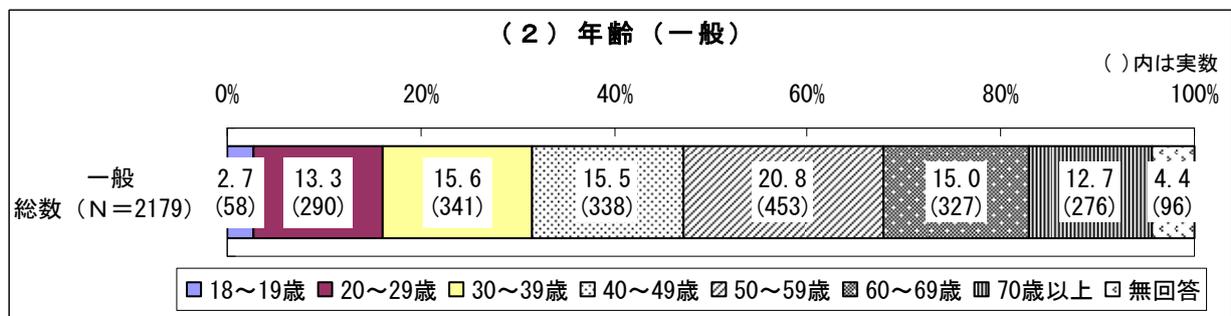


### 2 年齢

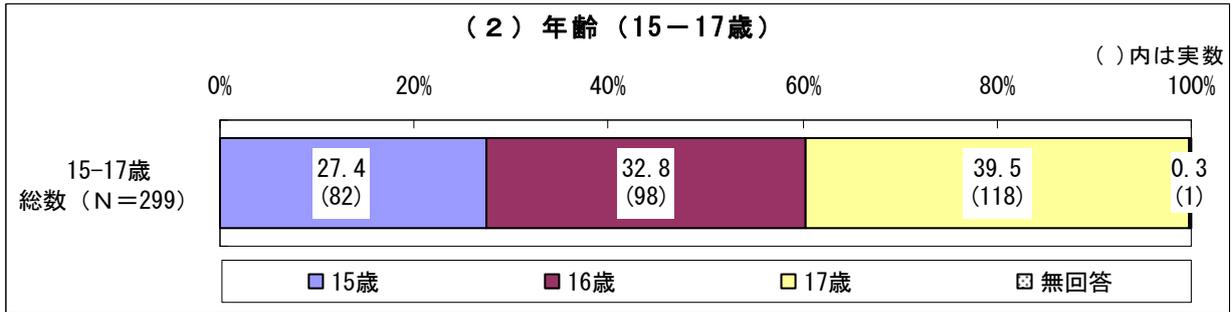
#### （２）年齢

- 一般では「50～59歳」（20.8%）の割合が最も高く、次いで「30～39歳」、「40～49歳」、「60～69歳」がそれぞれ約15%程度で続きます。
- 15～17歳では「17歳」（39.5%）の割合が最も高く、次いで「16歳」（32.8%）、「15歳」（27.4%）の順となっています。

グラフ2

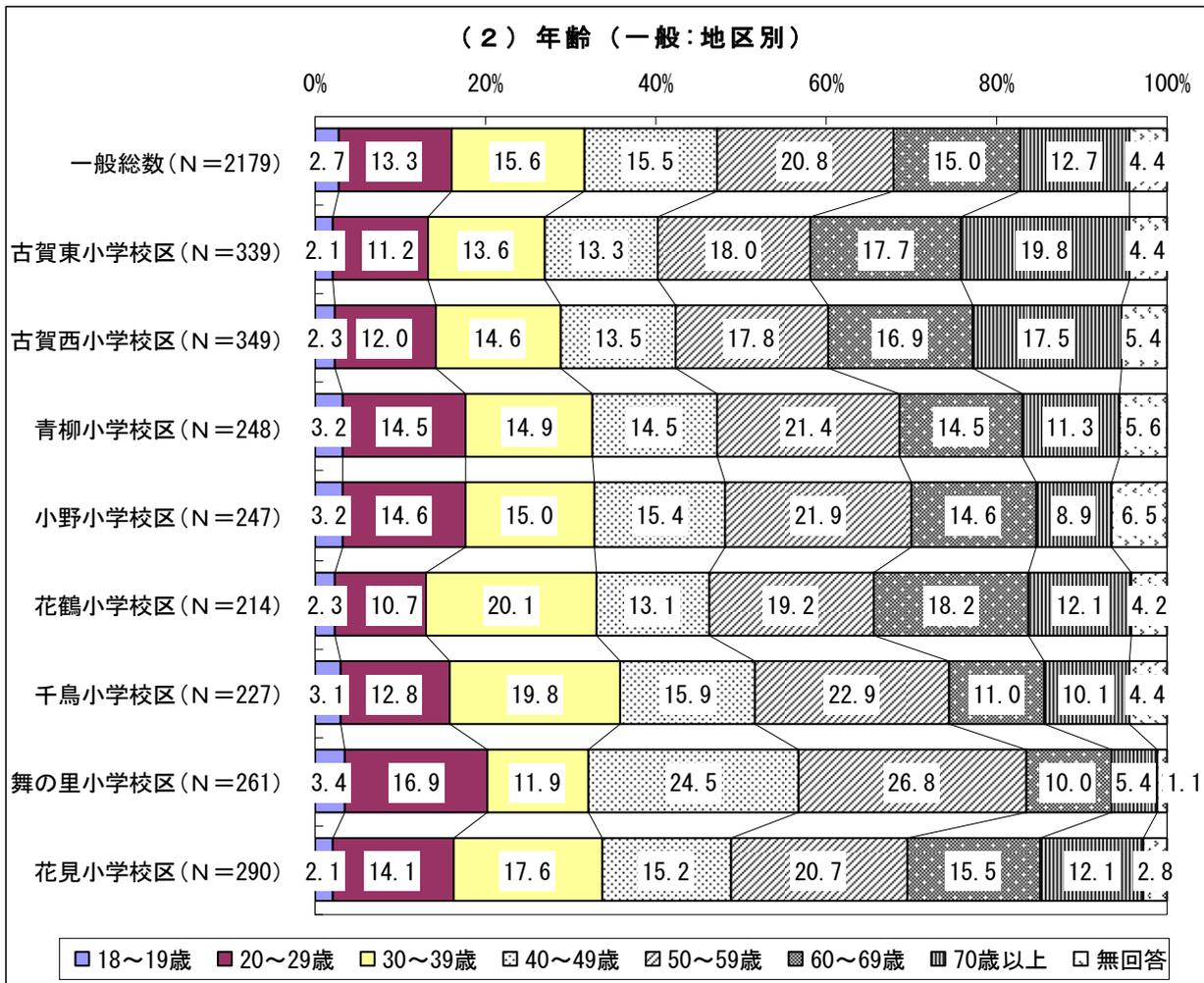


グラフ3



● 地区別でみると、古賀東、古賀西小学校区は「60～69歳」と「70歳以上」を合わせた割合（それぞれ37.5%、34.4%）が高く、比較的高齢者が多い地区となっています。また、花鶴、千鳥小学校区は「30～39歳」（それぞれ20.1%、19.8%）の割合が高くなっています。舞の里小学校区では「20～29歳」（16.9%）、「40～49歳」（24.5%）、「50～59歳」（26.8%）の割合が高くなっています。

グラフ4

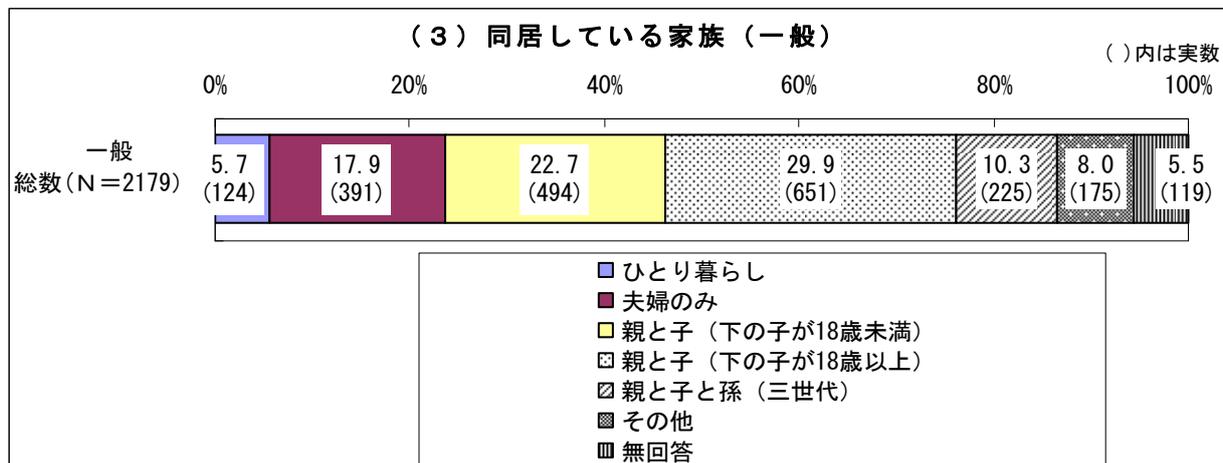


### 3 同居している家族

#### (3) 同居している家族

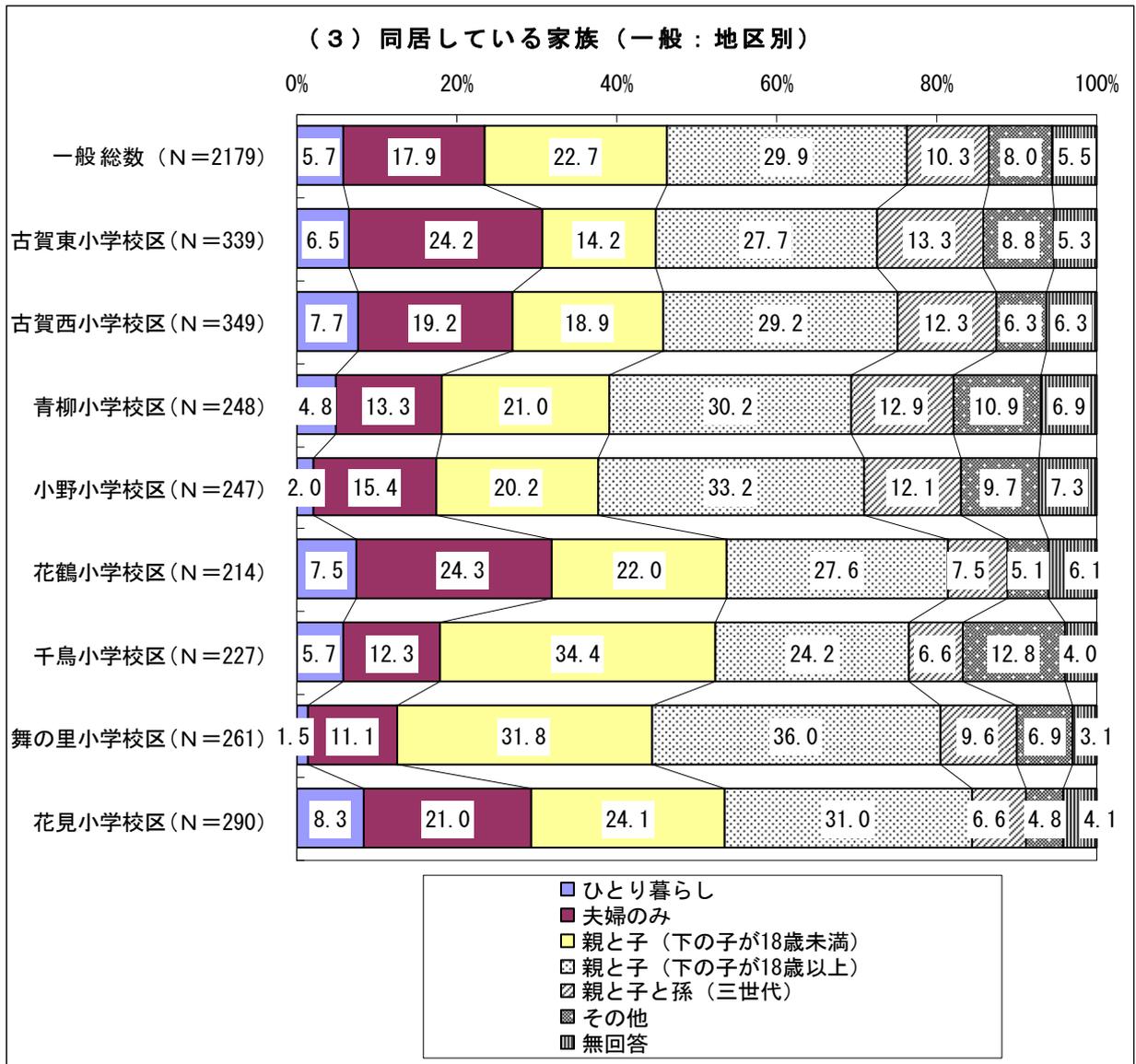
- 「親と子（下の子が18歳以上）」(29.9%)の割合が最も高く、次いで「親と子（下の子が18歳未満）」(22.7%)、「夫婦のみ」(17.9%)の順となっています。

グラフ5



- 地区別でみると、千鳥、舞の里小学校区では「親と子（下の子が18歳未満）」(それぞれ34.4%、31.8%)の割合が高く、子育て中の世帯が多い地区となっています。

グラフ6

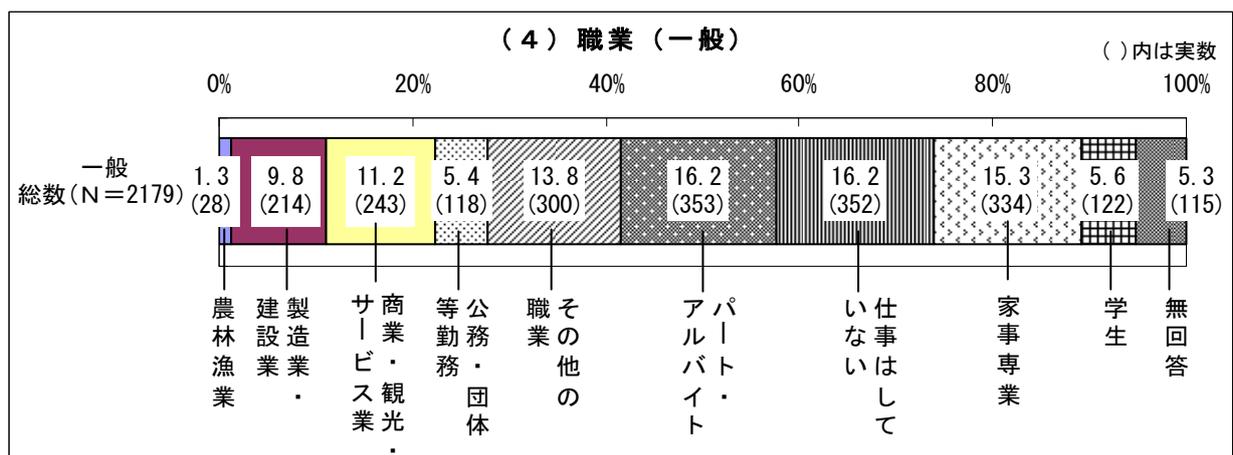


#### 4 職業

(4) 職業

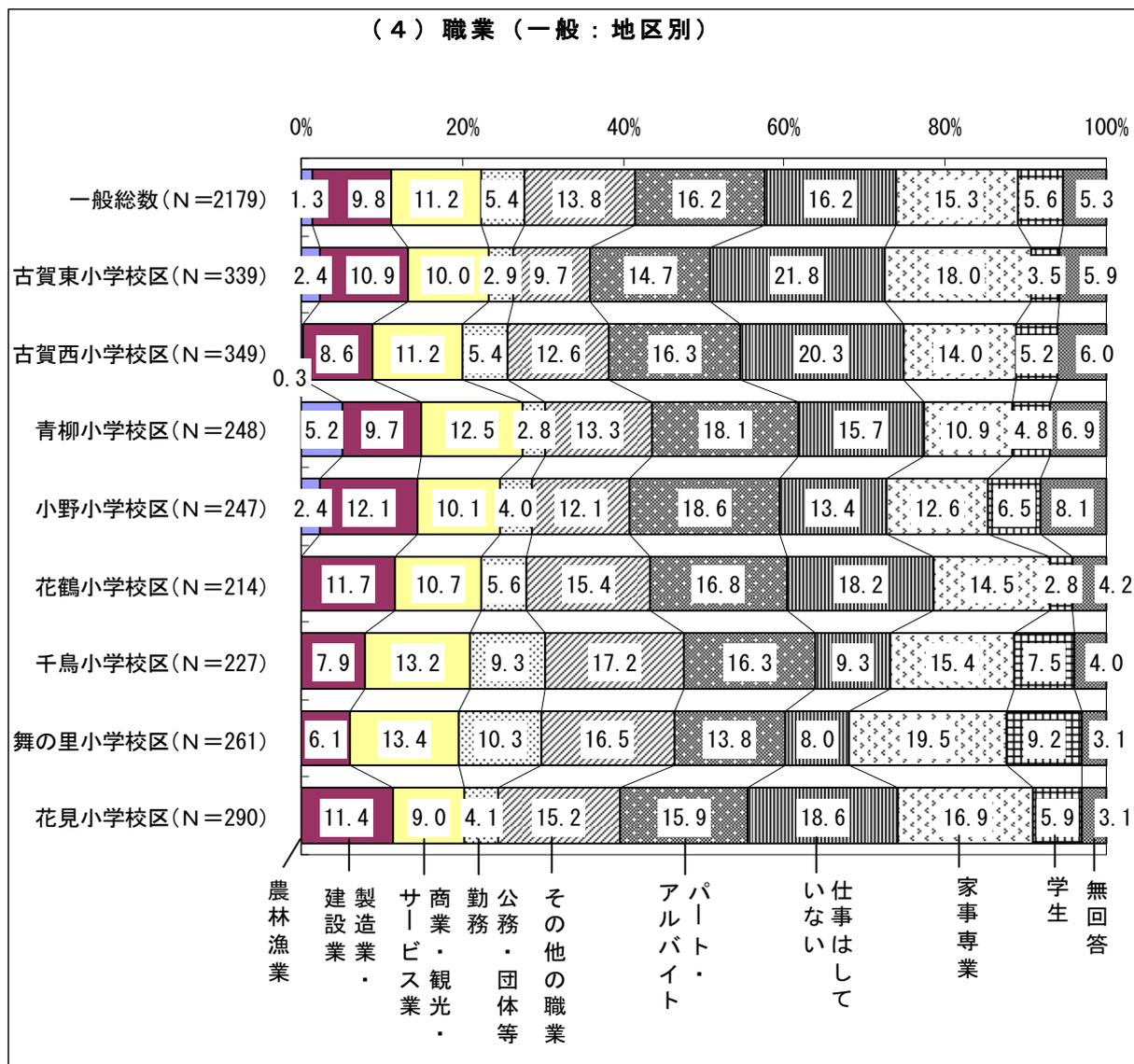
● 職業をみると「パート・アルバイト」、「仕事はしていない」（ともに16.2%）、「家事専業」（15.3%）の割合が同程度で高く、「その他の職業」（13.8%）の順となっています。

グラフ7



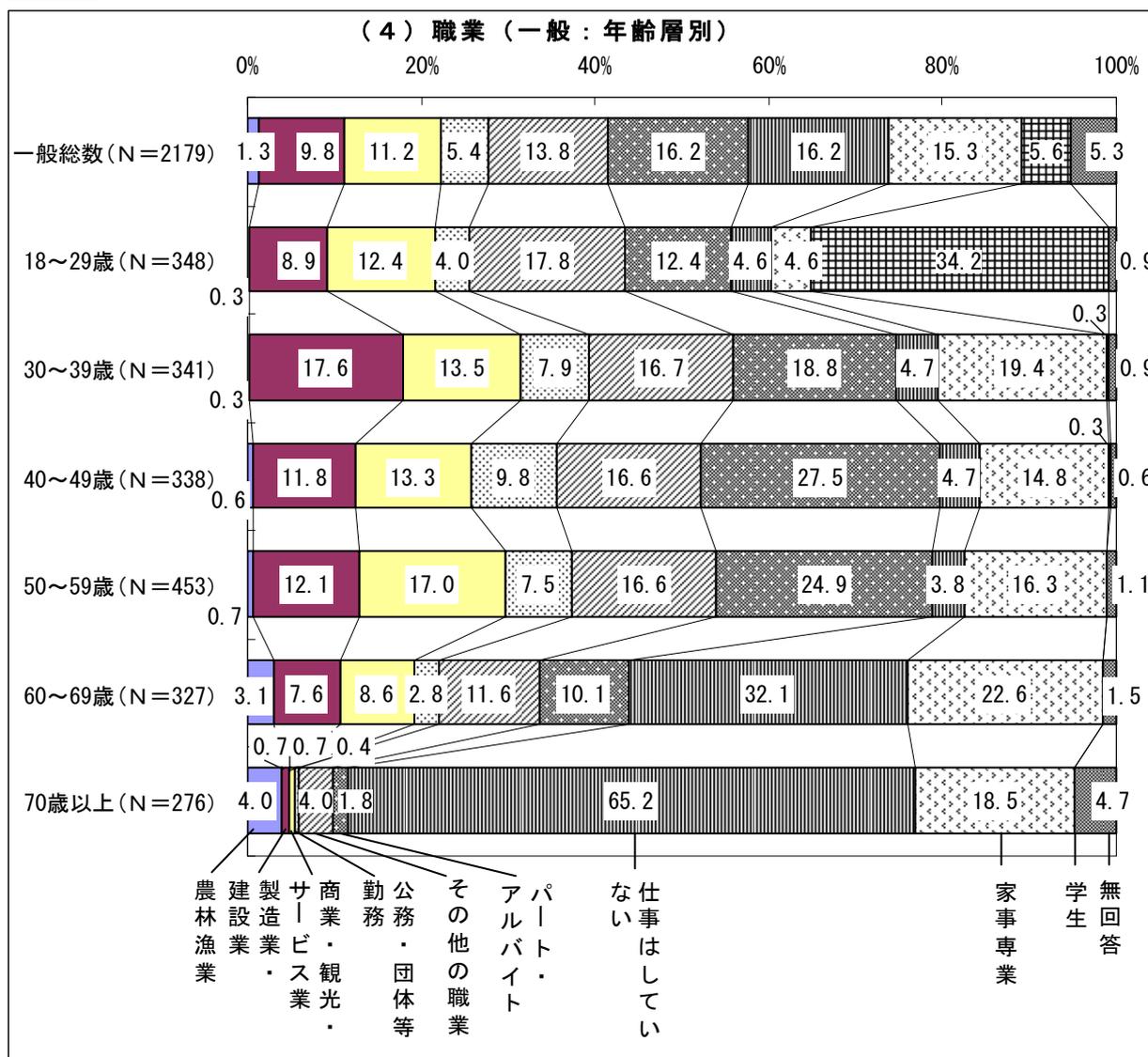
- 地区別でみると、「仕事はしていない」の割合が低いのは千鳥、舞の里小学校区（それぞれ9.3%、8.0%）となっています。これは2地区とも50歳代以下が多く【P5参照】、就業している人が多いためと考えられます。

グラフ8



- 年齢層別で見ると、18～29歳では、「学生」が約3割、仕事をしている人の割合が約6割となっています。
- 30～39歳では「製造業・建設業」（17.6%）の割合が高くなっています。
- 40～49歳、50～59歳では「パート・アルバイト」（それぞれ27.5%、24.9%）の割合が高くなっています。
- 60～69歳、70歳以上では「仕事はしていない」（それぞれ32.1%、65.2%）の割合が高くなっています。

グラフ9

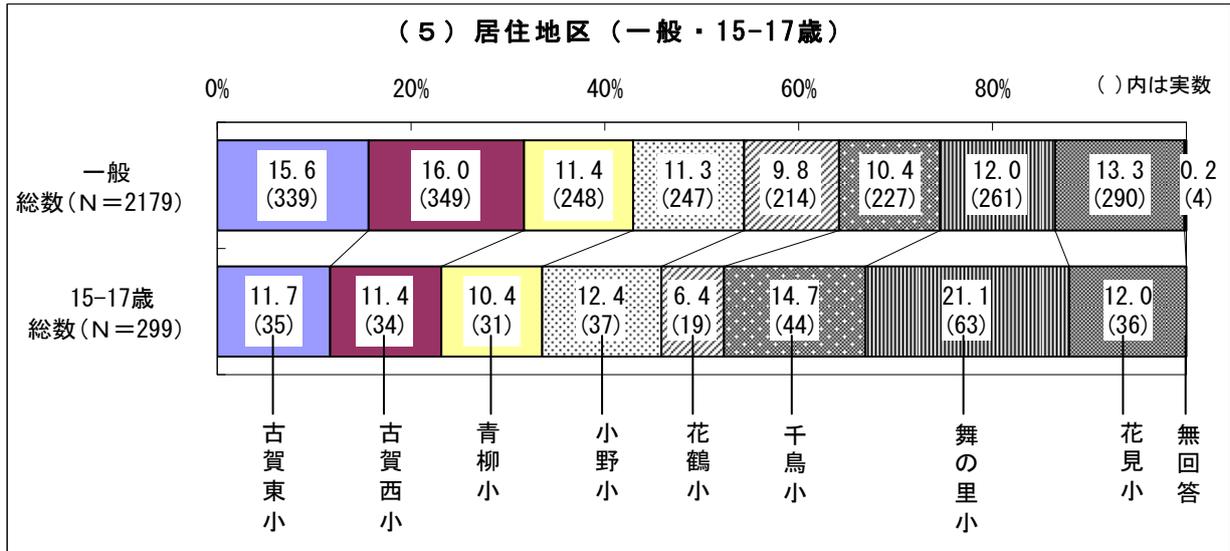


## 5 居住地区（小学校区）

### （5）居住地区（小学校区）

- 一般は、「古賀東小学校区」（15.6%）、「古賀西小学校区」（16.0%）の割合が同程度で高く、次いで「花見小学校区」（13.3%）、「舞の里小学校区」（12.0%）の順となっています。
- 15～17歳をみると、「舞の里小学校区」（21.1%）の割合が最も高く、次いで「千鳥小学校区」（14.7%）、「小野小学校区」（12.4%）の順となっています。

グラフ10

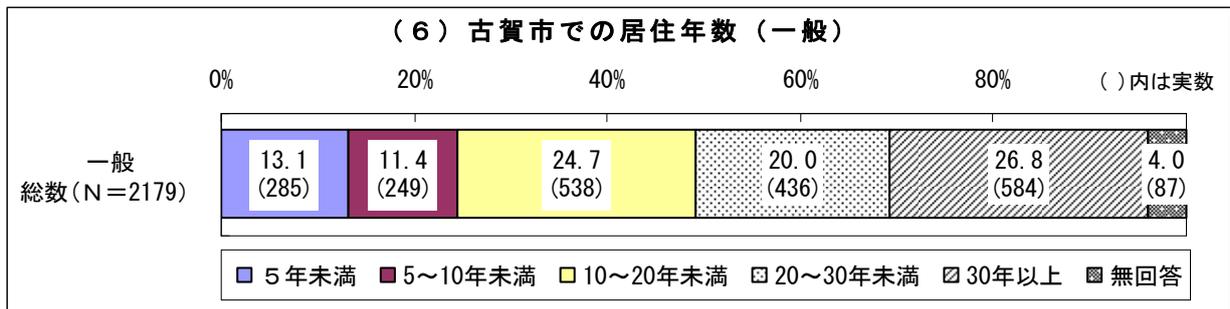


## 6 古賀市での居住年数

### （6）古賀市での居住年数

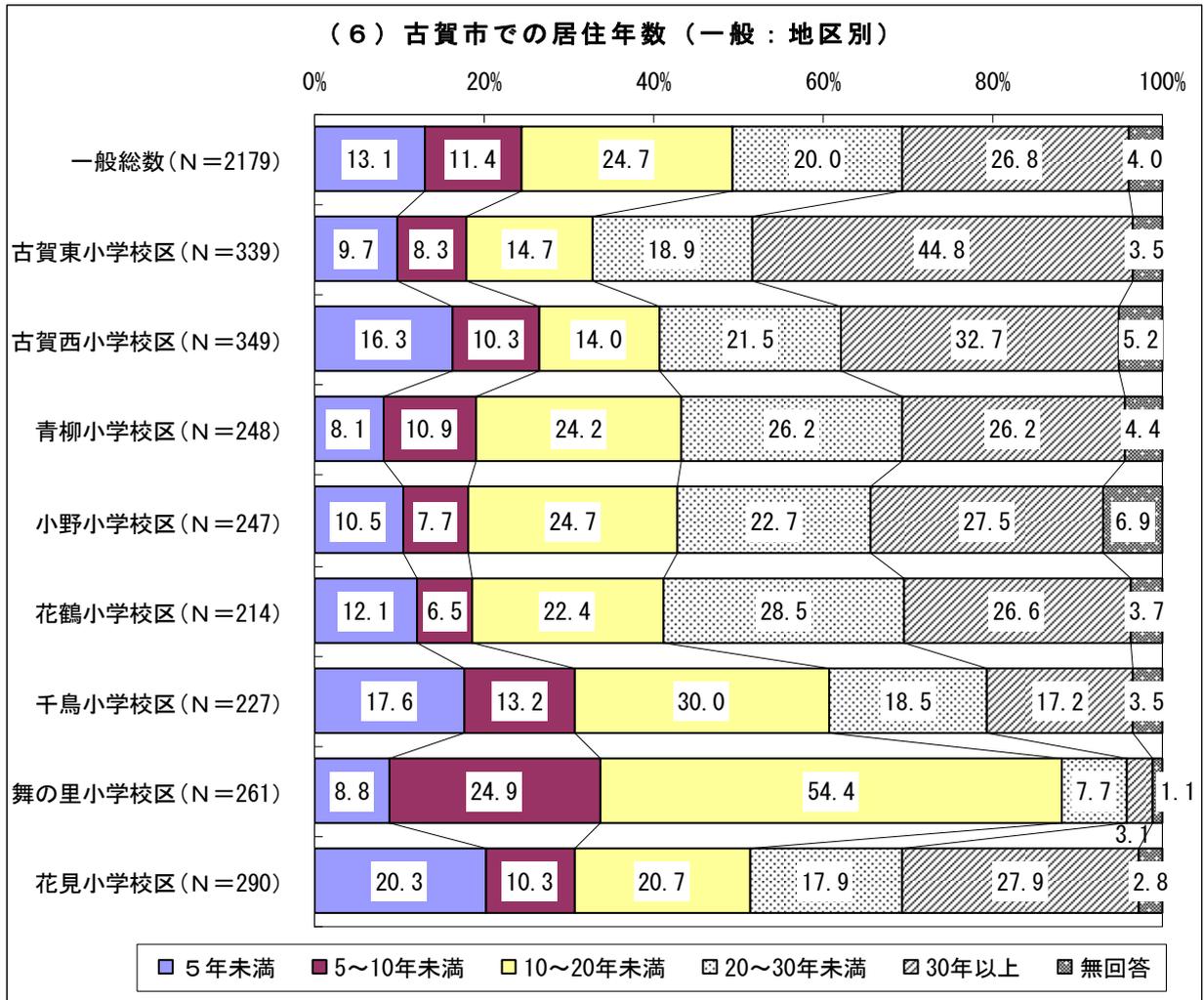
- 「30年以上」（26.8%）の割合が最も高く、次いで「10～20年未満」（24.7%）、「20～30年未満」（20.0%）の順となっています。

グラフ11



- 地区別でみると、古賀東小学校区では「30年以上」（44.8%）の割合が最も高く、居住年数20年以上を合わせると約6割となり、長く住んでいる人が多くなっています。
- 舞の里小学校区では、昭和60年代から団地の分譲が始まったため、20年未満の割合が約9割となっています。
- 古賀西、千鳥、花見小学校区では「5年未満」（それぞれ16.3%、17.6%、20.3%）の割合が高く、この3地区で比較的「居住年数が短い人」が多いのは、分譲マンション、賃貸アパートが多いことが要因として考えられます。

グラフ 12



- 年齢層別で見ると、18～29歳の若い年代では、居住年数「10年以上」が約7割、居住年数「10年未満」が約3割となっており、古賀市で育った人の割合が高くなっています。30～39歳では居住年数「10年未満」が約6割と半数以上を占め、古賀市外から移り住んできた人の割合が高くなっています。年齢が高くなるほど市外から移り住む人の割合は低くなり、居住年数「30年以上」の割合が高くなっています。

表 1

(6) 古賀市での居住年数 (一般：年齢層別)

単位：%

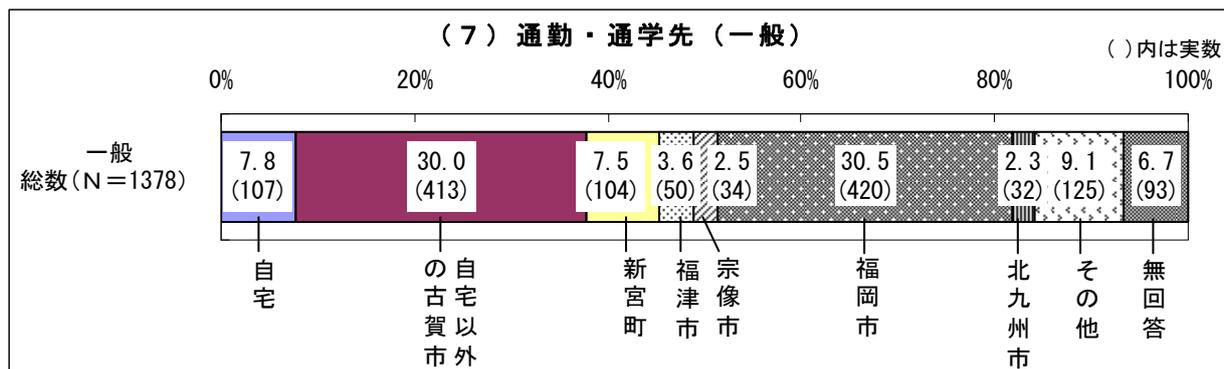
		(6)古賀市での居住年数					
		5年未満	5~10年未満	10~20年未満	20~30年未満	30年以上	無回答
(2)年齢	一般総数(N=2179)	13.1	11.4	24.7	20.0	26.8	4.0
	18～29歳(N=348)	17.8	10.9	37.4	33.6	-	0.3
	30～39歳(N=341)	35.5	21.4	14.1	11.1	17.9	-
	40～49歳(N=338)	11.2	17.8	37.6	12.7	20.7	-
	50～59歳(N=453)	6.0	10.4	30.2	24.3	28.7	0.4
	60～69歳(N=327)	6.1	4.6	16.8	26.3	46.2	-
	70歳以上(N=276)	5.4	5.4	12.7	14.9	61.2	0.4

## 7 通勤・通学先

### (7) 通勤・通学先

- 通勤・通学先をみると、「福岡市」(30.5%)、「自宅以外の古賀市内」(30.0%)の割合が同程度で高く、次いで「自宅」(7.8%)、「新宮町」(7.5%)の順となっています。福岡市への通勤・通学が多いとともに、古賀市内での働き場も多く、地元での就業率が高いことがうかがえます。

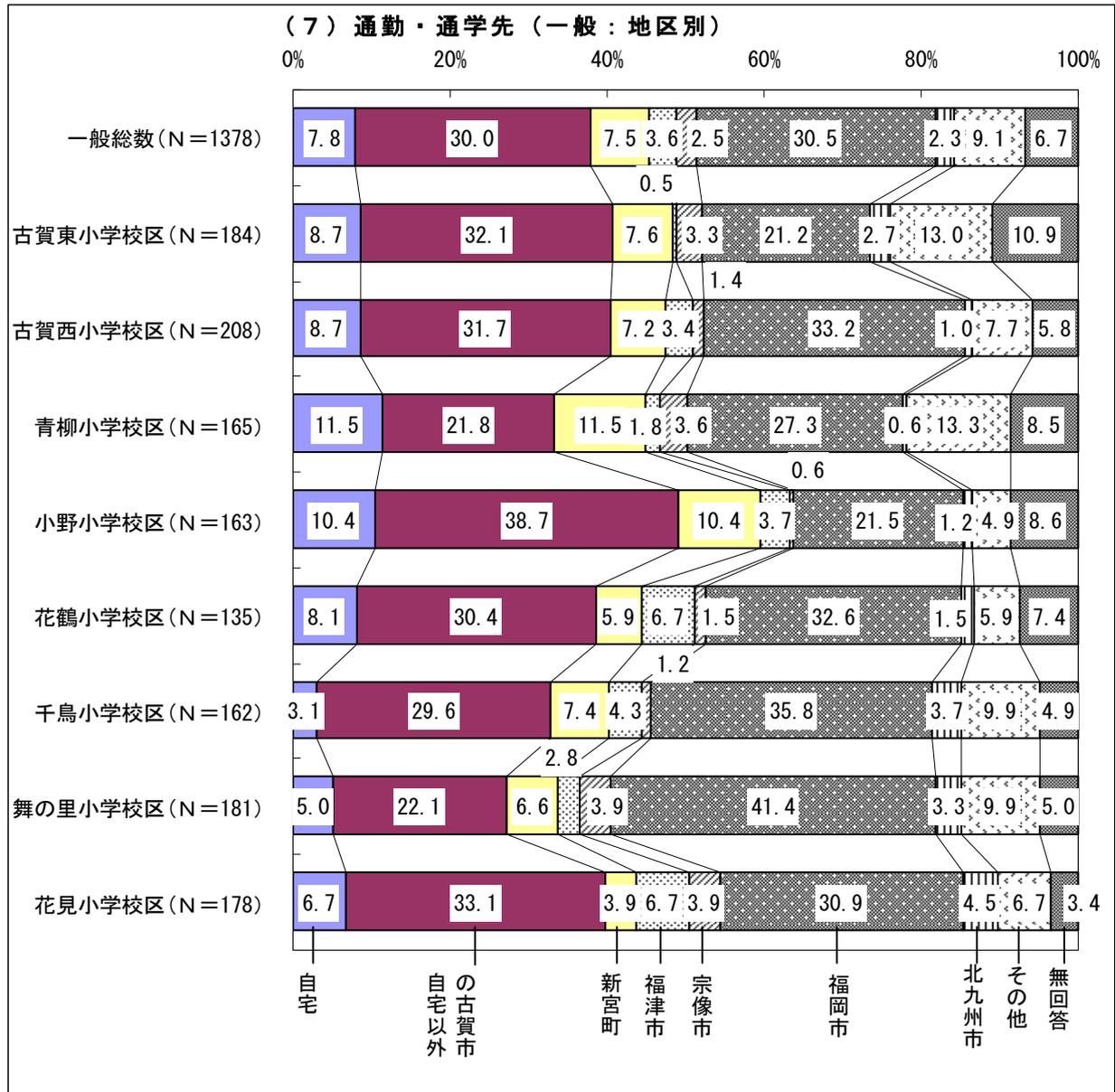
グラフ 13



※N(全体総数)は、「Ⅱ-4 職業」で「仕事はしていない」、「家事専業」と答えた人を除いた数である。

- 地区別でみると、小野小学校区では「自宅以外の古賀市内」(38.7%)、舞の里小学校区では「福岡市」(41.4%)の割合が高くなっています。
- 舞の里小学校区では、福岡市への通勤・通学者の割合が他の地区に比べ高いことから、サラリーマンや学生が多い“福岡市のベッドタウン”的 성격が最も強い地区といえます。

グラフ 14



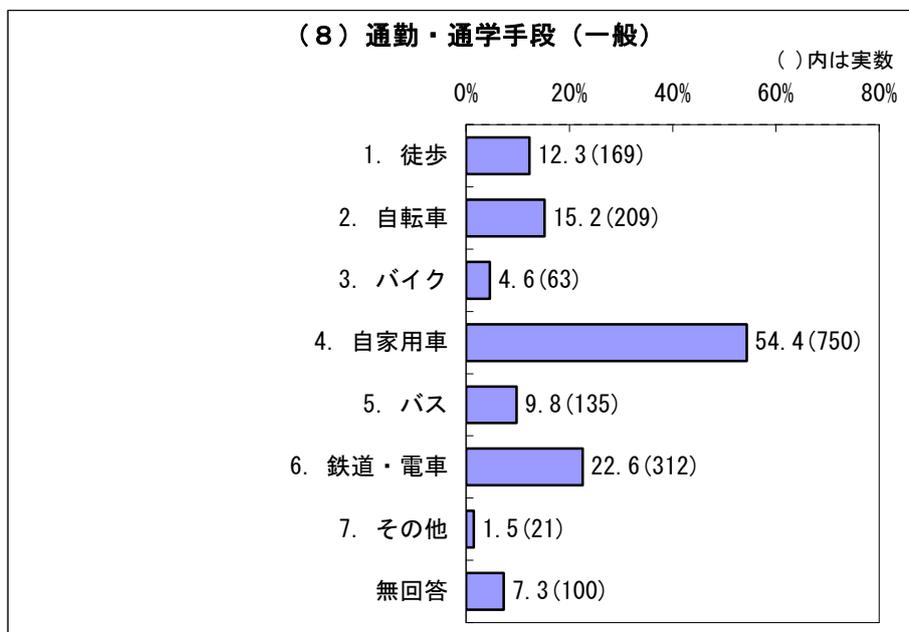
## 8 通勤・通学手段

### (8) 通勤・通学手段

- 通勤・通学手段をみると、「自家用車」(54.4%)の割合が最も高く、次いで「鉄道・電車」(22.6%)、「自転車」(15.2%)、「徒歩」(12.3%)の順となっています。

グラフ 15

N=1378

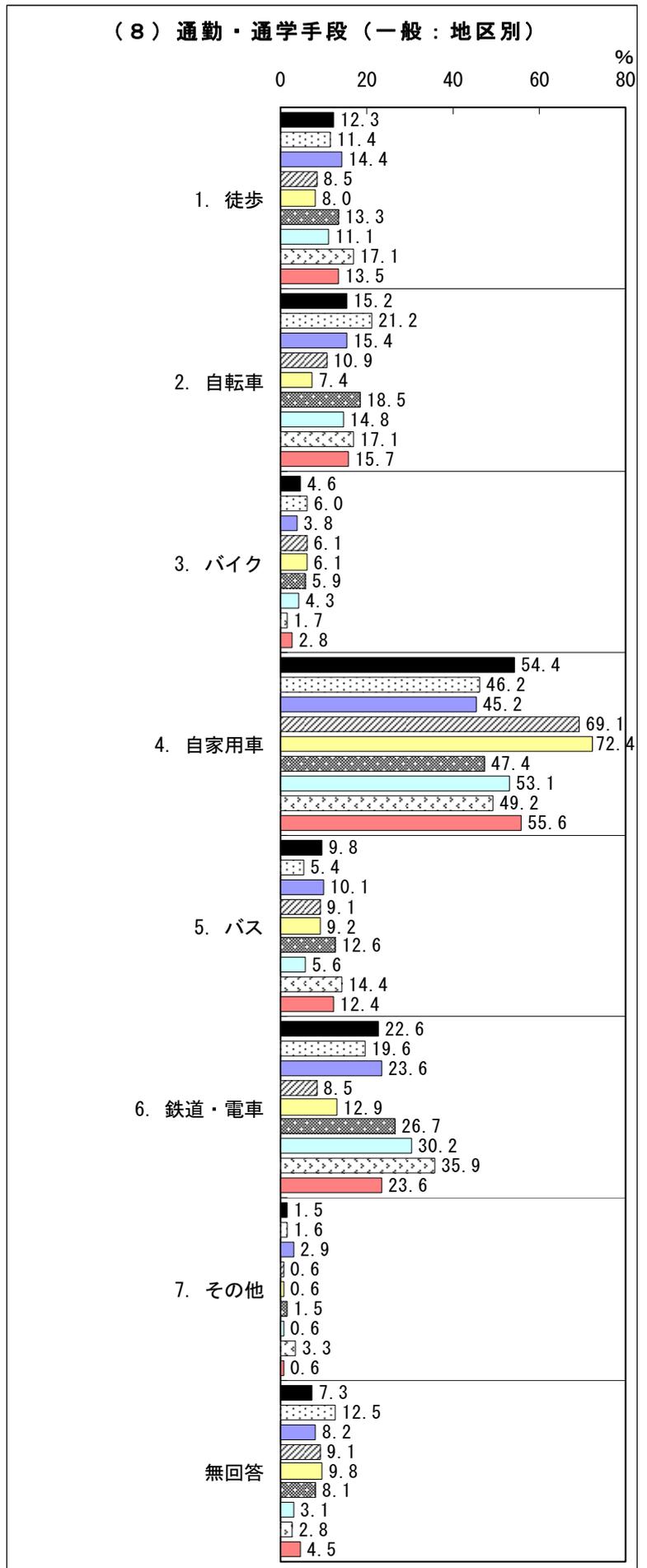


※N(全体総数)は、「Ⅱ-4 職業」で「仕事はしていない」、「家事専業」と答えた人を除いた数である。

グラフ 16

● 地区別でみると、全ての地区で「自家用車」の割合が最も高くなっており、特に青柳、小野小学校区は約7割となっています。2地区で自家用車依存度が高い要因として、JR駅から遠いことなどがあげられます。

- 総数 (N = 1378)
- 古賀東小学校区 (N = 184)
- 古賀西小学校区 (N = 208)
- ▨ 青柳小学校区 (N = 165)
- 小野小学校区 (N = 163)
- ▨ 花鶴小学校区 (N = 135)
- 千鳥小学校区 (N = 162)
- ▨ 舞の里小学校区 (N = 181)
- 花見小学校区 (N = 178)



## 9 日常の生活範囲

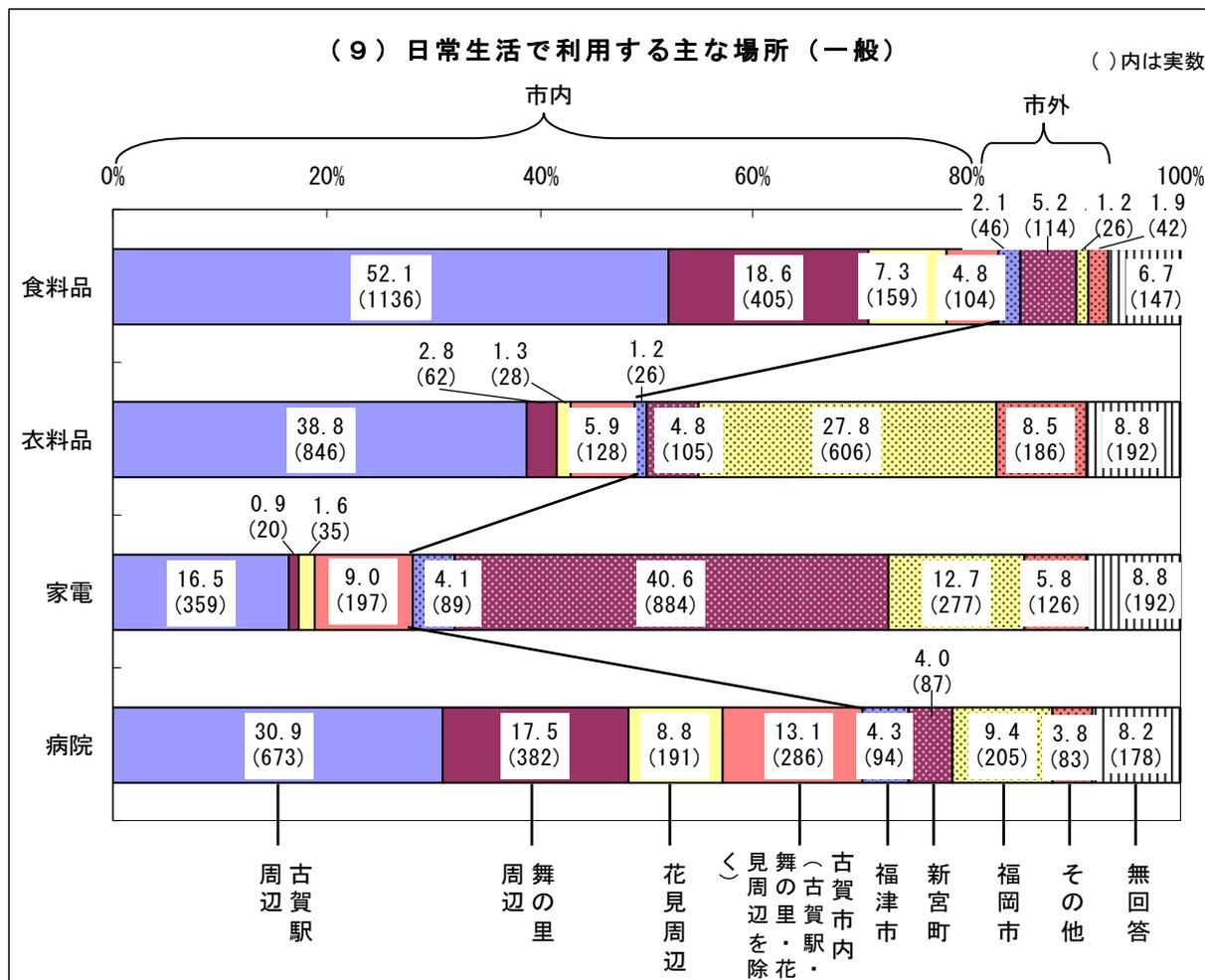
(9) 次に挙げる項目について、それぞれどこで購入またはどこを利用しますか。主な場所と交通手段について、それぞれ該当するものを1つだけ選び、○印をつけて下さい。

### (1) 日常生活で利用する主な場所

- 日常生活で利用する主な場所をみると、食料品は、「古賀駅周辺」(52.1%)の割合が最も高く、「古賀駅周辺」、「舞の里周辺」、「花見周辺」、「古賀市内(古賀駅・舞の里・花見周辺を除く)」を合わせた『市内』が約8割を占めています。(『市内』は以下同様の意味で使用しています。)
- 衣料品は「古賀駅周辺」(38.8%)の割合が最も高く、次いで「福岡市」(27.8%)と続き、『市内』と「福津市」、「新宮町」、「福岡市」、「その他」を合わせた『市外』がそれぞれ半数程度となっています。(『市外』は以下同様の意味で使用しています。)
- 家電については、「新宮町」(40.6%)の割合が最も高く、次いで「古賀駅周辺」(16.5%)、「福岡市」(12.7%)と続き、『市外』が約6割となっています。
- 病院については、「古賀駅周辺」(30.9%)の割合が最も高く、次いで「舞の里周辺」(17.5%)と続き、『市内』が約7割となっています。

グラフ 17

N=2179

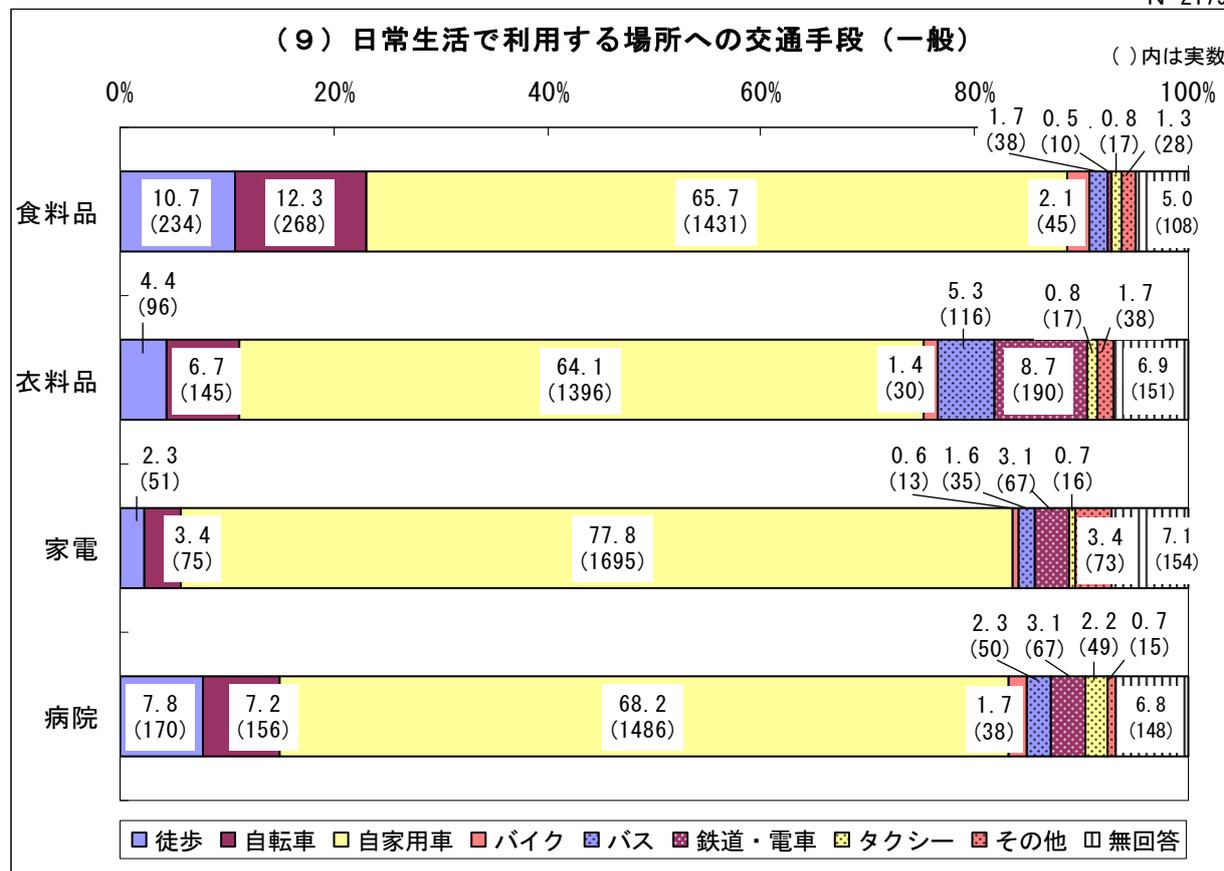


## (2) 日常生活で利用する場所への交通手段

- 日常生活で利用する主な場所への交通手段をみると、食料品、衣料品、家電、病院の全ての項目で「自家用車」の割合が6割以上と最も高くなっています。『市内』の利用が8割を超える食料品の購入は「徒歩」(10.7%)、「自転車」(12.3%)の割合が他に比べて高くなっています。

グラフ 18

N=2179

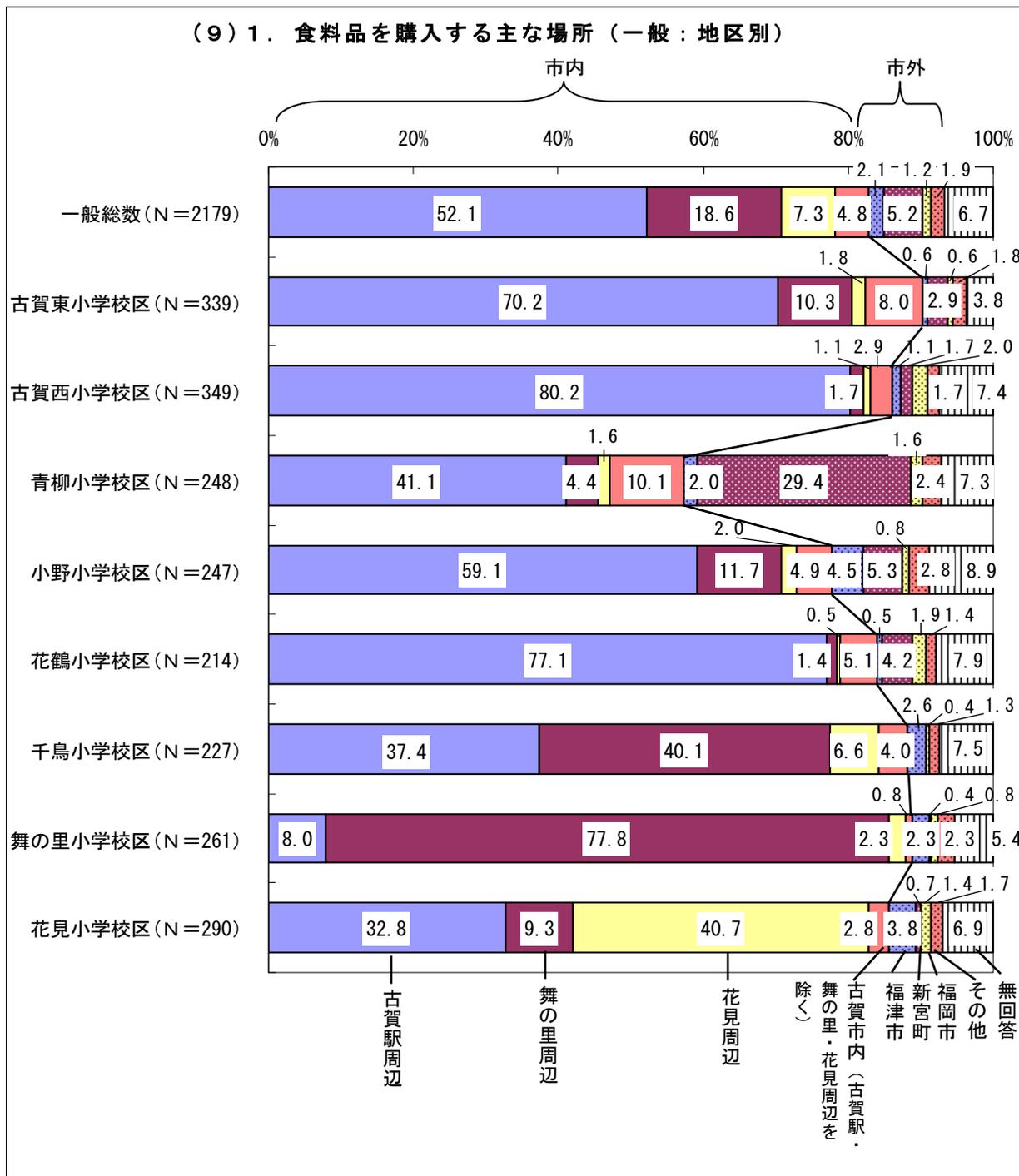


(3) 日常の生活範囲について (各項目詳細)

①食料品を購入する主な場所

- 地区別でみると、小野小学校区を除いた全ての校区で、近隣の購入場所をあげています。小野小学校区は、「古賀駅周辺」(59.1%)、「舞の里周辺」(11.7%)となっています。青柳小学校区は新宮町に隣接しているため、「新宮町」(29.4%)の割合が高くなっています。

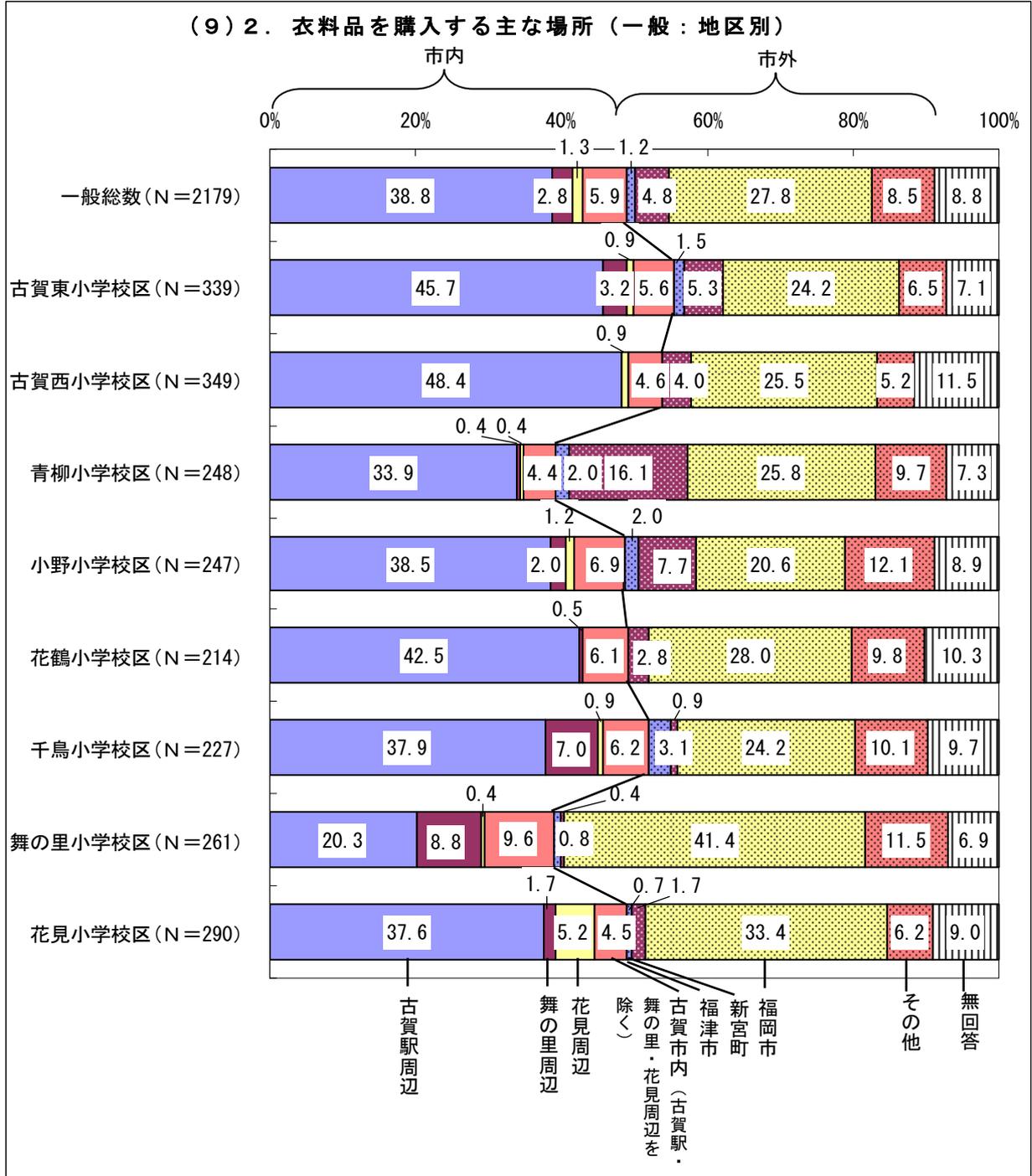
グラフ 19



## ②衣料品を購入する主な場所

- 地区別でみると、青柳、舞の里小学校区では『市外』の割合が約5割と高く、青柳小学校区では「福岡市」(25.8%)や「新宮町」(16.1%)、舞の里小学校区では「福岡市」(41.4%)となっています。

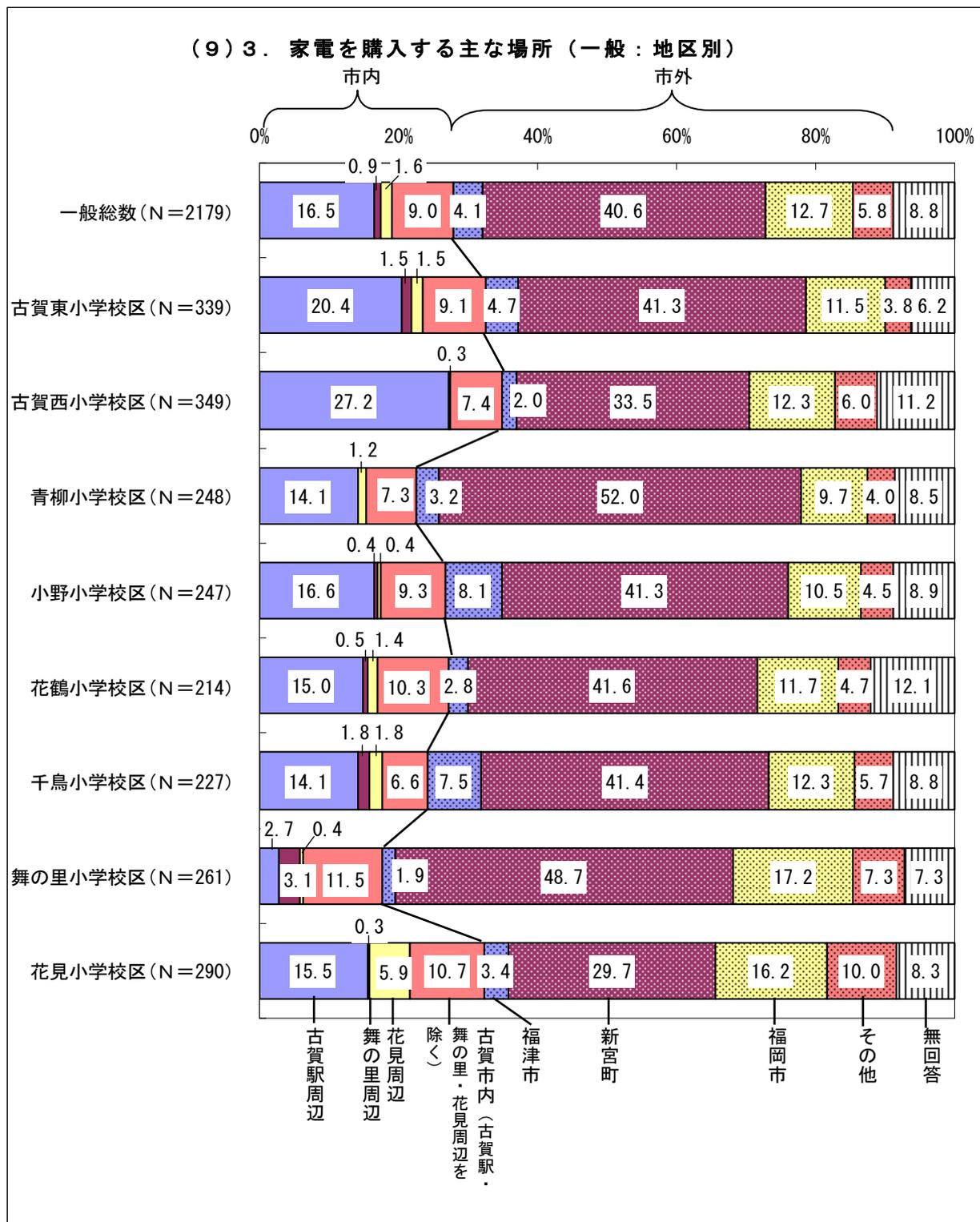
グラフ 20



### ③家電を購入する主な場所

- 地区別でみると、全ての地区で「新宮町」の割合が高いのは、新宮町の国道3号沿いに大型量販店が立地していることが要因としてあげられます。

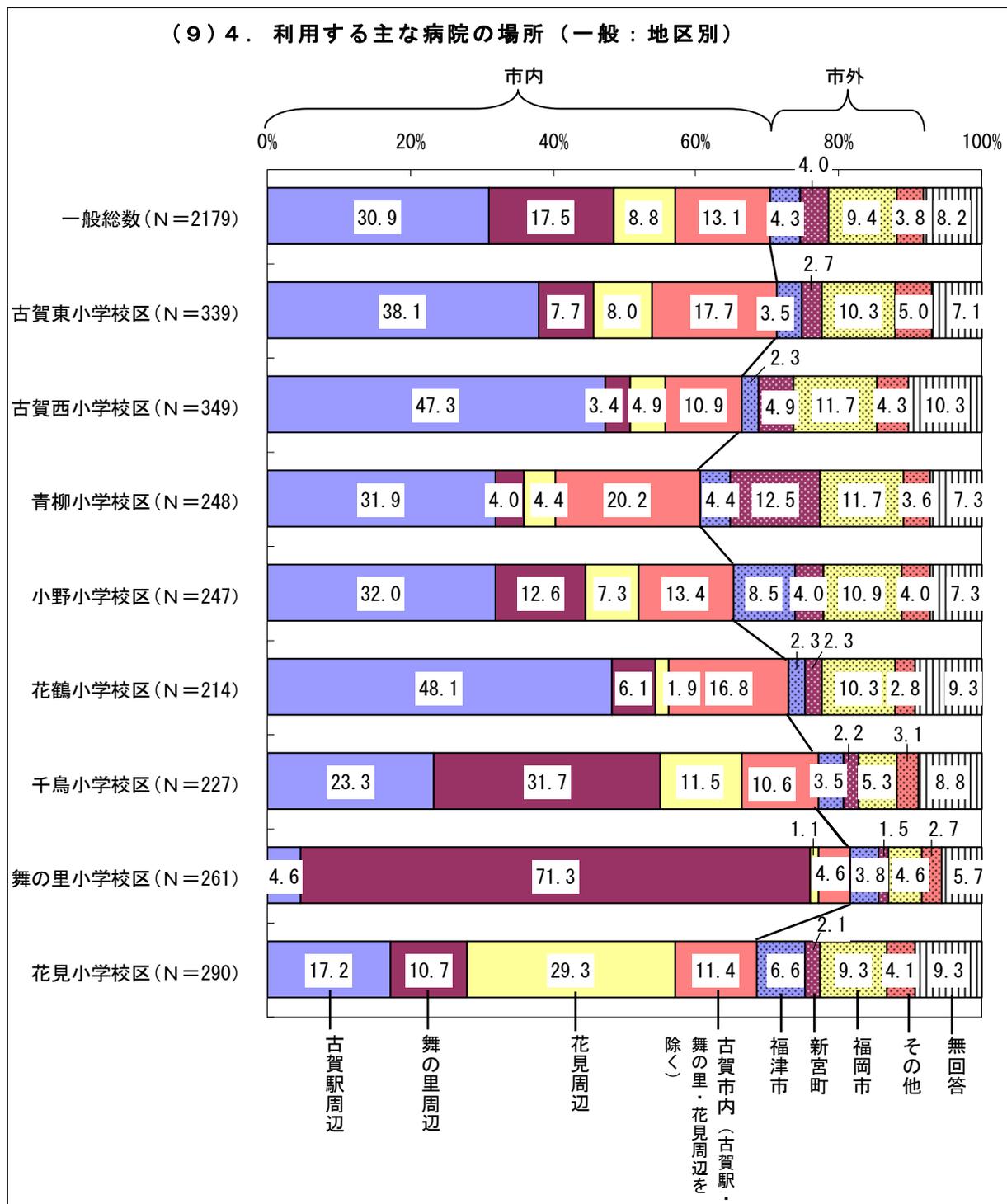
グラフ 21



#### ④利用する主な病院の場所

- 地区別でみると、全ての地区で『市内』の割合が半数を超えています。古賀西、花鶴小学校区では「古賀駅周辺」（それぞれ 47.3%、48.1%）、舞の里小学校区では「舞の里周辺」（71.3%）、花見小学校区では「花見周辺」（29.3%）の割合が高くなっており、近隣の病院に通っていることがうかがえます。

グラフ 22



### Ⅲ 古賀市の住みやすさや将来イメージについて

#### 1 古賀市の「住みやすさ」について

##### 【一般】

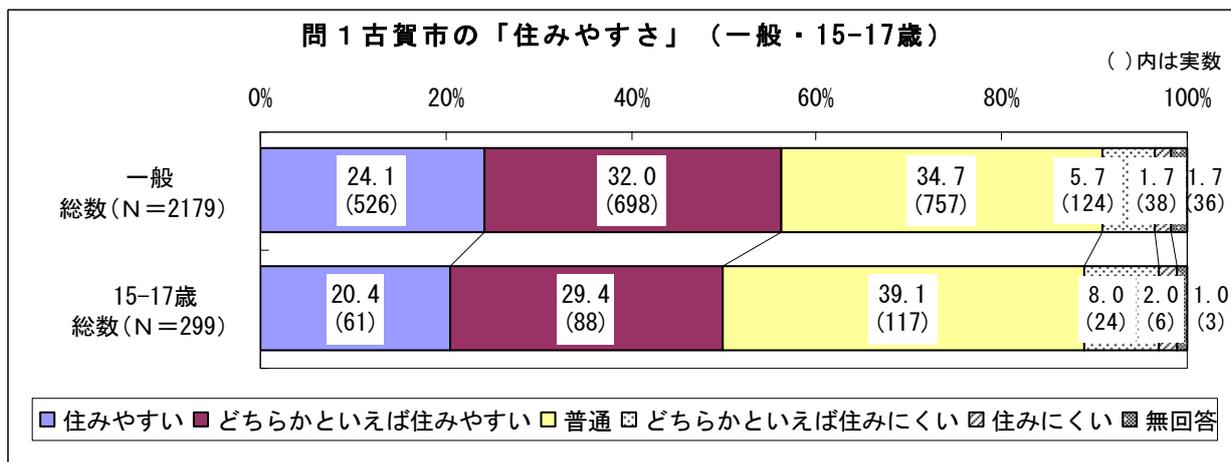
問1 現在の古賀市の「住みやすさ」について、どのようにお感じですか。次の中から1つだけ選んで、番号に○印をつけて下さい。

##### 【15～17歳】

問1 あなたは現在の古賀市の「住みやすさ」についてどのようにお感じですか。次の中から1つだけ選んで、番号に○印をつけて下さい。

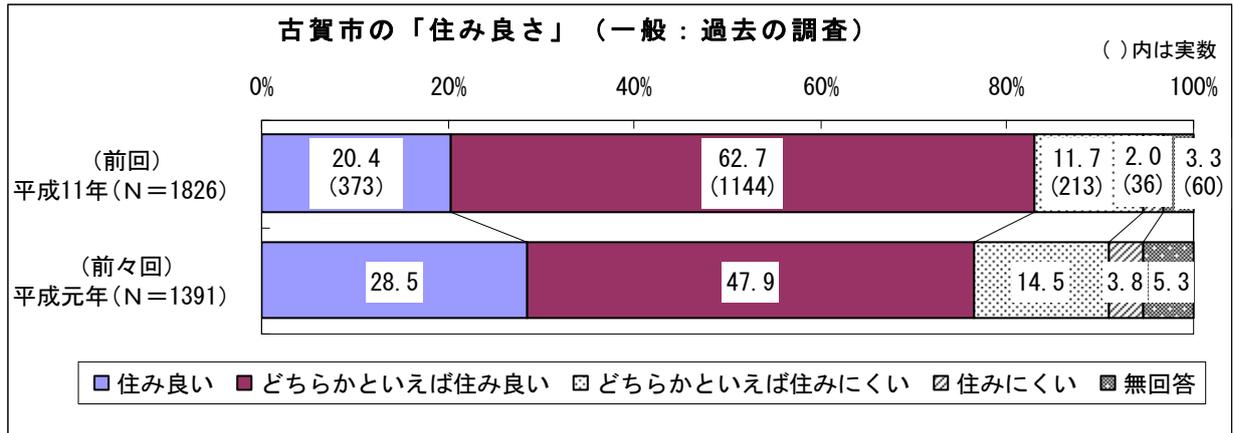
- 一般では「住みやすい」(24.1%)、「どちらかといえば住みやすい」(32.0%)を合わせた『住みやすい』の割合が56.1%となっており、半数以上が住みやすいと評価しています。(『住みやすい』は以下同様の意味で使用しています。)また、積極的に住みやすいとは思わないが特に不満を感じていないと考えられる「普通」(34.7%)を合わせると90.8%となっており、約9割が住みやすい、あるいは特に不満を感じていないと評価しています。一方、「どちらかといえば住みにくい」(5.7%)と「住みにくい」(1.7%)を合わせた『住みにくい』は7.4%となっています。(『住みにくい』は以下同様の意味で使用しています。)
- 15～17歳では『住みやすい』の割合は49.8%となっており、一般に比べやや低いものの、約半数が住みやすいと評価しています。また、積極的に住みやすいとは思わないが特に不満を感じていないと考えられる「普通」(39.1%)を合わせると88.9%となっており、一般と同程度の評価になっています。
- 回答の選択肢が異なるため単純な比較はできませんが、参考に一般の回答について平成11年(前回)、平成元年(前々回)の類似設問をみると、「住み良い」と「どちらかといえば住み良い」を合わせた『住み良い』の割合はそれぞれ83.1%、76.4%となっています。一方、『住みにくい』の割合はそれぞれ13.7%、18.3%となっており、今回の結果(7.4%)と比較すると、その割合は減少しています。

グラフ 23



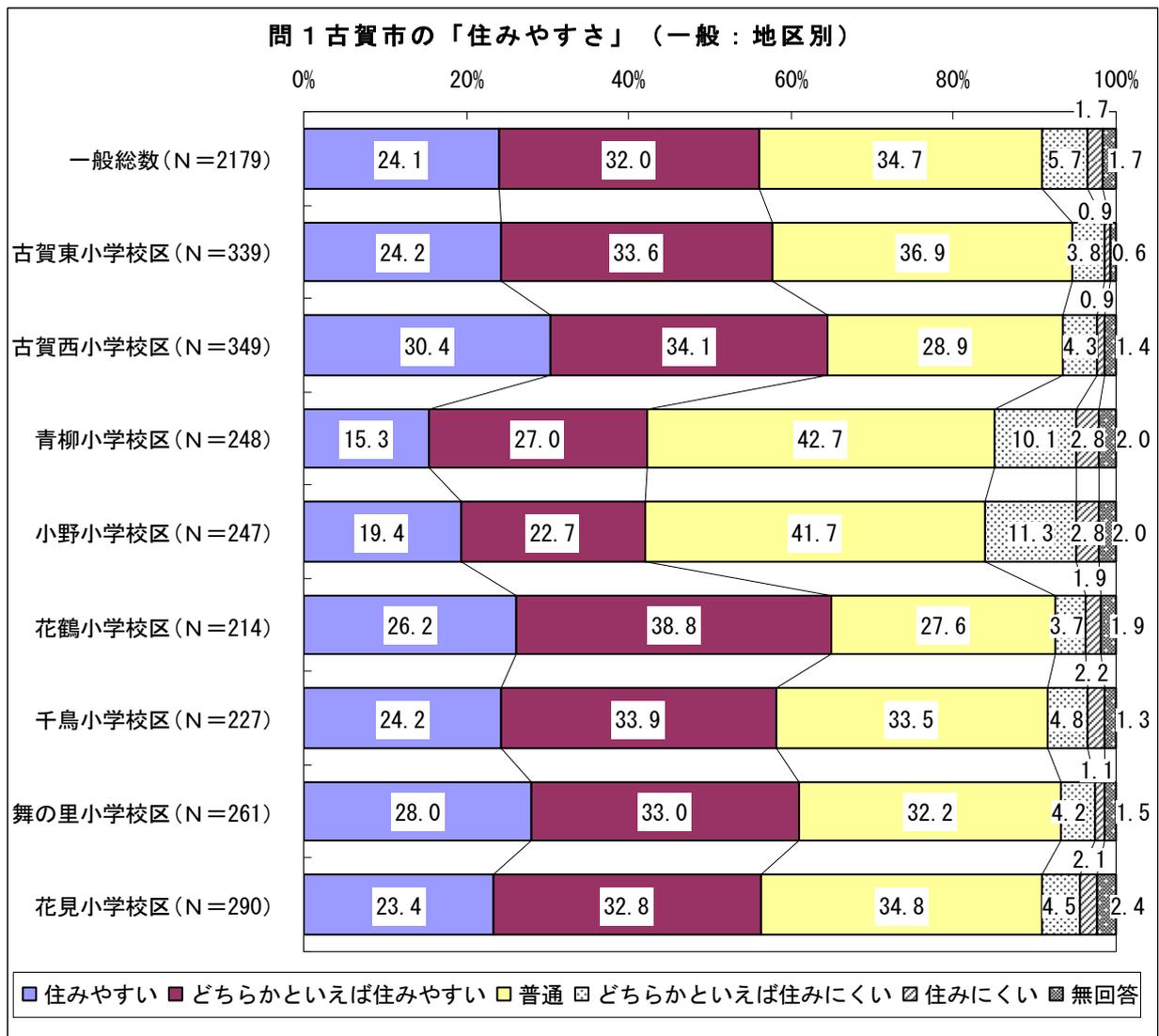
【参考】

グラフ 24



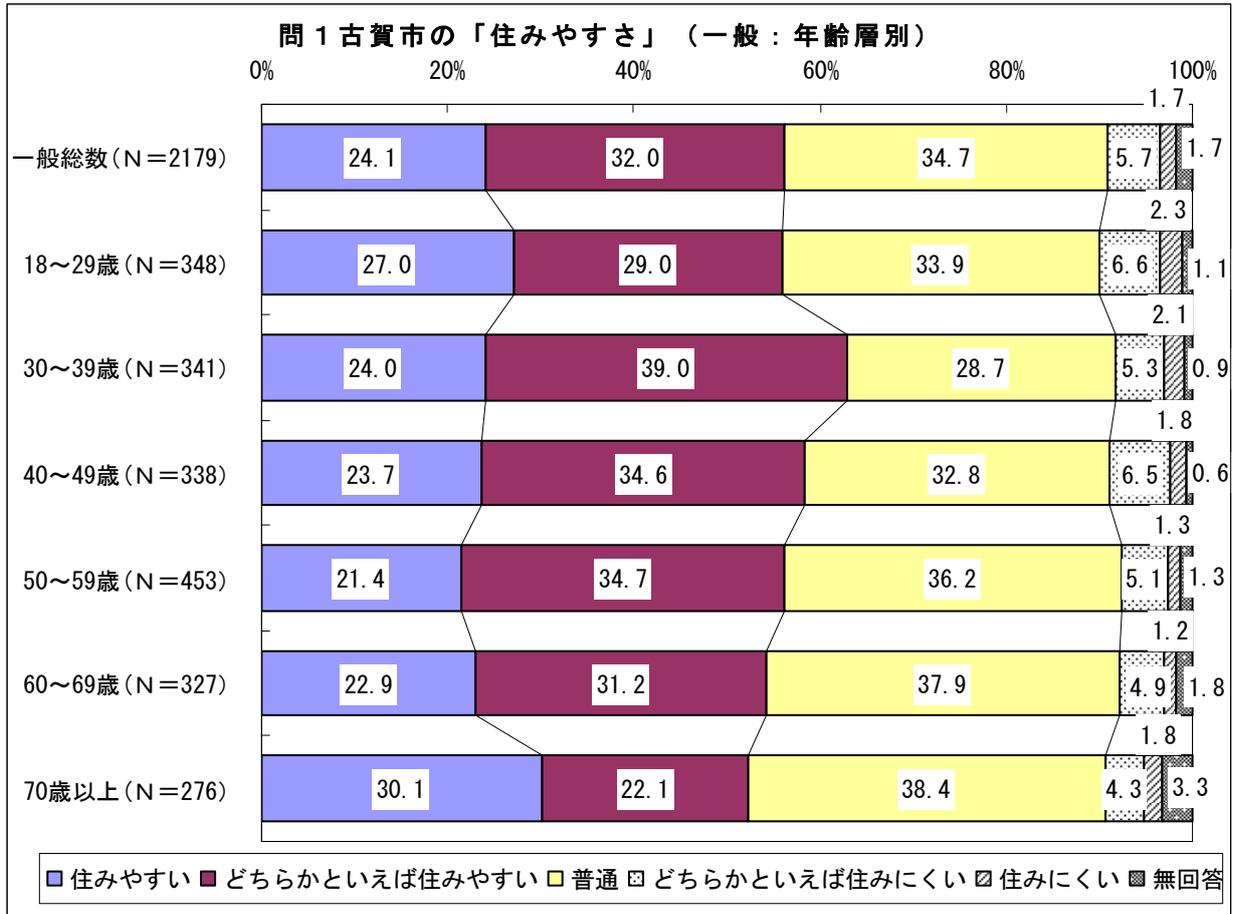
- 地区別でみると、古賀西、花鶴、舞の里小学校区では『住みやすい』(それぞれ 64.5%、65.0%、61.0%) の割合が高くなっています。
- 一方、青柳、小野小学校区は『住みにくい』(それぞれ 12.9%、14.1%) の割合が高くなっています。

グラフ 25



- 年齢層別でみると、30～39歳で『住みやすい』(63.0%)の割合が高くなっています。

グラフ 26



- 居住年数別でみると、居住年数が長いほど『住みやすい』の割合が高くなっています。

表 2

問1 古賀市の「住みやすさ」(一般:居住年数別)

単位:%

		問1 古賀市の「住みやすさ」					
		住みやすい	どちらかといえば住みやすい	普通	どちらかといえば住みにくい	住みにくい	無回答
(6) 居住年数	一般総数(N=2179)	24.1	32.0	34.7	5.7	1.7	1.7
	5年未満(N=285)	24.2	30.9	35.4	4.9	2.8	1.8
	5～10年未満(N=249)	22.9	29.7	34.9	9.2	2.0	1.2
	10～20年未満(N=538)	23.0	34.0	34.2	6.3	1.7	0.7
	20～30年未満(N=436)	22.9	34.2	33.3	6.4	1.6	1.6
	30年以上(N=584)	27.4	30.8	35.8	2.7	1.4	1.9

## 2 古賀市に住み続けたいか

### 【一般】

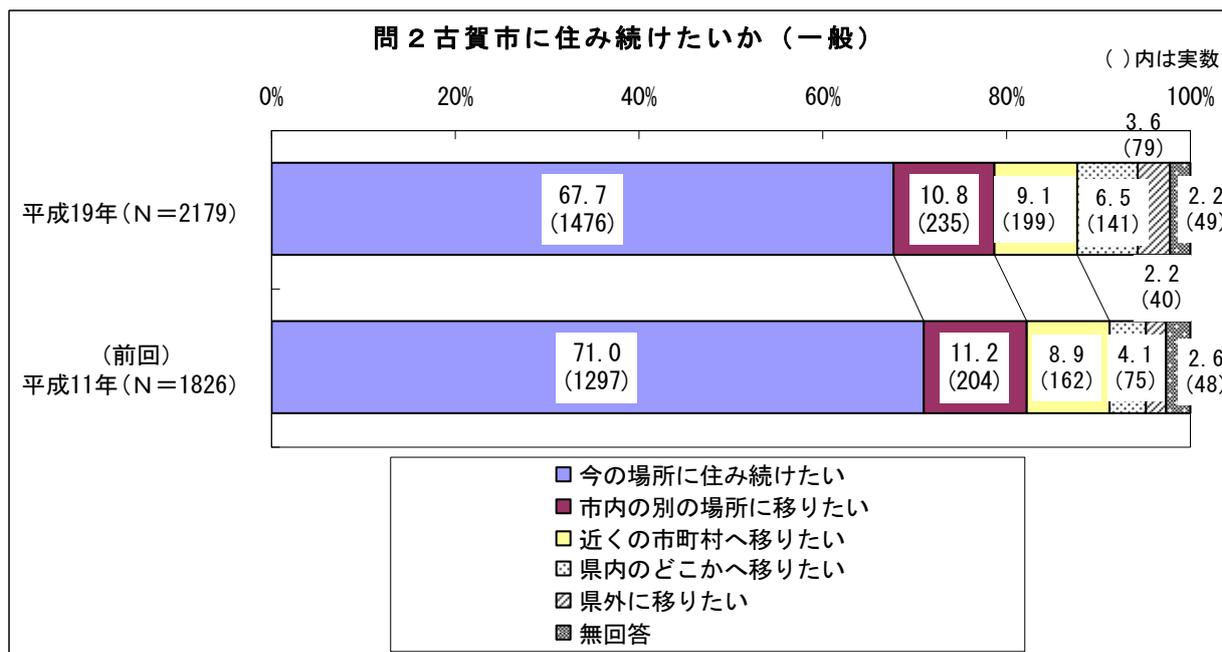
問2 あなたはこれからも古賀市に住み続けたいと思いますか。次の中から1つだけ選んで番号に○印をつけて下さい。

### 【15～17歳】

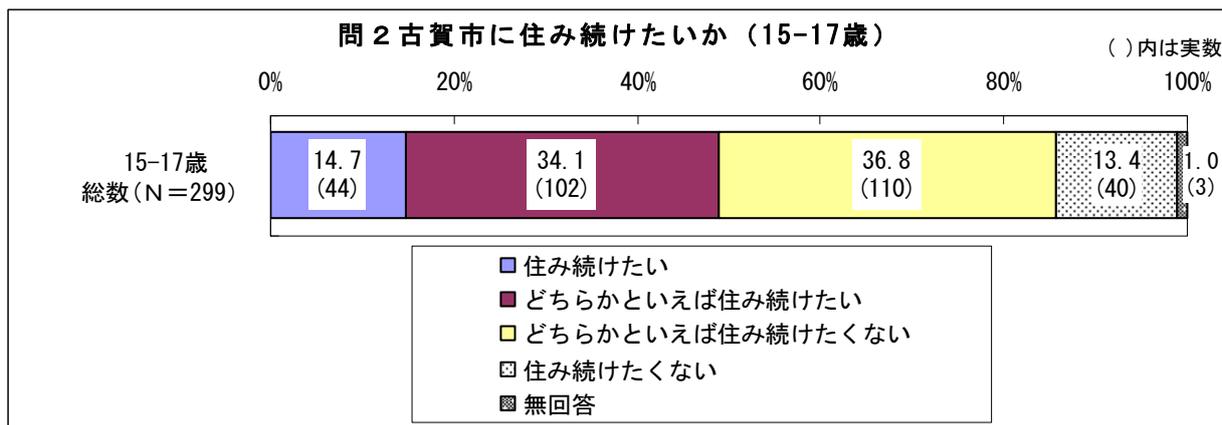
問2 あなたは大人になってからも古賀市に住み続けたいと思いますか。次の中から1つだけ選んで番号に○印をつけて下さい。

- 一般では「今の場所に住み続けたい」（67.7％）の割合が最も高く、「市内の別の場所に移りたい」（10.8％）を合わせると約8割が古賀市内に住み続けたいとなっています。平成11年と比較しても傾向はほぼ変わりません。
- 15～17歳では「住み続けたい」（14.7％）、「どちらかといえば住み続けたい」（34.1％）を合わせると約5割が『古賀市に住み続けたい』となっており、一般に比べて住意向は高くありません。

グラフ 27

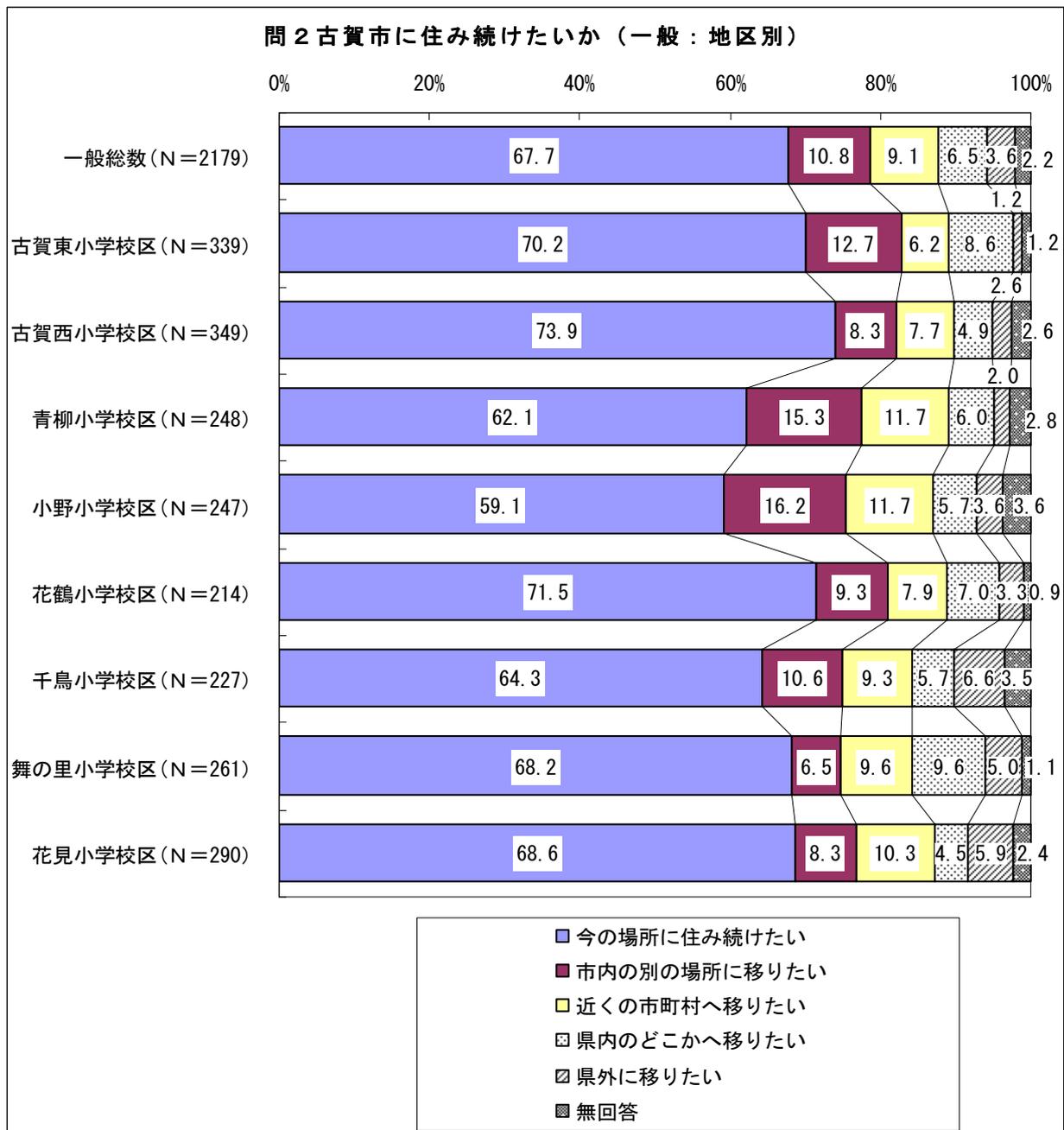


グラフ 28

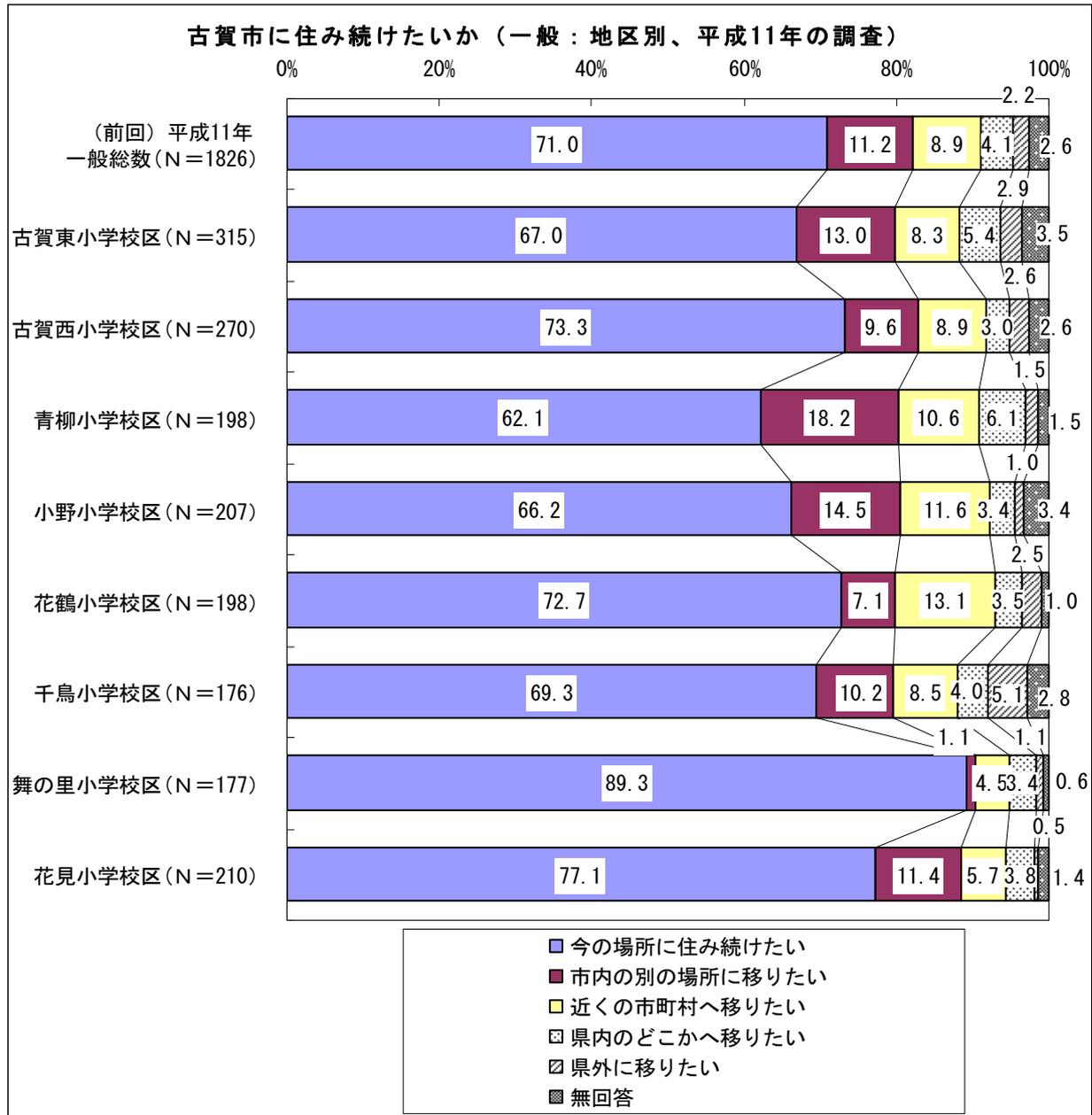


- 地区別でみると、高齢者層が多い古賀東、古賀西小学校区【P5 参照】、また都市基盤や生活環境の整備などの満足度が高い古賀西、花鶴小学校区【P41、P46 参照】では「今の場所に住み続けたい」（それぞれ 70.2%、73.9%、71.5%）の割合が高くなっています。
- 一方、Ⅲ－1 古賀市の「住みやすさ」で『住みにくい』の割合が高かった青柳、小野小学校区【P23 参照】では「市内の別の場所に移りたい」（それぞれ 15.3%、16.2%）の割合が高くなっています。
- 平成 11 年と比較すると、小野、舞の里、花見小学校区では「市内の別の場所に移りたい」、「近くの市町村へ移りたい」、「県内のどこかへ移りたい」、「県外に移りたい」を合わせた『今の場所から移りたい』の割合が増加しています。

グラフ 29

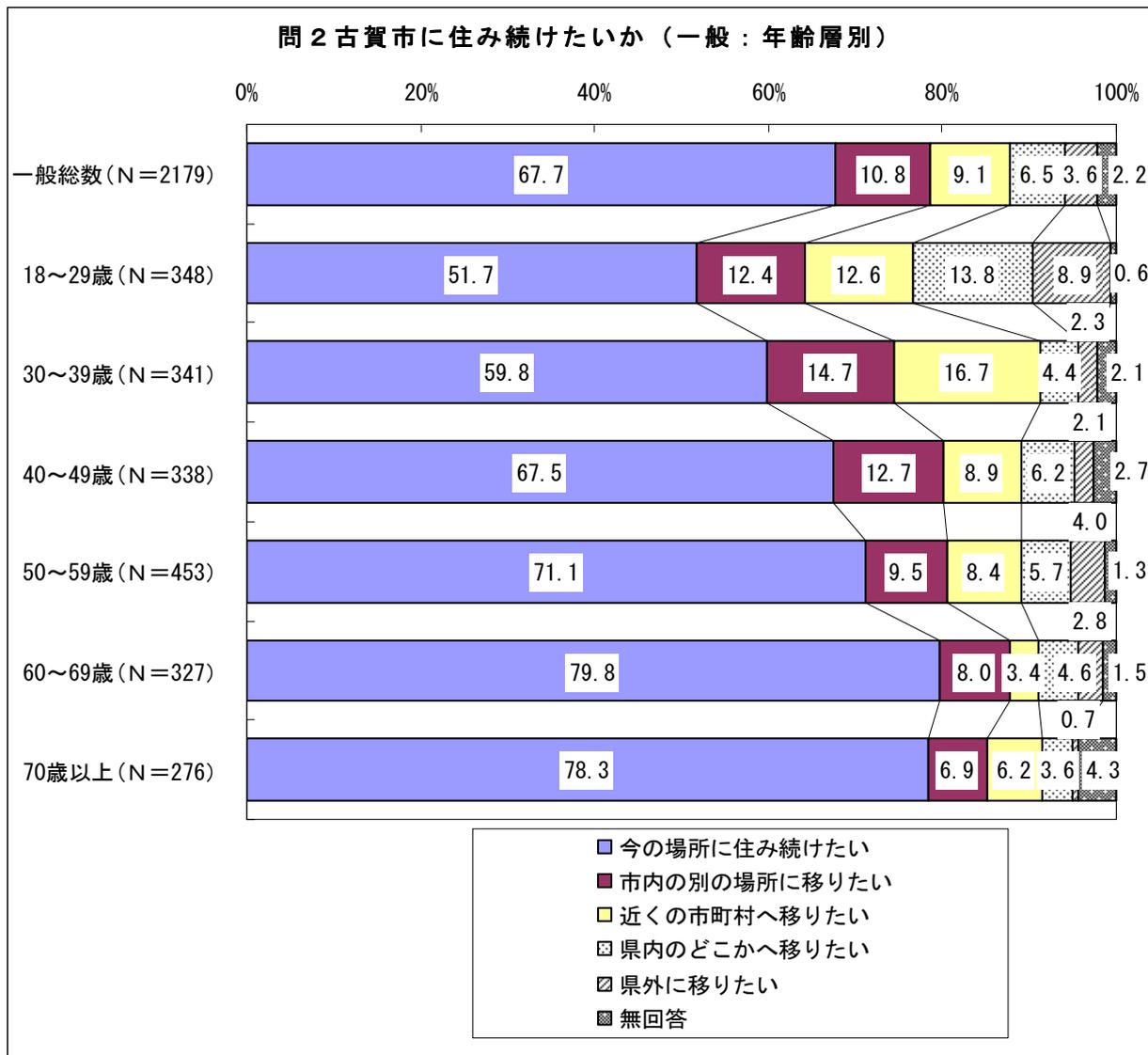


グラフ 30



- 年齢層別で見ると、年齢が高くなるにつれて「今の場所に住み続けたい」の割合が高くなり 60～69 歳、70 歳以上では約 8 割となっています。

グラフ 31



### 3 今の場所から移りたいと思う主な理由

#### 【一般】

※問2で「2～5」に○印をつけられた方におたずねします。

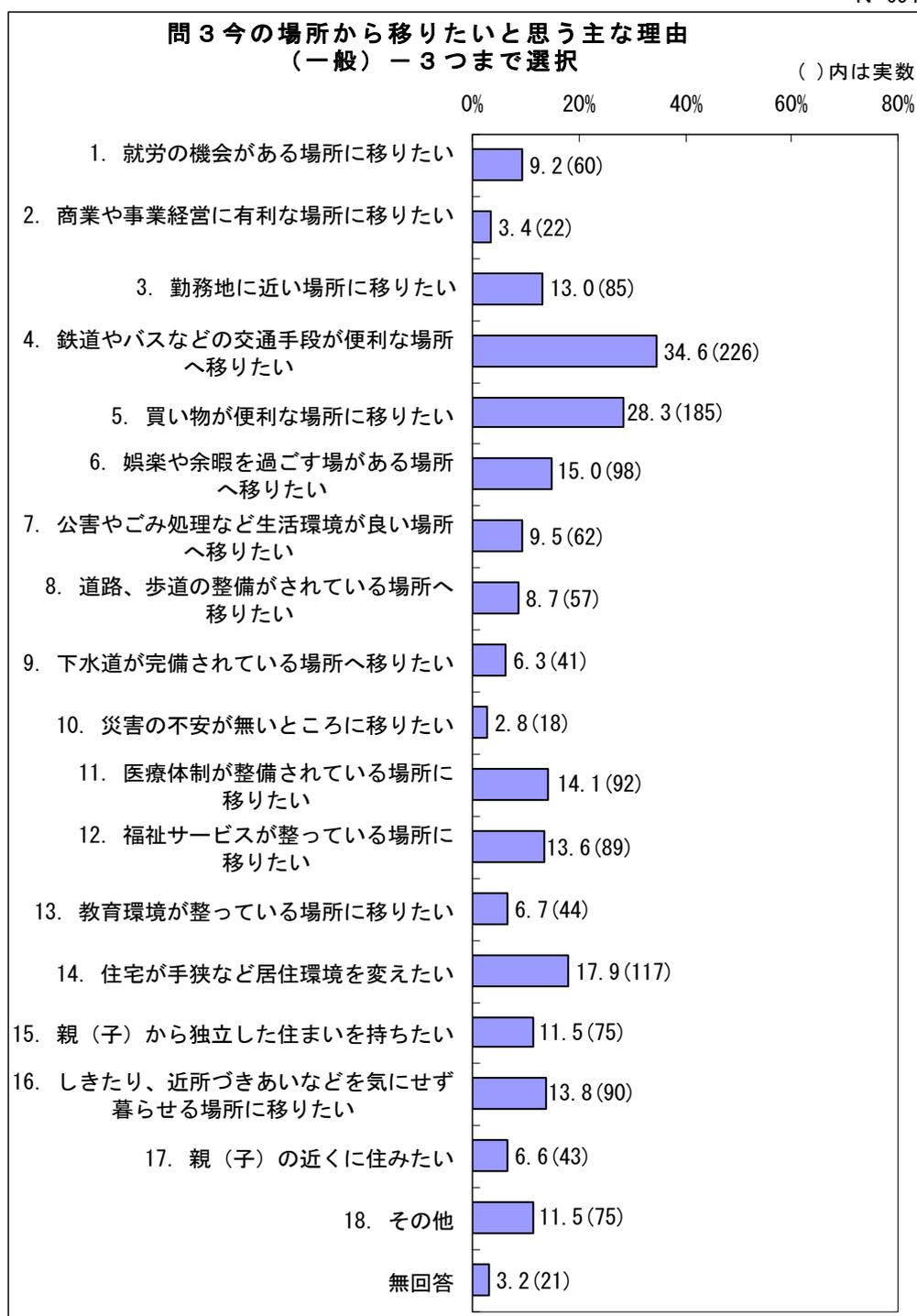
問3 今の場所から移りたいと思う主な理由はどのようなことでしょうか。次の中から3つまで選んで、番号に○印をつけて下さい。

#### (1) 【一般】今の場所から移りたいと思う主な理由

- 「鉄道やバスなどの交通手段が便利な場所へ移りたい」(34.6%)の割合が最も高く、次いで「買い物が便利な場所に移りたい」(28.3%)、「住宅が手狭など居住環境を変えたい」(17.9%)となっており、“公共交通や買い物の利便性”や“居住環境の向上”を求めて移りたいという傾向がうかがえます。

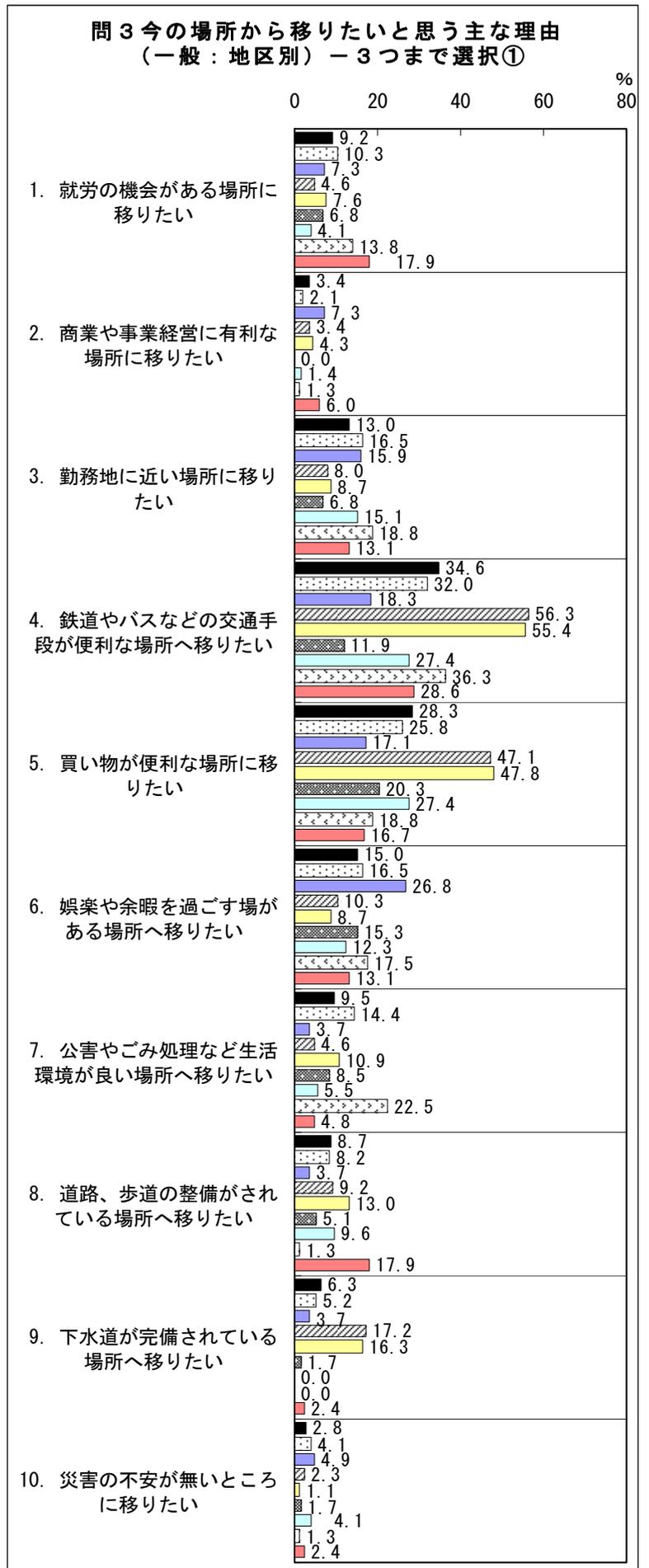
グラフ 32

N=654



グラフ 33-①

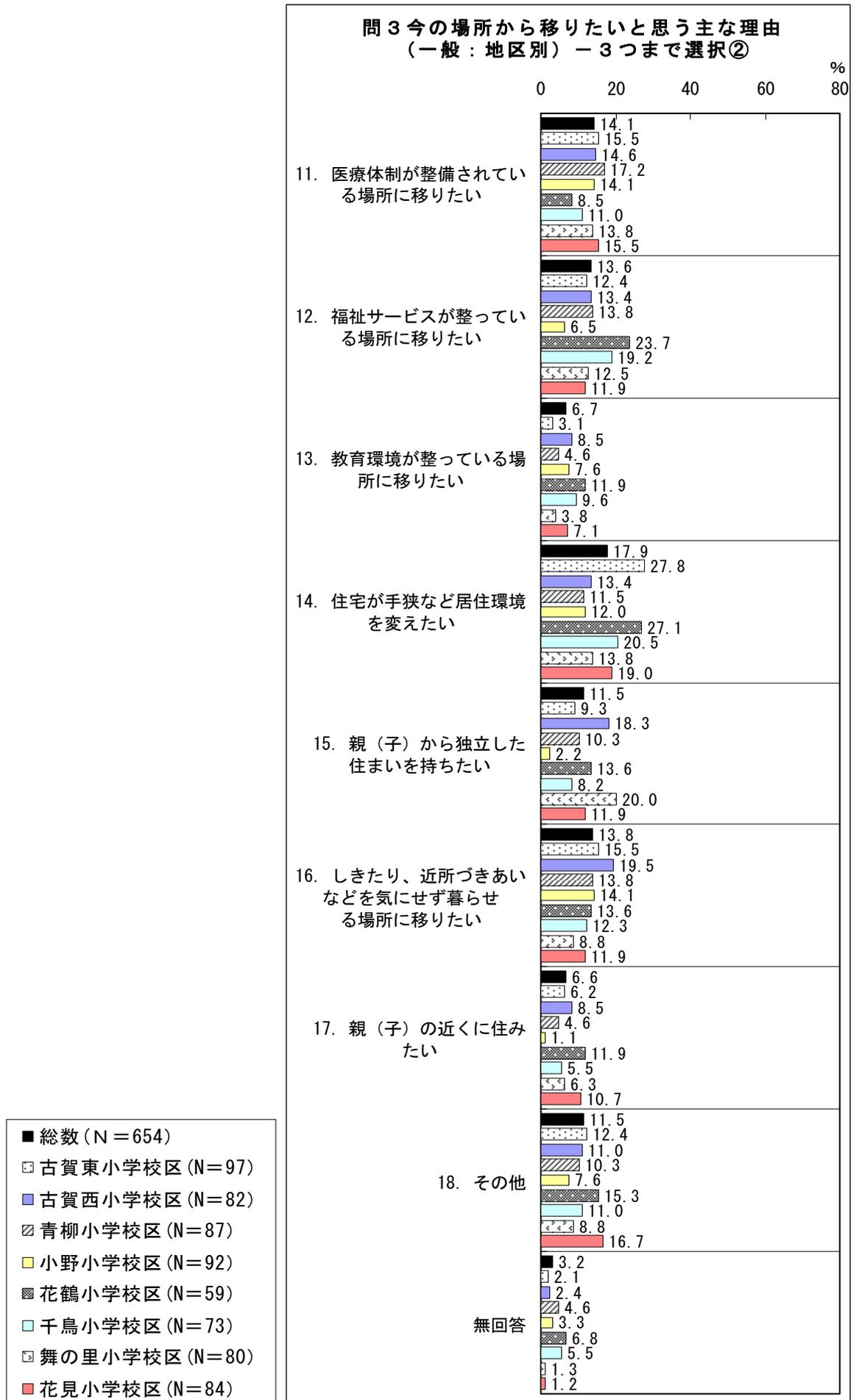
● 地区別でみると、今の場所から移りたいという意向が高かった青柳、小野小学校区では「鉄道やバスなどの交通手段が便利な場所へ移りたい」（それぞれ 56.3%、55.4%）、「買い物便利な場所に移りたい」（それぞれ 47.1%、47.8%）、「下水道が完備されている場所へ移りたい」（それぞれ 17.2%、16.3%）となっています。



- 総数 (N=654)
- 古賀東小学校区 (N=97)
- 古賀西小学校区 (N=82)
- ▨ 青柳小学校区 (N=87)
- 小野小学校区 (N=92)
- ▨ 花鶴小学校区 (N=59)
- 千鳥小学校区 (N=73)
- ▨ 舞の里小学校区 (N=80)
- 花見小学校区 (N=84)

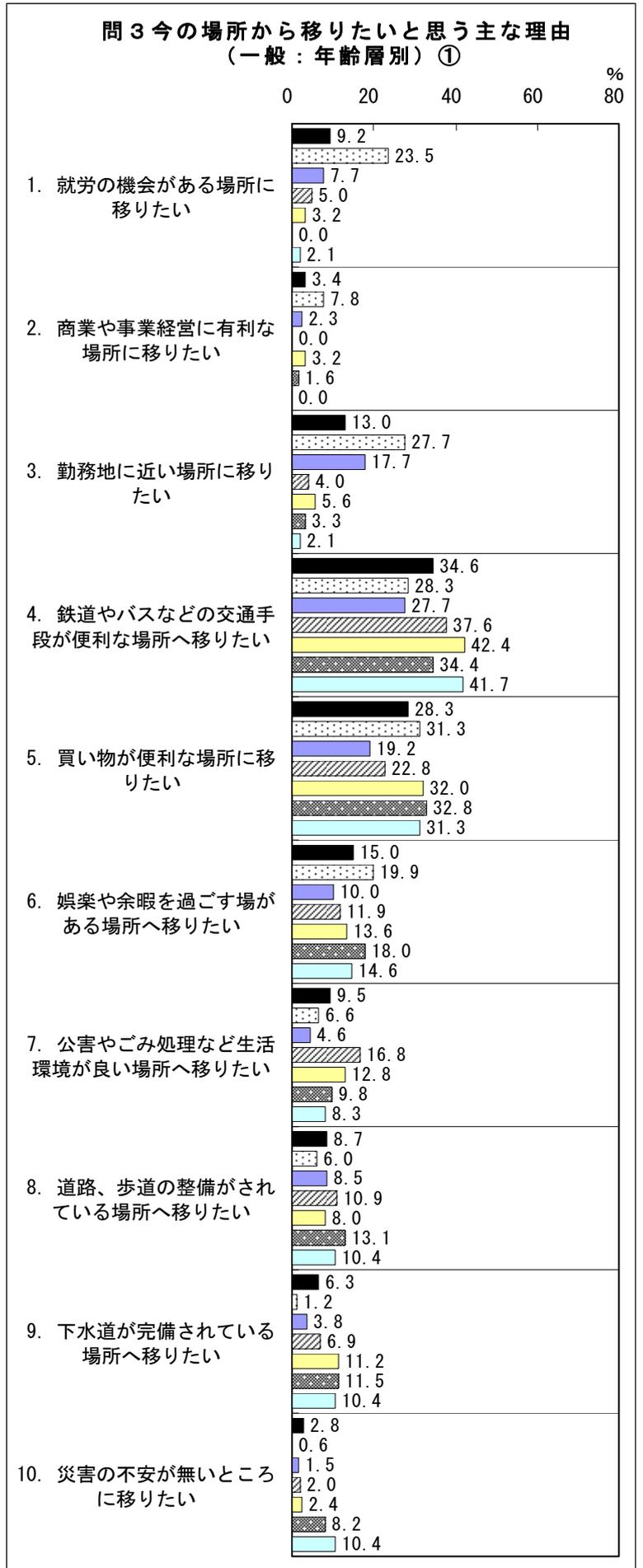
→ グラフは次頁へつづく

グラフ 33-②



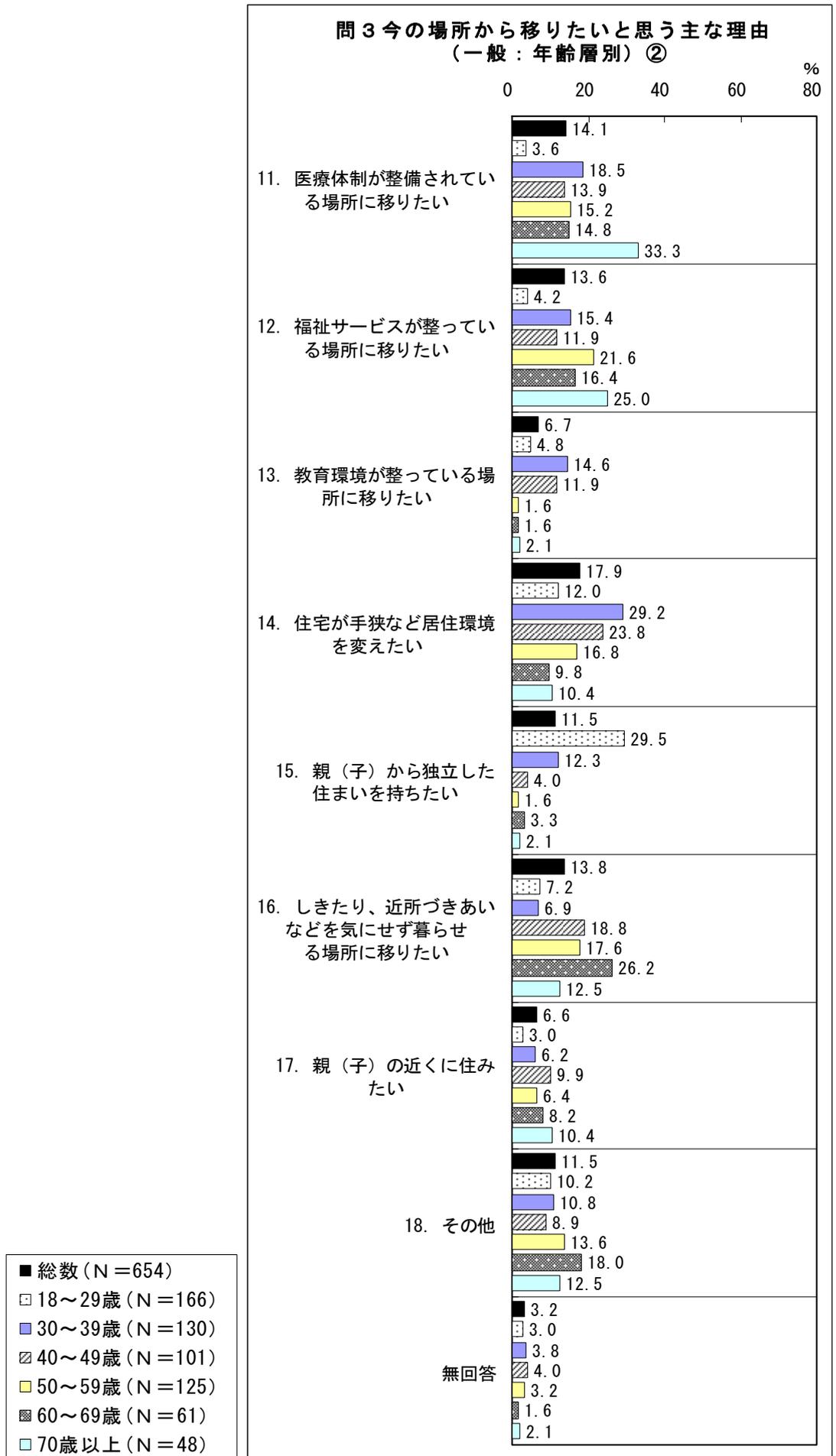
グラフ 34-①

- 年齢層別で見ると、18～29 歳は「買い物便利な場所に移りたい」(31.3%)、「親(子)から独立した住まいを持ちたい」(29.5%)、「鉄道やバスなどの交通手段が便利な場所へ移りたい」(28.3%)、「勤務地に近い場所に移りたい」(27.7%)の割合が高くなっています。
- 30～39 歳、40～49 歳は「住宅が手狭など居住環境を変えたい」(それぞれ 29.2%、23.8%)と子育てのためなどによる“居住環境の向上”が要因となっています。
- 50～59 歳と 70 歳以上では「福祉サービスが整っている場所に移りたい」(それぞれ 21.6%、25.0%)と、“老後の住居”と“福祉サービスの充実”が要因となっています。



→ グラフは次頁へつづく

グラフ 34-②



(2) 【15～17 歳】 古賀市に住み続けたくないと思う理由

【15～17 歳】

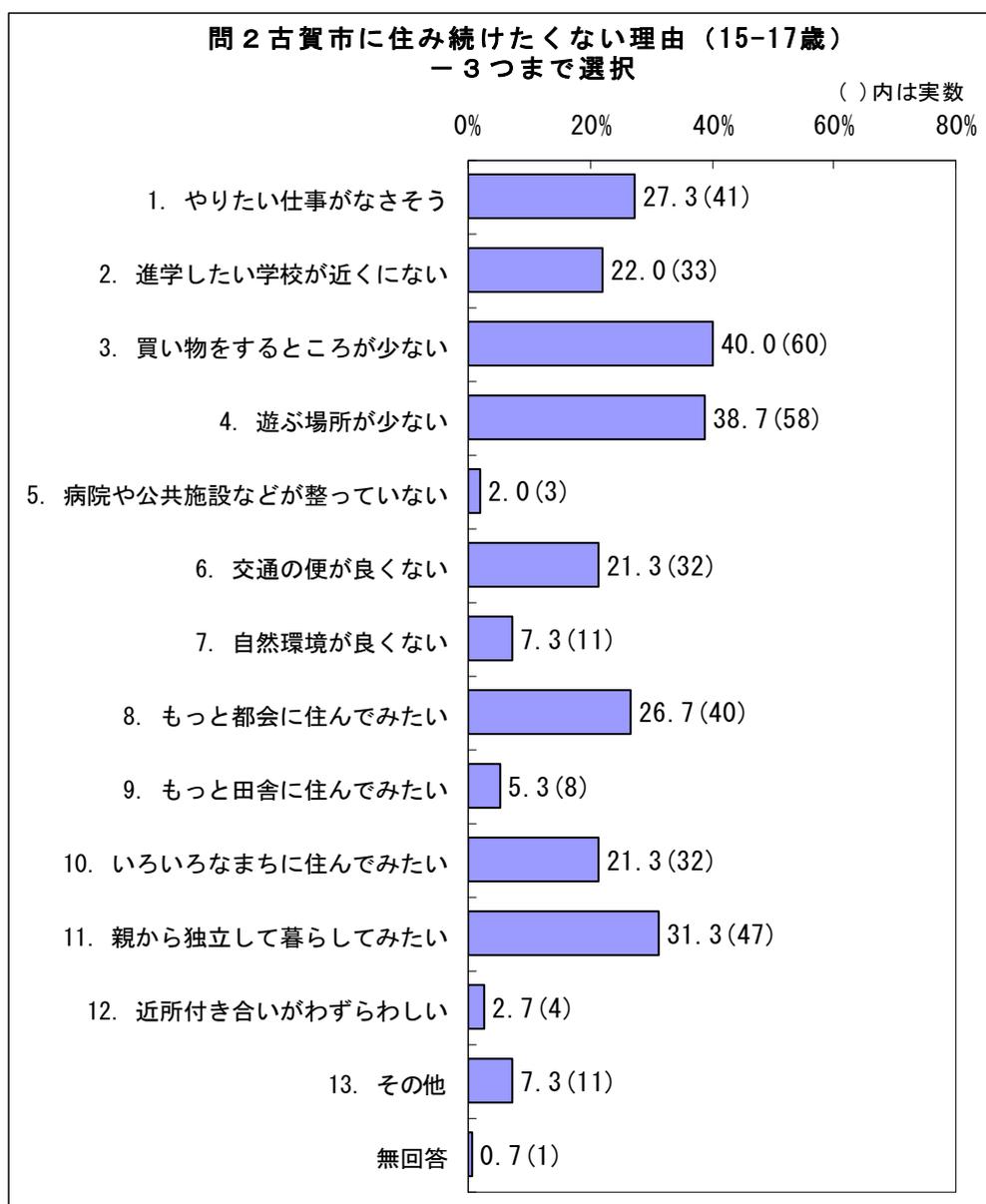
※ 「3、4」に○印をつけられた方にお聞きします。

住み続けたくないと思う理由はどのようなことでしょうか。次の中から3つまで選んで、番号に○印をつけて下さい。

- 15～17 歳では「買い物をするところが少ない」(40.0%)、「遊ぶ場所が少ない」(38.7%)の割合が同程度で高く、次いで「親から独立して暮らしてみたい」(31.3%)の順となっています。

グラフ 35

N=150



※N (全体総数) は、Ⅲ-2 「古賀市に住み続けたいか」の設問で「住み続けたくない」、「どちらかといえば住み続けたくない」と答えた人を合わせた数である。

#### 4 将来の古賀市のイメージ

##### 【一般】

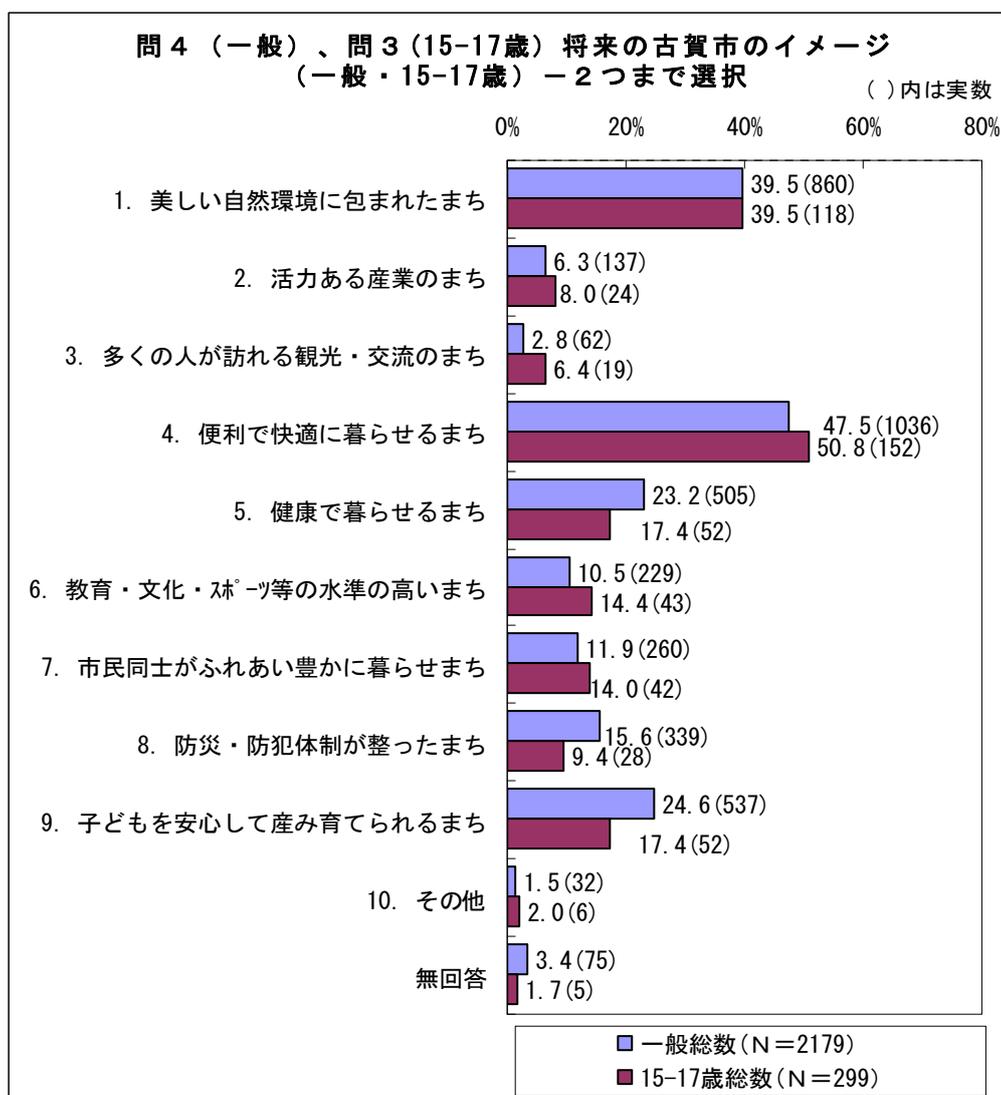
問4 将来の古賀市がどのようなイメージのまちになることを望みますか。次の中から2つまで選んで、番号に○印をつけて下さい。

##### 【15～17歳】

問3 あなたは将来の古賀市がどのようなイメージのまちになることを望みますか。次の中から2つまで選んで、番号に○印をつけて下さい。

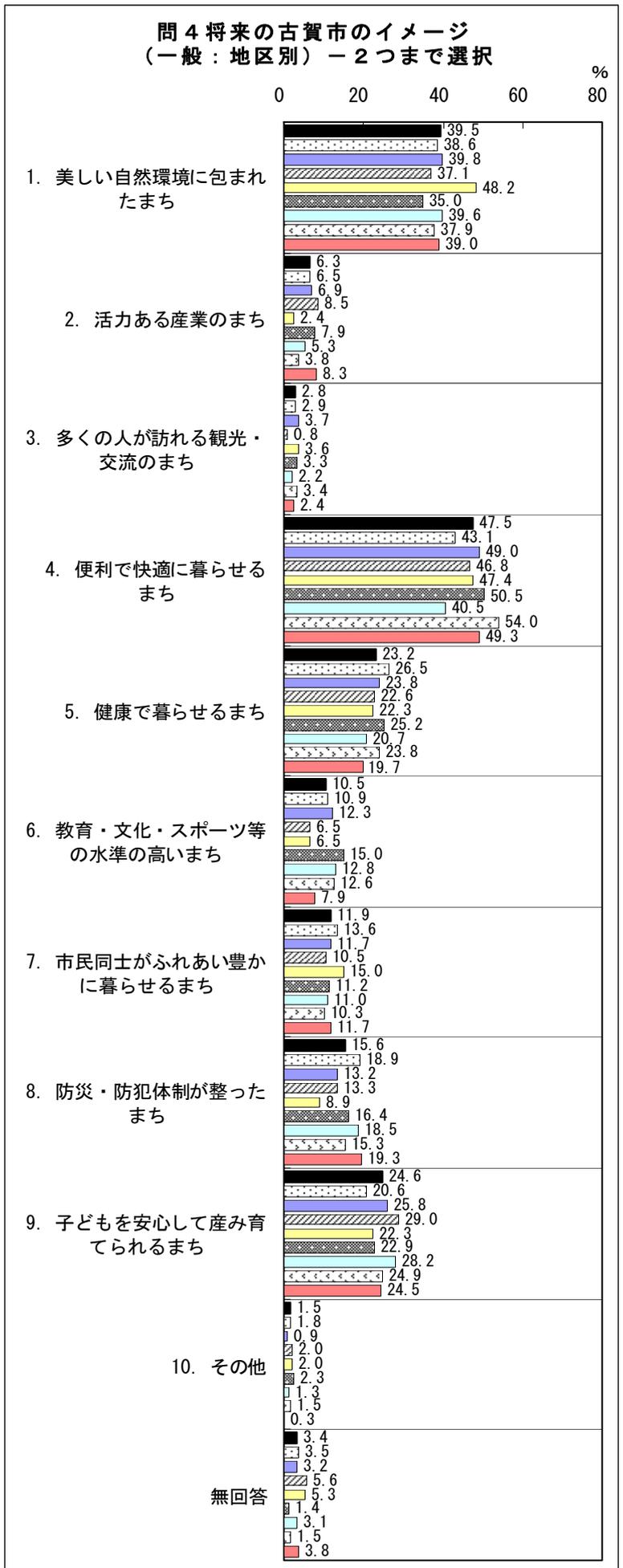
- 一般、15～17歳とも「便利で快適に暮らせるまち」（それぞれ47.5%、50.8%）の割合が最も高く、次いで「美しい自然環境に包まれたまち」（ともに39.5%）、「子どもを安心して産み育てられるまち」（それぞれ24.6%、17.4%）、「健康で暮らせるまち」（それぞれ23.2%、17.4%）の順となっています。

グラフ 36



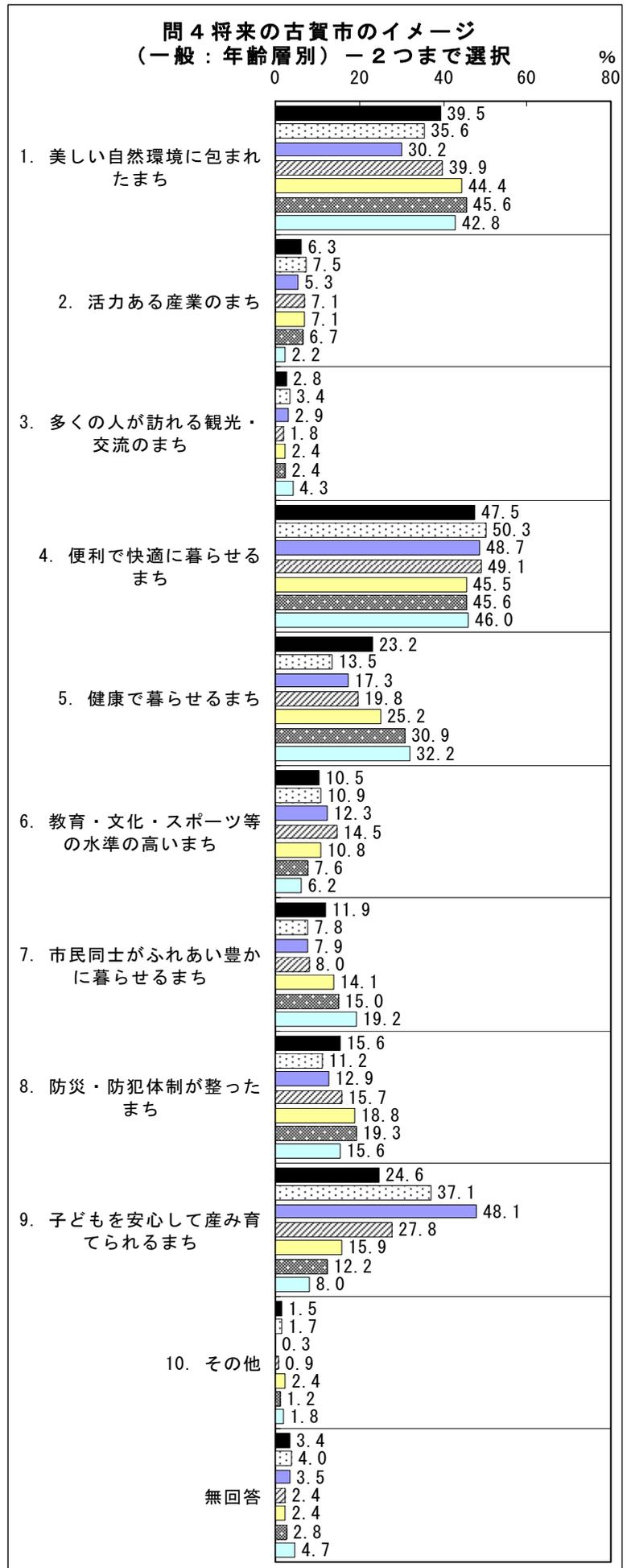
グラフ 37

- 地区別でみると、小野小学校区では「美しい自然環境に包まれたまち」(48.2%)、舞の里小学校区では「便利で快適に暮らせるまち」(54.0%)の割合が高いという特徴が見られます。



グラフ 38

● 年齢層別でみると、18～29歳、30～39歳では「子どもを安心して産み育てられるまち」（それぞれ37.1%、48.1%）、40～49歳、50～59歳、60～69歳、70歳以上では「美しい自然環境に包まれたまち」（それぞれ39.9%、44.4%、45.6%、42.8%）の割合が他の年代に比べて高くなっています。また、「健康で暮らせるまち」、「市民同士がふれあい豊かに暮らせるまち」は年齢が高くなるほど、将来のまちのイメージとして望む傾向が高くなっています。

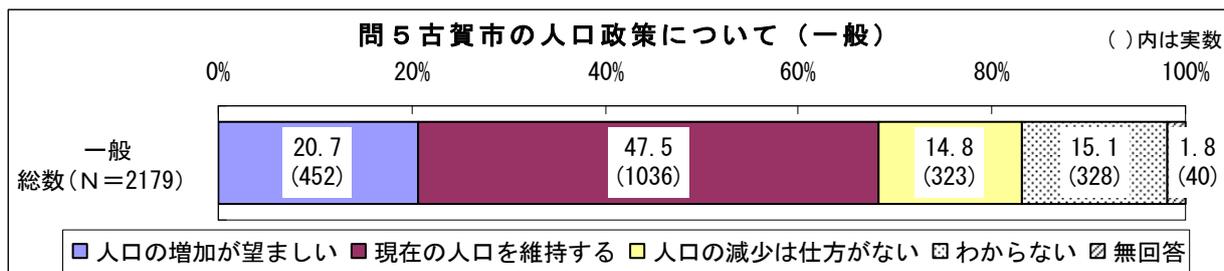


## 5 古賀市の人口政策について

問5 古賀市の平成12年の人口は55,476人、平成17年の人口は55,943人（国勢調査より）と、ほぼ横ばいになっています。また日本全体の人口は平成17年を境に減少に転じています。これからの古賀市の人口政策についてあなたはどのように望みますか。次の中から1つだけ選んで、番号に○印をつけてください。

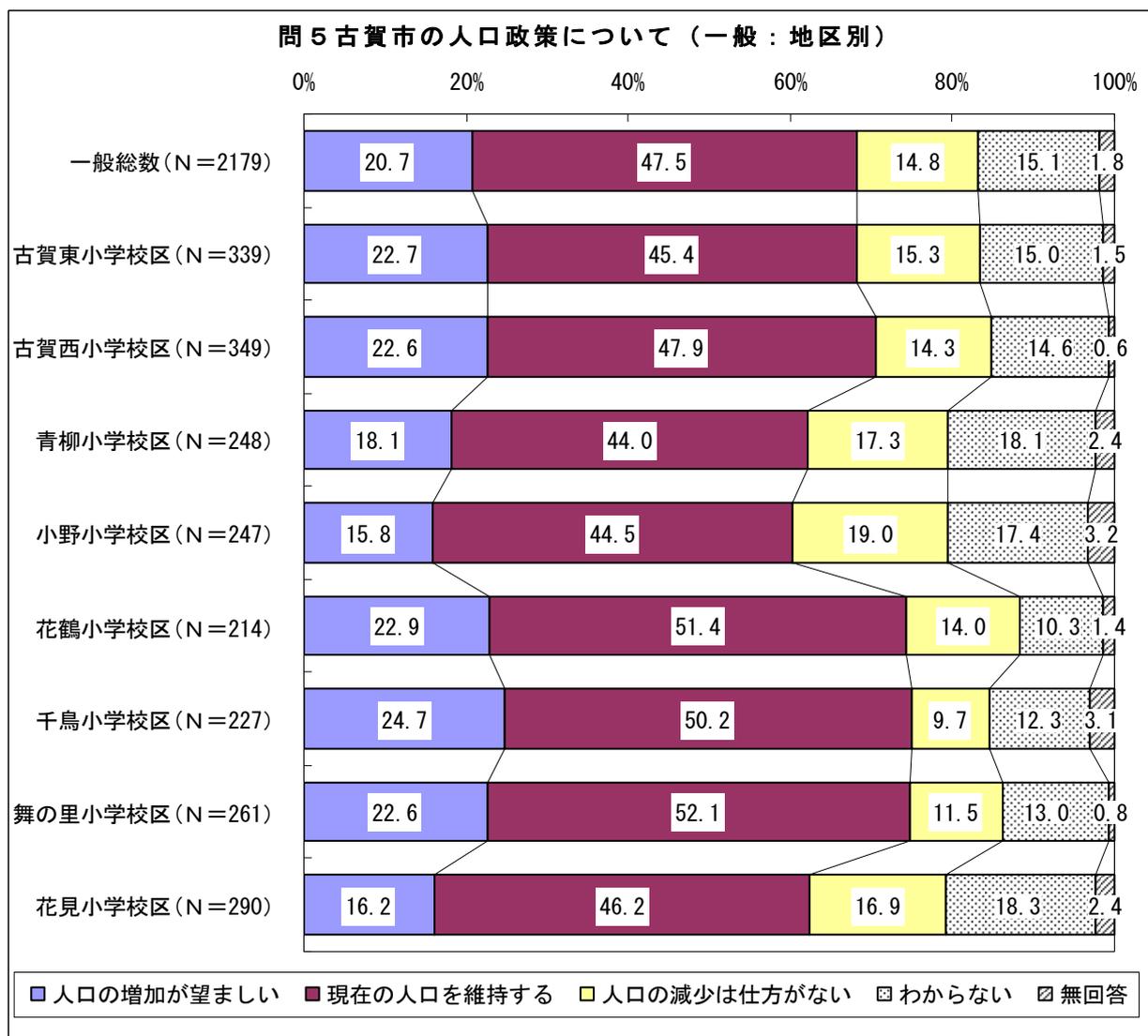
- 全体では、「現在の人口を維持する」（47.5%）の割合が最も高く、次いで「人口の増加が望ましい」（20.7%）、「人口の減少は仕方がない」（14.8%）の順となっています。

グラフ 39



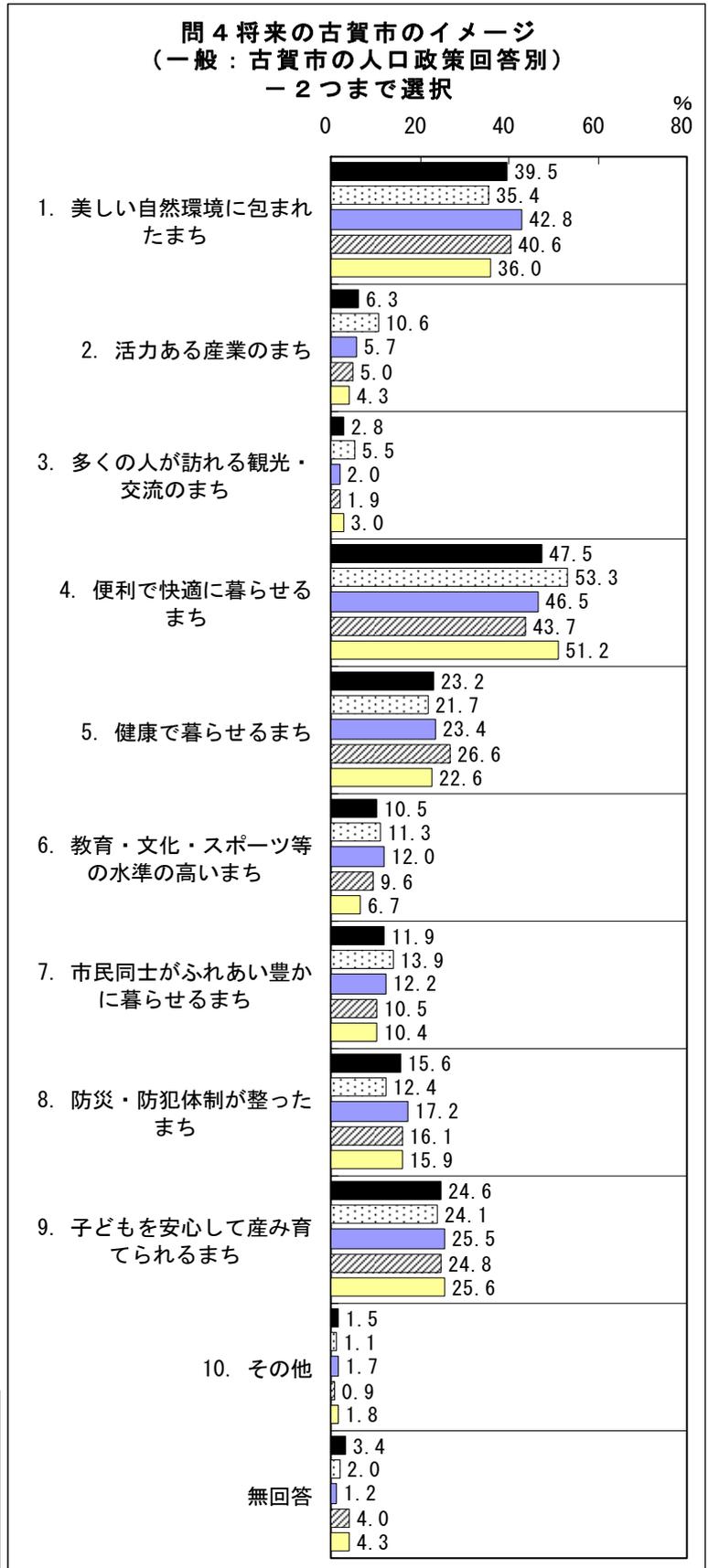
- 地区別でみると、青柳、小野、花見小学校区では「人口の増加が望ましい」（それぞれ18.1%、15.8%、16.2%）の割合が他の地区に比べてやや低くなっています。

グラフ 40



グラフ41

● 古賀市に望むまちのイメージについて、「これからの古賀市に望む人口政策」の回答別にみると「人口の増加が望ましい」と回答した人は、他の回答をした人に比べて「便利で快適に暮らせるまち」(53.3%)、「活力ある産業のまち」(10.6%)の割合が高い一方、「美しい自然環境に包まれたまち」(35.4%)の割合が低くなっています。



■ 総数 (N=2179)  
 □ 人口の増加が望ましい (N=452)  
 ■ 現在の人口を維持する (N=1036)  
 ▨ 人口の減少は仕方がない (N=323)  
 □ わからない (N=328)

## IV 満足度と優先事項

問6 生活環境や日常生活に関して(1)～(52)の各項目について、現状をどのように感じていますか。それぞれの選択肢の中から1つだけ選んで、番号に○印をつけて下さい。

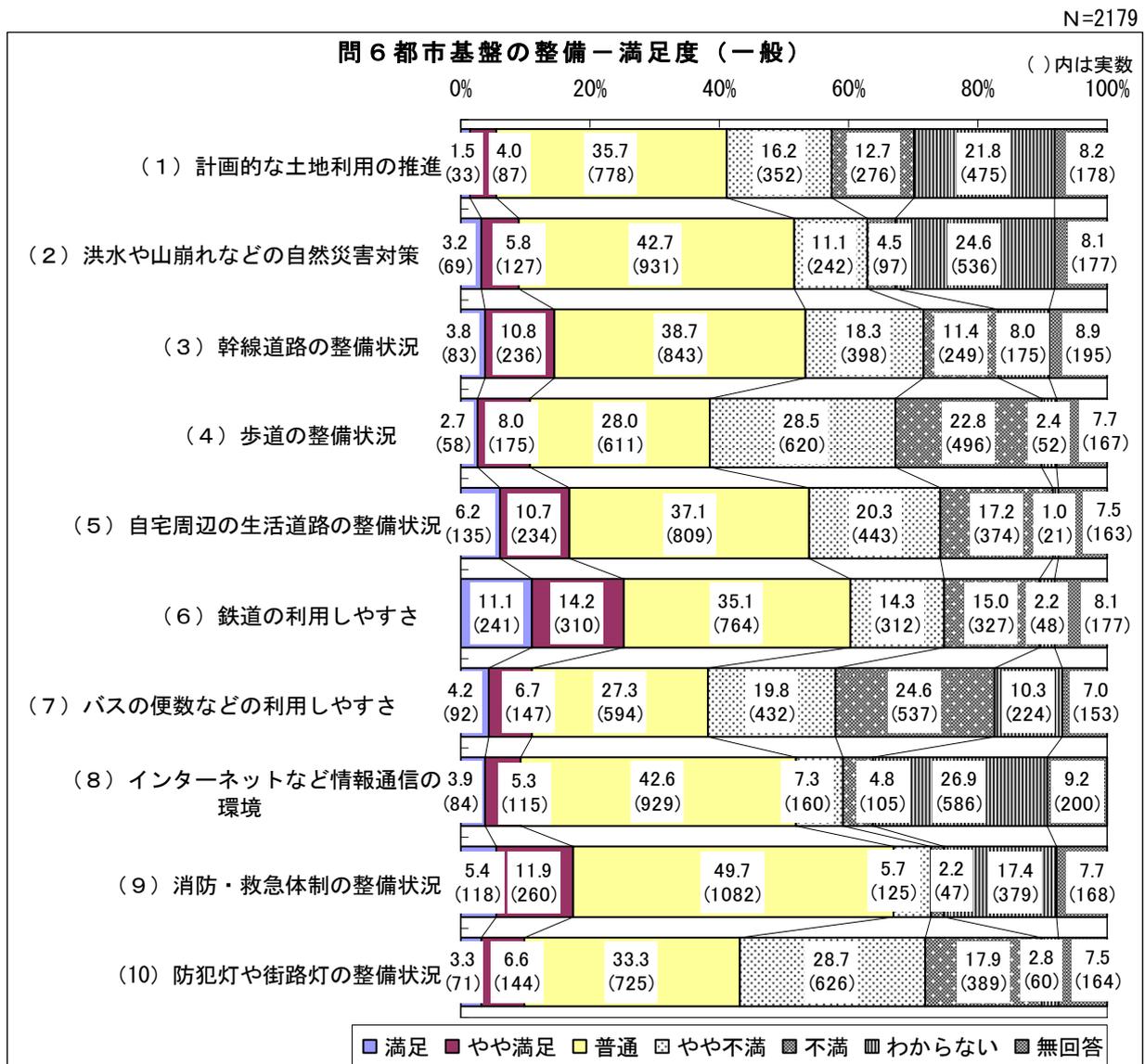
生活環境や日常生活の満足度と優先事項について、8分野52項目について設問しています。満足度は、項目ごとに5段階評価の構成比を示し、さらに「満足」+5、「やや満足」+4、「普通」+3、「やや不満」+2、「不満」+1として加重平均【P42・表3注釈参照】して指数化を行っています。なお指数について「わからない」、「無回答」は除外して算出しています。

### 1 都市基盤の整備

#### (1) 満足度

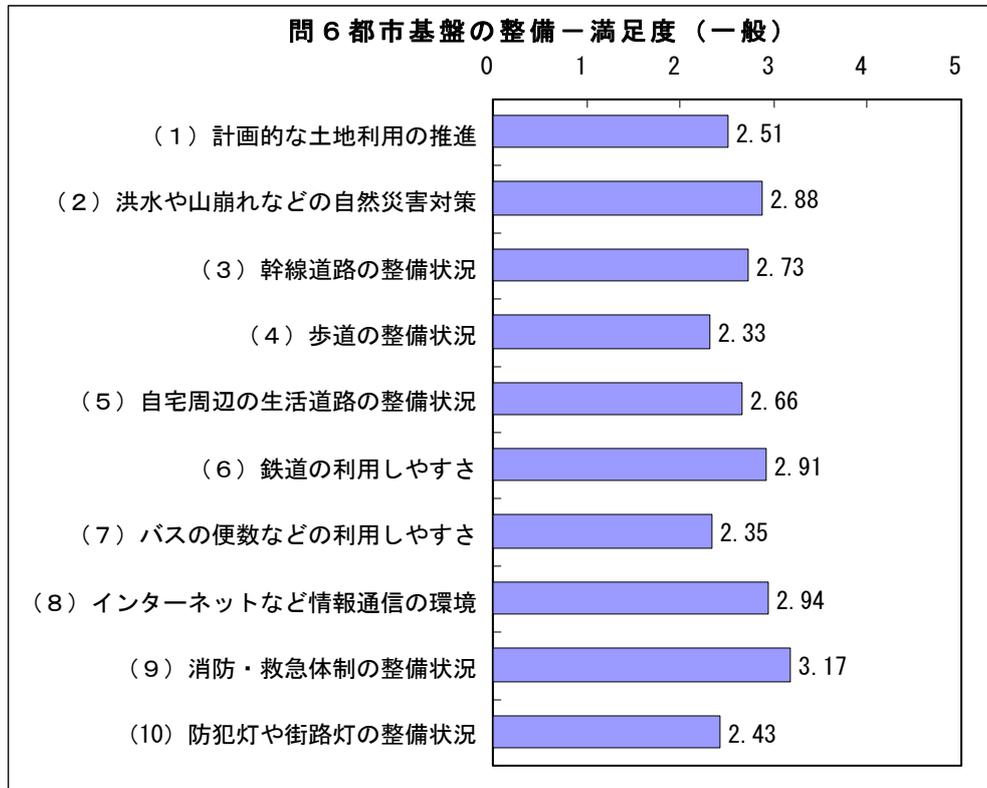
- 都市基盤の整備の満足度をみると、「満足」と「やや満足」を合わせた『満足』の割合が高いのは、「(6) 鉄道の利用しやすさ」(25.3%)、「(9) 消防・救急体制の整備状況」(17.3%)、「(5) 自宅周辺の生活道路の整備状況」(16.9%)となっています。
- 「不満」と「やや不満」を合わせた『不満』の割合が高いのは「(4) 歩道の整備状況」(51.3%)、「(10) 防犯灯や街路灯の整備状況」(46.6%)、「(7) バスの便数などの利用しやすさ」(44.4%)となっています。(『満足』、『不満』は以下同様の意味で使用しています。)

グラフ 42



- 都市基盤の整備の満足度の指数をみると、数値が高い順より「(9)消防・救急体制の整備状況」(3.17)、「(8)インターネットなど情報通信の環境」(2.94)、「(6)鉄道の利用しやすさ」(2.91)となっています。一方、数値が低いのは、「(4)歩道の整備状況」(2.33)、「(7)バスの便数などの利用しやすさ」(2.35)、「(10)防犯灯や街路灯の整備状況」(2.43)となっています。

グラフ43



- 地区別でみると、全体と比較して数値が高い項目の多い地区は、花鶴、舞の里小学校区、逆に数値の低い項目が多い地区は、青柳、小野小学校区となっています。
- 小野小学校区では「(1)計画的な土地利用の推進」(2.30)、「(2)洪水や山崩れなど自然災害対策」(2.67)となっており“土地利用”、“自然災害対策”について数値が低くなっています。また、青柳、小野小学校区は、ともに「(6)鉄道の利用しやすさ」(それぞれ 2.16、2.22)、「(7)バスの便数などの利用しやすさ」(それぞれ 1.63、1.47)となっており“公共交通の利便性”、「(8)インターネットなど情報通信の環境」(それぞれ 2.63、2.66)について数値が低くなっています。
- 青柳、小野、花見小学校区で「(3)幹線道路の整備状況」(それぞれ 2.56、2.51、2.49)、「(4)歩道の整備状況」(それぞれ 2.13、2.05、2.10)、「(5)自宅周辺の生活道路の整備状況」(それぞれ 2.25、2.14、2.34)と道路に関する項目について数値が低くなっています。これは、青柳、小野小学校区では郊外部と市街地を結ぶ幹線道路の整備が不十分であること、花見小学校区では国道495号で渋滞などが見られることなどが要因として考えられます。
- 「(10)防犯灯や街路灯の整備状況」については、小野、千鳥小学校区(それぞれ 2.13、2.21)で数値が低くなっています。

表 3

## 都市基盤の整備(指数) (一般: 地区別)

	市全体	古賀東小	古賀西小	青柳小	小野小	花鶴小	千鳥小	舞の里小	花見小
(1) 計画的な土地利用の推進	2.51	2.48 ▲ 0.03	2.60 0.09	2.41 ▲ 0.10	2.30 ▲ 0.21	2.71 0.20	2.60 0.09	2.50 ▲ 0.01	2.46 ▲ 0.05
(2) 洪水や山崩れなどの自然災害対策	2.88	2.92 0.04	2.96 0.08	2.72 ▲ 0.16	2.67 ▲ 0.21	3.02 0.14	2.93 0.05	3.02 0.14	2.80 ▲ 0.08
(3) 幹線道路の整備状況	2.73	2.83 0.10	2.78 0.05	2.56 ▲ 0.17	2.51 ▲ 0.22	2.88 0.15	2.74 0.01	2.95 0.22	2.49 ▲ 0.24
(4) 歩道の整備状況	2.33	2.35 0.02	2.29 ▲ 0.04	2.13 ▲ 0.20	2.05 ▲ 0.28	2.49 0.16	2.50 0.17	2.71 0.38	2.10 ▲ 0.23
(5) 自宅周辺の生活道路の整備状況	2.66	2.70 0.04	2.74 0.08	2.25 ▲ 0.41	2.14 ▲ 0.52	2.98 0.32	2.67 0.01	3.35 0.69	2.34 ▲ 0.32
(6) 鉄道の利用しやすさ	2.91	3.11 0.20	3.34 0.43	2.16 ▲ 0.75	2.22 ▲ 0.69	3.48 0.57	3.13 0.22	2.72 ▲ 0.19	2.96 0.05
(7) バスの便数などの利用しやすさ	2.35	2.34 ▲ 0.01	2.98 0.63	1.63 ▲ 0.72	1.47 ▲ 0.88	2.50 0.15	2.62 0.27	2.37 0.02	2.74 0.39
(8) インターネットなど情報通信の環境	2.94	2.92 ▲ 0.02	3.06 0.12	2.63 ▲ 0.31	2.66 ▲ 0.28	3.05 0.11	2.99 0.05	3.12 0.18	2.98 0.04
(9) 消防・救急体制の整備状況	3.17	3.20 0.03	3.26 0.09	3.31 0.14	3.05 ▲ 0.12	3.27 0.10	3.08 ▲ 0.09	3.04 ▲ 0.13	3.13 ▲ 0.04
(10) 防犯灯や街路灯の整備状況	2.43	2.62 0.19	2.51 0.08	2.29 ▲ 0.14	2.13 ▲ 0.30	2.54 0.11	2.21 ▲ 0.22	2.50 0.07	2.49 0.06

※各項目の上段の数値は、「満足」+5、「やや満足」+4、「普通」+3、「やや不満」+2、「不満」+1として加重平均して算出した指数。

※加重平均とは、平均値の計算方法の一つ。各項目の数値に、その重要度に比例した重みをつけてから平均すること。

※各項目の下段の数値は上段の数値から市全体の数値を引いた数値である。

※白抜きしている数値は市全体の数値に比べ+0.20以上の差がある数値である。

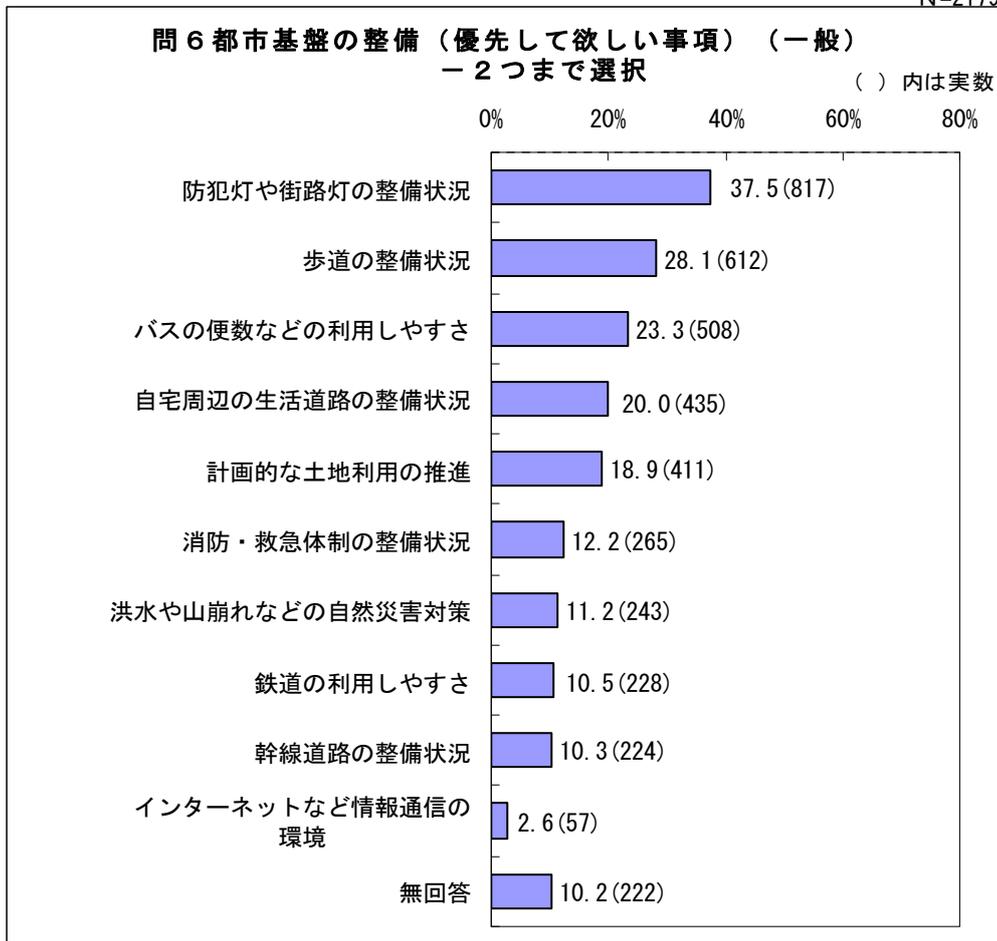
※網かけしている数値は市全体の数値に比べ-0.20以上の差がある数値である。

## (2) 最も優先して欲しい事項

- 都市基盤の整備で最も優先して欲しい事項として、「防犯灯や街路灯の整備状況」(37.5%)の割合が最も高く、次いで「歩道の整備状況」(28.1%)、「バスの便数などの利用しやすさ」(23.3%)の順となっています。

グラフ 44

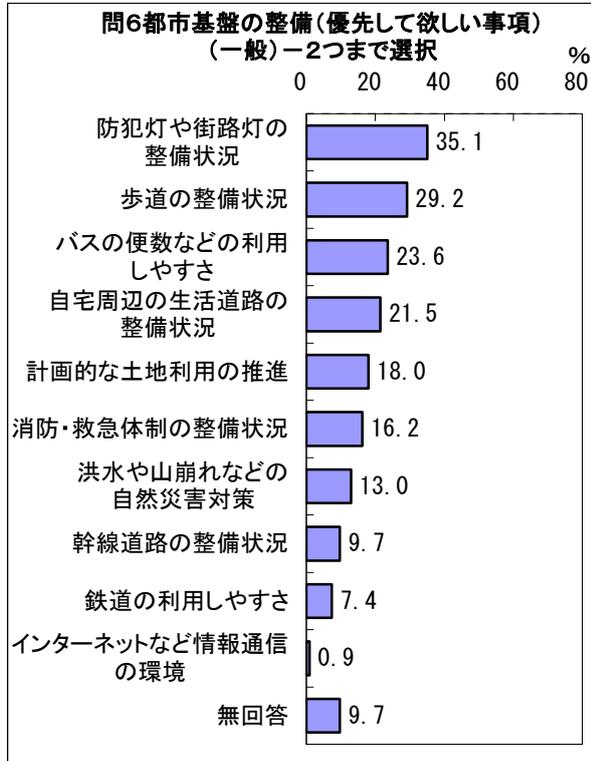
N=2179



- 地区別でみると、古賀西小学校区では「歩道の整備状況」(35.5%)、青柳小学校区では「バスの便数などの利用しやすさ」、「防犯灯や街路灯の整備状況」(ともに 35.5%)、小野小学校区では「バスの便数などの利用しやすさ」(42.9%)、それ以外の校区では「防犯灯や街路灯の整備状況」が最も優先して欲しい事項となっています。

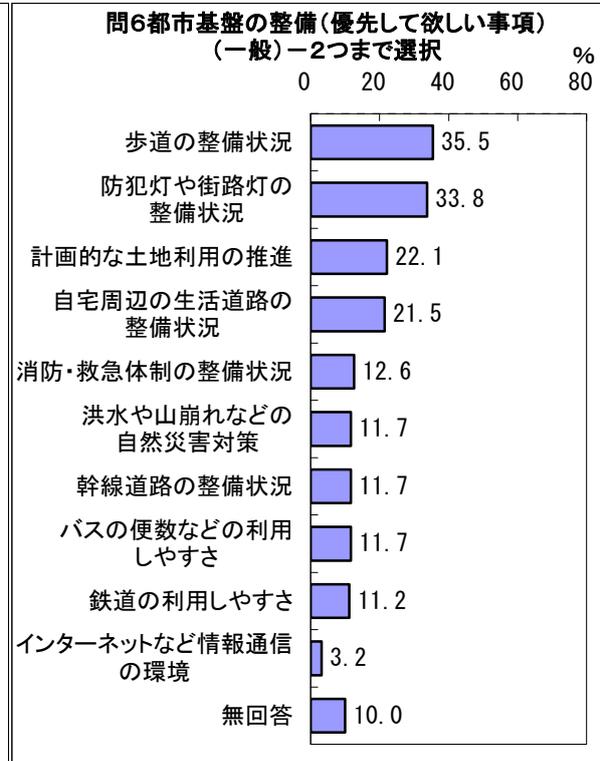
グラフ 45

古賀東小学校区(N=339)



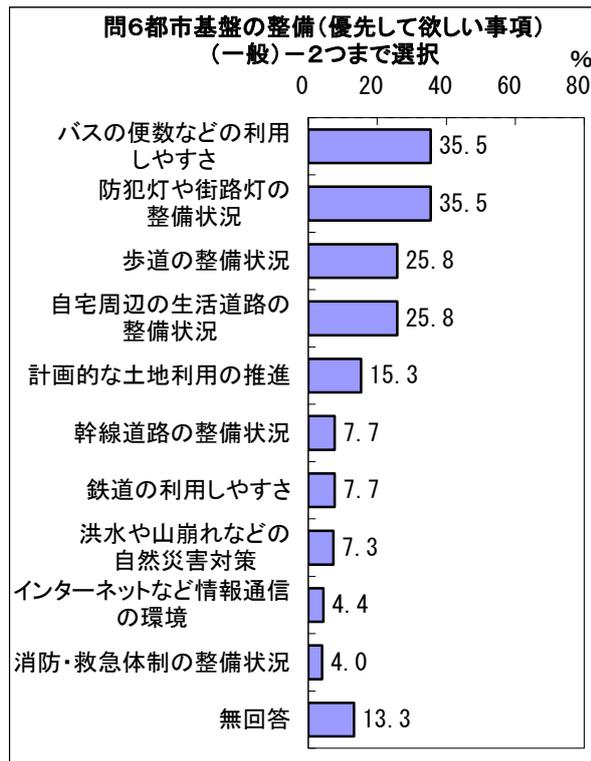
グラフ 46

古賀西小学校区(N=349)



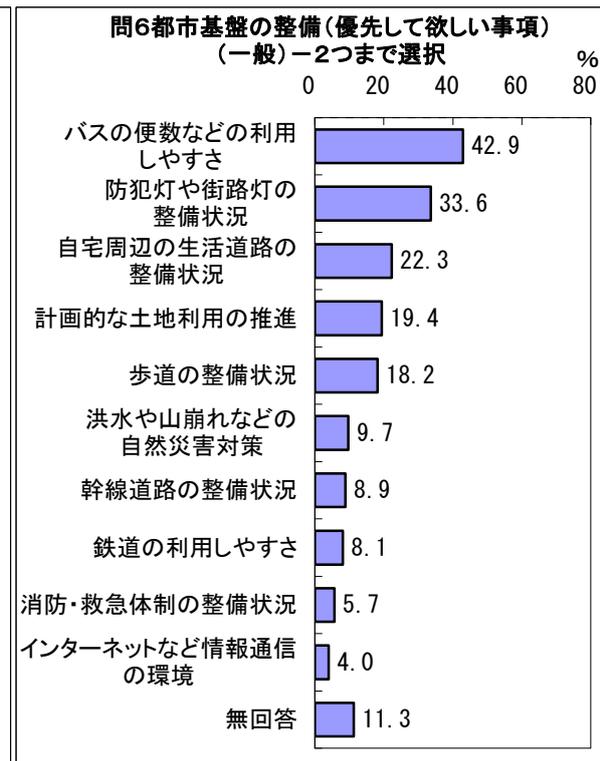
グラフ 47

青柳小学校区(N=248)



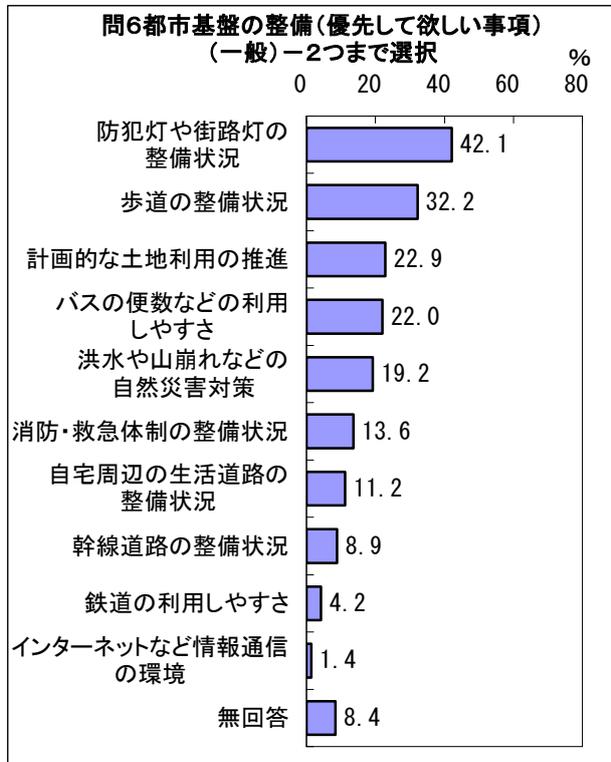
グラフ 48

小野小学校区(N=247)



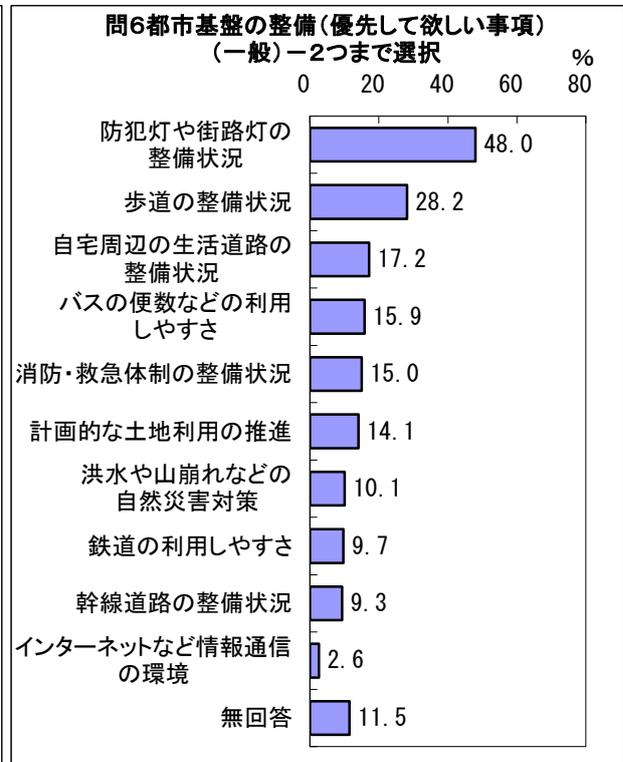
グラフ 49

花鶴小学校区(N=214)



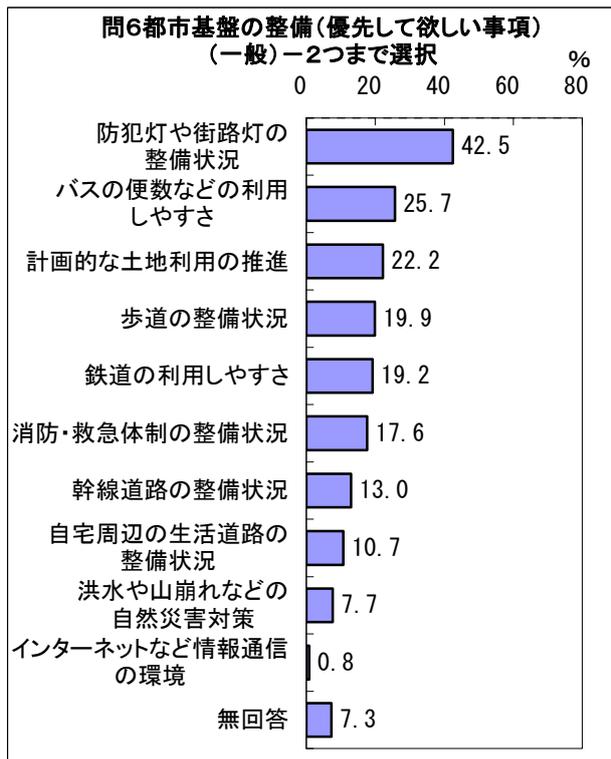
グラフ 50

千鳥小学校区(N=227)



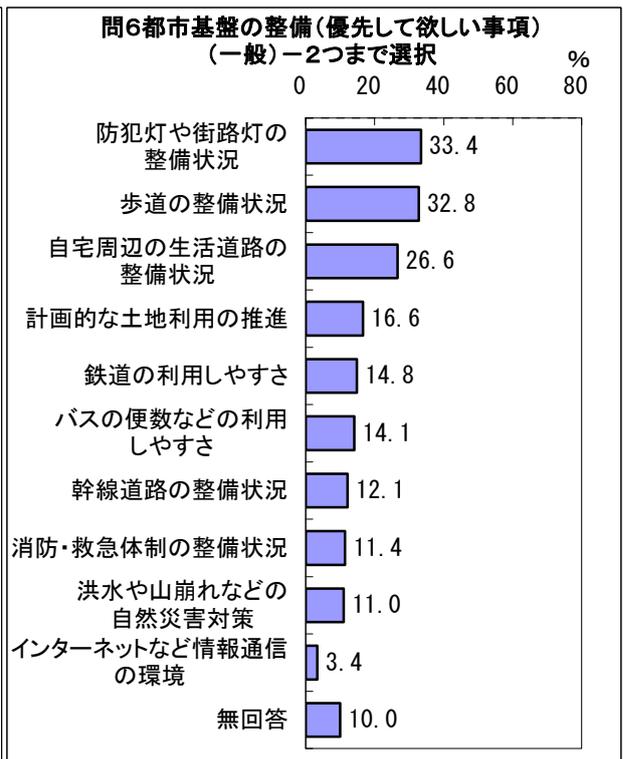
グラフ 51

舞の里小学校区(N=261)



グラフ 52

花見小学校区(N=290)



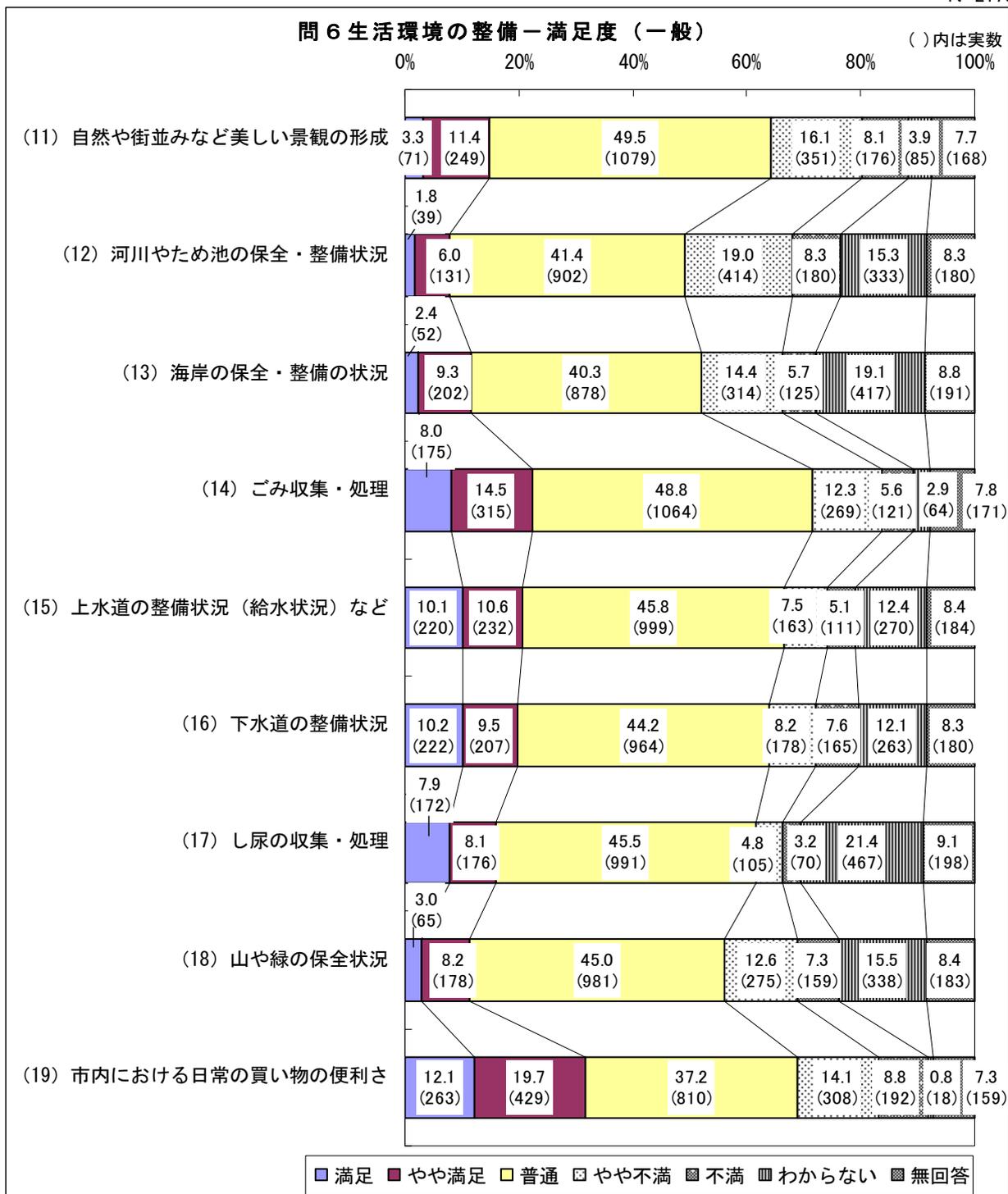
## 2 生活環境の整備

### (1) 満足度

- 生活環境の整備の満足度をみると、『満足』の割合が高いのは、「(19) 市内における日常の買い物の便利さ」(31.8%)、「(14) ごみ収集・処理」(22.5%)、「(15) 上水道の整備状況（給水状況）など」(20.7%) となっています。
- 『不満』の割合が高いのは、「(12) 河川やため池の保全・整備状況」(27.3%)、「(11) 自然や街並みなど美しい景観の形成」(24.2%)、「(19) 市内における日常の買い物の便利さ」(22.9%) となっています。
- 「(19) 市内における日常の買い物の便利さ」については、『満足』と『不満』の割合がどちらも高く、意向がわかれています。

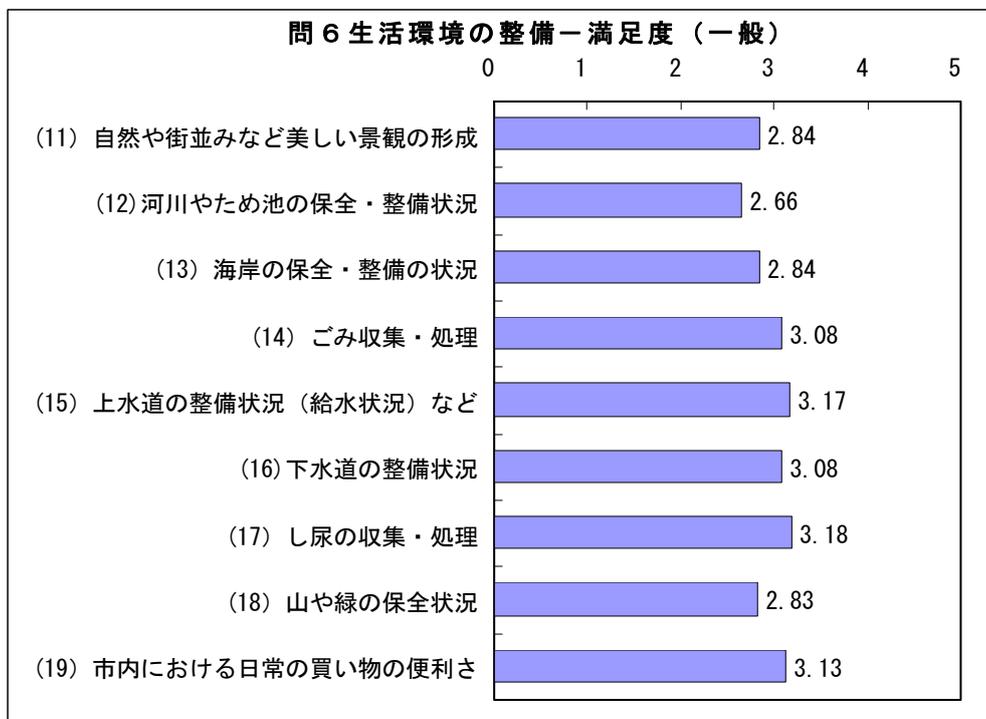
グラフ 53

N=2179



- 生活環境の整備の満足度の指数をみると、数値が高い順より「(17)し尿の収集・処理」(3.18)、「(15)上水道の整備状況(給水状況)など」(3.17)、「(19)市内における日常の買い物の便利さ」(3.13)、「(14)ごみ収集・処理」、「(16)下水道の整備状況」(ともに3.08)となっています。一方、数値が低いのは「(12)河川やため池の保全・整備状況」(2.66)、「(18)山や緑の保全状況」(2.83)、「(11)自然や街並みなど美しい景観の形成」、「(13)海岸の保全・整備の状況」(ともに2.84)となっています。

グラフ54



- 地区別でみると、全体と比較して数値が高い項目が多い地区は、古賀西、舞の里小学校区、逆に数値が低い項目が多い地区は、青柳、小野小学校区となっています。
- 青柳、小野小学校区では「(15)上水道の整備状況(給水状況)など」(それぞれ2.44、2.39)、「(16)下水道の整備状況」(それぞれ2.22、2.31)、「(17)し尿の収集・処理」(それぞれ2.84、2.85)、「(19)市内における日常の買い物の便利さ」(それぞれ2.40、2.38)について数値が低くなっています。
- さらに、小野小学校区では「(18)山や緑の保全状況」(2.61)の数値も低くなっています。

表4

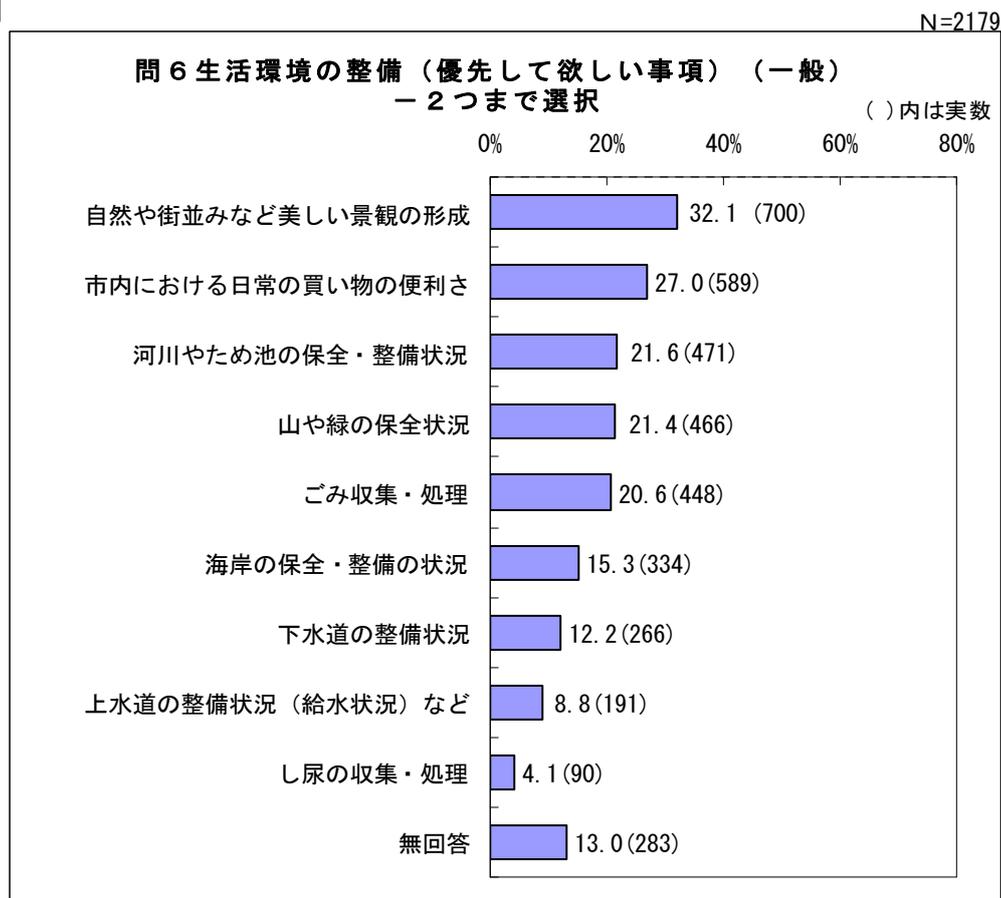
生活環境の整備(指数) (一般：地区別)

	市全体	古賀東小	古賀西小	青柳小	小野小	花鶴小	千鳥小	舞の里小	花見小
(11)自然や街並みなど美しい景観の形成	2.84	2.79 ▲ 0.05	2.83 ▲ 0.01	2.83 ▲ 0.01	2.89 0.05	2.85 0.01	2.78 ▲ 0.06	3.01 0.17	2.72 ▲ 0.12
(12)河川やため池の保全・整備状況	2.66	2.54 ▲ 0.12	2.78 0.12	2.54 ▲ 0.12	2.55 ▲ 0.11	2.73 0.07	2.73 0.07	2.82 0.16	2.63 ▲ 0.03
(13)海岸の保全・整備の状況	2.84	2.83 ▲ 0.01	2.87 0.03	2.74 ▲ 0.10	2.81 ▲ 0.03	2.94 0.10	2.79 ▲ 0.05	2.82 ▲ 0.02	2.84 0.00
(14)ごみ収集・処理	3.08	3.21 0.13	3.15 0.07	3.16 0.08	3.06 ▲ 0.02	3.05 ▲ 0.03	2.92 ▲ 0.16	2.99 ▲ 0.09	3.04 ▲ 0.04
(15)上水道の整備状況(給水状況)など	3.17	3.30 0.13	3.41 0.24	2.44 ▲ 0.73	2.39 ▲ 0.78	3.34 0.17	3.30 0.13	3.49 0.32	3.29 0.12
(16)下水道の整備状況	3.08	3.21 0.13	3.39 0.31	2.22 ▲ 0.86	2.31 ▲ 0.77	3.32 0.24	3.22 0.14	3.51 0.43	3.17 0.09
(17)し尿の収集・処理	3.18	3.26 0.08	3.35 0.17	2.84 ▲ 0.34	2.85 ▲ 0.33	3.37 0.19	3.23 0.05	3.40 0.22	3.20 0.02
(18)山や緑の保全状況	2.83	2.87 0.04	2.87 0.04	2.77 ▲ 0.06	2.61 ▲ 0.22	2.78 ▲ 0.05	2.85 0.02	2.95 0.12	2.89 0.06
(19)市内における日常の買い物の便利さ	3.13	3.23 0.10	3.41 0.28	2.40 ▲ 0.73	2.38 ▲ 0.75	3.33 0.20	3.38 0.25	3.38 0.25	3.34 0.21

## (2) 最も優先して欲しい事項

- 生活環境の整備で最も優先して欲しい事項として「自然や街並みなど美しい景観の形成」(32.1%)の割合が最も高く、次いで「市内における日常の買い物の便利さ」(27.0%)の順となっています。
- 満足度の指数が最も低かった「河川やため池の保全・整備状況」(21.6%)は上位にあるものの、“自然などの美しい景観”や“日常の買い物の便利さ”をより優先して欲しいという傾向がうかがえます。

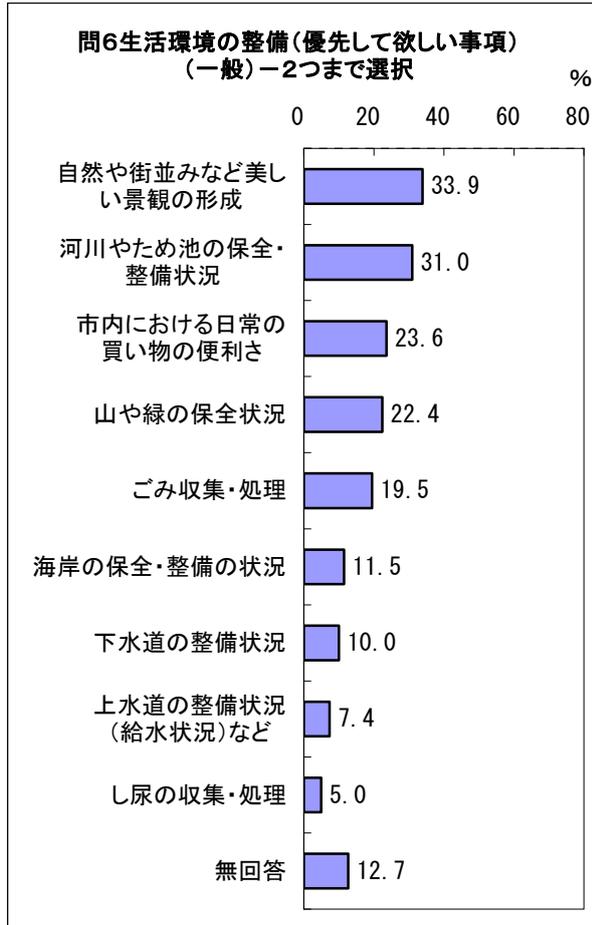
グラフ 55



- 地区別でみると、青柳、小野小学校区を除いた全ての地区で「自然や街並みなど美しい景観の形成」が最も優先して欲しい事項となっています。
- 次いで2番目に優先して欲しい事項をみると、古賀東小学校区では「河川やため池の保全・整備状況」(31.0%)、古賀西、舞の里小学校区では「市内における日常の買い物の便利さ」(それぞれ27.8%、29.9%)、花鶴小学校区では「山や緑の保全状況」(29.0%)、千鳥小学校区では「ごみ収集・処理」(29.5%)、花見小学校区では「海岸の保全・整備の状況」(27.6%)があがっています。
- 青柳、小野小学校区では「市内における日常の買い物の便利さ」(それぞれ29.0%、34.8%)、「下水道の整備状況」(それぞれ27.4%、27.9%)が優先して欲しい事項となっています。

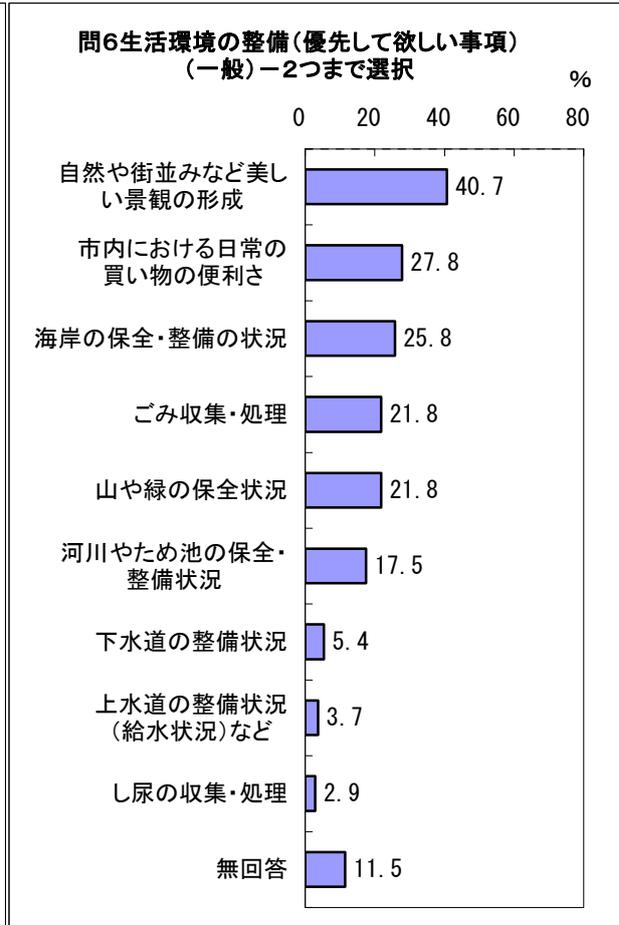
グラフ 56

古賀東小学校区(N=339)



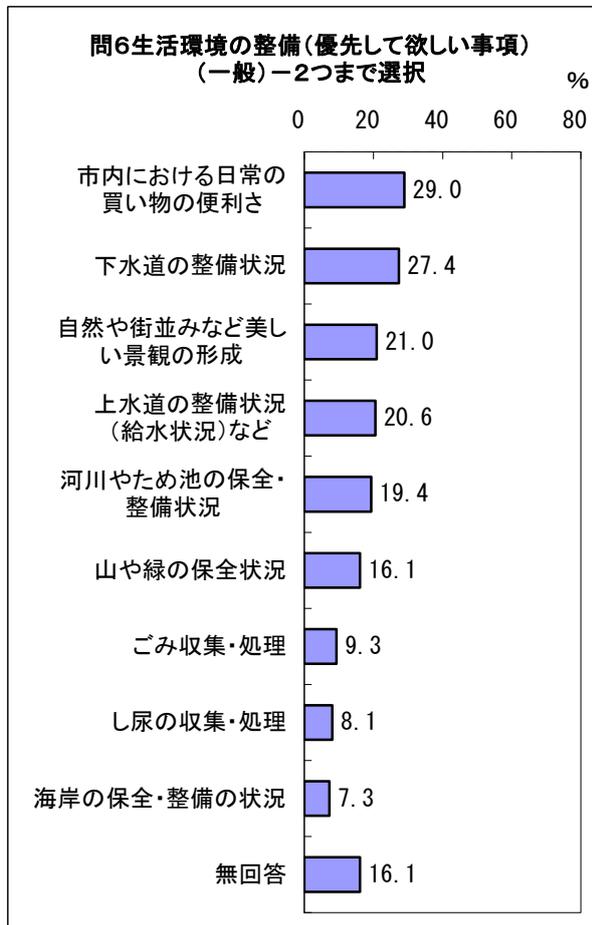
グラフ 57

古賀西小学校区(N=349)



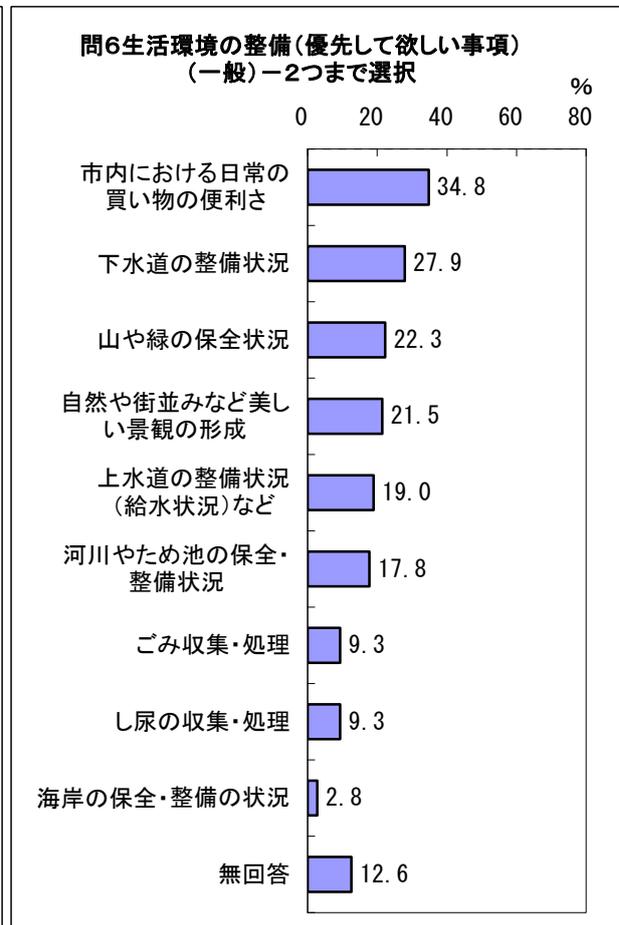
グラフ 58

青柳小学校区(N=248)



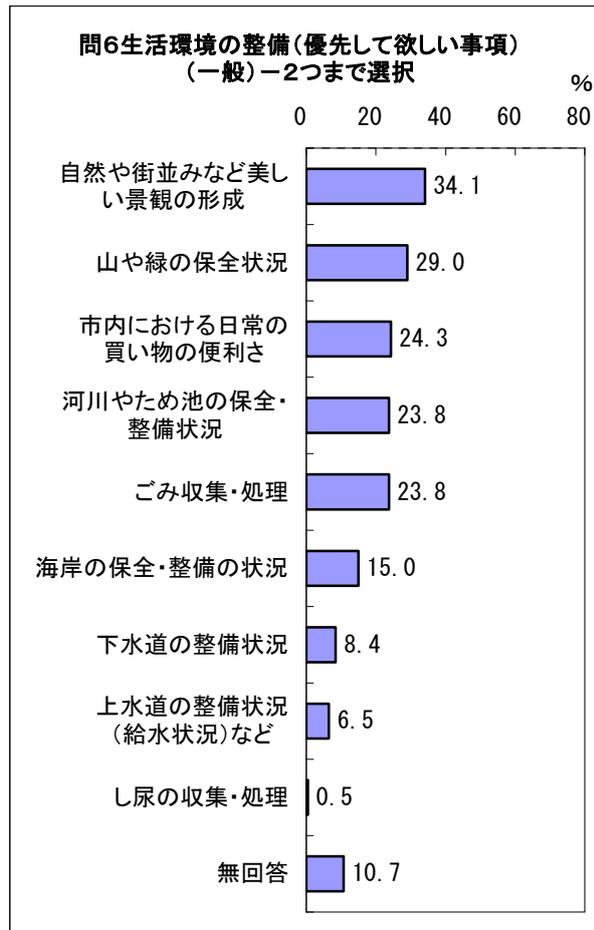
グラフ 59

小野小学校区(N=247)



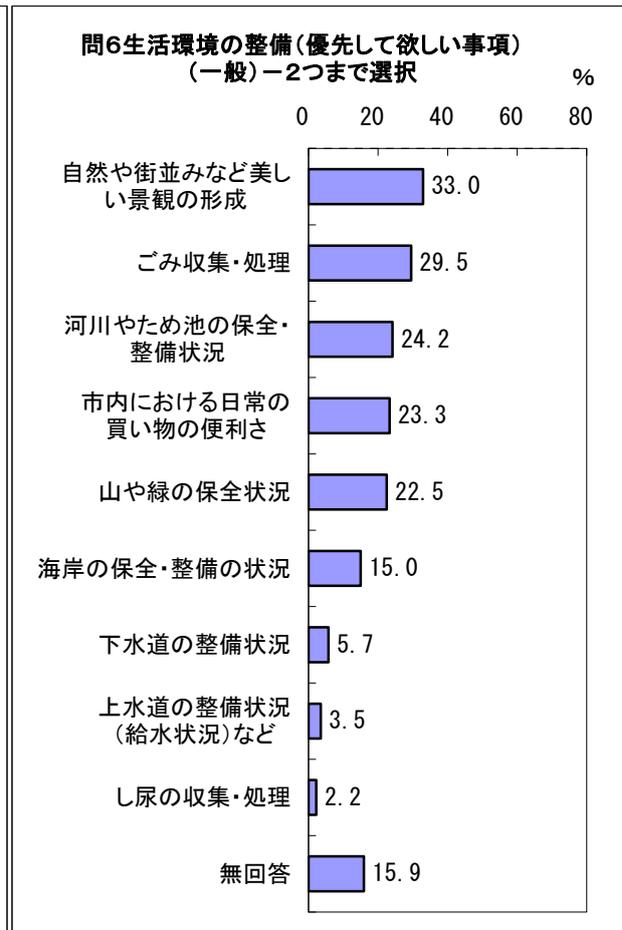
グラフ 60

花鶴小学校区(N=214)



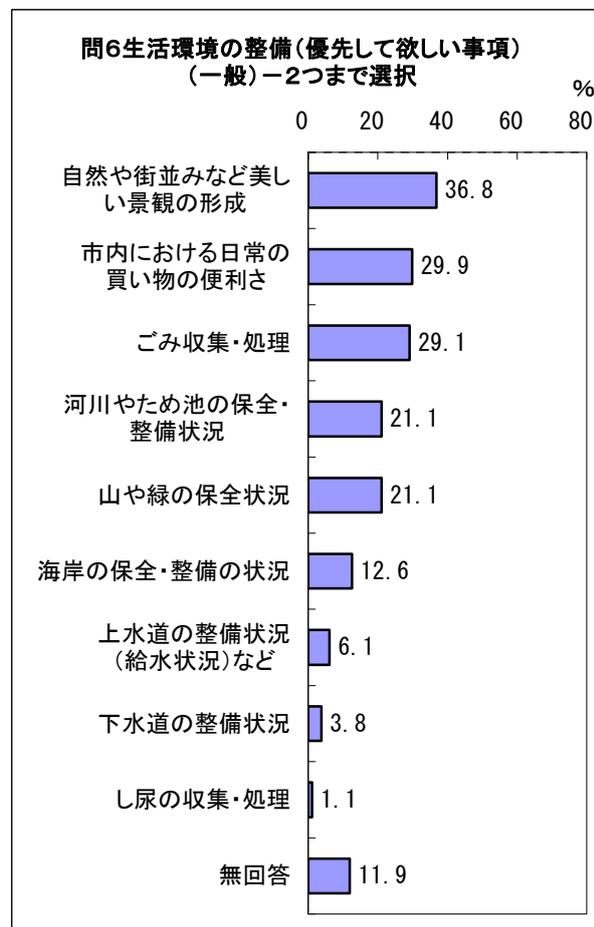
グラフ 61

千鳥小学校区(N=227)



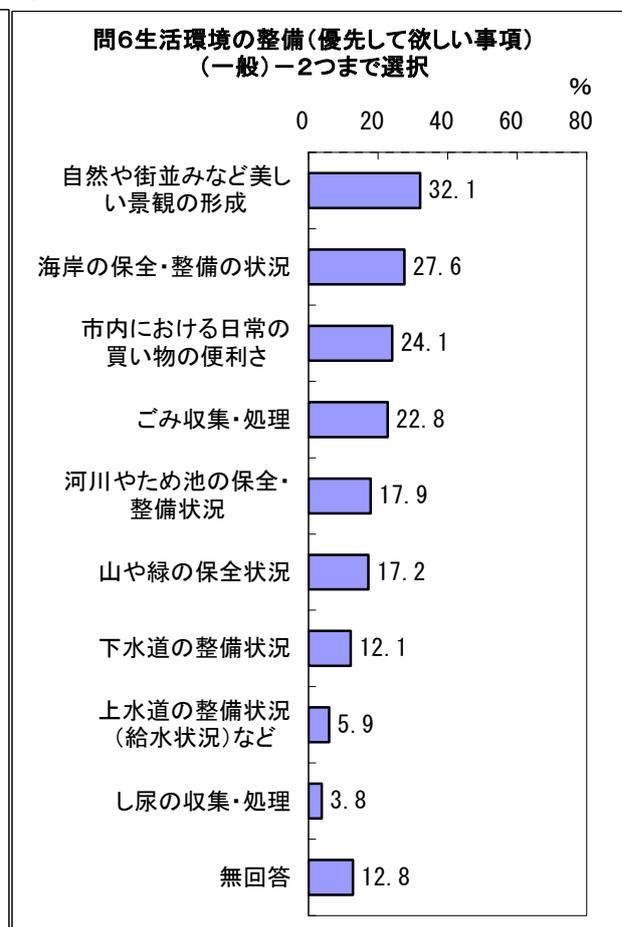
グラフ 62

舞の里小学校区(N=261)



グラフ 63

花見小学校区(N=290)



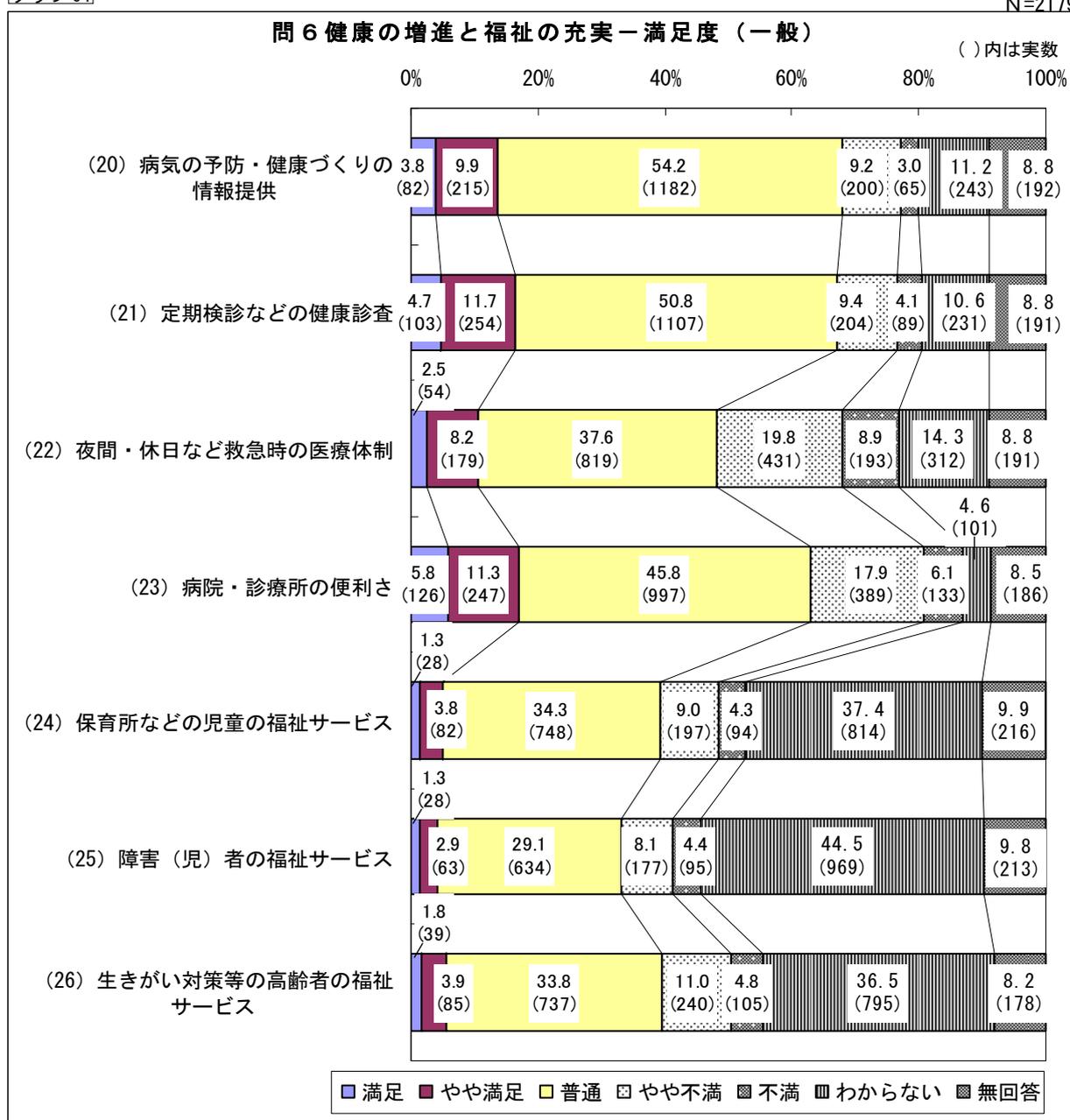
### 3 健康の増進と福祉の充実

#### (1) 満足度

- 健康の増進と福祉の充実の満足度をみると、『満足』の割合が高いのは、「(23) 病院・診療所の便利さ」(17.1%)、「(21) 定期検診などの健康診査」(16.4%)、「(20) 病気の予防・健康づくりの情報提供」(13.7%) となっています。
- 『不満』の割合が高いのは、「(22) 夜間・休日など救急時の医療体制」(28.7%)、「(23) 病院・診療所の便利さ」(24.0%)、「(26) 生きがい対策等の高齢者の福祉サービス」(15.8%) となっています。
- 「(23) 病院・診療所の便利さ」については、『満足』と『不満』の割合がどちらも高く、意向がわかれています。

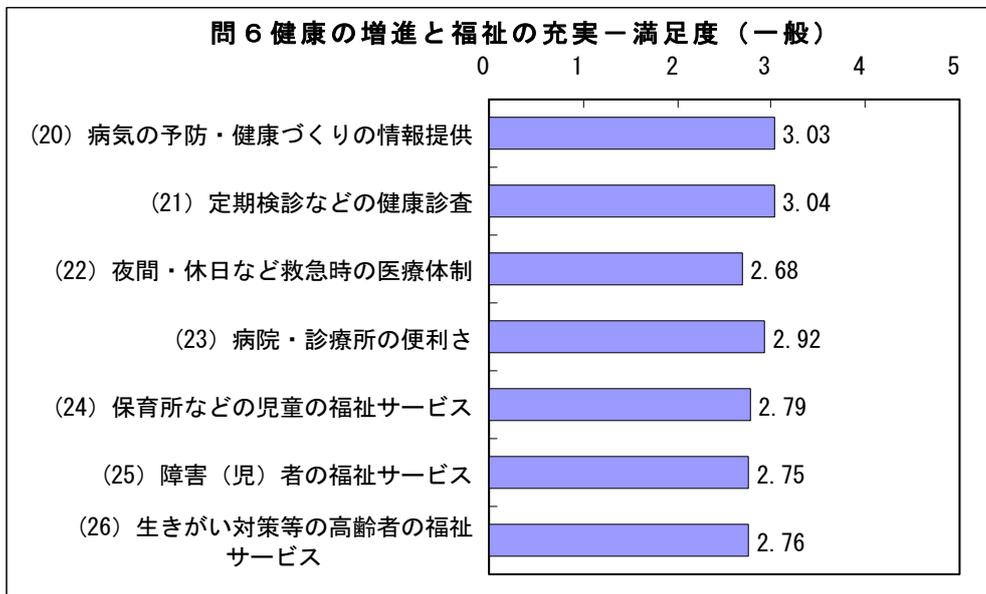
グラフ 64

N=2179



- 健康の増進と福祉の充実の満足度の指数をみると、数値が高い順より「(21) 定期検診などの健康診査」(3.04)、「(20) 病気の予防・健康づくりの情報提供」(3.03)、「(23) 病院・診療所の便利さ」(2.92)となっています。一方、数値が低いのは、「(22) 夜間・休日など救急時の医療体制」(2.68)となっています。

グラフ 65



- 地区別でみると、全体と比較して数値が高い項目が多い地区は、古賀西、花鶴小学校区、逆に数値が低い項目が多い地区は、青柳、小野小学校区となっています。
- 「(22) 夜間・休日など救急時の医療体制」は、古賀東、花鶴小学校区や医療施設が近くに立地している千鳥小学校区を除いて数値が低く、「(23) 病院・診療所の便利さ」は青柳、小野小学校区（それぞれ 2.65、2.55）で数値が低くなっています。

表 5

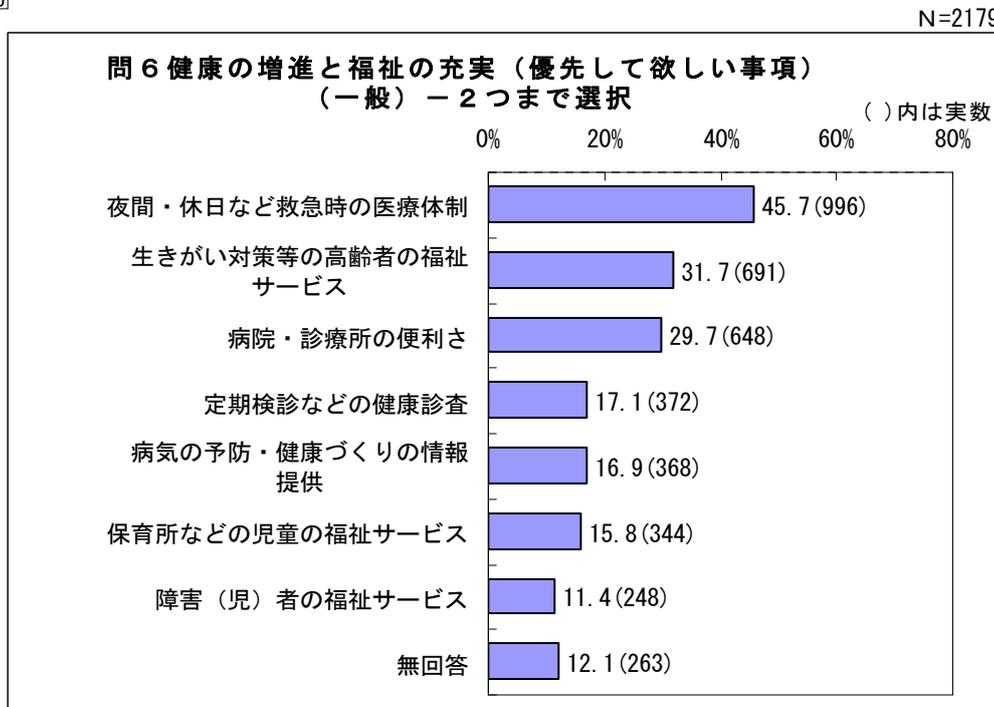
健康の増進と福祉の充実(指数) (一般：地区別)

	市全体	古賀東小	古賀西小	青柳小	小野小	花鶴小	千鳥小	舞の里小	花見小
(20) 病気の予防・健康づくりの情報提供	3.03	3.03 0.00	3.05 0.02	3.00 ▲ 0.03	3.02 ▲ 0.01	3.18 0.15	2.92 ▲ 0.11	3.00 ▲ 0.03	3.02 ▲ 0.01
(21) 定期検診などの健康診査	3.04	3.09 0.05	3.04 0.00	3.07 0.03	2.96 ▲ 0.08	3.23 0.19	2.96 ▲ 0.08	2.91 ▲ 0.13	3.09 0.05
(22) 夜間・休日など救急時の医療体制	2.68	2.74 0.06	2.64 ▲ 0.04	2.65 ▲ 0.03	2.58 ▲ 0.10	2.78 0.10	2.78 0.10	2.65 ▲ 0.03	2.67 ▲ 0.01
(23) 病院・診療所の便利さ	2.92	3.00 0.08	2.99 0.07	2.65 ▲ 0.27	2.55 ▲ 0.37	3.06 0.14	3.07 0.15	3.10 0.18	2.86 ▲ 0.06
(24) 保育所などの児童の福祉サービス	2.79	2.79 0.00	2.86 0.07	2.70 ▲ 0.09	2.77 ▲ 0.02	2.76 ▲ 0.03	2.79 0.00	2.77 ▲ 0.02	2.80 0.01
(25) 障害（児）者の福祉サービス	2.75	2.71 ▲ 0.04	2.78 0.03	2.61 ▲ 0.14	2.66 ▲ 0.09	2.82 0.07	2.73 ▲ 0.02	2.93 0.18	2.74 ▲ 0.01
(26) 生きがい対策等の高齢者の福祉サービス	2.76	2.71 ▲ 0.05	2.76 0.00	2.68 ▲ 0.08	2.72 ▲ 0.04	2.88 0.12	2.83 0.07	2.83 0.07	2.73 ▲ 0.03

## (2) 最も優先して欲しい事項

- 健康の増進と福祉の充実で最も優先して欲しい事項として、「夜間・休日など救急時の医療体制」(45.7%)の割合が最も高く、次いで「生きがい対策等の高齢者の福祉サービス」(31.7%)、「病院・診療所の便利さ」(29.7%)の順となっており、“夜間・休日を問わない日常的な医療の充実”と“高齢者福祉サービス”が求められています。

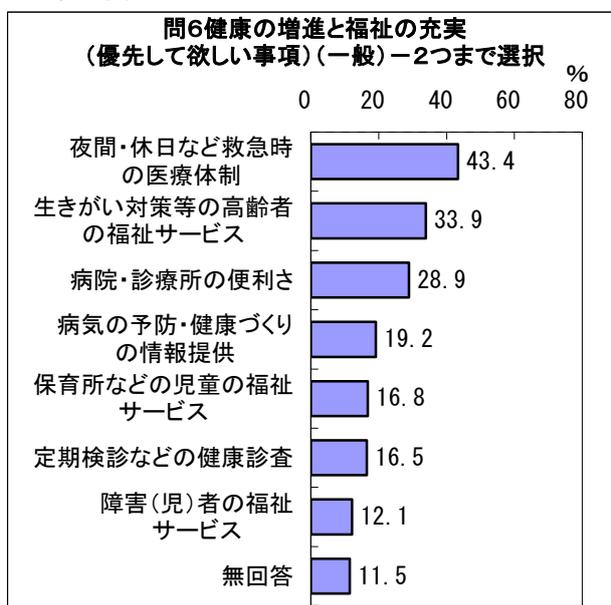
グラフ 66



- 地区別でみると、どの地区も上位3項目は全体の傾向と変わらず「夜間・休日など救急時の医療体制」が最も優先して欲しい事項としてあがっています。2位の項目をみると、青柳、小野小学校区では「病院・診療所の便利さ」となっていますが、その他の地区では「生きがい対策等の高齢者の福祉サービス」となっています。

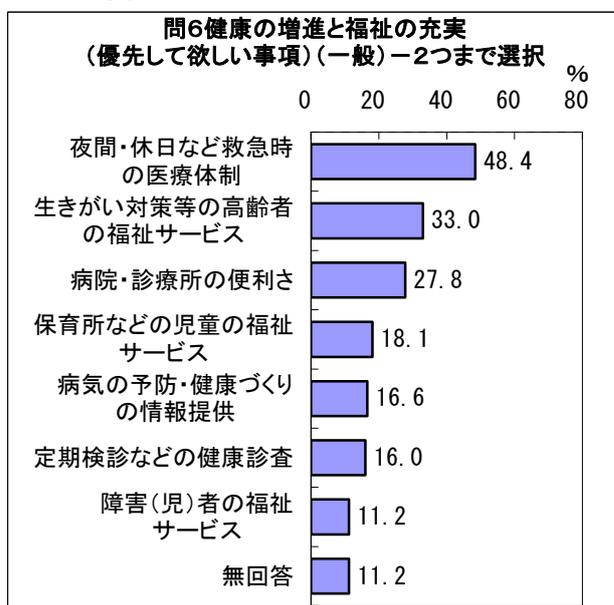
グラフ 67

古賀東小学校区(N=339)



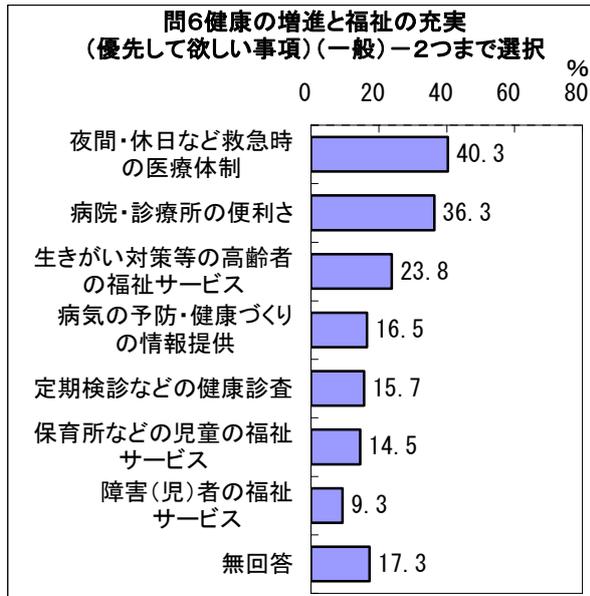
グラフ 68

古賀西小学校区(N=349)



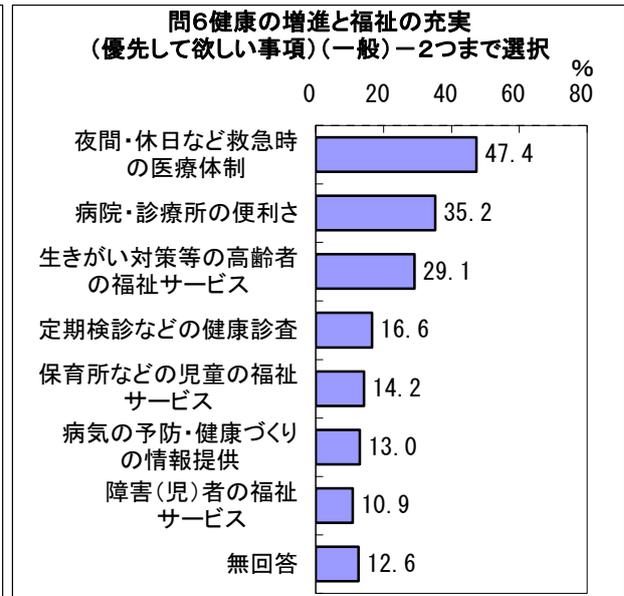
グラフ 69

青柳小学校区(N=248)



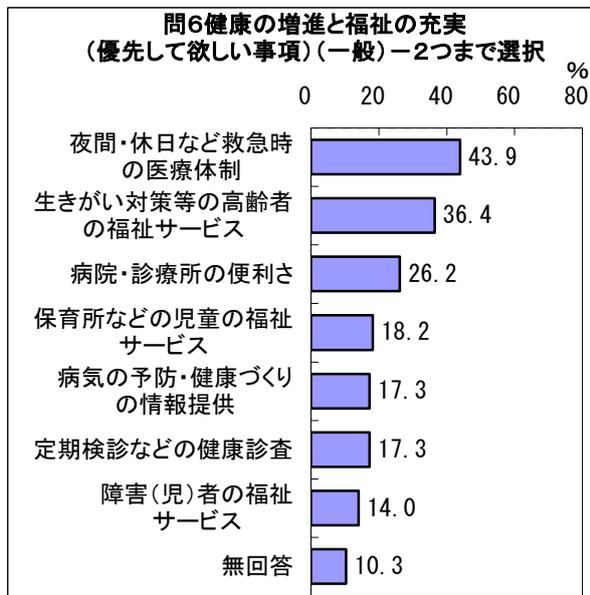
グラフ 70

小野小学校区(N=247)



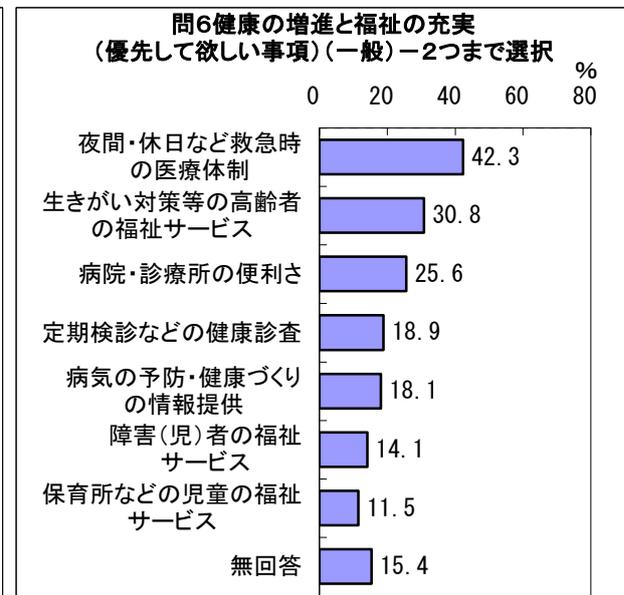
グラフ 71

花鶴小学校区(N=214)



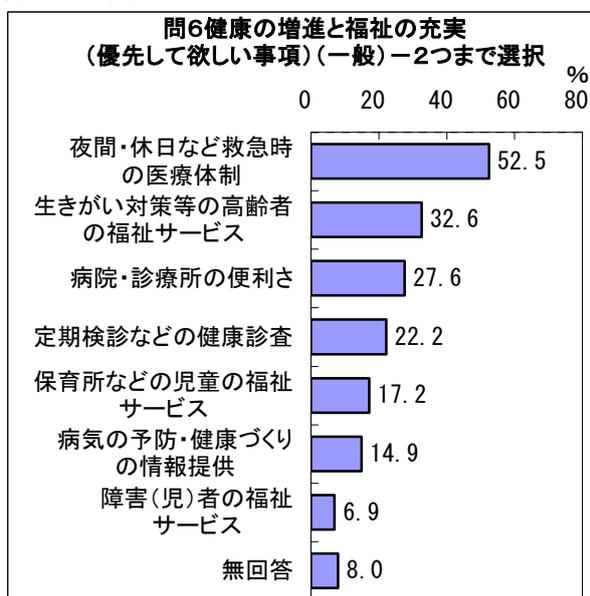
グラフ 72

千鳥小学校区(N=227)



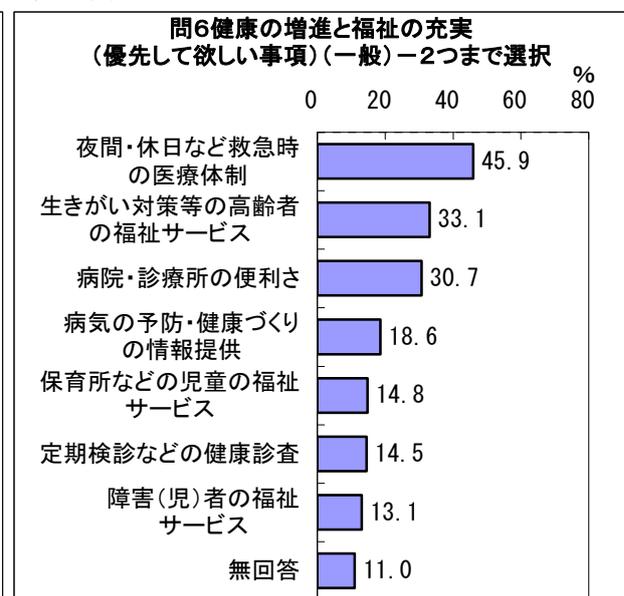
グラフ 73

舞の里小学校区(N=261)



グラフ 74

花見小学校区(N=290)



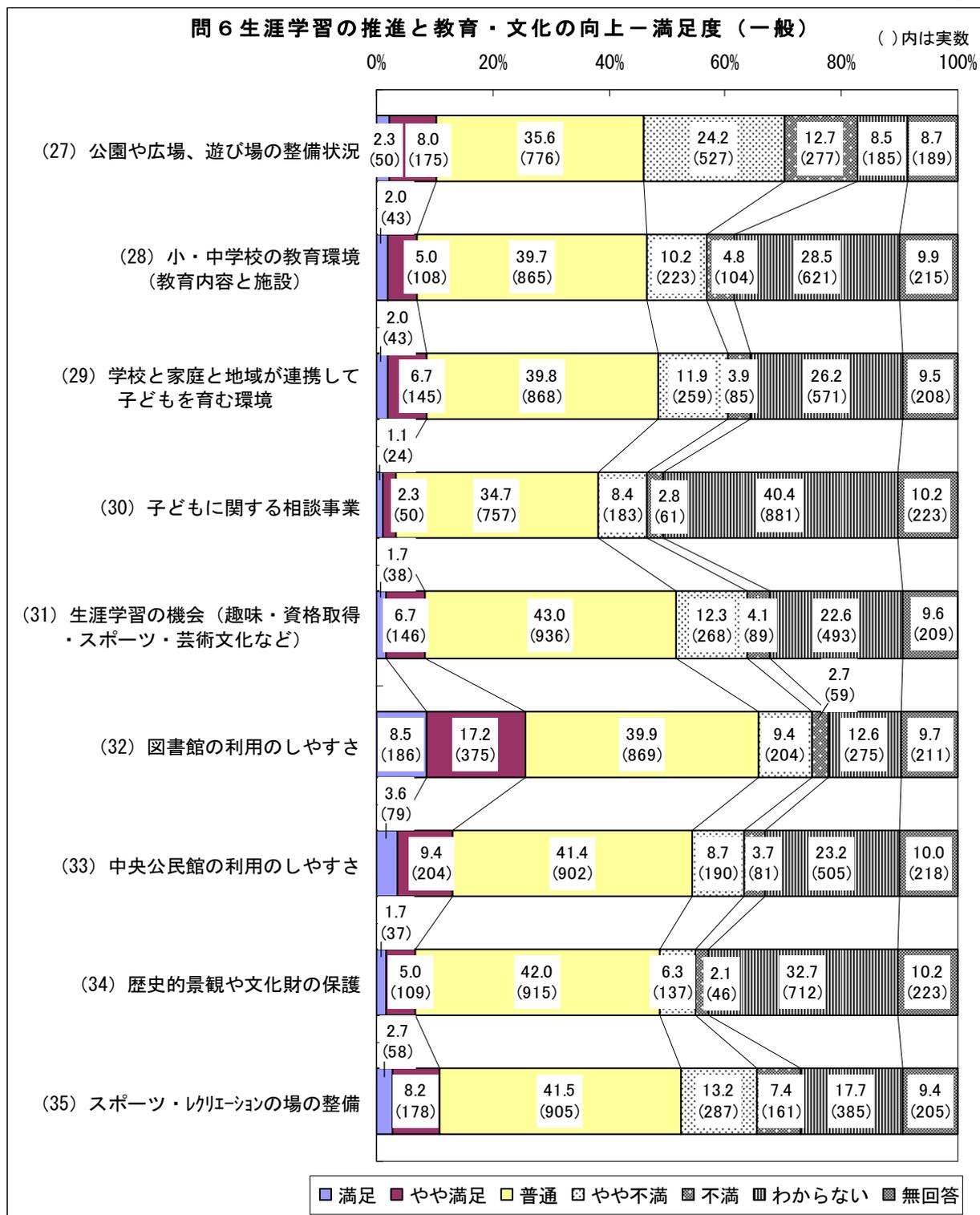
#### 4 生涯学習の推進と教育・文化の向上

##### (1) 満足度

- 生涯学習の推進と教育・文化の向上の満足度をみると、『満足』の割合が高いのは、「(32) 図書館の利用のしやすさ」(25.7%)、「(33) 中央公民館の利用のしやすさ」(13.0%) となっています。
- 『不満』の割合が高いのは、「(27) 公園や広場、遊び場の整備状況」(36.9%)、「(35) スポーツ・レクリエーションの場の整備」(20.6%)、「(31) 生涯学習の機会（趣味・資格取得・スポーツ・芸術文化など）」(16.4%) となっています。

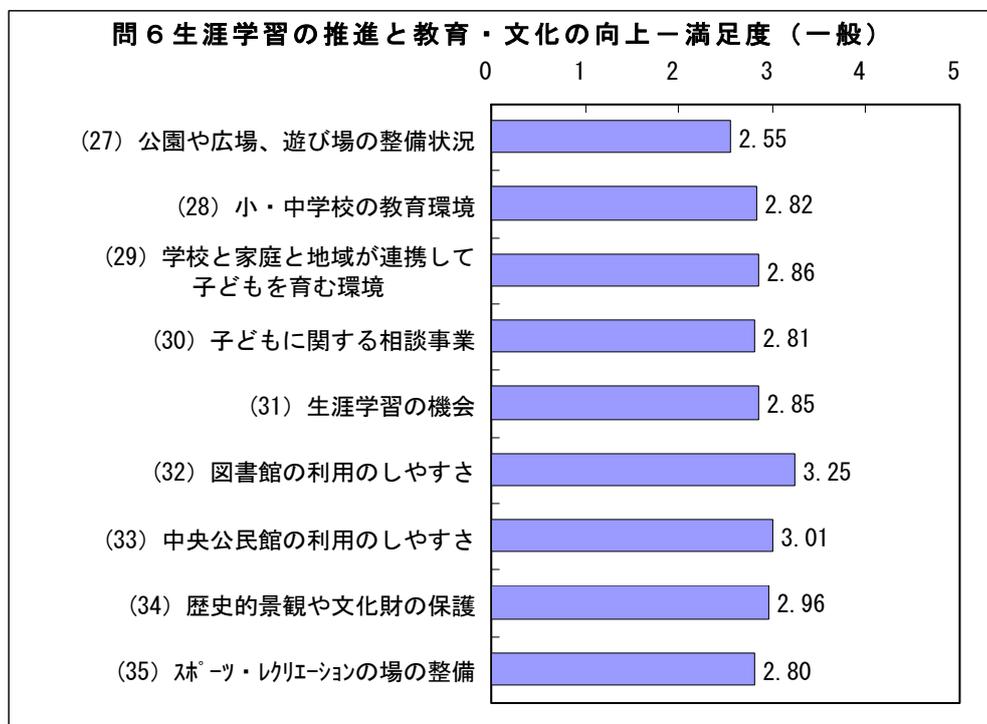
グラフ75

N=2179



- 生涯学習の推進と教育・文化の向上の満足度の指数をみると、数値が高い順より「(32) 図書館の利用のしやすさ」(3.25)、「(33) 中央公民館の利用のしやすさ」(3.01)となっています。一方、数値が低いのは「(27) 公園や広場、遊び場の整備状況」(2.55)となっています。

グラフ 76



- 地区別でみると、全体と比較して数値が高い項目が多い地区は花鶴小学校区、逆に数値が低い項目が多い地区は青柳、千鳥、花見小学校区となっています。
- 市内の生涯学習関連の施設から遠い花見小学校区では、「(27) 公園や広場、遊び場の整備状況」(2.22)、「(35) スポーツ・レクリエーションの場の整備」(2.59)の数値が低くなっています。
- 図書館に近い古賀東、花鶴小学校区では「(32) 図書館の利用のしやすさ」(それぞれ 3.42、3.45)の数値が高くなっています。

表 6

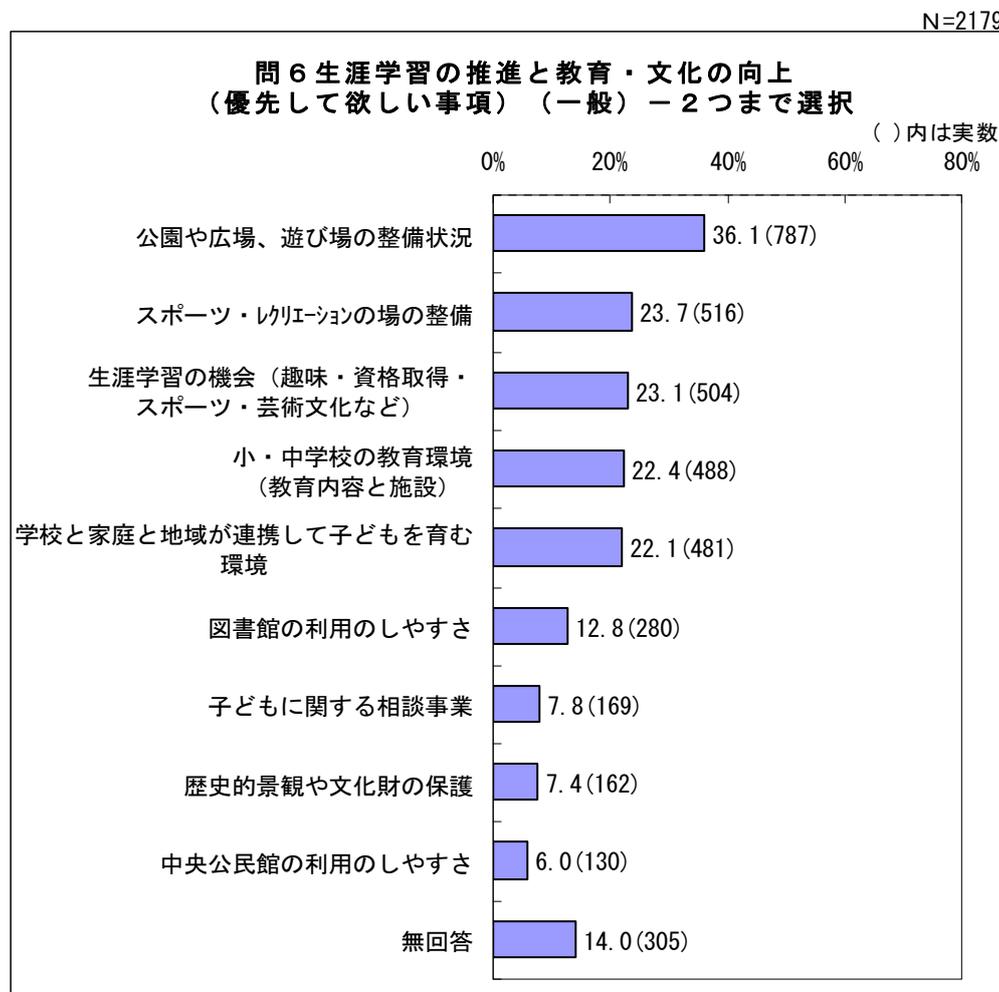
生涯学習の推進と教育・文化の向上(指数) (一般：地区別)

	市全体	古賀東小	古賀西小	青柳小	小野小	花鶴小	千鳥小	舞の里小	花見小
(27)公園や広場、遊び場の整備状況	2.55	2.46 ▲ 0.09	2.58 0.03	2.54 ▲ 0.01	2.59 0.04	2.66 0.11	2.49 ▲ 0.06	2.91 0.36	2.22 ▲ 0.33
(28)小・中学校の教育環境	2.82	2.77 ▲ 0.05	2.77 ▲ 0.05	2.71 ▲ 0.11	2.87 0.05	2.82 0.00	2.83 0.01	2.97 0.15	2.84 0.02
(29)学校と家庭と地域が連携して子どもを育む環境	2.86	2.85 ▲ 0.01	2.79 ▲ 0.07	2.77 ▲ 0.09	2.94 0.08	2.93 0.07	2.85 ▲ 0.01	2.88 0.02	2.88 0.02
(30)子どもに関する相談事業	2.81	2.84 0.03	2.82 0.01	2.74 ▲ 0.07	2.93 0.12	2.76 ▲ 0.05	2.78 ▲ 0.03	2.79 ▲ 0.02	2.80 ▲ 0.01
(31)生涯学習の機会	2.85	3.01 0.16	2.86 0.01	2.77 ▲ 0.08	2.94 0.09	2.91 0.06	2.78 ▲ 0.07	2.72 ▲ 0.13	2.74 ▲ 0.11
(32)図書館の利用のしやすさ	3.25	3.42 0.17	3.29 0.04	3.17 ▲ 0.08	3.20 ▲ 0.05	3.45 0.20	3.27 0.02	3.05 ▲ 0.20	3.14 ▲ 0.11
(33)中央公民館の利用のしやすさ	3.01	3.06 0.05	3.08 0.07	2.94 ▲ 0.07	2.97 ▲ 0.04	3.17 0.16	3.00 ▲ 0.01	2.91 ▲ 0.10	2.90 ▲ 0.11
(34)歴史的景観や文化財の保護	2.96	2.99 0.03	3.01 0.05	2.92 ▲ 0.04	2.86 ▲ 0.10	3.06 0.10	2.93 ▲ 0.03	2.98 0.02	2.93 ▲ 0.03
(35)スポーツ・レクリエーションの場の整備	2.80	2.84 0.04	2.76 ▲ 0.04	2.80 0.00	2.85 0.05	2.92 0.12	2.91 0.11	2.79 ▲ 0.01	2.59 ▲ 0.21

## (2) 最も優先して欲しい事項

- 生涯学習の推進と教育・文化の向上で最も優先して欲しい事項として、「公園や広場、遊び場の整備状況」(36.1%)の割合が最も高く、次いで「スポーツ・レクリエーションの場の整備」(23.7%)、「生涯学習の機会」(23.1%)、「小・中学校の教育環境」(22.4%)、「学校と家庭と地域が連携して子どもを育む環境」(22.1%)の割合が同程度となっています。

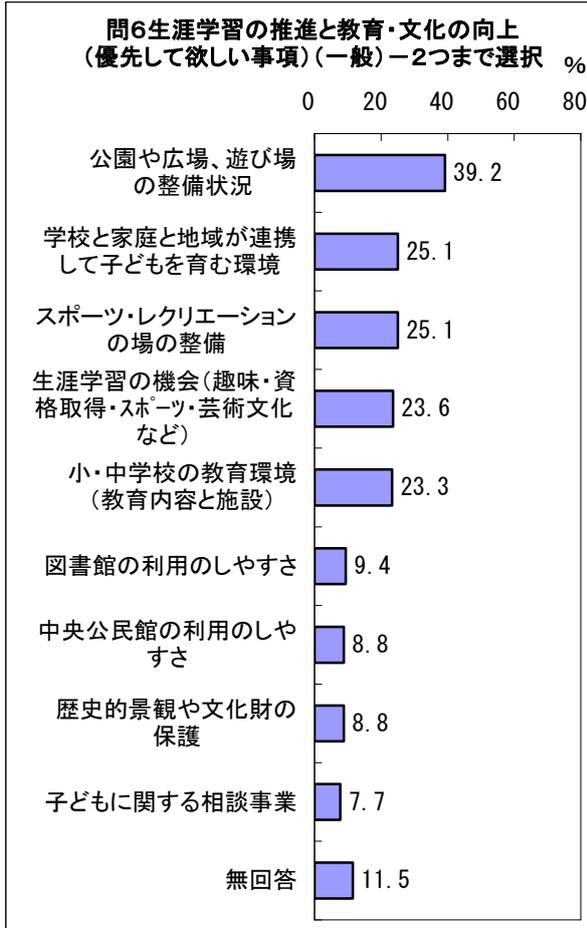
グラフ 77



- 地区別でみると、舞の里小学校区を除いた全ての地区で「公園や広場、遊び場の整備状況」が最も優先して欲しい事項となっています。
- 舞の里小学校区では、「生涯学習の機会」(33.0%)が最も優先して欲しい事項となっています。

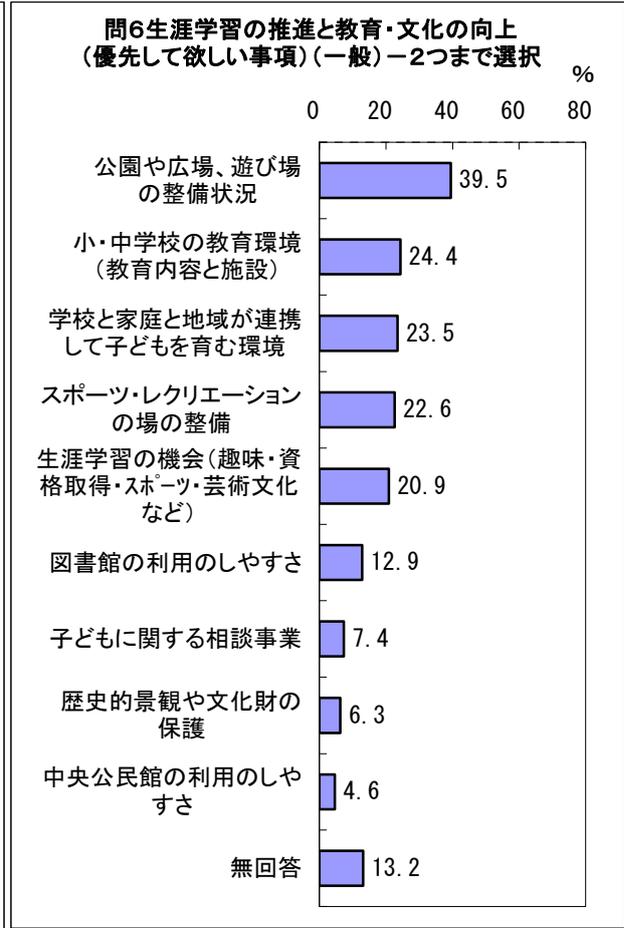
グラフ 78

古賀東小学校区(N=339)



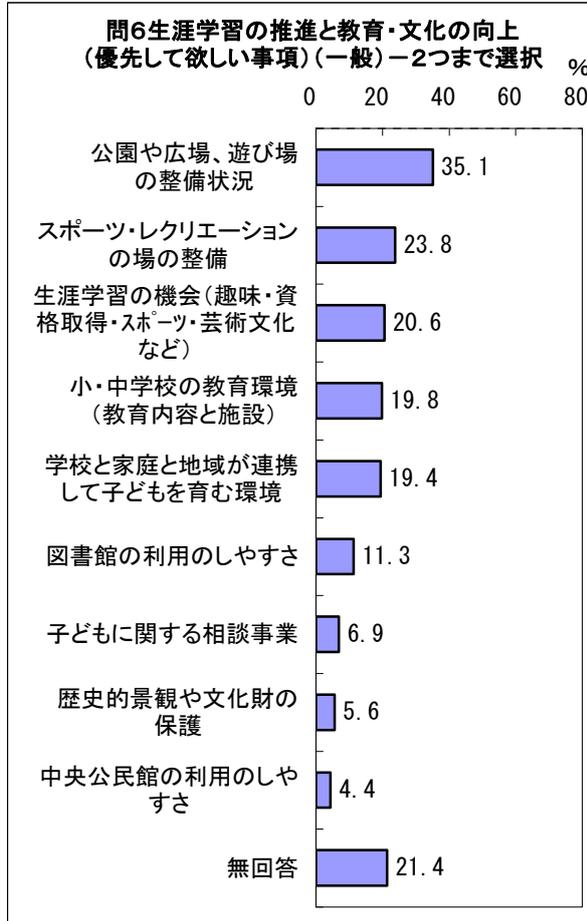
グラフ 79

古賀西小学校区(N=349)



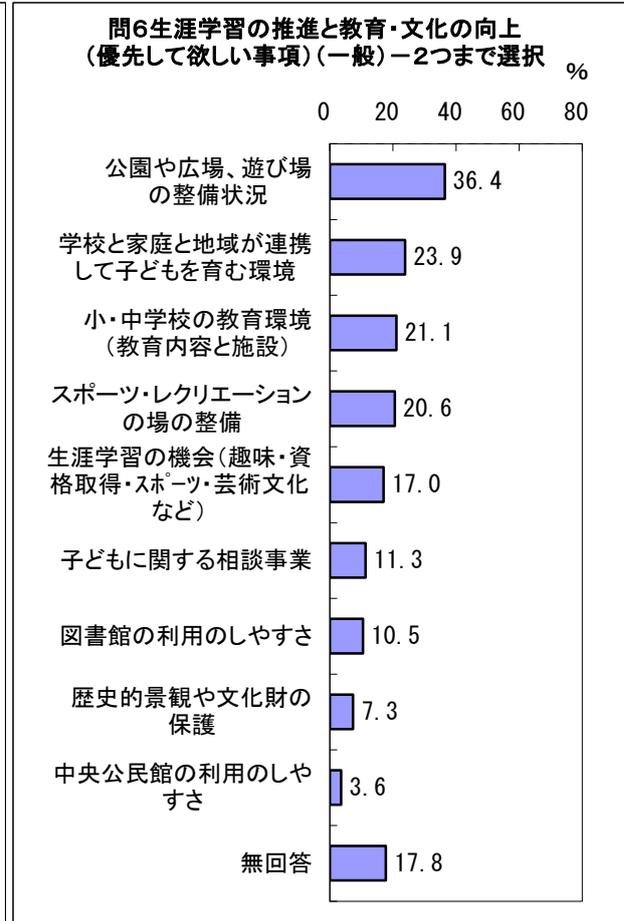
グラフ 80

青柳小学校区(N=248)



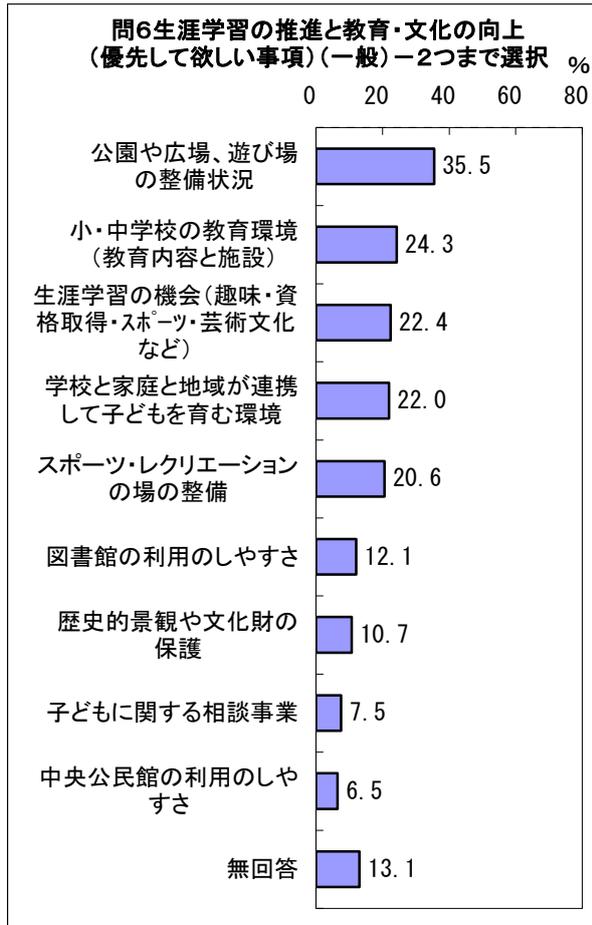
グラフ 81

小野小学校区(N=247)



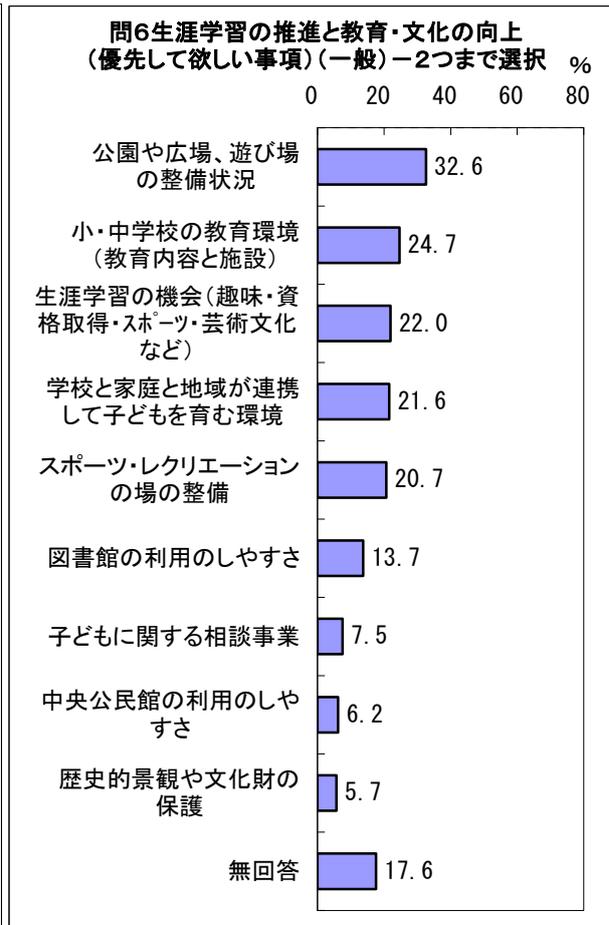
グラフ 82

花鶴小学校区(N=214)



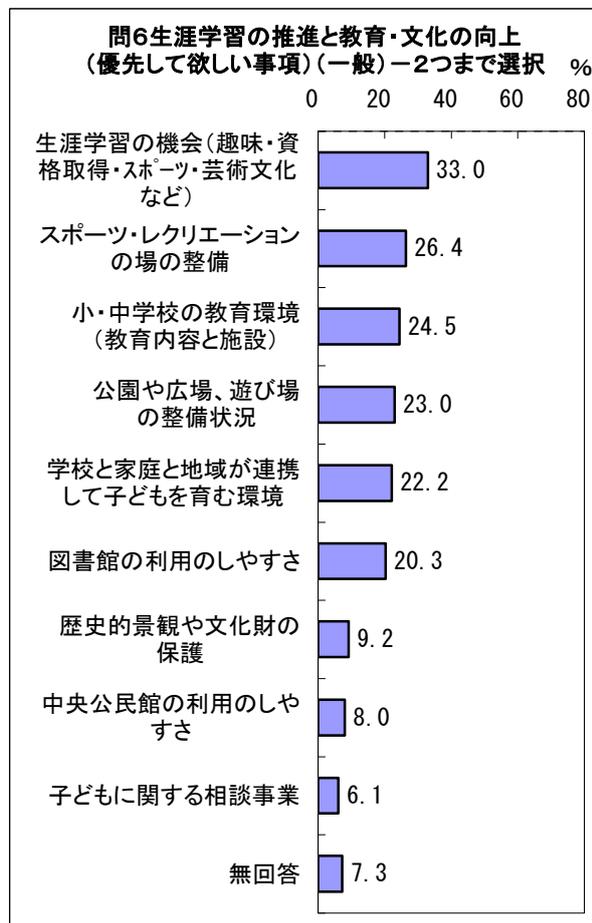
グラフ 83

千鳥小学校区(N=227)



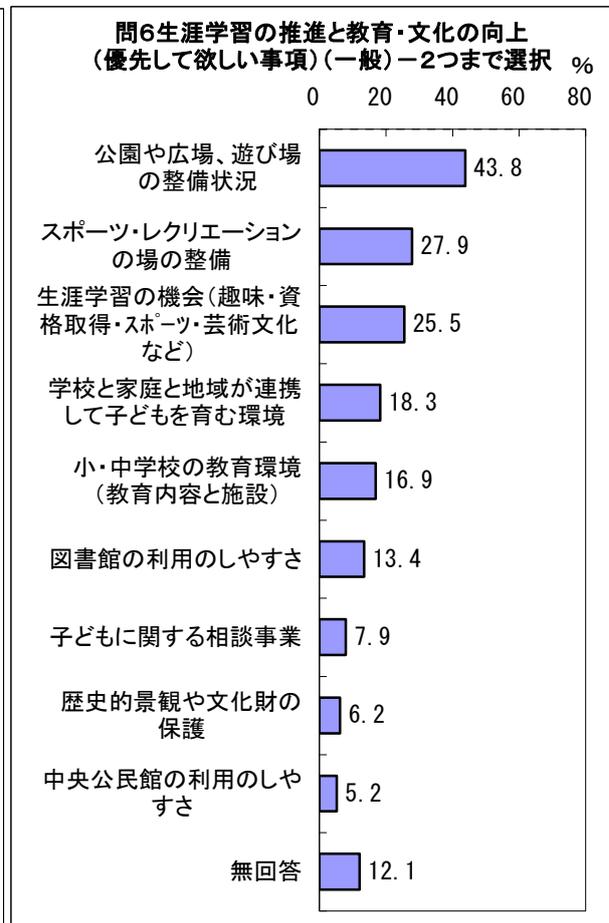
グラフ 84

舞の里小学校区(N=261)



グラフ 85

花見小学校区(N=290)



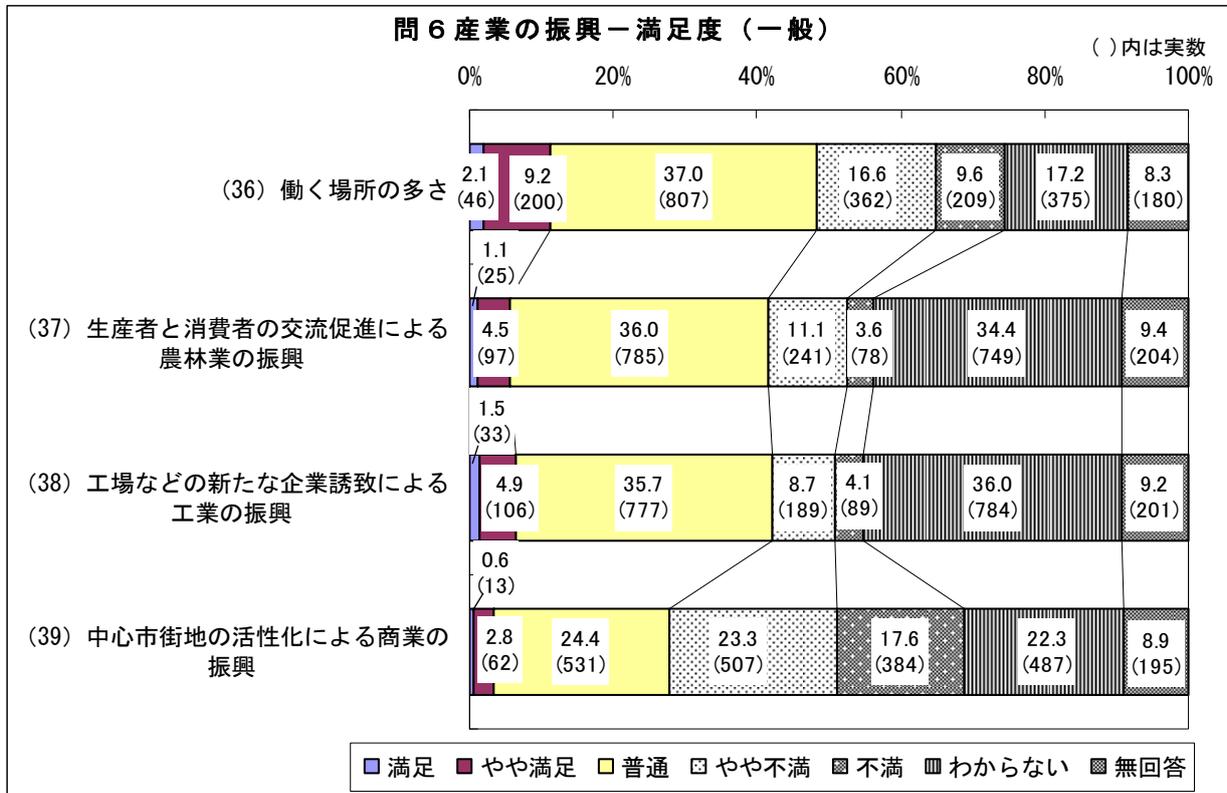
## 5 産業の振興

### (1) 満足度

- 産業の振興の満足度をみると、『不満』の割合が高いのは、「(39) 中心市街地の活性化による商業の振興」(40.9%)、「(36) 働く場所の多さ」(26.2%) となっています。

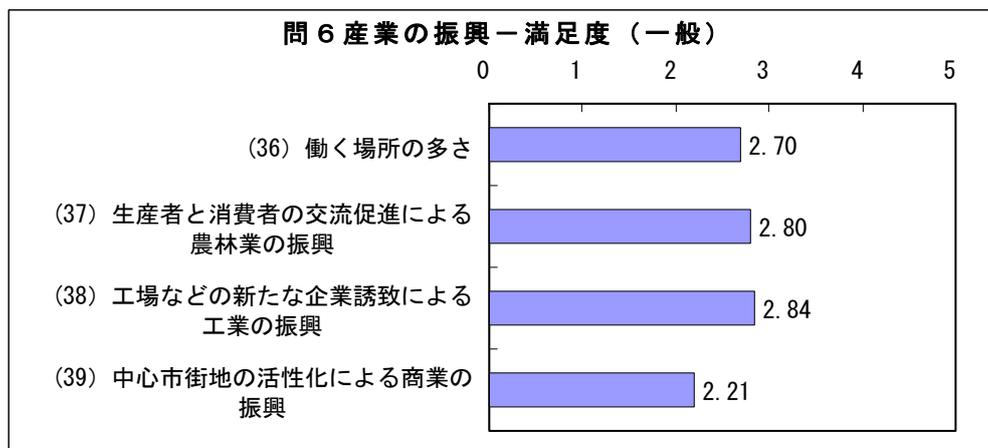
グラフ 86

N=2179



- 産業の振興の満足度の指数をみると、「(39) 中心市街地の活性化による商業の振興」(2.21) が低い数値となっています。

グラフ 87



- 地区別でみると、舞の里、花見小学校区で「働く場所の多さ」（それぞれ 2.53、2.54）の数値が低くなっています。
- 小野小学校区では、「(38) 工場などの新たな企業誘致による工業の振興」（2.68）の数値が低くなっています。
- 「(39) 中心市街地の活性化による商業の振興」については、J R古賀駅に近い古賀東、古賀西小学校区（それぞれ 2.11、2.07）で数値が低くなっています。

表 7

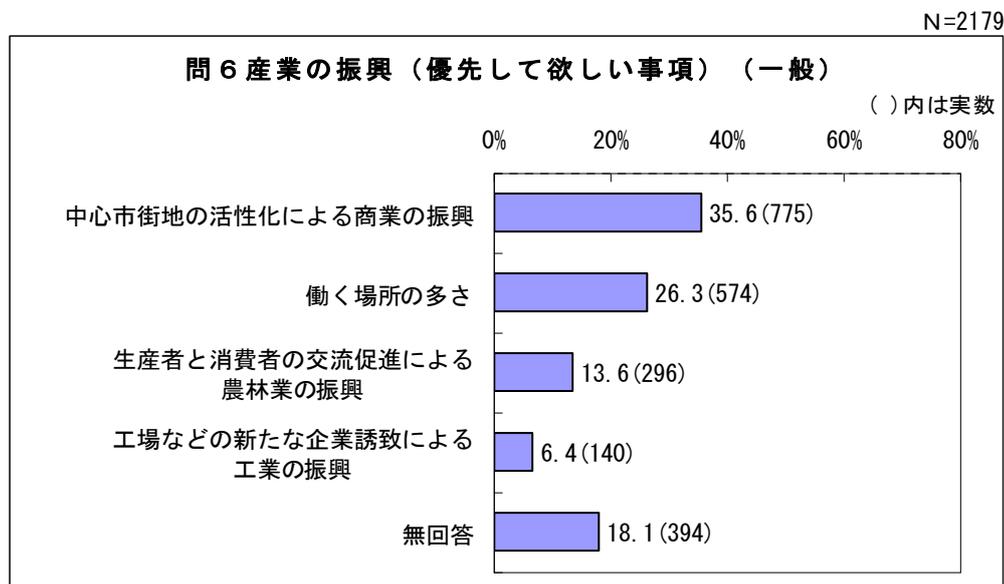
産業の振興(指数) (一般：地区別)

	市全体	古賀東小	古賀西小	青柳小	小野小	花鶴小	千鳥小	舞の里小	花見小
(36)働く場所の多さ	2.70	2.69 ▲ 0.01	2.83 0.13	2.75 0.05	2.70 0.00	2.87 0.17	2.68 ▲ 0.02	2.53 ▲ 0.17	2.54 ▲ 0.16
(37)生産者と消費者の交流 促進による農林業の振興	2.80	2.71 ▲ 0.09	2.73 ▲ 0.07	2.79 ▲ 0.01	2.81 0.01	2.92 0.12	2.83 0.03	2.90 0.10	2.73 ▲ 0.07
(38)工場などの新たな企業 誘致による工業の振興	2.84	2.96 0.12	2.93 0.09	2.77 ▲ 0.07	2.68 ▲ 0.16	2.99 0.15	2.80 ▲ 0.04	2.72 ▲ 0.12	2.76 ▲ 0.08
(39)中心市街地の活性化に よる商業の振興	2.21	2.11 ▲ 0.10	2.07 ▲ 0.14	2.33 0.12	2.24 0.03	2.25 0.04	2.28 0.07	2.26 0.05	2.23 0.02

(2) 最も優先して欲しい事項

- 産業の振興について最も優先して欲しい事項として、「中心市街地の活性化による商業の振興」（35.6%）の割合が最も高く、次いで「働く場所の多さ」（26.3%）の順となっています。

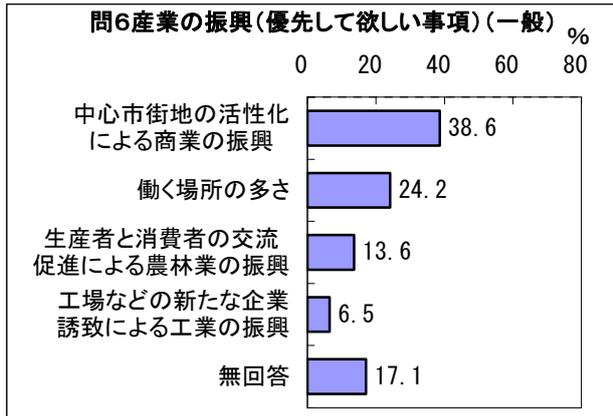
グラフ 88



- 地区別でみても、全体の傾向と変わりませんが、古賀西、花鶴小学校区では、「中心市街地の活性化による商業の振興」（それぞれ 41.3%、42.1%）の割合が、他の地区に比べて高くなっています。

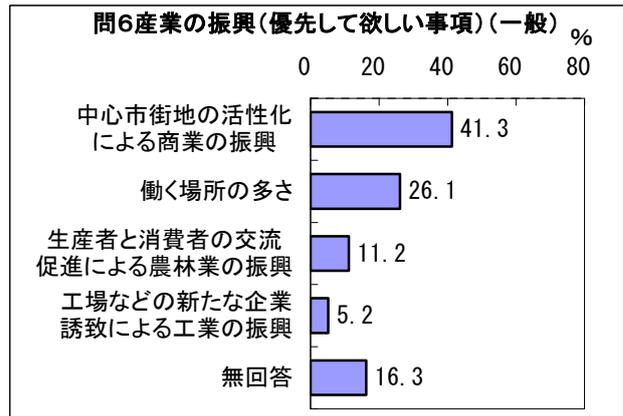
グラフ 89

古賀東小学校区(N=339)



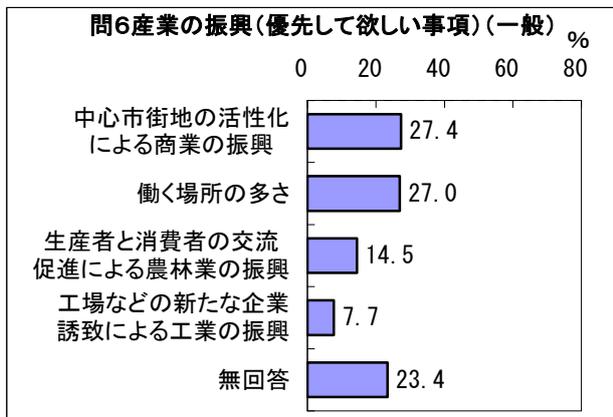
グラフ 90

古賀西小学校区(N=349)



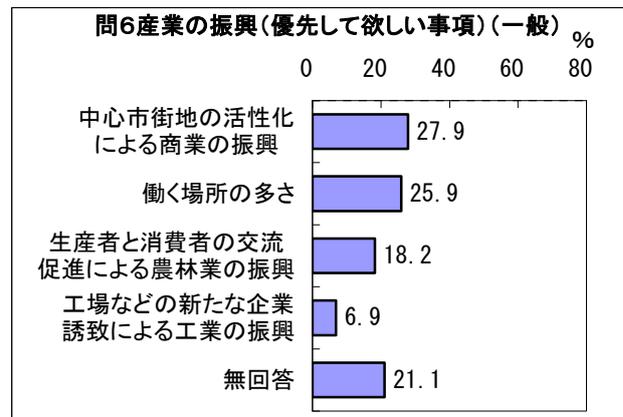
グラフ 91

青柳小学校区(N=248)



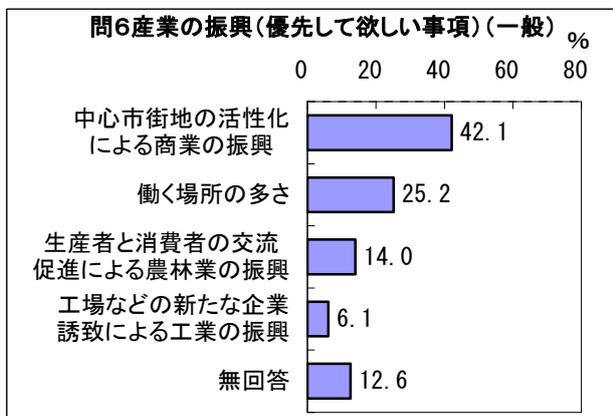
グラフ 92

小野小学校区(N=247)



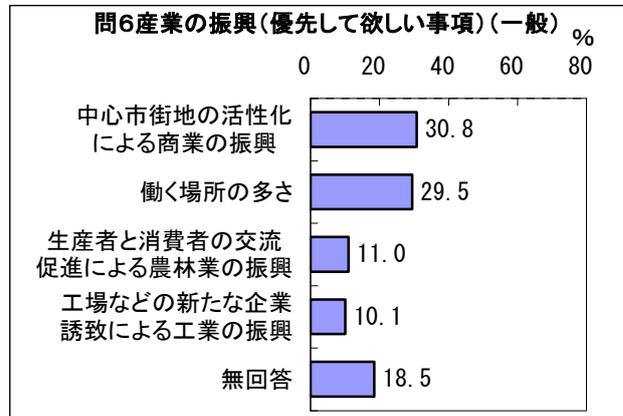
グラフ 93

花鶴小学校区(N=214)



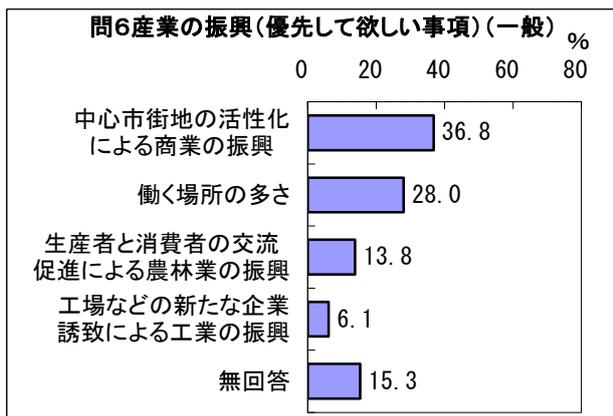
グラフ 94

千鳥小学校区(N=227)



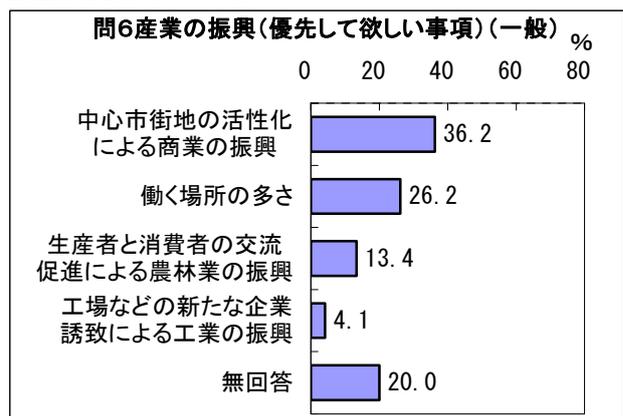
グラフ 95

舞の里小学校区(N=261)



グラフ 96

花見小学校区(N=290)



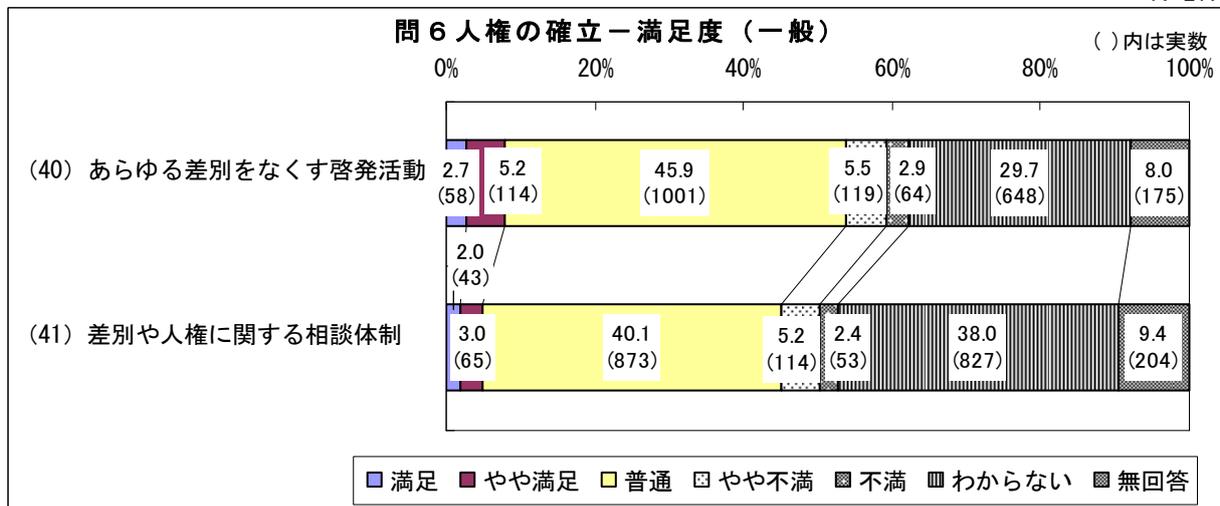
## 6 人権の確立

### (1) 満足度

- 人権の確立に関する2項目の満足度をみると、『満足』、『不満』ともに10%以内となっています。

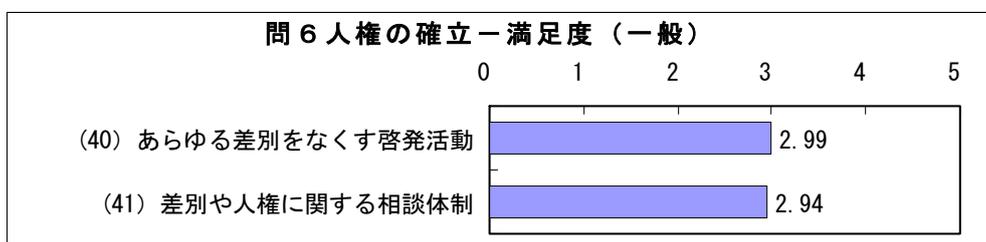
グラフ 97

N=2179



- 人権の確立の満足度の指数をみると、2項目ともほぼ同程度の数値となっています。

グラフ 98



- 性別でも、男性と女性の差はほとんどなく、全体の傾向と同様となっています。

表 8

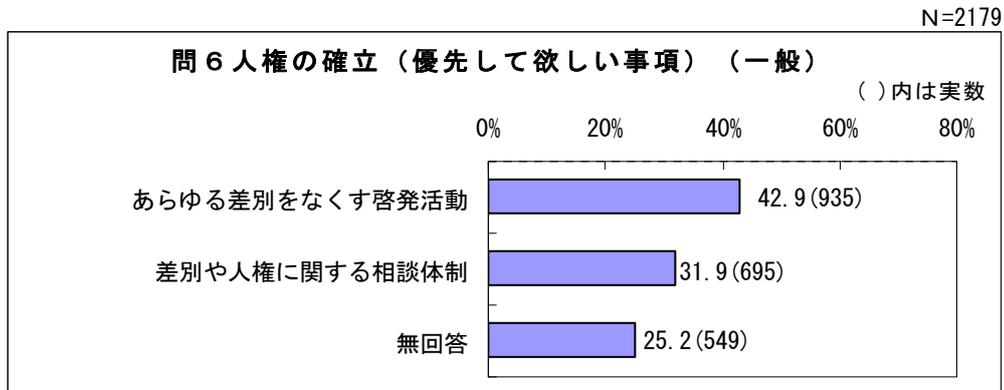
人権の確立(指数) (一般:性別)

	市全体	男性	女性
(40) あらゆる差別をなくす啓発活動	2.99	3.00 ▲ 0.01	2.98 ▲ 0.01
(41) 差別や人権に関する相談体制	2.94	2.93 ▲ 0.01	2.94 0.00

## (2) 最も優先して欲しい事項

- 人権の確立で最も優先して欲しい事項として、「あらゆる差別をなくす啓発活動」(42.9%)、「差別や人権に関する相談体制」(31.9%)の順となっています。

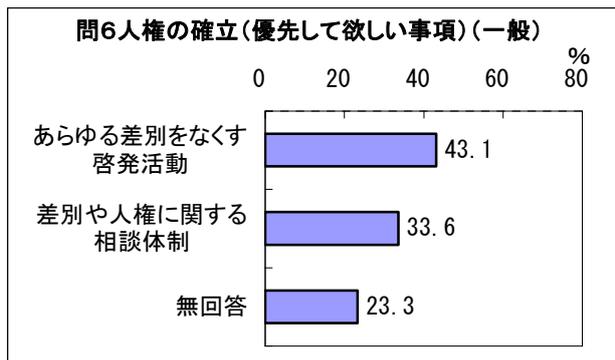
グラフ 99



- 地区別でも全体の傾向と同様となっています。

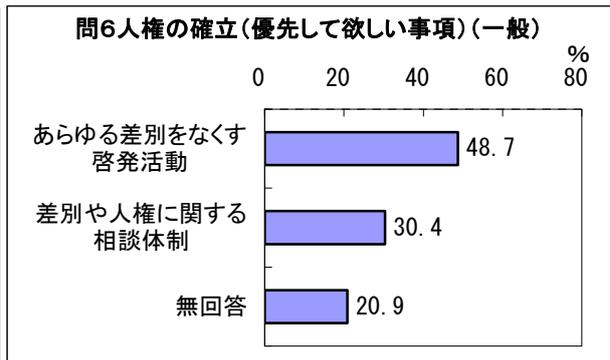
グラフ 100

古賀東小学校区(N=339)



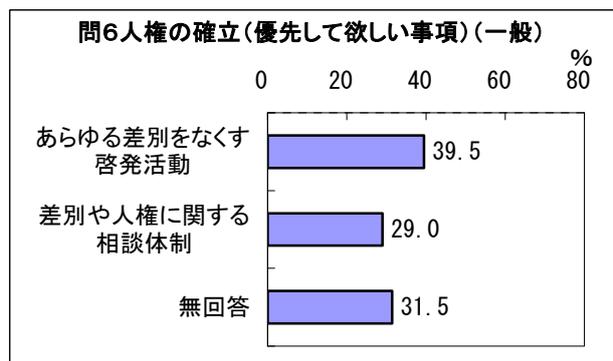
グラフ 101

古賀西小学校区(N=349)



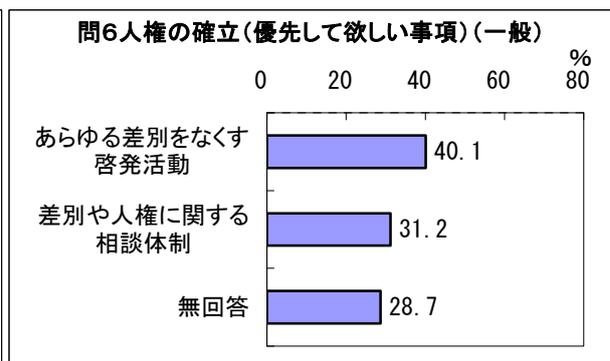
グラフ 102

青柳小学校区(N=248)



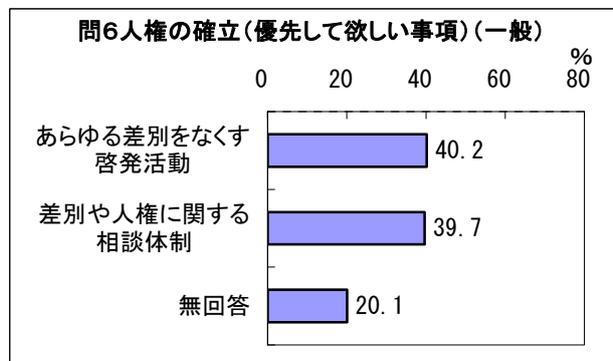
グラフ 103

小野小学校区(N=247)



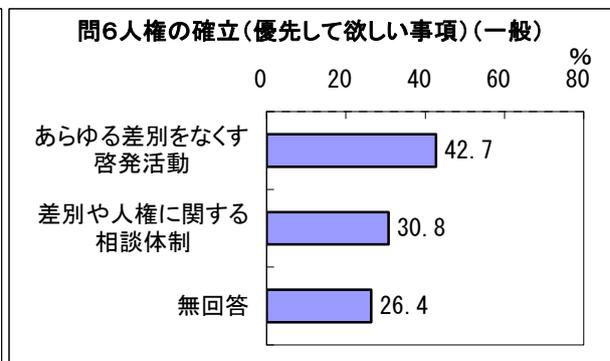
グラフ 104

花鶴小学校区(N=214)



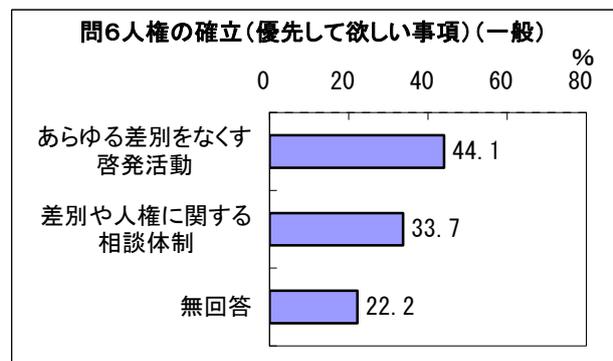
グラフ 105

千鳥小学校区(N=227)



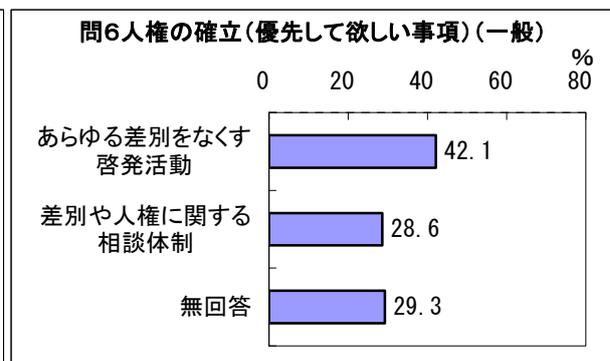
グラフ 106

舞の里小学校区(N=261)



グラフ 107

花見小学校区(N=290)



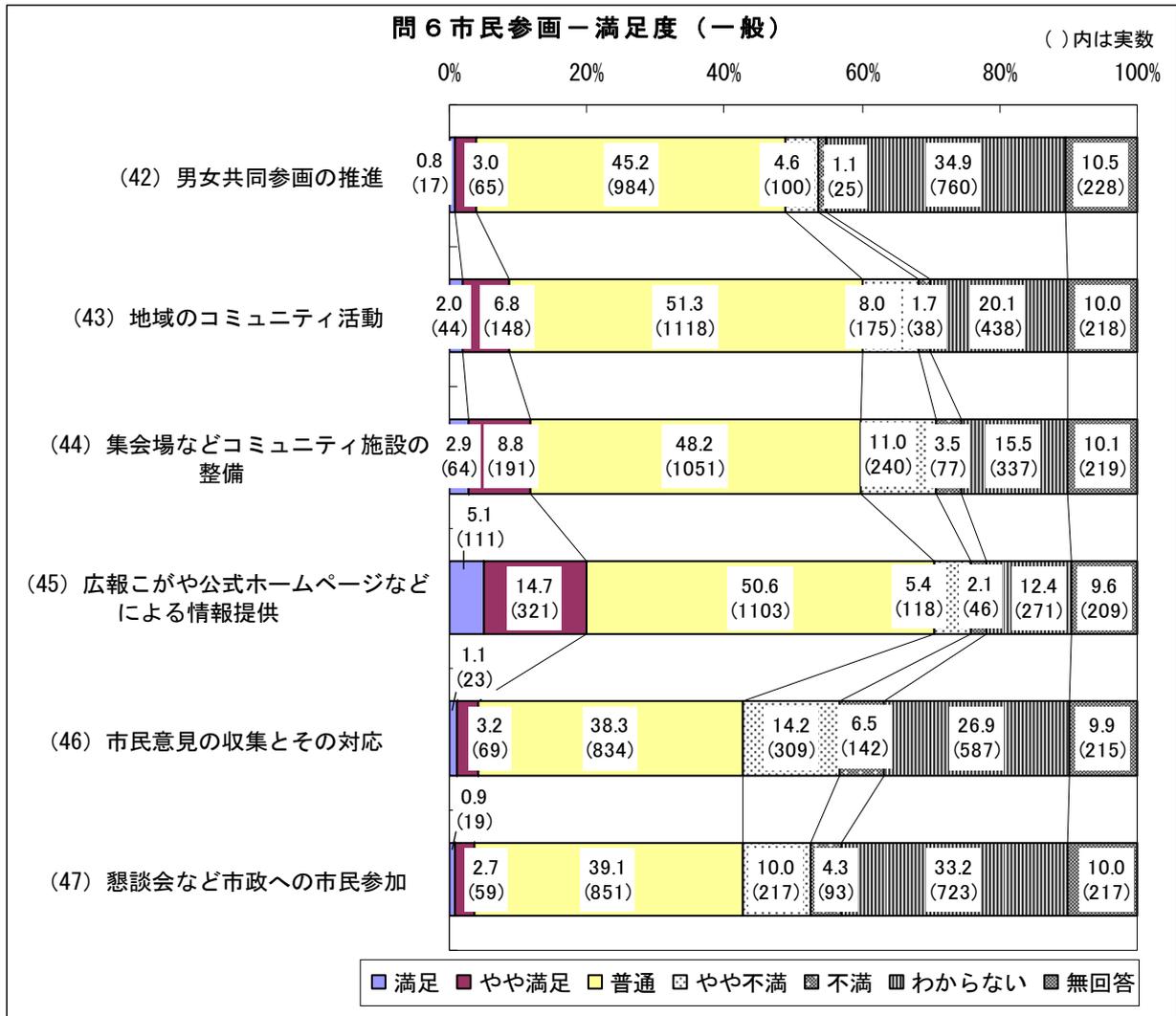
## 7 市民参画

### (1) 満足度

- 市民参画の満足度をみると、『満足』の割合が高いのは「(45) 広報こがや公式ホームページなどによる情報提供」(19.8%)となっています。
- 『不満』の割合が高いのは「(46) 市民意見の収集とその対応」(20.7%)となっています。

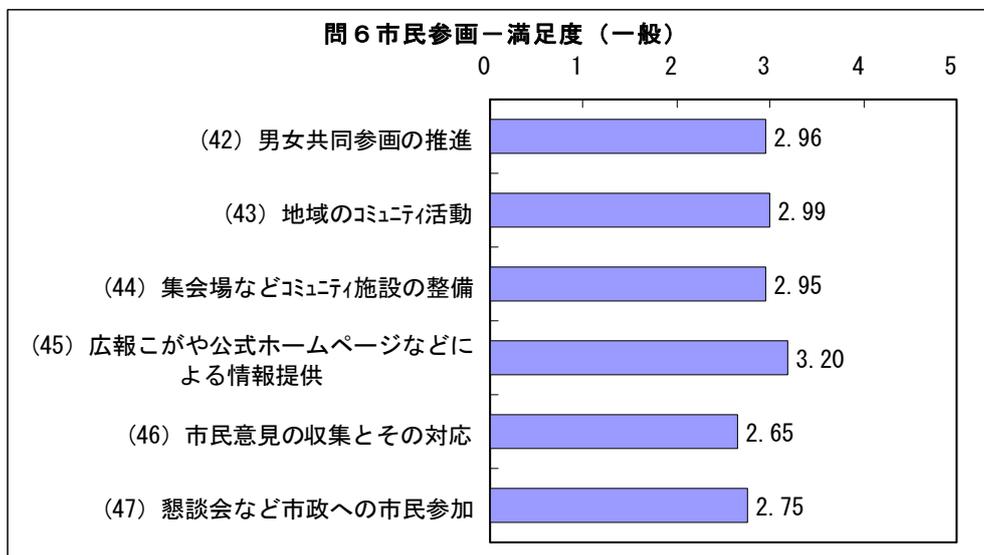
グラフ 108

N=2179



- 市民参画の満足度の指数をみると、数値が高いのは、「(45) 広報こがや公式ホームページなどによる情報提供」(3.20)となっています。一方、数値が低いのは、「(46) 市民意見の収集とその対応」(2.65)、「(47) 懇談会など市政への市民参加」(2.75)となっています。

グラフ 109



- 地区別でみると、全体と比較して数値が高い項目が多い地区は、古賀東、古賀西小学校区です。
- 「(44)集会場などコミュニティ施設の整備」について、小野小学校区(2.75)では数値が低く、一方、舞の里小学校区(3.20)では数値が高くなっています。また、「(46) 市民意見の収集とその対応」について小野、舞の里小学校区(それぞれ2.59、2.55)で数値が低い一方、古賀西小学校区(2.78)では数値が高くなっています。

表 9

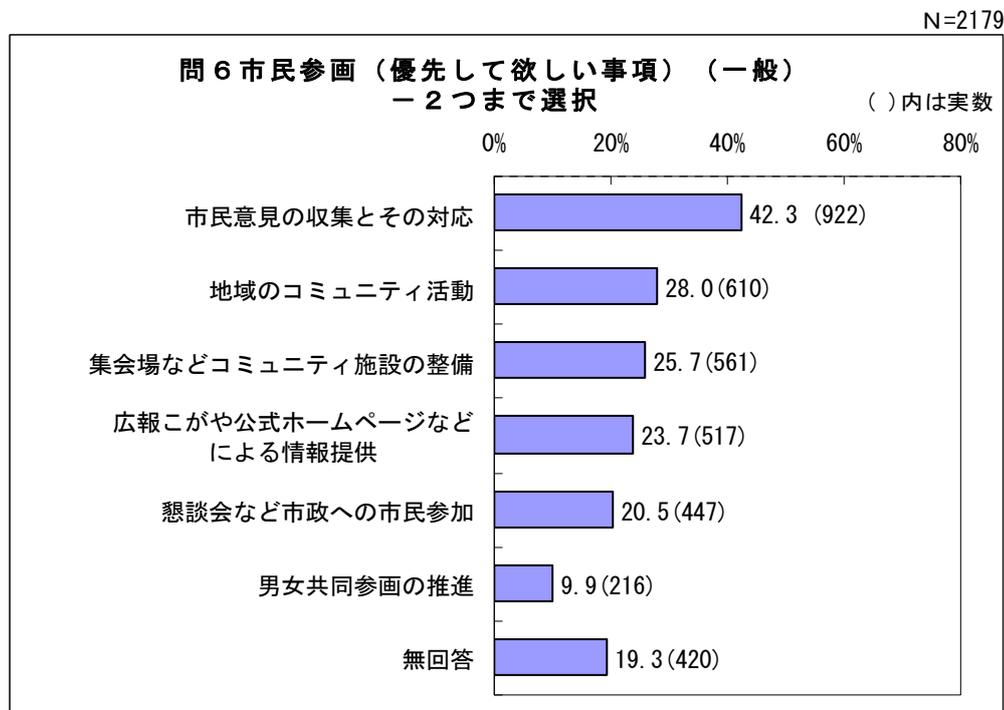
市民参画(指数) (一般：地区別)

	市全体	古賀東小	古賀西小	青柳小	小野小	花鶴小	千鳥小	舞の里小	花見小
(42) 男女共同参画の推進	2.96	3.00 0.04	2.99 0.03	2.92 ▲ 0.04	2.93 ▲ 0.03	2.90 ▲ 0.06	3.02 0.06	2.97 0.01	2.91 ▲ 0.05
(43) 地域のコミュニティ活動	2.99	3.02 0.03	3.02 0.03	2.98 ▲ 0.01	2.99 0.00	3.07 0.08	2.98 ▲ 0.01	2.95 ▲ 0.04	2.92 ▲ 0.07
(44) 集会場などコミュニティ施設の整備	2.95	2.93 ▲ 0.02	2.99 0.04	2.87 ▲ 0.08	2.75 ▲ 0.20	3.04 0.09	2.95 0.00	3.20 0.25	2.85 ▲ 0.10
(45) 広報こがや公式ホームページなどによる情報提供	3.20	3.22 0.02	3.28 0.08	3.26 0.06	3.11 ▲ 0.09	3.27 0.07	3.15 ▲ 0.05	3.16 ▲ 0.04	3.11 ▲ 0.09
(46) 市民意見の収集とその対応	2.65	2.69 0.04	2.78 0.13	2.69 0.04	2.59 ▲ 0.06	2.63 ▲ 0.02	2.65 0.00	2.55 ▲ 0.10	2.61 ▲ 0.04
(47) 懇談会など市政への市民参加	2.75	2.78 0.03	2.78 0.03	2.73 ▲ 0.02	2.79 0.04	2.74 ▲ 0.01	2.76 0.01	2.68 ▲ 0.07	2.76 0.01

## (2) 最も優先して欲しい事項

- 市民参画で最も優先して欲しい事項として、「市民意見の収集とその対応」(42.3%)の割合が最も高く、次いで「地域のコミュニティ活動」(28.0%)、「集会場などコミュニティ施設の整備」(25.7%)の順となっています。

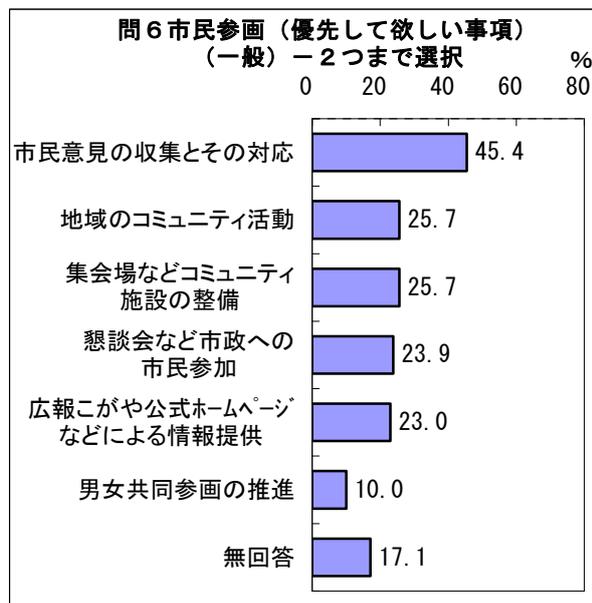
グラフ 110



- 地区別でみると、「市民意見の収集とその対応」の割合が最も高かったのは花鶴小学校区(50.5%)です。また、「地域のコミュニティ活動」の割合は古賀西、舞の里、花見小学校区で30%を超えています。

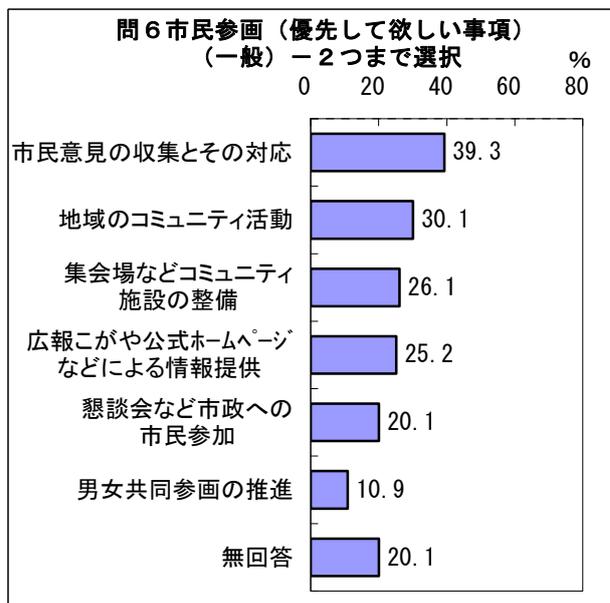
グラフ 111

古賀東小学校区(N=339)



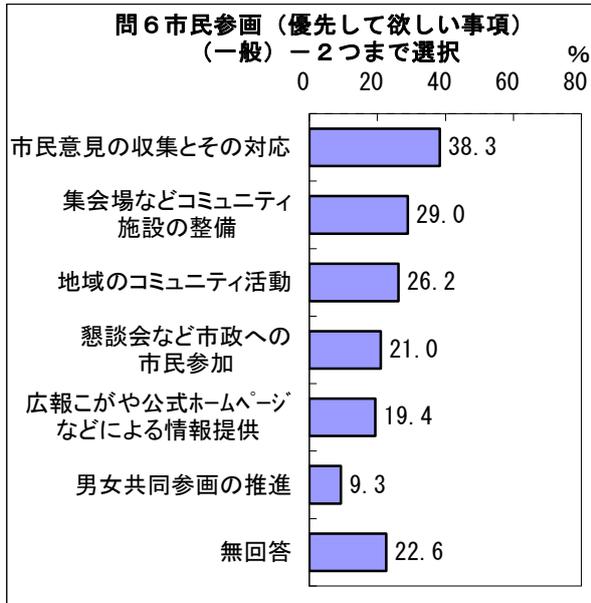
グラフ 112

古賀西小学校区(N=349)



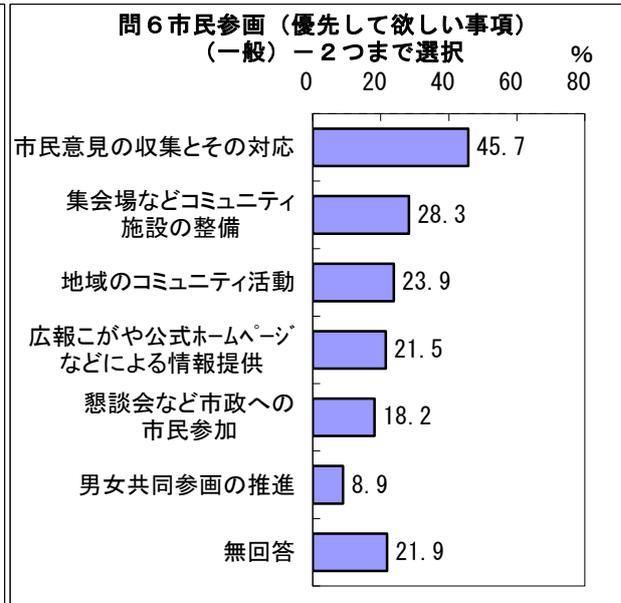
グラフ 113

青柳小学校区(N=248)



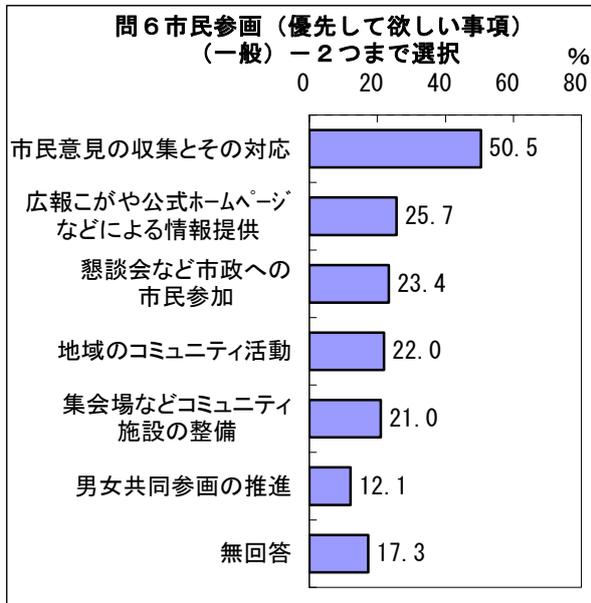
グラフ 114

小野小学校区(N=247)



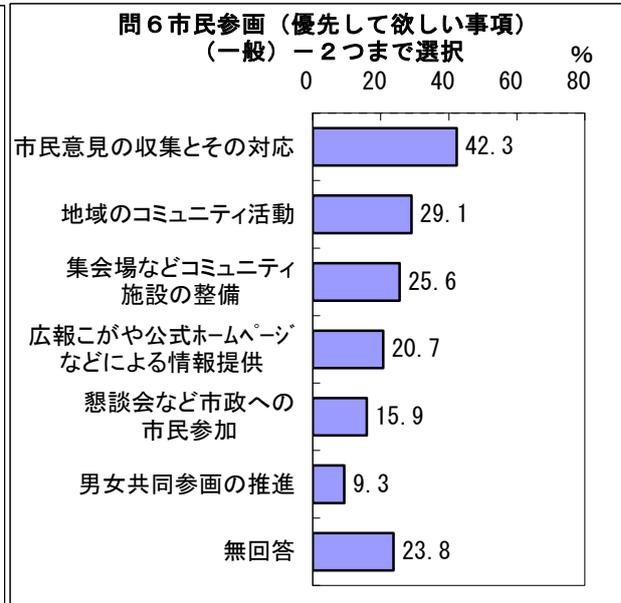
グラフ 115

花鶴小学校区(N=214)



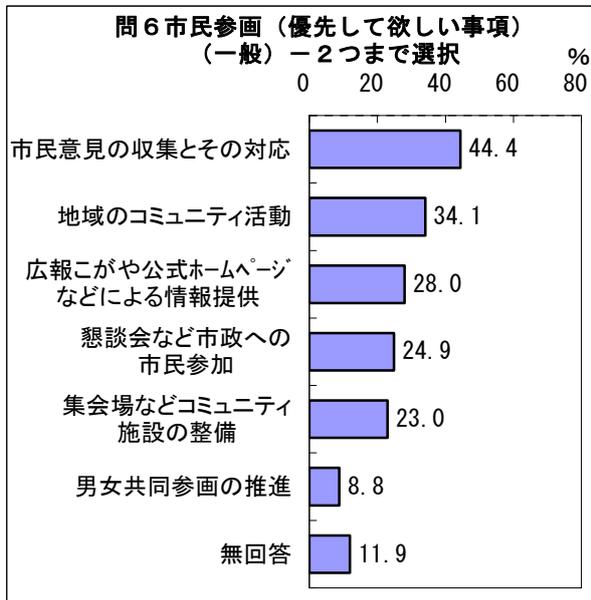
グラフ 116

千鳥小学校区(N=227)



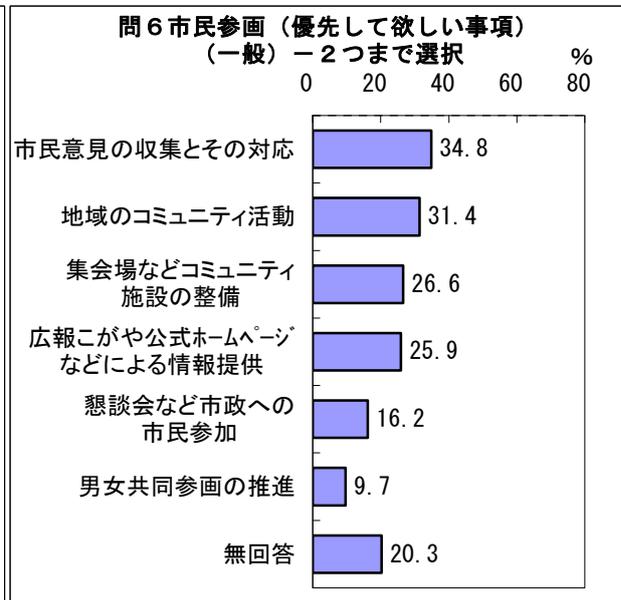
グラフ 117

舞の里小学校区(N=261)



グラフ 118

花見小学校区(N=290)



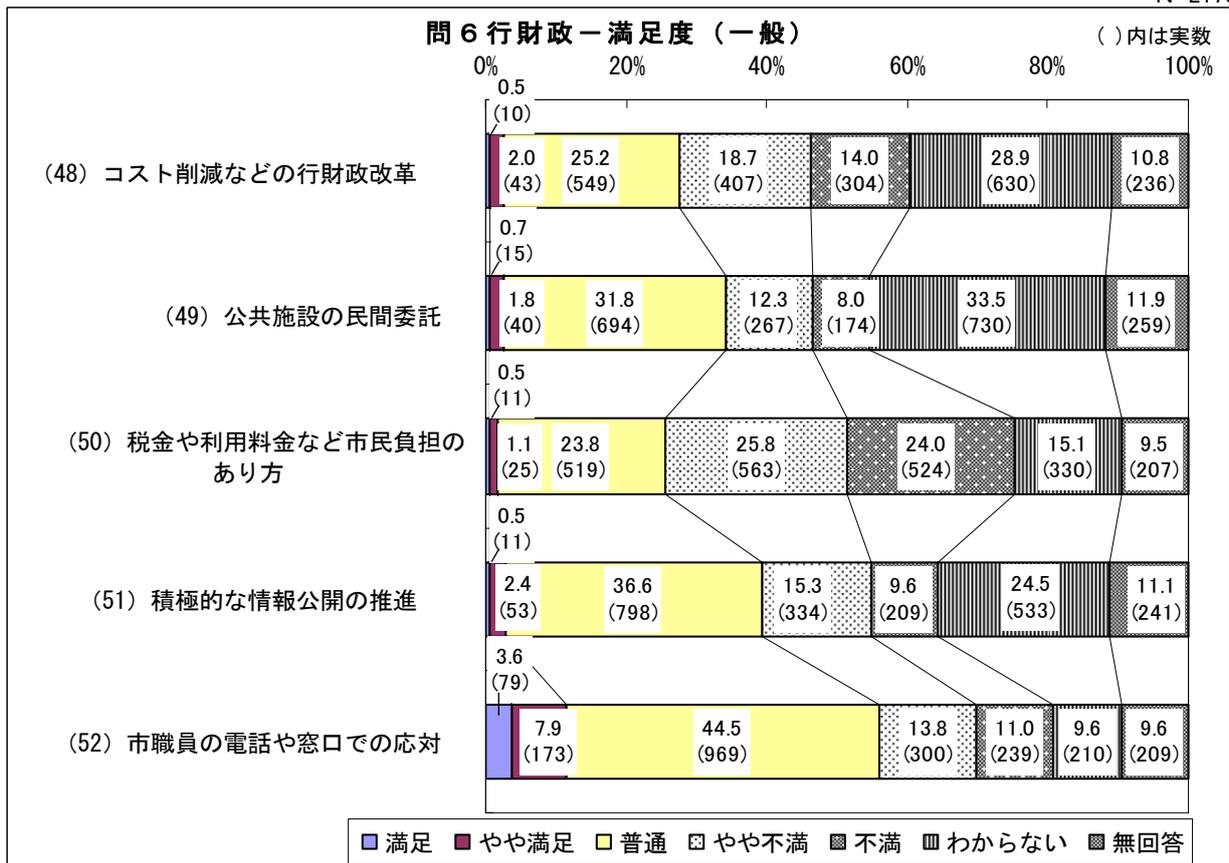
## 8 行財政

### (1) 満足度

- 行財政の満足度の指数をみると、『満足』の割合が高いのは「(52)市職員の電話や窓口での応対」(11.5%)となっています。
- 『不満』の割合が高いのは、「(50)税金や利用料金など市民負担のあり方」(49.8%)、「(48)コスト削減などの行財政改革」(32.7%)となっています。

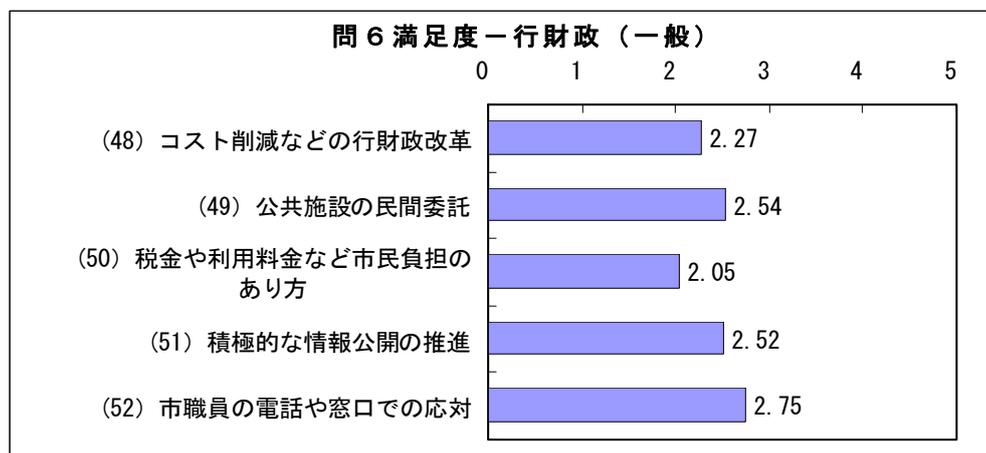
グラフ 119

N=2179



- 行財政の満足度の指数をみると、数値が高いのは「(52)市職員の電話や窓口での応対」(2.75)となっています。一方、数値が低いのは「(50)税金や利用料金など市民負担のあり方」(2.05)となっています。

グラフ 120



- 地区別でみると、舞の里小学校区では「(48) コスト削減などの行財政改革」(2.16)、「(51) 積極的な情報公開の推進」(2.39)、青柳小学校区では「(50) 税金や利用料金など市民負担のあり方」(1.94) について数値が低くなっています。

表 10

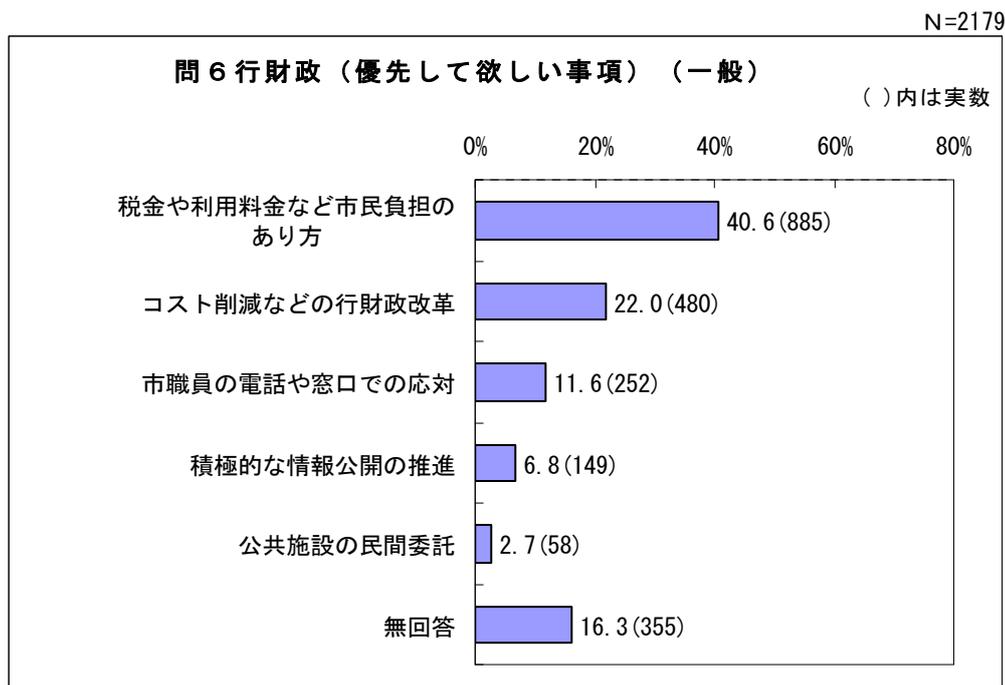
行財政(指数) (一般:地区別)

	市全体	古賀東小	古賀西小	青柳小	小野小	花鶴小	千鳥小	舞の里小	花見小
(48)コスト削減などの行財政改革	2.27	2.31 0.04	2.38 0.11	2.29 0.02	2.35 0.08	2.24 ▲ 0.03	2.20 ▲ 0.07	2.16 ▲ 0.11	2.27 0.00
(49)公共施設の民間委託	2.54	2.56 0.02	2.56 0.02	2.45 ▲ 0.09	2.61 0.07	2.53 ▲ 0.01	2.55 0.01	2.57 0.03	2.49 ▲ 0.05
(50)税金や利用料金など市民負担のあり方	2.05	2.08 0.03	2.08 0.03	1.94 ▲ 0.11	2.06 0.01	2.11 0.06	2.01 ▲ 0.04	2.04 ▲ 0.01	2.04 ▲ 0.01
(51)積極的な情報公開の推進	2.52	2.60 0.08	2.62 0.10	2.49 ▲ 0.03	2.50 ▲ 0.02	2.55 0.03	2.44 ▲ 0.08	2.39 ▲ 0.13	2.51 ▲ 0.01
(52)市職員の電話や窓口での対応	2.75	2.82 0.07	2.83 0.08	2.69 ▲ 0.06	2.76 0.01	2.85 0.10	2.63 ▲ 0.12	2.71 ▲ 0.04	2.66 ▲ 0.09

(2) 最も優先して欲しい事項

- 行財政で最も優先して欲しい事項として、「税金や利用料金など市民負担のあり方」(40.6%)の割合が最も高く、次いで「コスト削減などの行財政改革」(22.0%)、「市職員の電話や窓口での対応」(11.6%)の順となっています。

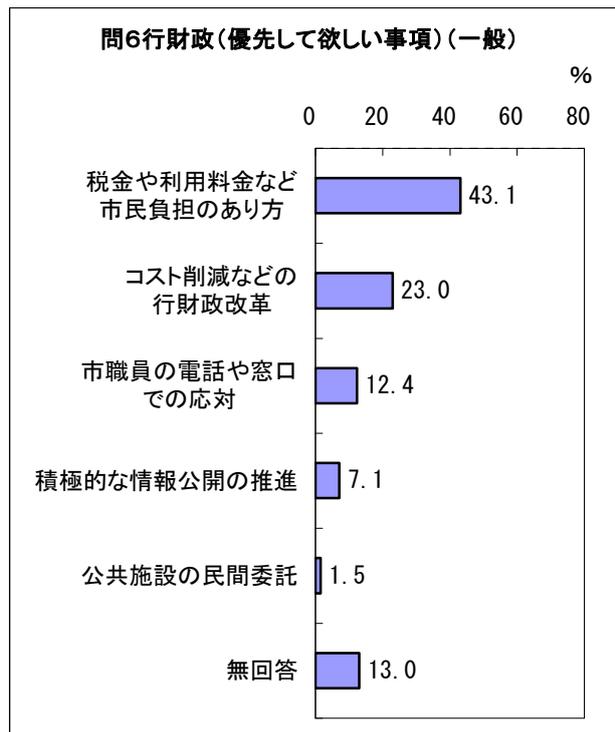
グラフ 121



- 地区別でも、全体の傾向と同様ですが、「税金や利用料金など市民負担のあり方」の割合が他の地区に比べて高いのは古賀東、花鶴小学校区 (それぞれ 43.1%、42.1%) となっています。また、「コスト削減などの行財政改革」の割合が他の地区に比べて高いのは古賀西、花鶴小学校区 (それぞれ 24.9%、24.8%) となっています。

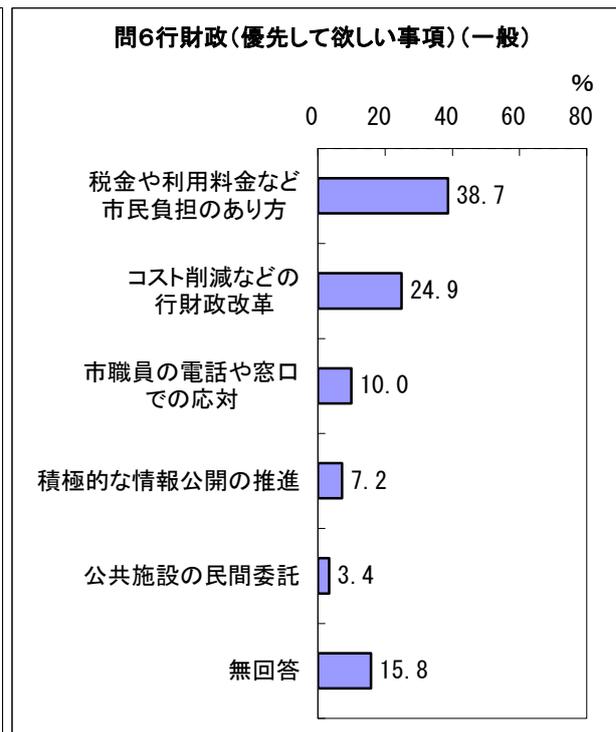
グラフ 122

古賀東小学校区(N=339)



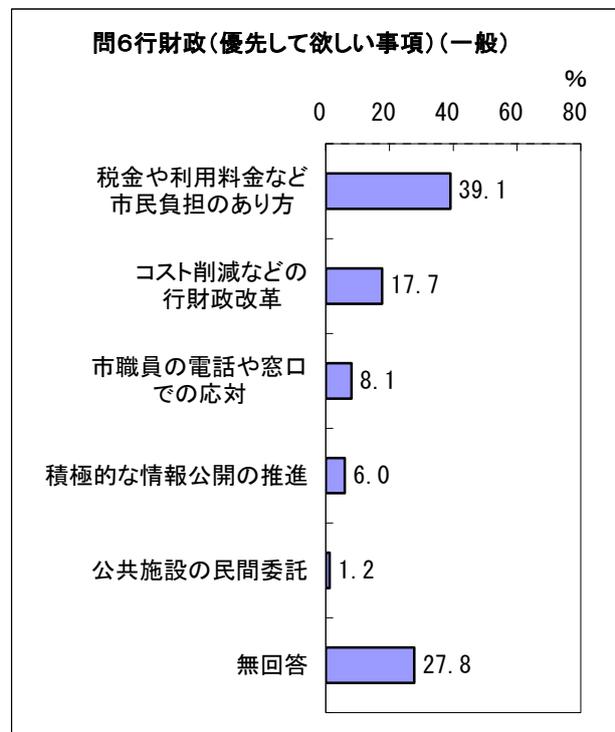
グラフ 123

古賀西小学校区(N=349)



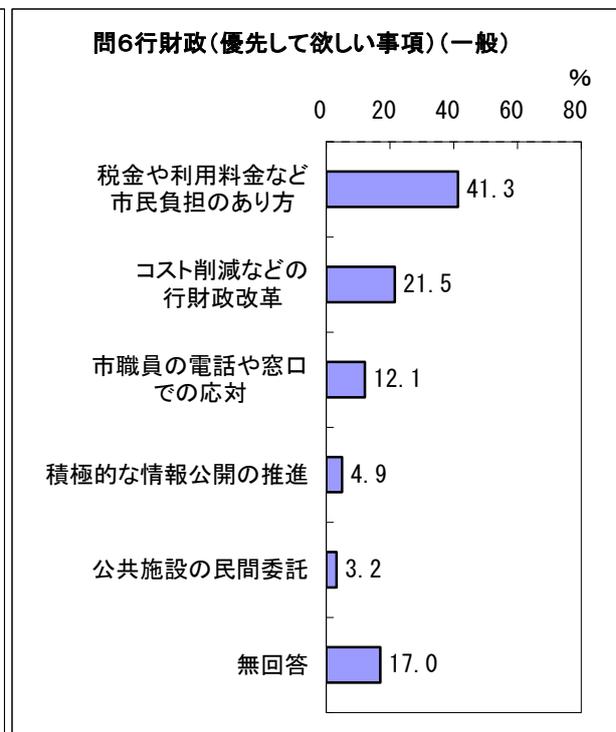
グラフ 124

青柳小学校区(N=248)



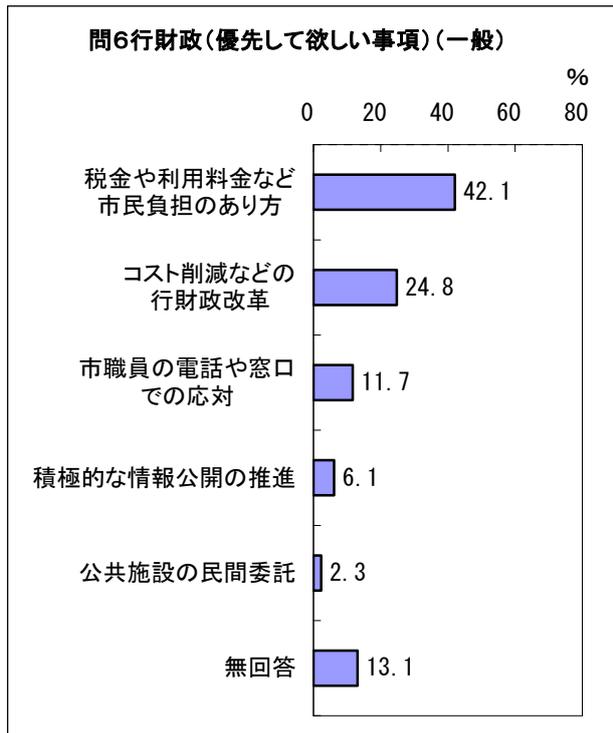
グラフ 125

小野小学校区(N=247)



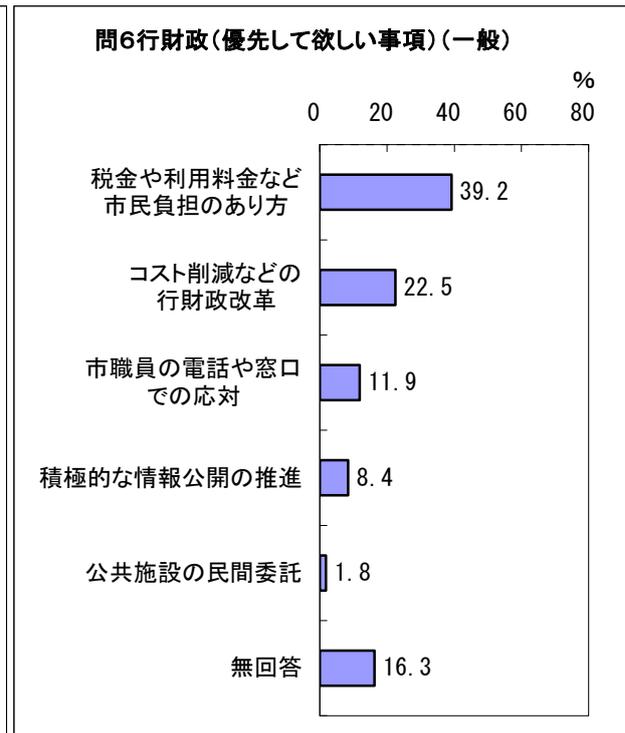
グラフ 126

花鶴小学校区(N=214)



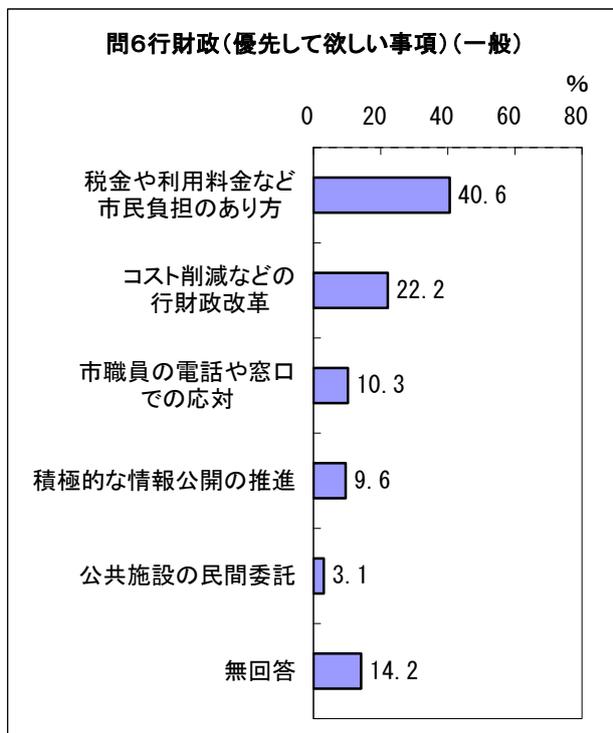
グラフ 127

千鳥小学校区(N=227)



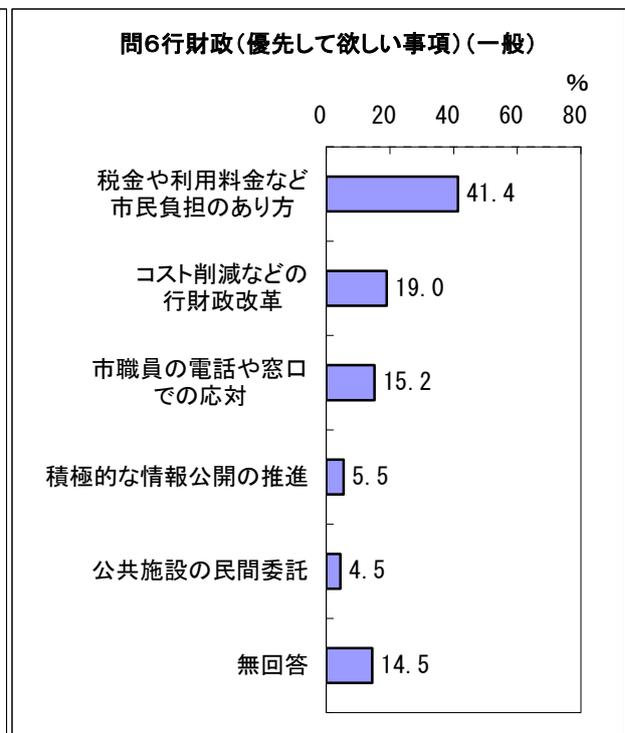
グラフ 128

舞の里小学校区(N=261)



グラフ 129

花見小学校区(N=290)



## V 力を入れて欲しいこと

### 1 【15～17 歳】 古賀市のまちづくりで力を入れて欲しいこと

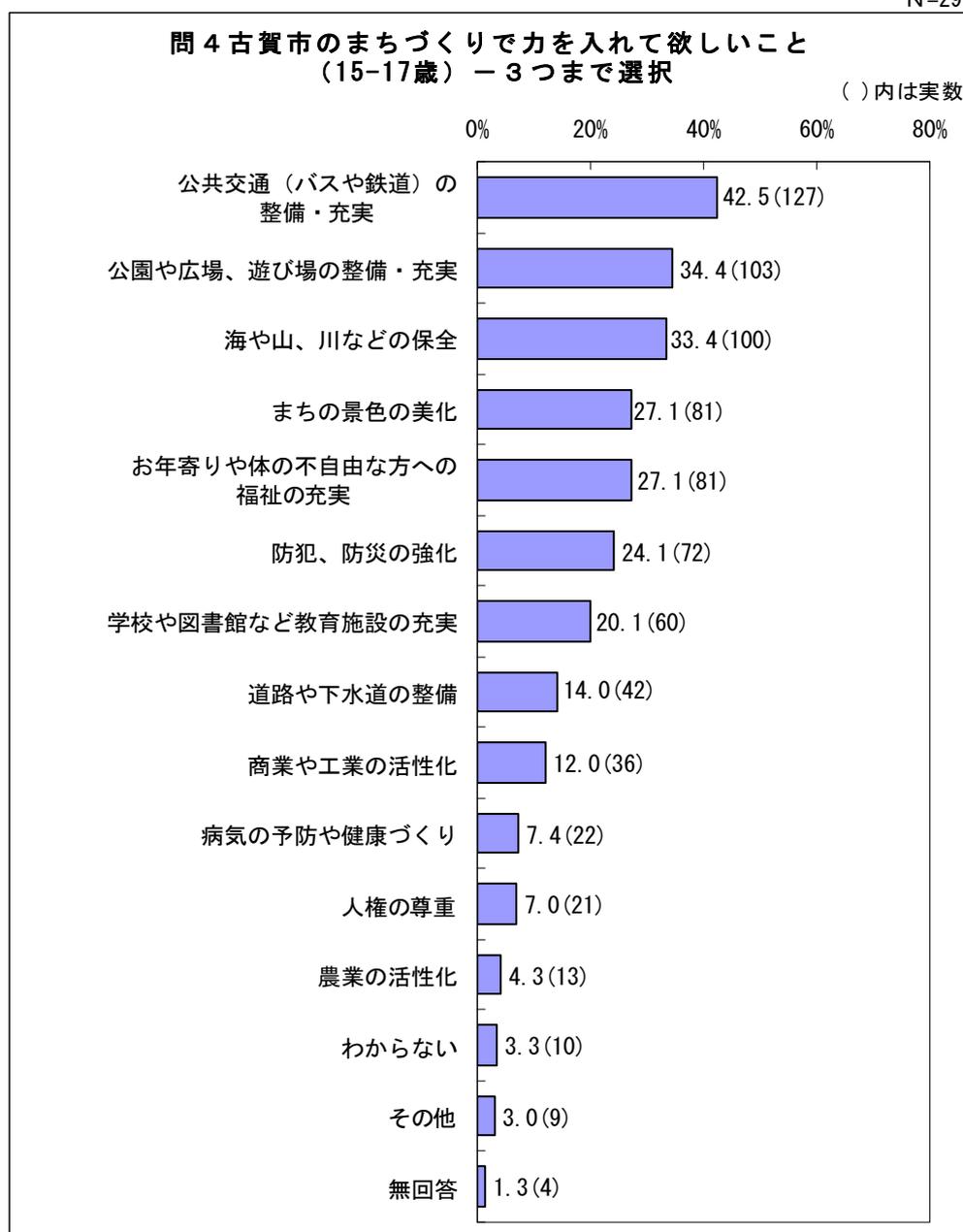
【15～17 歳】

問4 あなたは今後の古賀市のまちづくりにおいて、どのようなことに特に力を入れて欲しいと思いますか。次の中から3つまで選んで、番号に○印をつけて下さい。

- 「公共交通（バスや鉄道）の整備・充実」（42.5%）の割合が最も高く、次いで「公園や広場、遊び場の整備・充実」（34.4%）、「海や山、川などの保全」（33.4%）の割合が同程度で高くなっています。

グラフ 130

N=299



## VI 分野別の意識・ニーズについて

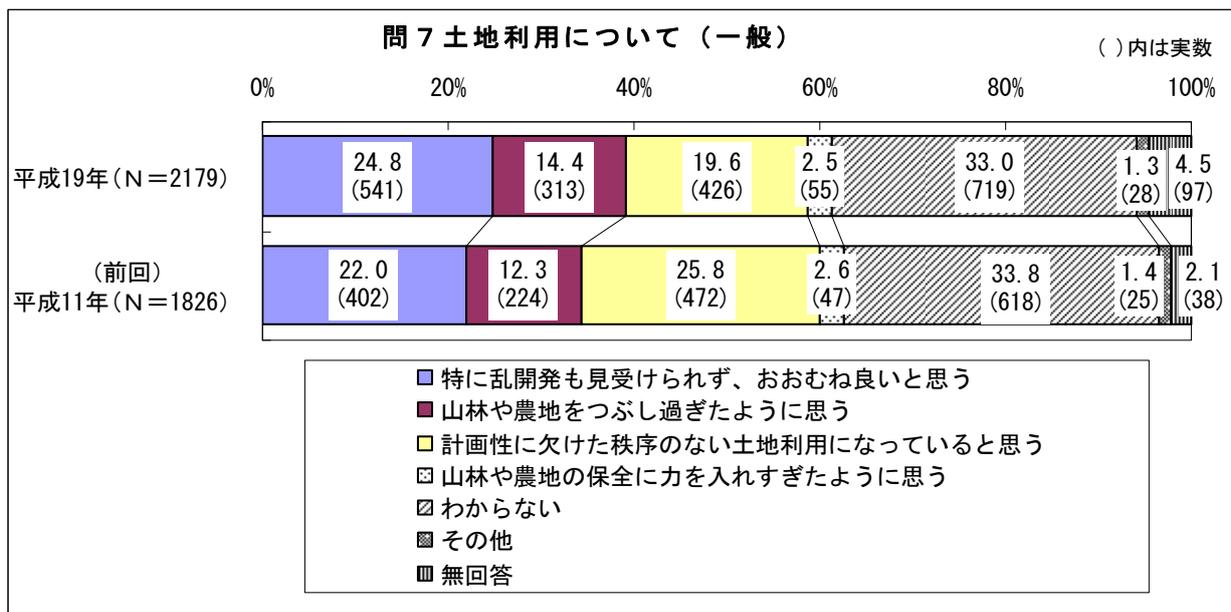
### 1 土地利用

#### (1) 土地利用の状況

問7 これまでの古賀市の土地利用について、あなたはどのようにお考えですか。次の中から1つだけ選んで、番号に○印をつけて下さい。

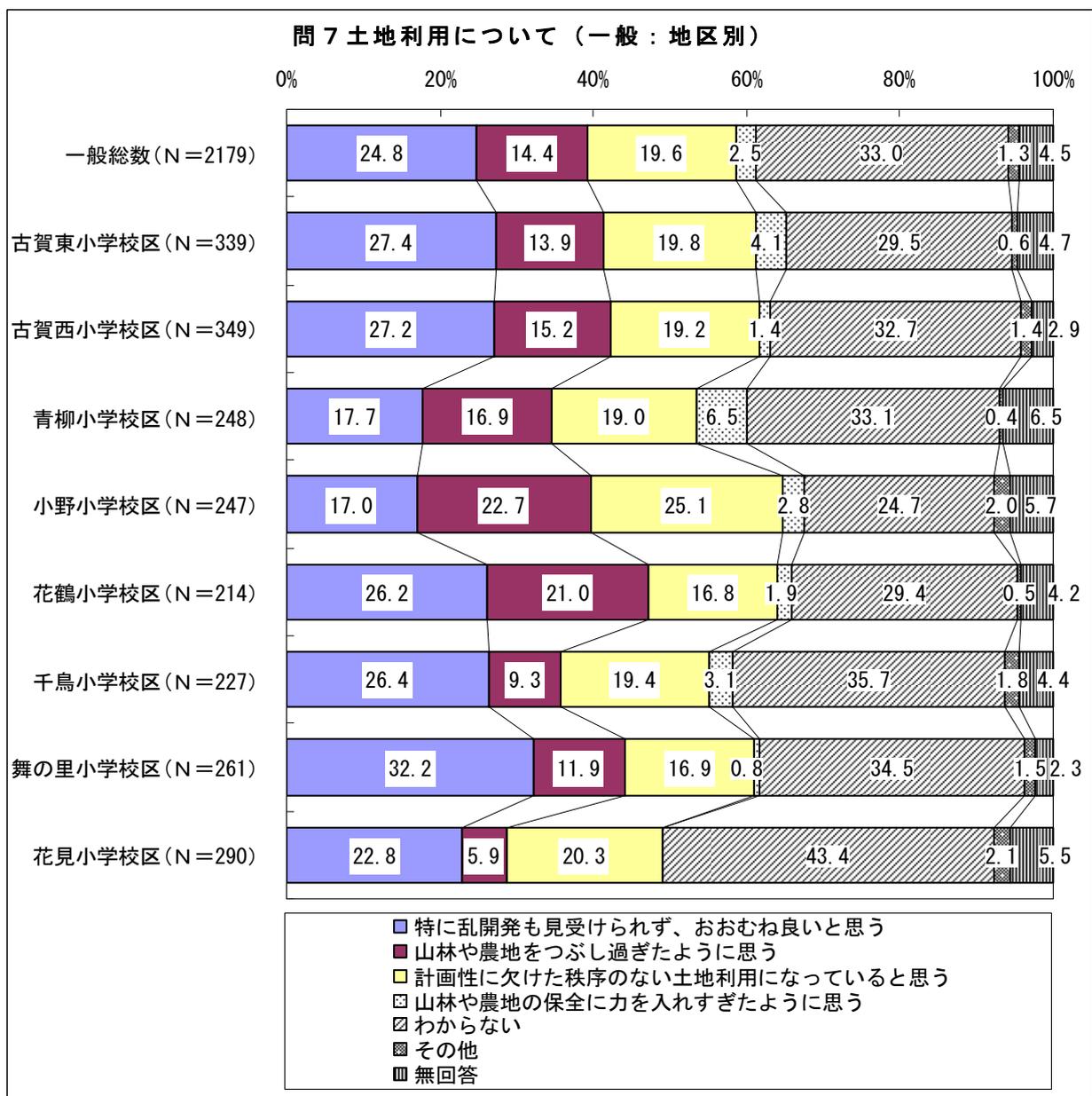
- 「特に乱開発も見受けられず、おおむね良いと思う」(24.8%)とする評価の割合が高い一方、「計画性に欠けた秩序のない土地利用になっていると思う」(19.6%)、「山林や農地をつぶし過ぎたように思う」(14.4%)という評価もあります。
- 平成11年と比較すると、「特に乱開発も見受けられず、おおむね良いと思う」の割合(22.0%→24.8%)が増加するとともに、「計画性に欠けた秩序のない土地利用になっていると思う」の割合(25.8%→19.6%)が減少しています。これは鹿部土地区画整理事業(美明地区)、第5工業団地など計画的な開発が行われたことが影響していると考えられます。

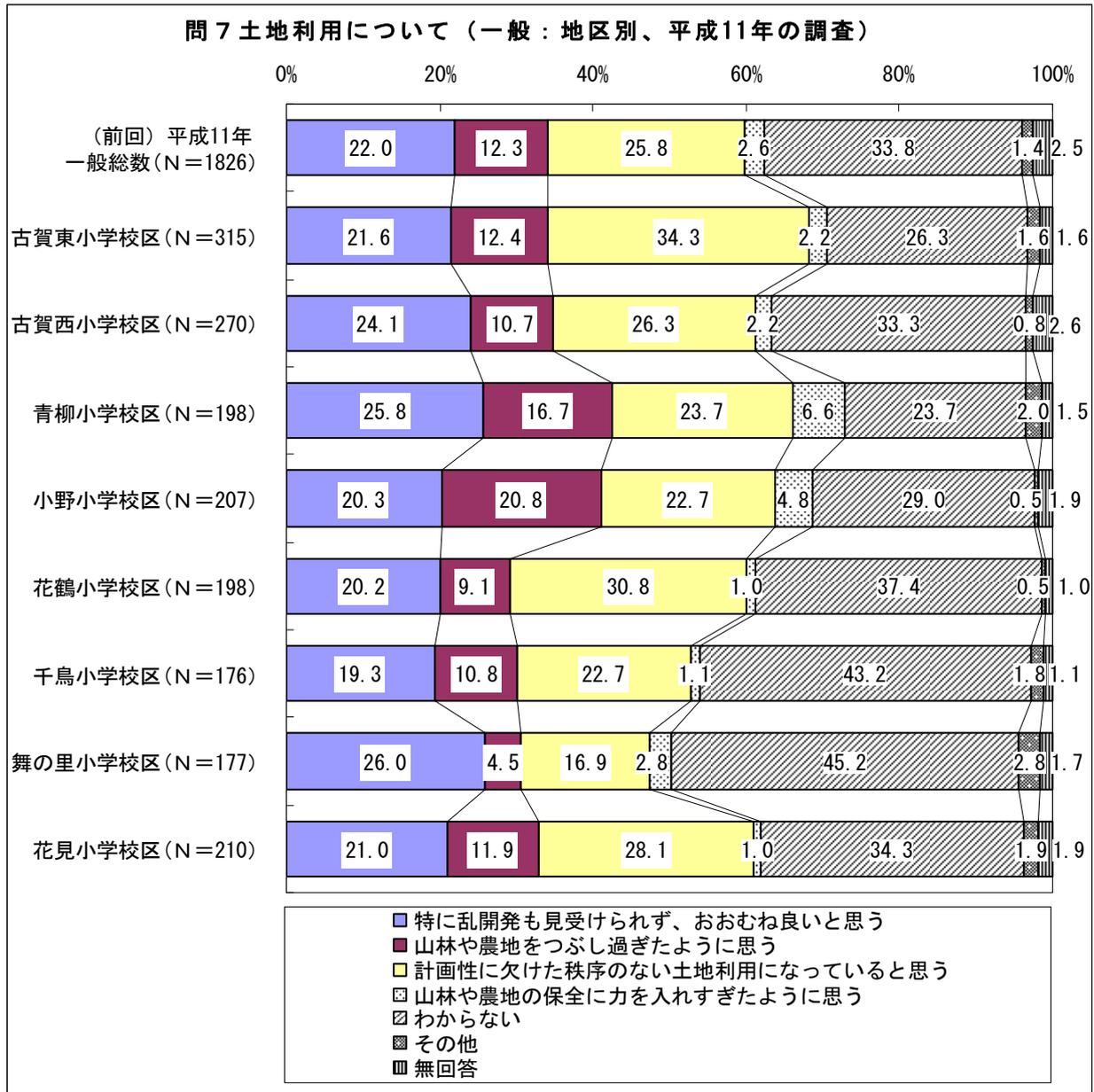
グラフ131



- 地区別でみると、青柳、小野小学校区では「特に乱開発も見受けられず、おおむね良いと思う」（それぞれ17.7%、17.0%）の割合が低くなっています。また、都市計画区域外である小野小学校区では「山林や農地をつぶし過ぎたように思う」（22.7%）の割合が高くなっています。
- 平成11年と比較すると、青柳、小野小学校区を除いたすべての地区で「特に乱開発も見受けられず、おおむね良いと思う」の割合が増加しています。一方、小野小学校区では「計画性に欠けた秩序のない土地利用になっていると思う」（22.7%→25.1%）の割合が増加していることから、都市計画区域外における無秩序な開発に対して懸念する意向がうかがえます。また、舞の里小学校区では、「特に乱開発も見受けられず、おおむね良いと思う」（26.0%→32.2%）の割合が増加しています。

グラフ132





(2) 「山林や農地をつぶし過ぎた」「計画性に欠けた秩序のない土地利用」と答えた方がイメージする状況

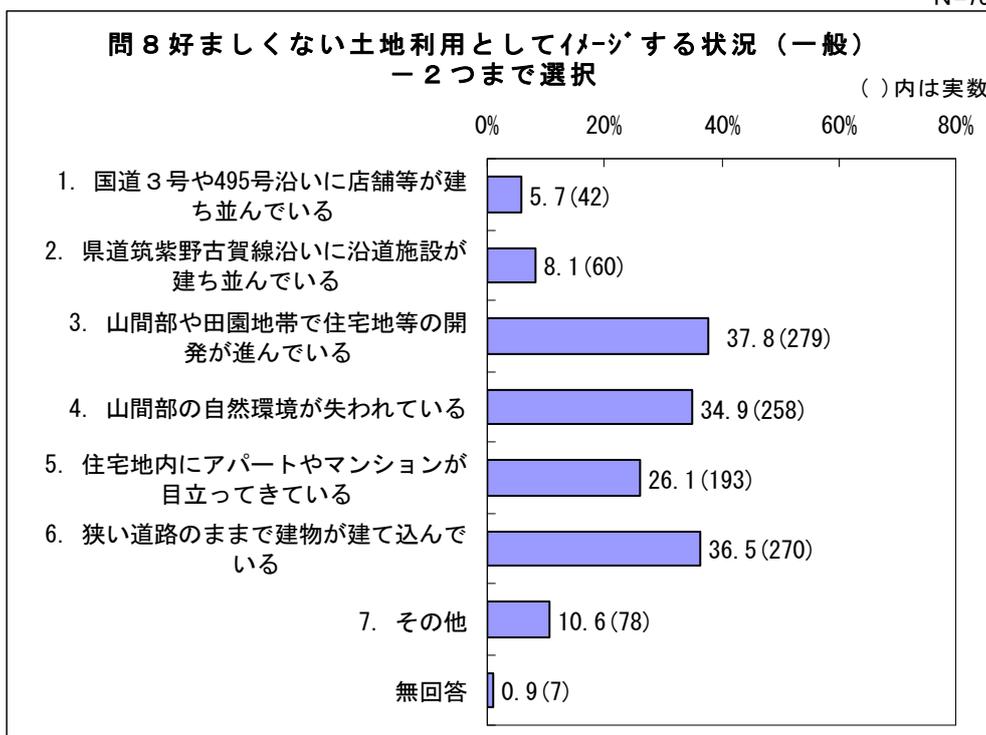
※問7で「2」または「3」に○をつけた方にお聞きします。

問8 それはどのような状況をイメージされていますか。次の中から2つまで選んで、番号に○印をつけて下さい。

- 「山間部や田園地帯で住宅地等の開発が進んでいる」(37.8%)の割合が最も高く、次いで「狭い道路のままで建物が建て込んでいる」(36.5%)、「山間部の自然環境が失われている」(34.9%)の順となっています。

グラフ134

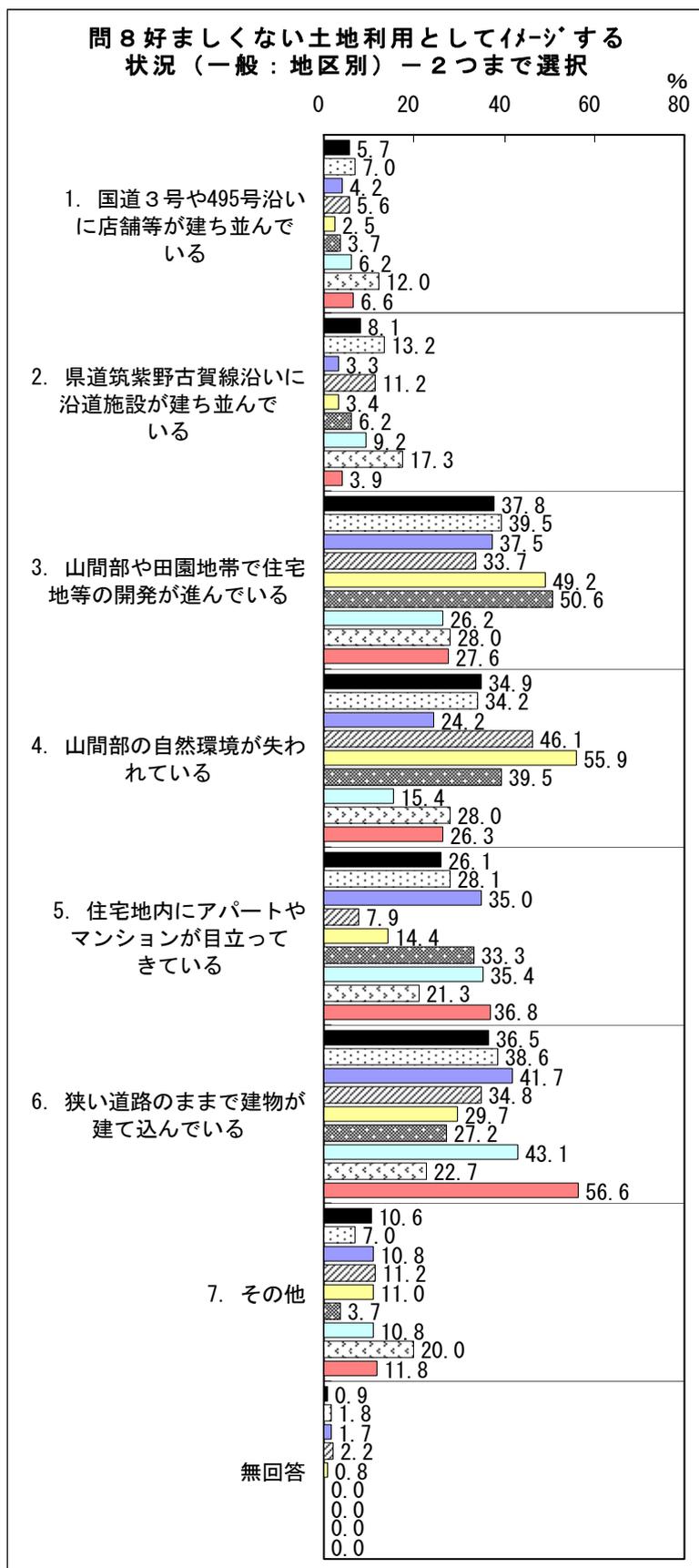
N=739



※N（全体総数）は、「VI-1(1)の土地利用の状況」の設問で「山林や農地をつぶし過ぎたように思う」、「計画性に欠けた秩序のない土地利用になっていると思う」と答えた人を合わせた数である。

グラフ 135

- 地区別でみると、「山間部や田園地帯で住宅地等の開発が進んでいる」の割合が高いのは、小野、花鶴小学校区（それぞれ 49.2%、50.6%）となっています。
- また、「山間部の自然環境が失われている」の割合が高いのは、青柳、小野小学校区（それぞれ 46.1%、55.9%）となっています。
- 「狭い道路のままで建物が建て込んでいる」の割合が高いのは、古賀西、千鳥、花見小学校区（それぞれ 41.7%、43.1%、56.6%）となっています。



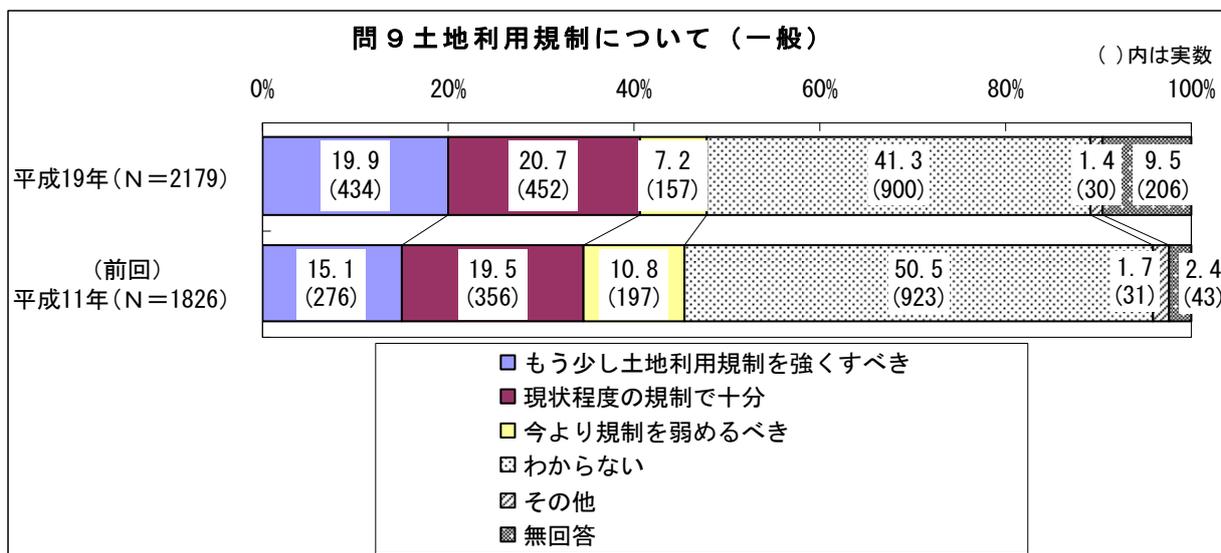
- 総数 (N = 739)
- ▨ 古賀東小学校区 (N = 114)
- 古賀西小学校区 (N = 120)
- ▨ 青柳小学校区 (N = 89)
- 小野小学校区 (N = 118)
- ▨ 花鶴小学校区 (N = 81)
- 千鳥小学校区 (N = 65)
- ▨ 舞の里小学校区 (N = 75)
- 花見小学校区 (N = 76)

### (3) 土地利用規制

問9 土地利用については、都市計画法などの法律で規制されていますが、本市の土地利用規制について、あなたはどのようにお考えですか。次の中から1つだけ選んで、番号に○印をつけて下さい。

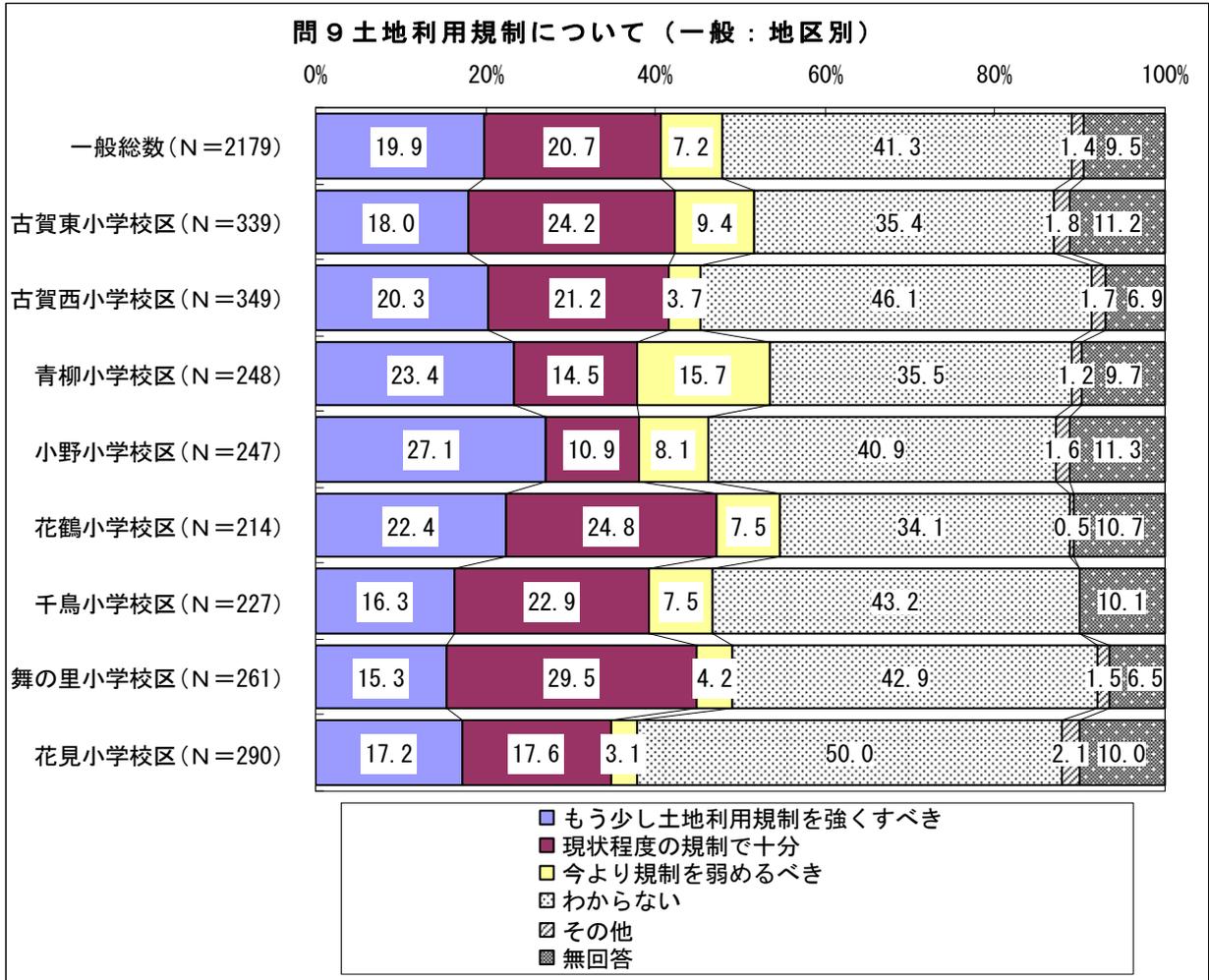
- 「もう少し土地利用規制を強くすべき」(19.9%)と「現状程度の規制で十分」(20.7%)は合わせて40.6%となっており、何らかの規制が必要であるとする割合が高くなっています。
- 平成11年と比較すると「今より規制を弱めるべき」(10.8%→7.2%)の割合が減少している一方で、「もう少し土地利用規制を強くすべき」(15.1%→19.9%)の割合が増加しており、全体としては土地利用規制については強化の方向への意向が高まっていると考えられます。

グラフ 136

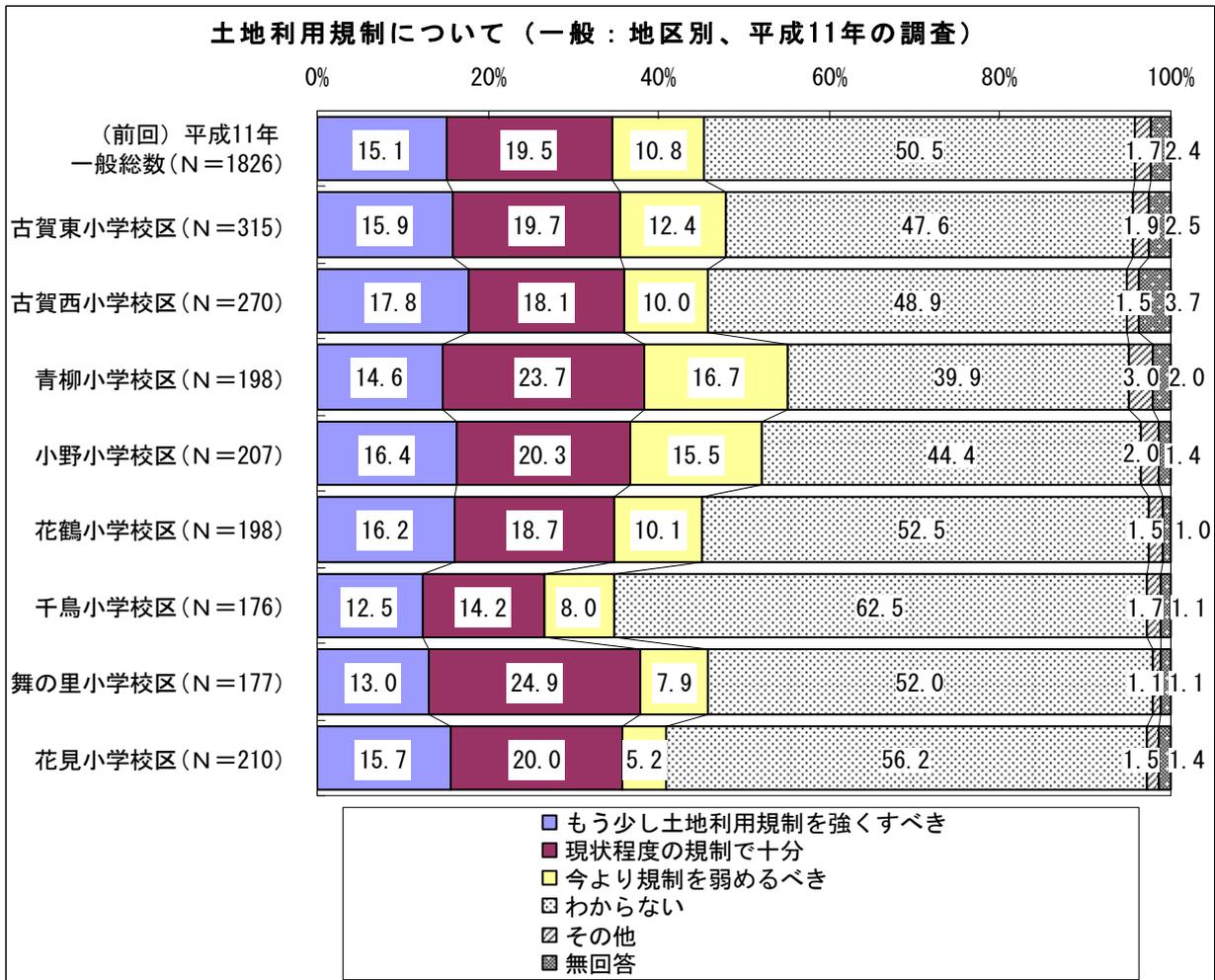


- 地区別でみると、都市計画区域外の小野小学校区では、「もう少し土地利用規制を強くすべき」(27.1%)の割合が最も高くなっています。
- 都市計画区域外の地域を一部含む青柳小学校区では「もう少し土地利用規制を強くすべき」(23.4%)の割合が高い一方、「今より規制を弱めるべき」(15.7%)の割合も高く、他の地区に比べて開発意向が高い地区であることがうかがえます。
- 平成11年と比較すると、全ての地区で「もう少し土地利用規制を強くすべき」の割合が増加していますが、青柳、小野小学校区ではその割合(それぞれ14.6%→23.4%、16.4%→27.1%)が大きく増加しています。

グラフ 137

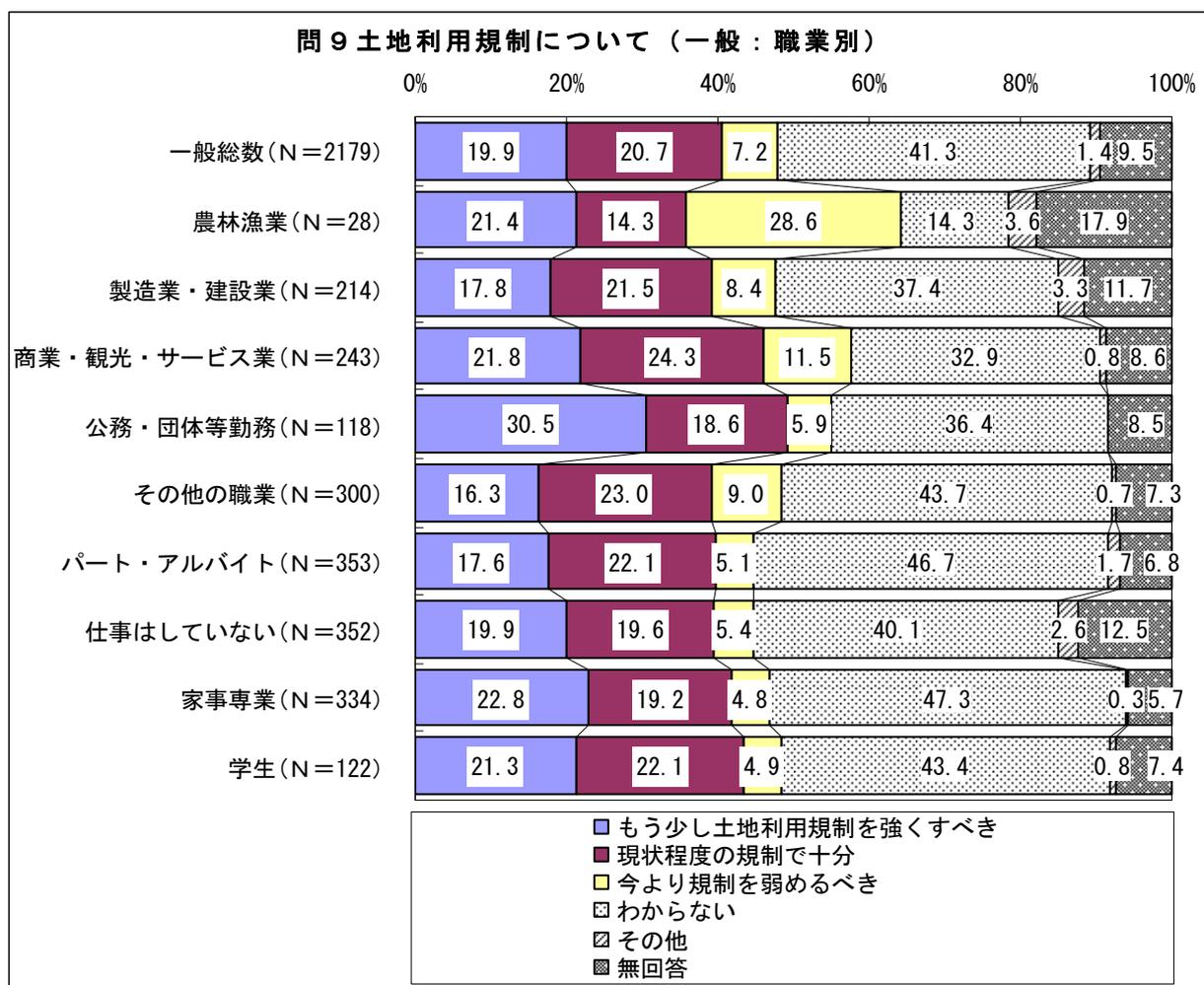


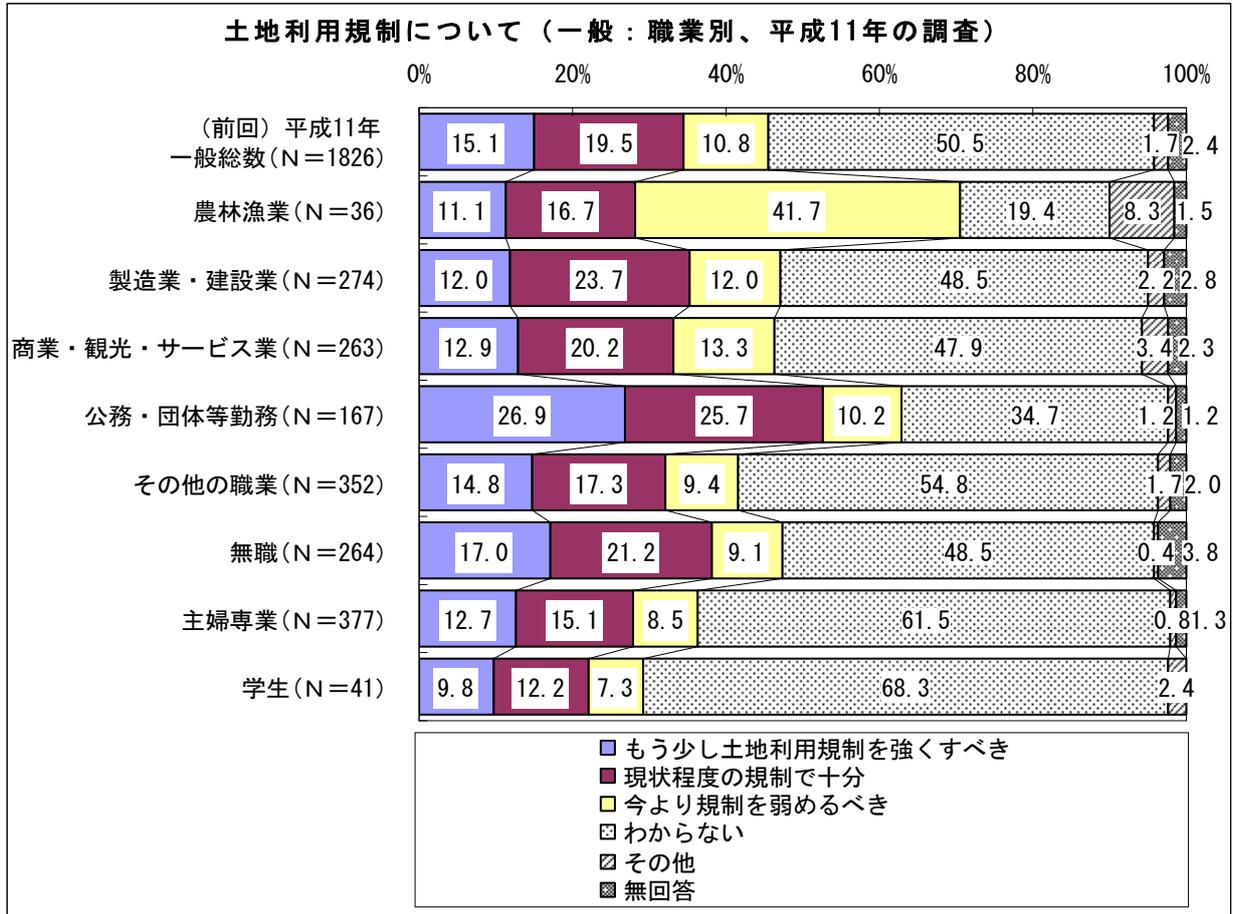
グラフ 138



- 職業別でみると、「農林漁業」ではアンケート回答者に占める農林漁業従事者の割合が少なく参考程度になりますが、「もう少し土地利用規制を強くすべき」(21.4%)、「今より規制を弱めるべき」(28.6%)と意見がわかれています。また、同様に参考程度ですが、「公務・団体等勤務」では「もう少し土地利用規制を強くすべき」(30.5%)の割合が高くなっています。
- 平成11年と比較すると、「農林漁業」では「今より規制を弱めるべき」(41.7%→28.6%)の割合が減少し、「もう少し土地利用規制を強くすべき」(11.1%→21.4%)の割合が増加していることから“もう少し土地利用規制を強くし、土地を保全していきたい”という意向が高くなっているとも考えられます。

グラフ 139





(4) 計画的に進める土地利用について

【一般】

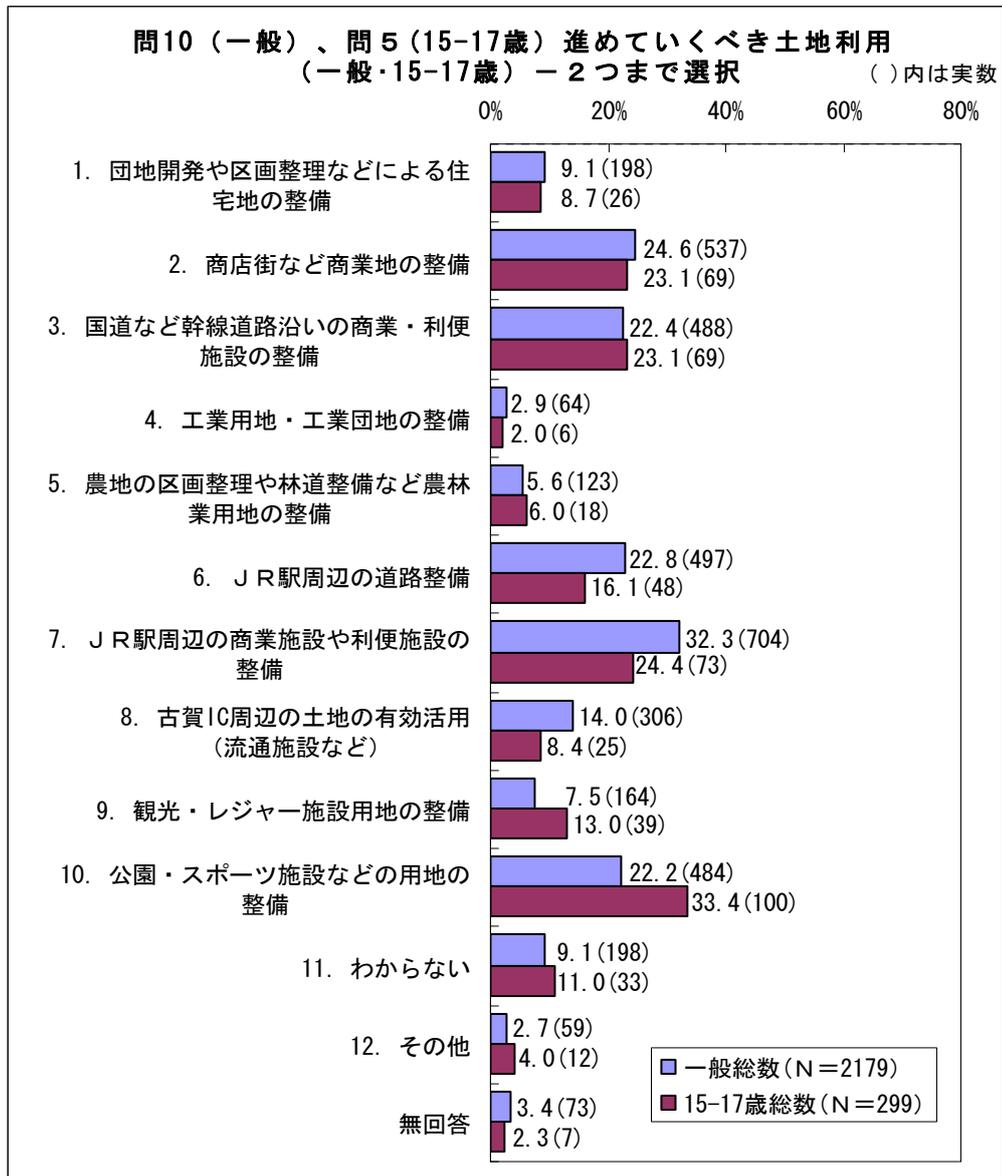
問10 古賀市発展のために、今後、計画的に進めていくべき土地利用は、何だとお考えですか。次の中から2つまで選んで、番号に○印をつけて下さい。

【15～17歳】

問5 あなたは今後古賀市が発展していくために、計画的に進めていくべき土地利用は、何だと思いませんか。次の中から2つまで選んで、番号に○印をつけて下さい。

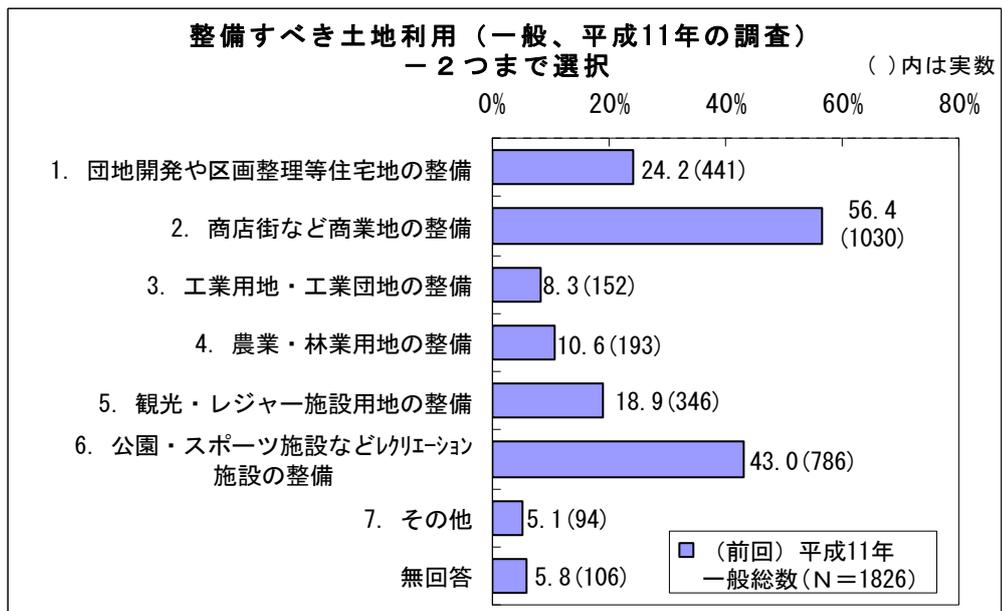
- 一般では、「JR駅周辺の商業施設や利便施設の整備」(32.3%)の割合が最も高く、次いで「商店街など商業地の整備」(24.6%)、「JR駅周辺の道路整備」(22.8%)、「国道など幹線道路沿いの商業・利便施設の整備」(22.4%)、「公園・スポーツ施設などの用地の整備」(22.2%)の順となっています。
- 15～17歳では、「公園・スポーツ施設などの用地の整備」(33.4%)の割合が最も高く、次いで「JR駅周辺の商業施設や利便施設の整備」(24.4%)、「国道など幹線道路沿いの商業・利便施設の整備」、「商店街など商業地の整備」(ともに23.1%)の順となっています。一般と15～17歳で順位は異なりますが、ともに“商業施設や利便施設の整備”、“公園・スポーツ施設の整備”があがっています。
- 参考に平成11年の類似設問をみると、「商店街など商業地の整備」、「公園・スポーツ施設などレクリエーション施設の整備」の割合が高く、今回の調査の傾向と変わりません。

グラフ 141

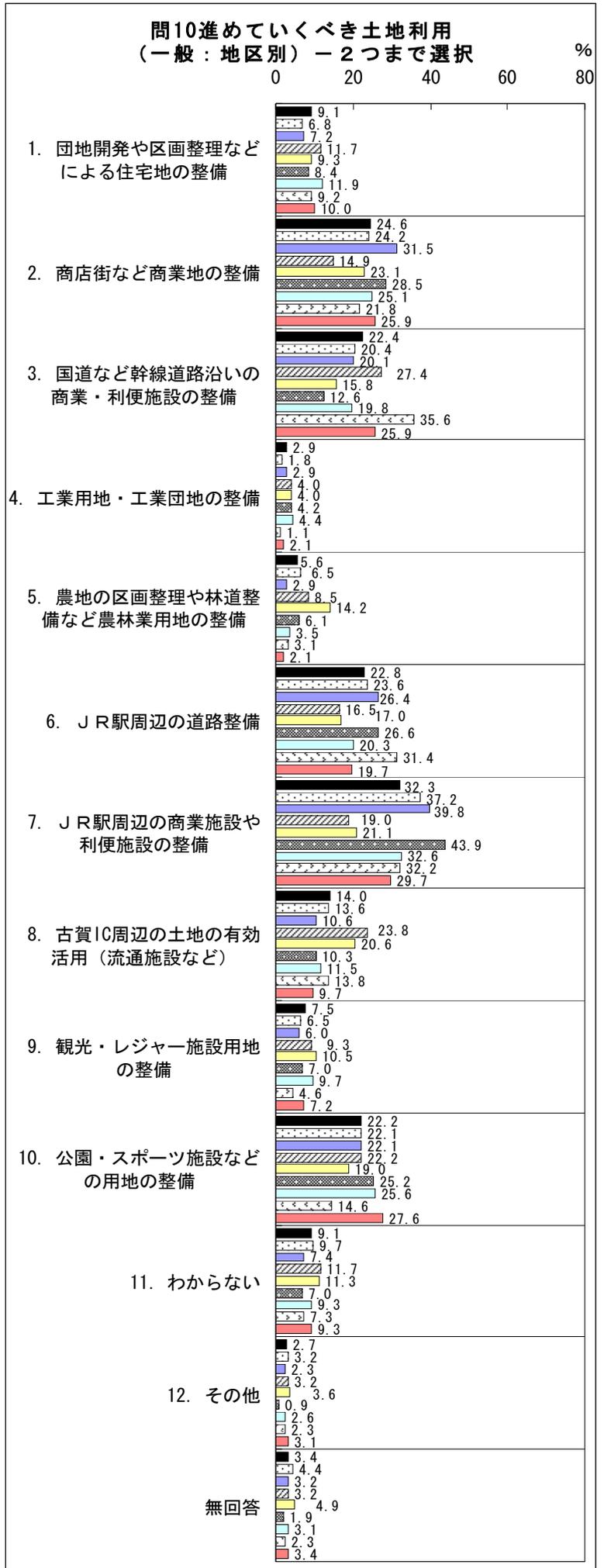


グラフ 142

【参考】



- 地区別でみると、古賀東、古賀西、花鶴小学校区では「JR駅周辺の商業施設や利便施設の整備」（それぞれ37.2%、39.8%、43.9%）、舞の里小学校区では「国道など幹線道路沿いの商業・利便施設の整備」（35.6%）の割合が最も高くなっています。
- また、「商店街など商業地の整備」の割合では古賀西、花鶴小学校区（それぞれ31.5%、28.5%）、「古賀インターチェンジ周辺の土地の有効活用（流通施設など）」の割合では青柳小学校区（23.8%）、「農地の区画整理や林道整備など農林業用地の整備」の割合では小野小学校区（14.2%）が他の地区に比べて高いという特徴が見られます。

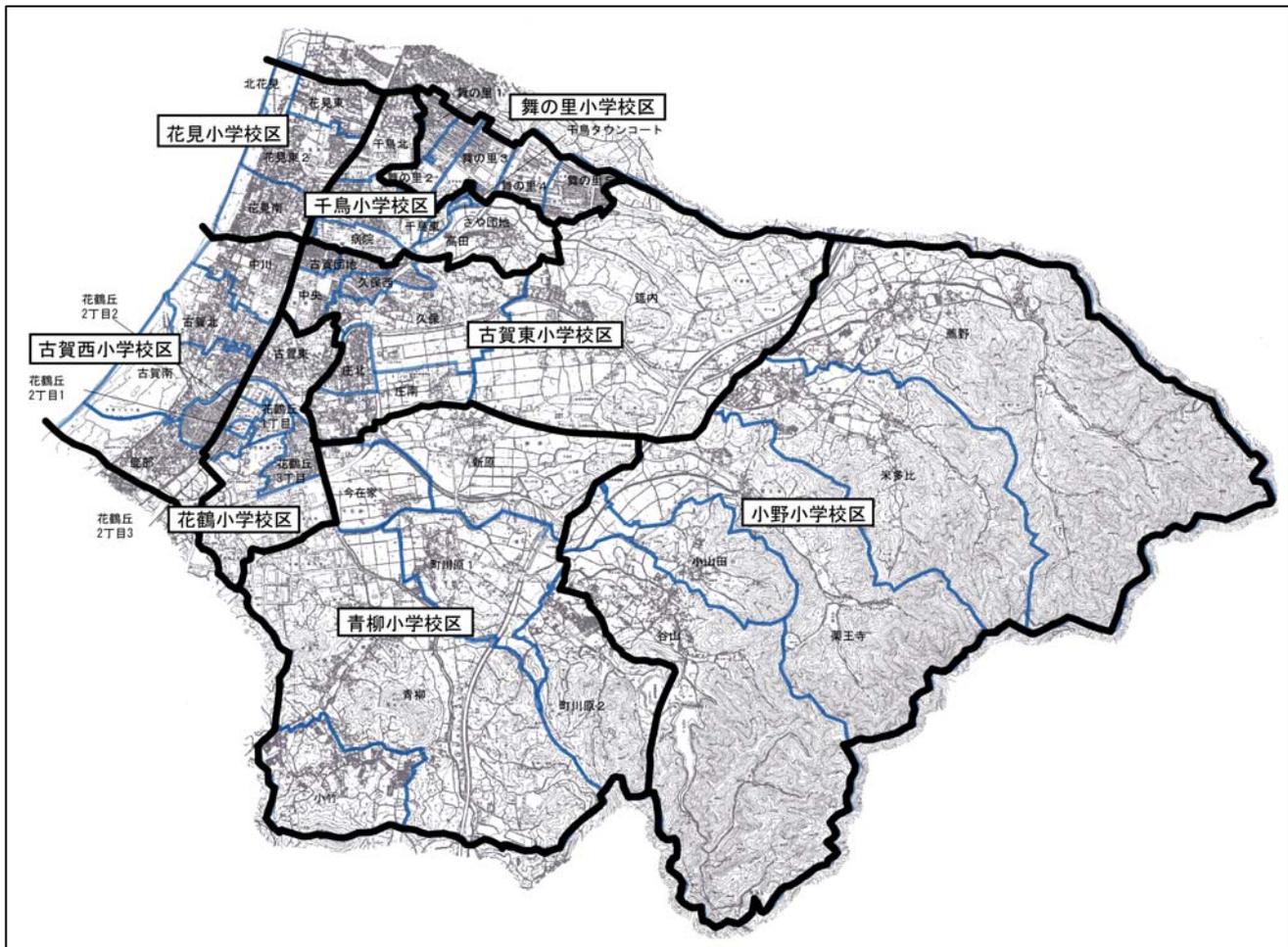


(5) 住んでいる地域（小学校区程度）に望むイメージ

問 11 将来、あなたが住んでいる地域（小学校区程度）がどのようなイメージの地域になることを望みますか。次の中から2つまで選んで、番号に○印をつけて下さい。

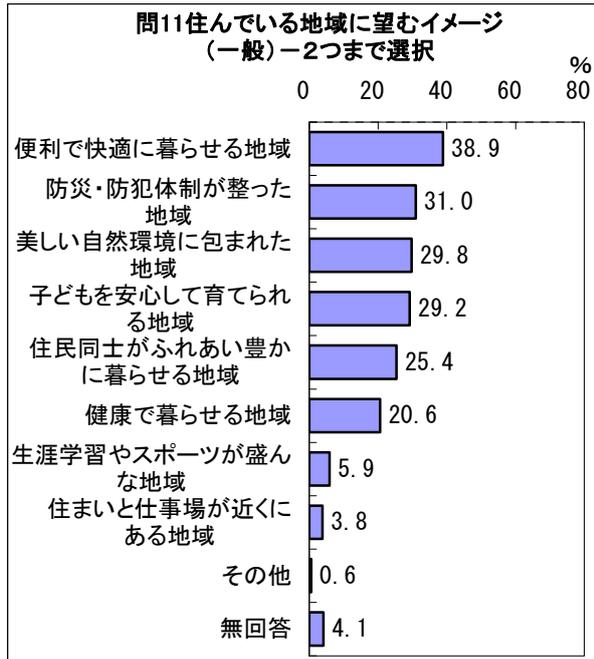
- 住んでいる地域に望むイメージとして、小野、千鳥小学校区以外の全ての地区で「便利で快適に暮らせる地域」が最も上位にあがっています。なお、小野小学校区では「美しい自然環境に包まれた地域」(49.8%)、千鳥小学校区では「子どもを安心して育てられる地域」(36.6%) が最も上位にあがっています。
- 「子どもが安心して育てられる地域」の割合は、どの地区も3割前後となっていますが、千鳥小学校区で割合が高いのは、18歳未満の子どもがいる核家族の世帯が多いことが要因と考えられます。【P7 参照】
- 「防災・防犯体制が整った地域」の割合は、青柳、小野、古賀西小学校区を除いた地区で約3割と高くなっています。

【参考】 小学校区区域図



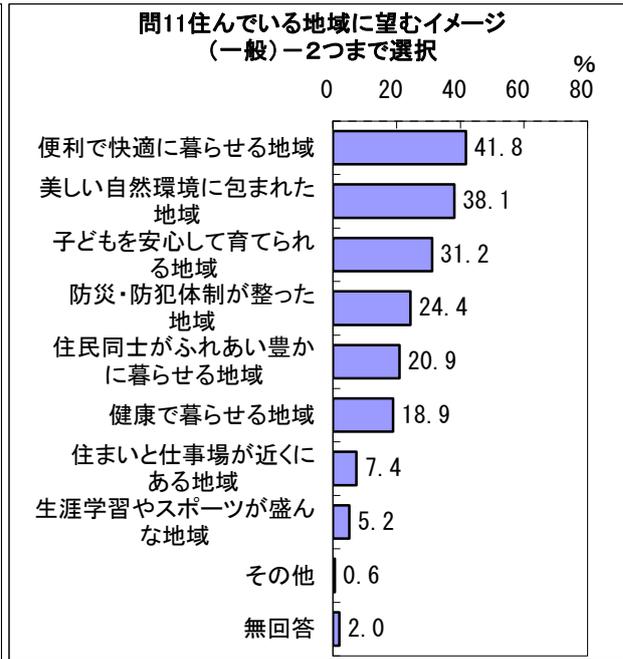
グラフ 144

古賀東小学校区(N=339)



グラフ 145

古賀西小学校区(N=349)



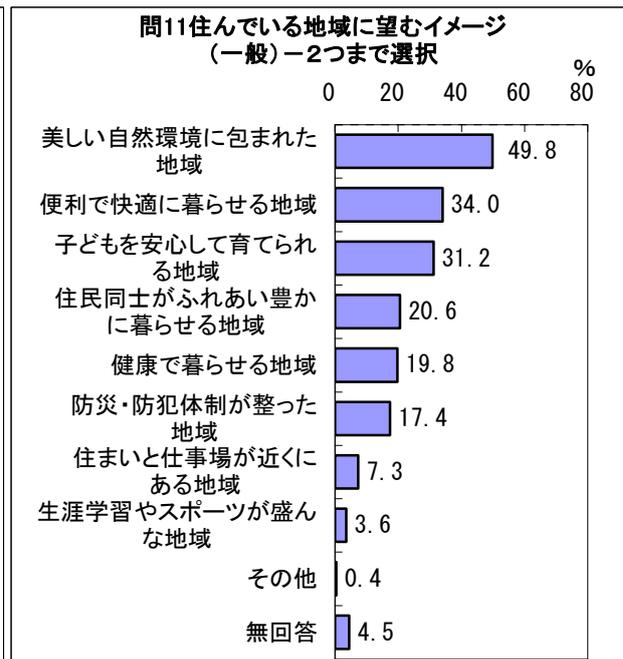
グラフ 146

青柳小学校区(N=248)



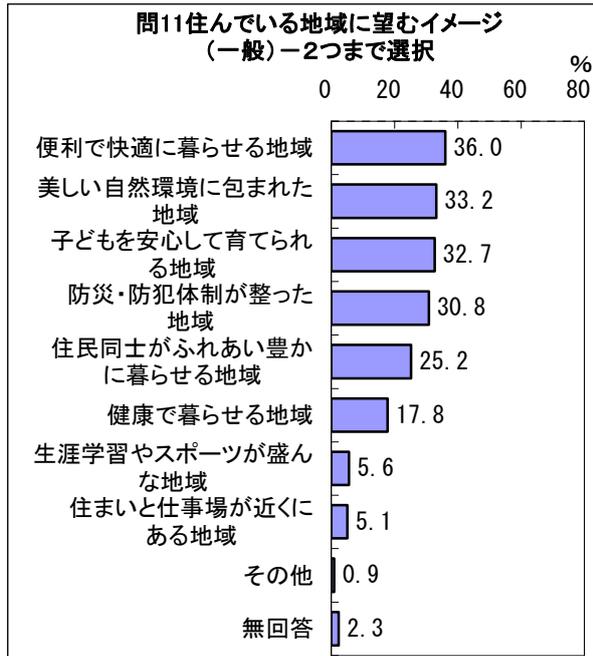
グラフ 147

小野小学校区(N=247)



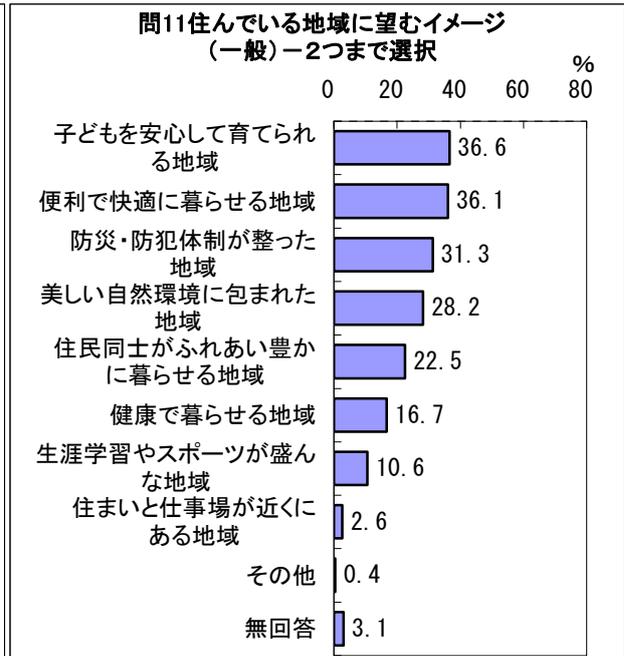
グラフ 148

花鶴小学校区(N=214)



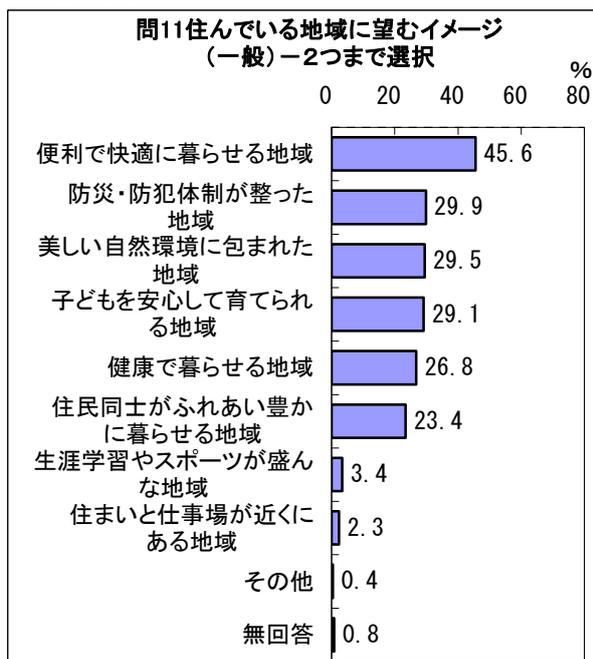
グラフ 149

千鳥小学校区(N=227)



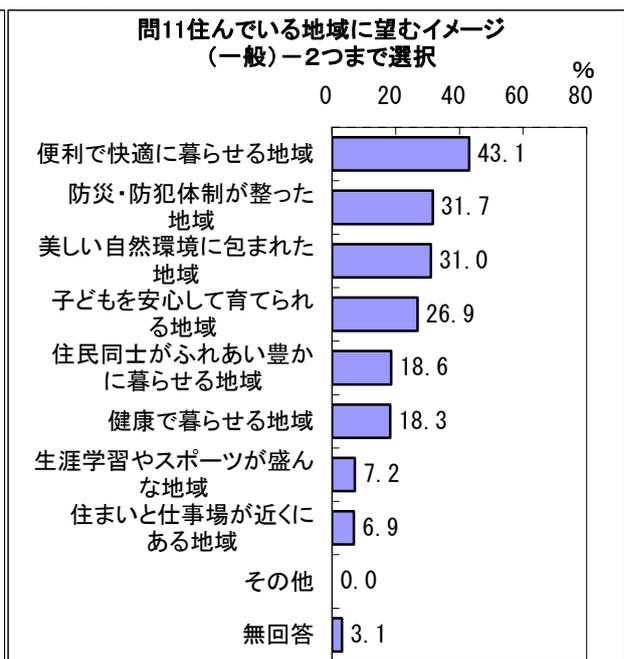
グラフ 150

舞の里小学校区(N=261)



グラフ 151

花見小学校区(N=290)



## 2 景観

### (1) 景観上保全した方がよいと考えられるところ

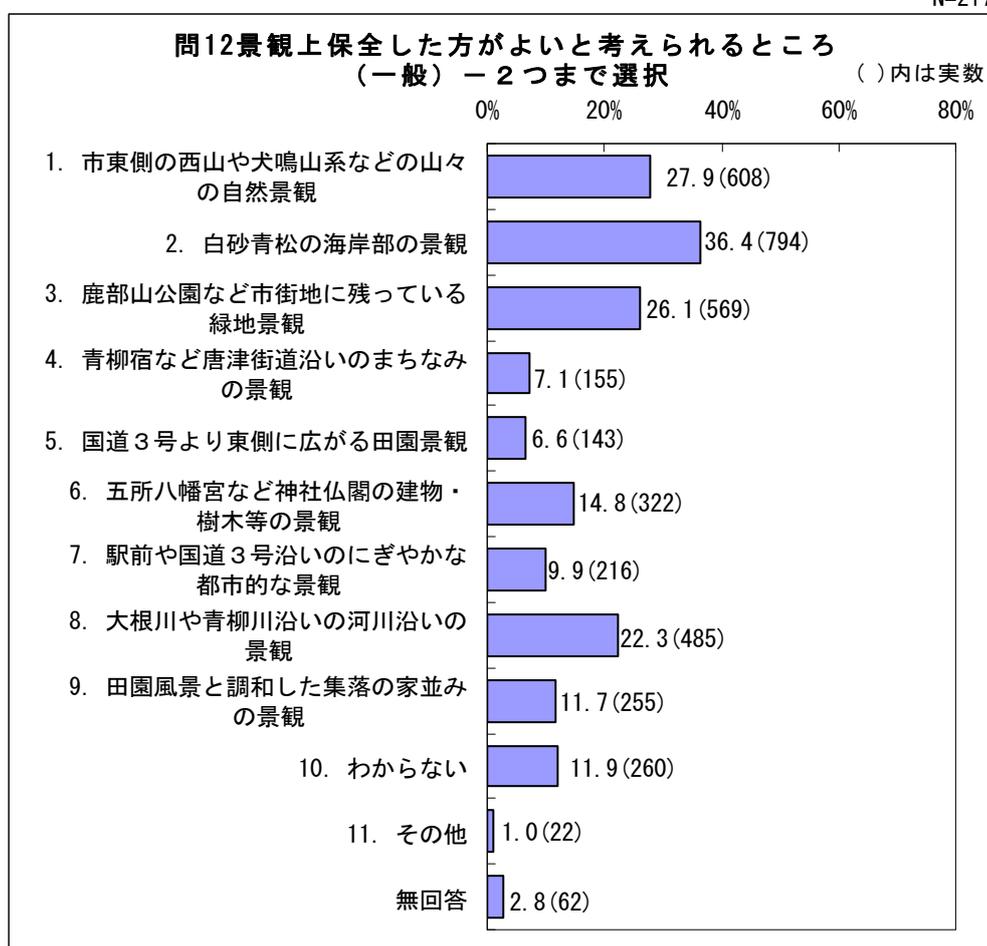
問12 古賀市内で景観上保全した方がよいと考えられるところはどこですか。次の中から2つまで選んで、番号に○印をつけてください。

(※景観とは、街並みや緑地などの人の眺める対象を示す「景」という言葉と、それを眺める人の感覚を表す「観」という言葉を組み合わせたものです。)

- 「白砂青松の海岸部の景観」(36.4%)の割合が最も高く、次いで「市東側の西山や犬鳴山系などの山々の自然景観」(27.9%)、「鹿部山公園など市街地に残っている緑地景観」(26.1%)の順となっています。

グラフ 152

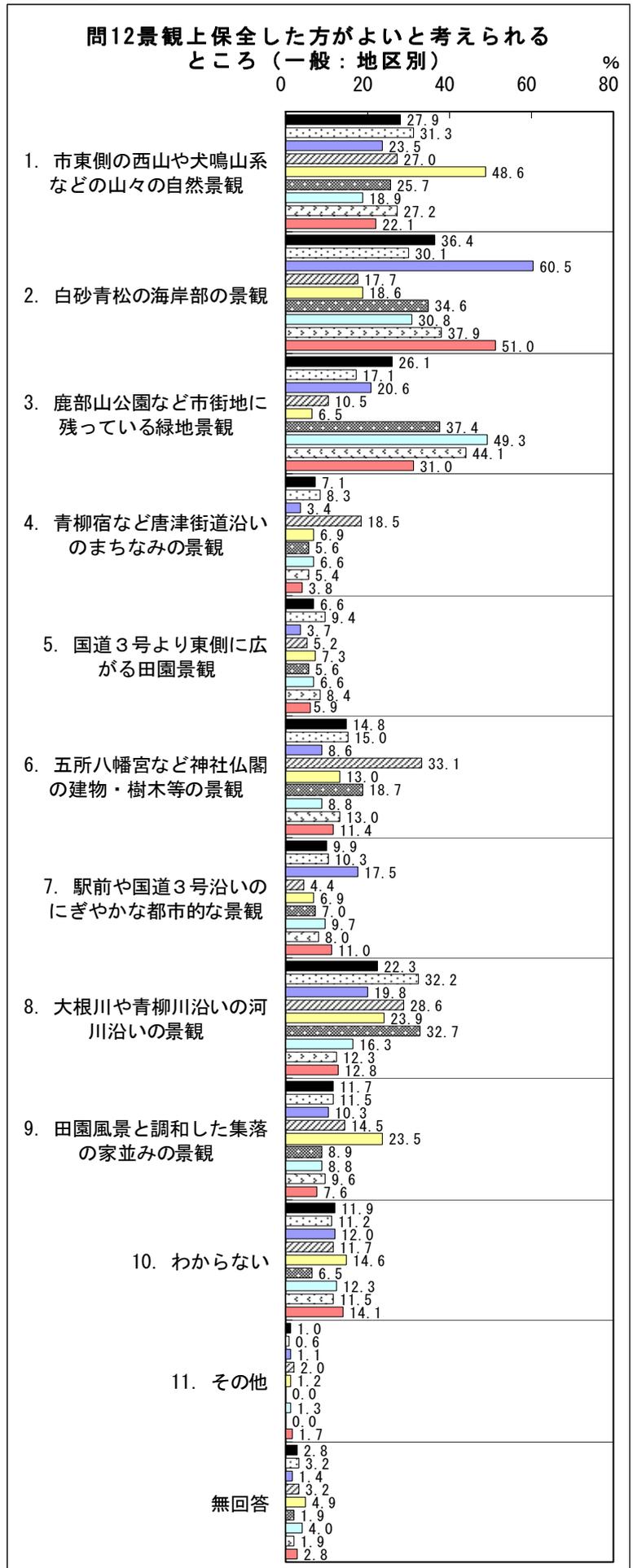
N=2179



グラフ153

● 地区別でみると、“居住する地区周辺の身近な景観を保全した方がよい”という傾向がうかがえます。「市東側の西山や犬鳴山系などの山々の自然景観」、「田園風景と調和した集落の家並みの景観」の割合が高いのは小野小学校区（それぞれ 48.6%、23.5%）、「白砂青松の海岸部の景観」の割合が高いのは、古賀西、花見小学校区（それぞれ 60.5%、51.0%）、「鹿部山公園など市街地に残っている緑地景観」の割合が高いのは、花鶴、千鳥、舞の里、花見小学校区（それぞれ 37.4%、49.3%、44.1%、31.0%）、「青柳宿など唐津街道沿いのまちなみの景観」、「五所八幡宮など神社仏閣の建物・樹木等の景観」の割合が高いのは、青柳小学校区（それぞれ 18.5%、33.1%）、「大根川や青柳川沿いの河川沿いの景観」の割合が高いのは、古賀東、花鶴小学校区（それぞれ 32.2%、32.7%）となっています。

- 総数 (N=2179)
- 古賀東小学校区 (N=339)
- 古賀西小学校区 (N=349)
- ▨ 青柳小学校区 (N=248)
- 小野小学校区 (N=247)
- ▨ 花鶴小学校区 (N=214)
- 千鳥小学校区 (N=227)
- ▨ 舞の里小学校区 (N=261)
- 花見小学校区 (N=290)



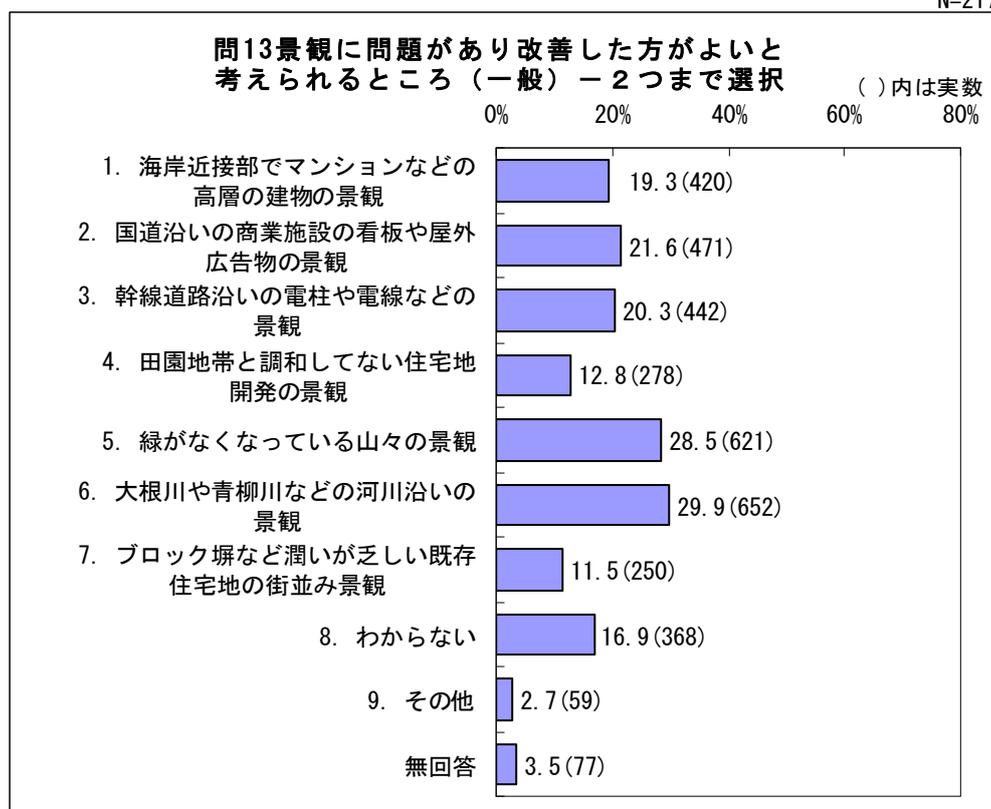
(2) 景観に問題があり改善した方がよいと考えられるところ

問 13 古賀市内で景観に問題があり改善した方がよいと考えられるところはどこですか。次の中から2つまで選んで、番号に○印をつけて下さい。

- 「大根川や青柳川などの河川沿いの景観」(29.9%)、「緑がなくなっている山々の景観」(28.5%)の割合が同程度で高く、次いで「国道沿いの商業施設の看板や屋外広告物の景観」(21.6%)、「幹線道路沿いの電柱や電線などの景観」(20.3%)、「海岸近接部でマンションなどの高層の建物の景観」(19.3%)の順となっています。

グラフ 154

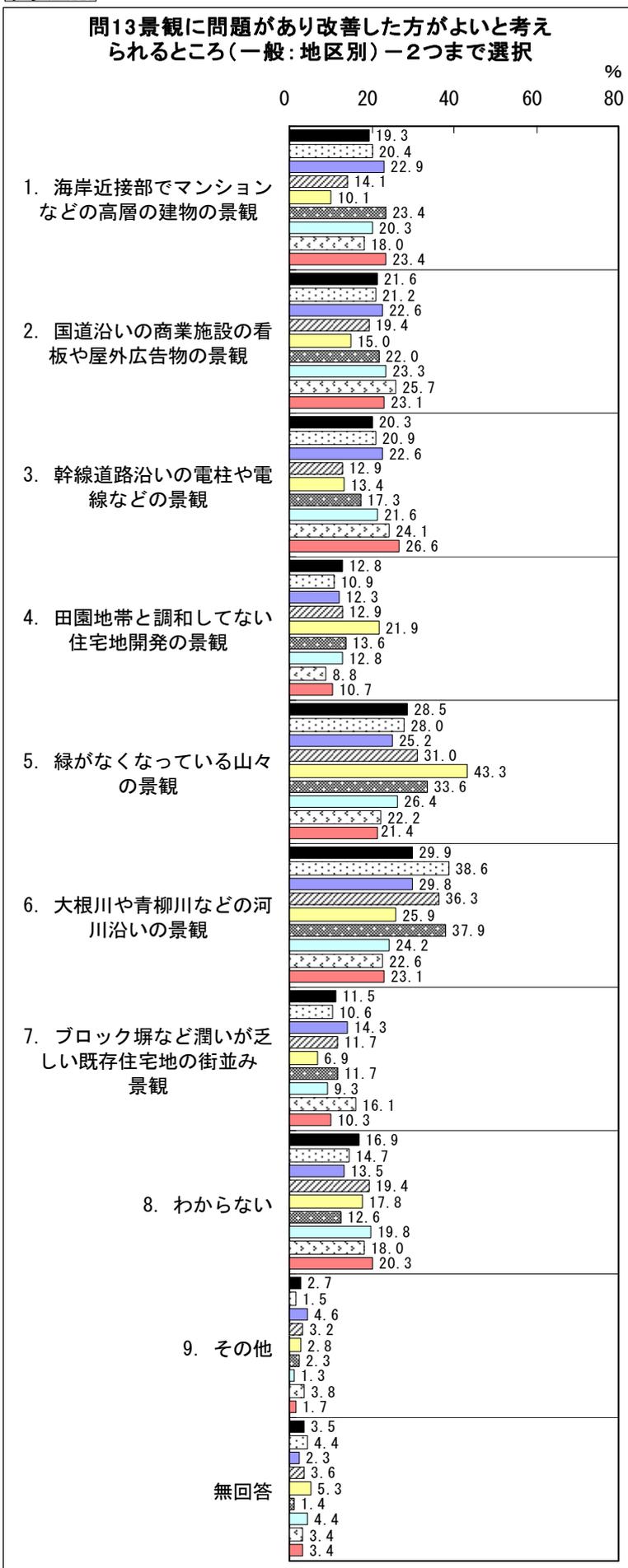
N=2179



グラフ 155

- 地区別でみると、VI-2-(1)の「景観上保全した方がよいと考えられるところ」【P90 参照】と同様に、“居住する地区周辺の景観について改善した方がよい”という傾向がうかがえます。
- 「田園地帯と調和していない住宅地開発の景観」、「緑がなくなっている山々の景観」の割合が高いのは小野小学校区(それぞれ21.9%、43.3%)、「大根川や青柳川などの河川沿いの景観」の割合が高いのは、これらの川が流れる古賀東、青柳、花鶴小学校区(それぞれ38.6%、36.3%、37.9%)となっています。
- 海岸部が近い古賀西、花鶴、花見小学校区では「海岸近接部でマンションなどの高層の建物の景観」(それぞれ22.9%、23.4%、23.4%)の割合が高くなっています。

■	総数 (N=2179)
□	古賀東小学校区 (N=339)
■	古賀西小学校区 (N=349)
▨	青柳小学校区 (N=248)
■	小野小学校区 (N=247)
▨	花鶴小学校区 (N=214)
■	千鳥小学校区 (N=227)
▨	舞の里小学校区 (N=261)
■	花見小学校区 (N=290)

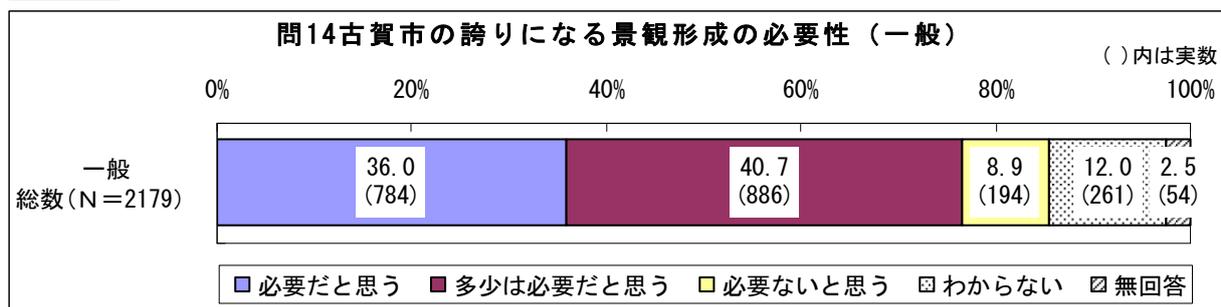


### (3) 古賀市の誇りになる景観形成の必要性

問 14 古賀市らしい特色を活かした古賀市の誇りになるような景観（例：青柳宿の街並み景観の復元など）の形成は必要だと思いますか。次の中から1つだけ選んで、番号に○印をつけて下さい。

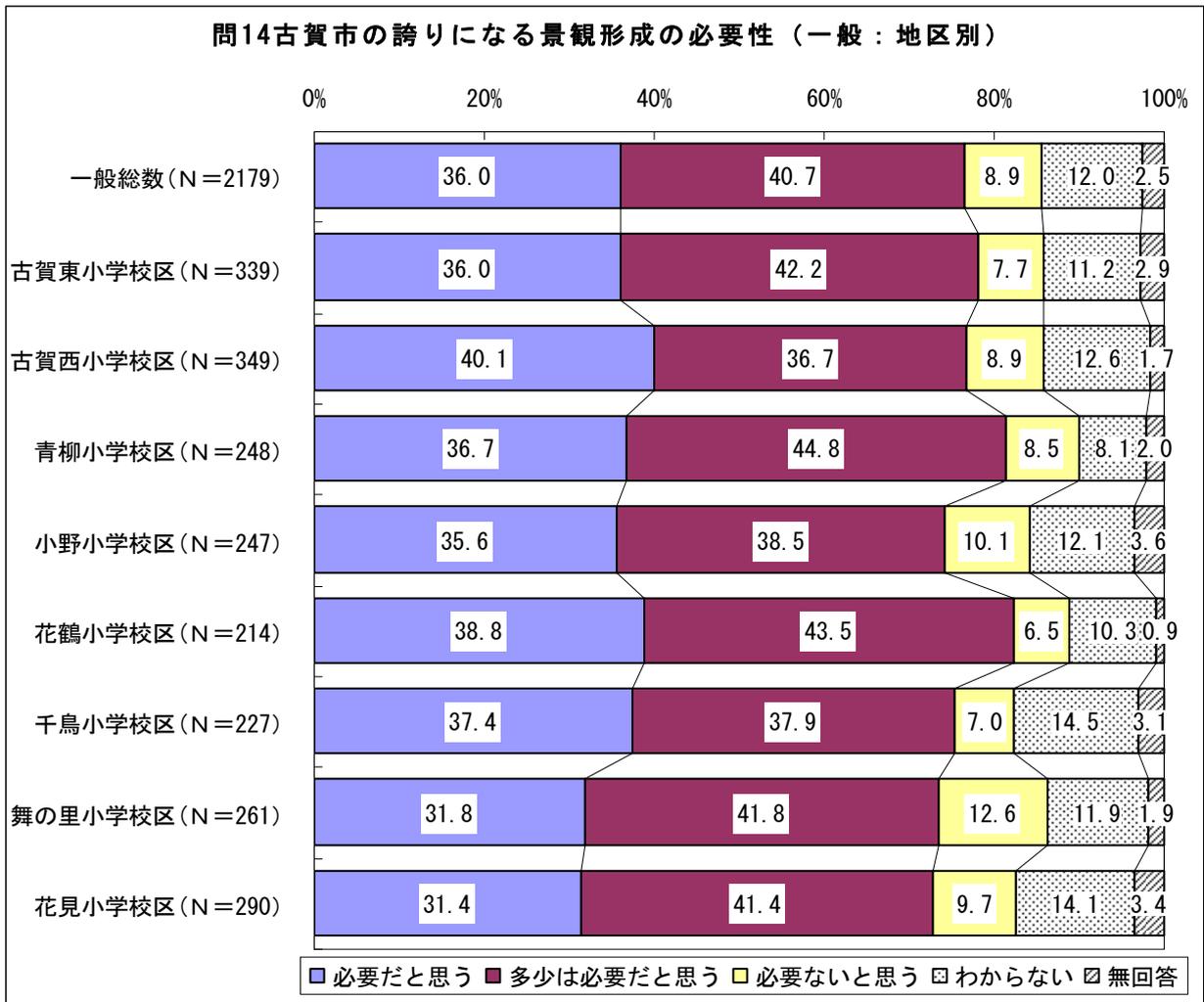
- 「必要だと思う」（36.0%）、「多少は必要だと思う」（40.7%）を合わせた『必要だと思う』が約8割となっています。一方、「必要ないと思う」（8.9%）は約1割となっており、景観形成に対する必要性の意向は高いことがうかがえます。（『必要だと思う』は以下同様の意味で使用しています。）

グラフ 156



- 地区別でみると、青柳、花鶴小学校区では『必要だと思う』（それぞれ81.5%、82.3%）の割合が他の地区に比べて高くなっています。両地区の割合が高くなっているのは、青柳小学校区では岳越山、青柳宿、五所八幡宮などがあり、花鶴小学校区では鹿部山公園、大根川が近くにあることなどが要因として考えられます。

グラフ 157

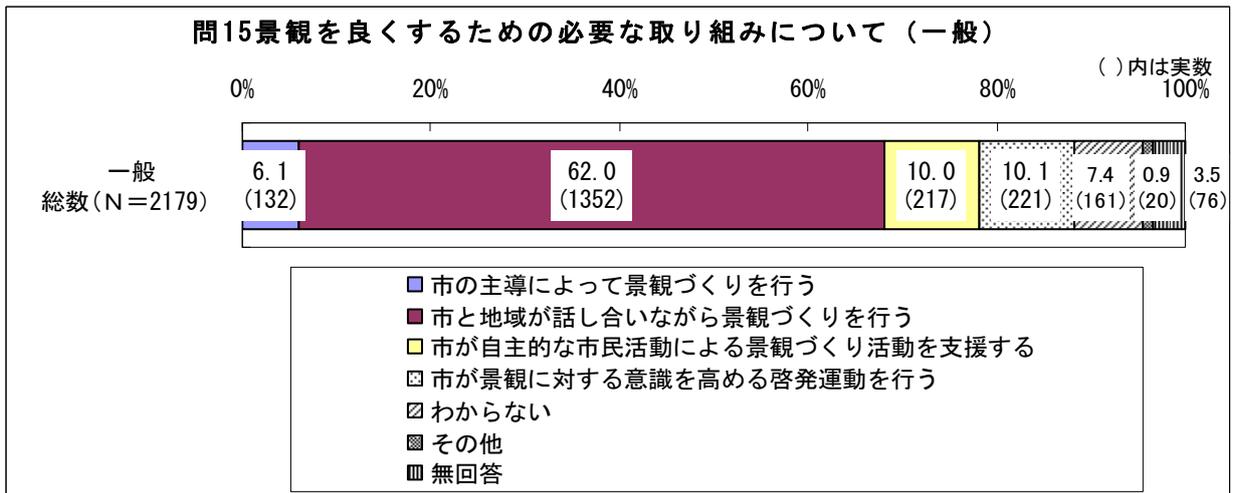


(4) 景観を良くするための必要な取り組みについて

問15 古賀市の景観を良くしていくために、どのような取り組みが必要だと考えられますか。次の中から1つだけ選んで、番号に○印をつけて下さい。

- 「市と地域が話し合いながら景観づくりを行う」(62.0%)と「市が自主的な市民活動による景観づくり活動を支援する」(10.0%)を合わせると約7割と高くなっている一方、「市の主導によって景観づくりを行う」(6.1%)は1割未満と低くなっています。

グラフ 158



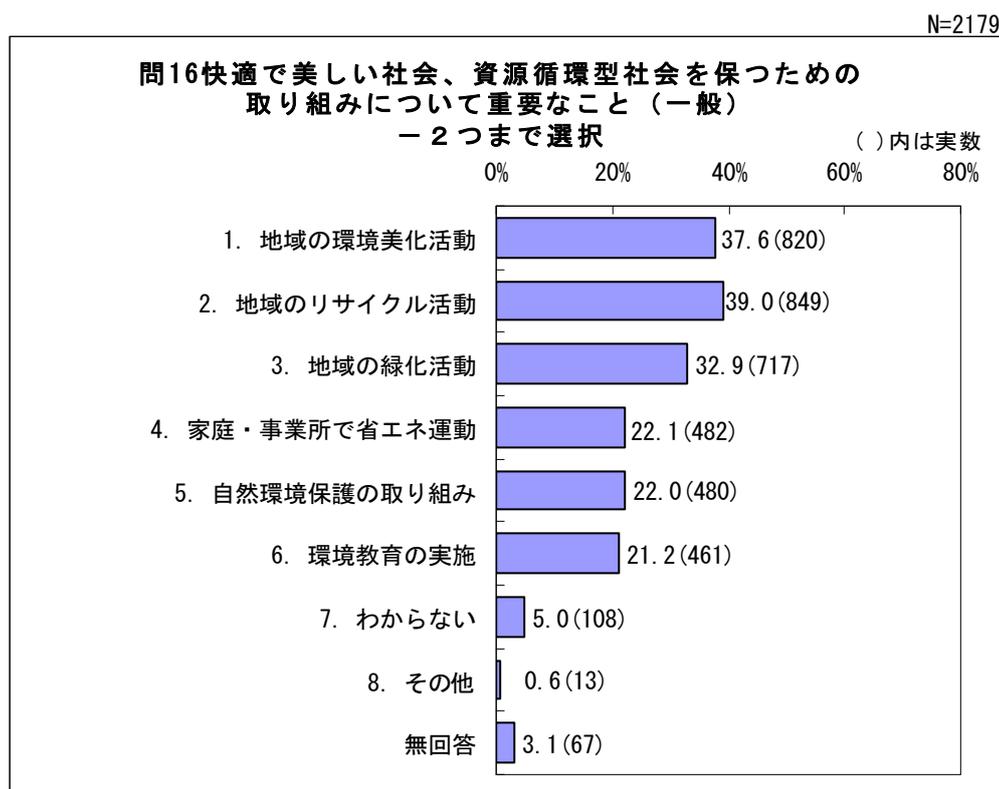
### 3 生活環境

#### (1) 快適で美しい社会、資源循環型社会を保つための取り組みについて重要なこと

問16 快適で美しい社会、資源循環の社会を保つための取り組みについて、どのようなことが重要と考えますか。次の中から2つまで選んで、番号に○印をつけて下さい。

- 「地域のリサイクル活動」(39.0%)、「地域の環境美化活動」(37.6%)の割合が同程度で高く、次いで「地域の緑化活動」(32.9%)の順となっており、地域ぐるみの取り組みが重要であるとする割合が高くなっています。

グラフ159



## 4 健康・福祉

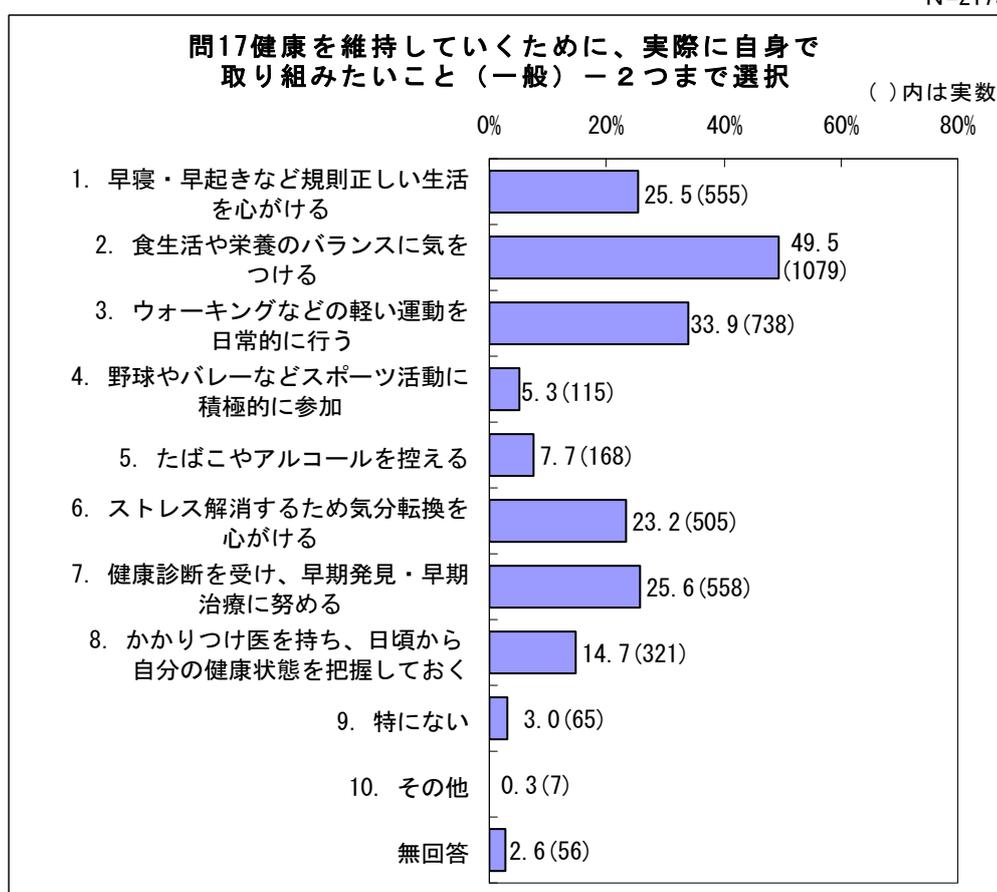
### (1) 健康を維持していくために、実際に自身で取り組みたいこと

問17 できるだけ長く健康を維持していくために、実際に自身で取り組みたいことは何ですか。次の中から2つまで選んで、番号に○印をつけて下さい。

- 「食生活や栄養のバランスに気をつける」(49.5%)の割合が最も高く、次いで「ウォーキングなどの軽い運動を日常的に行う」(33.9%)、「健康診断を受け、早期発見・早期治療に努める」(25.6%)、「早寝・早起きなど規則正しい生活を心がける」(25.5%)の順となっています。

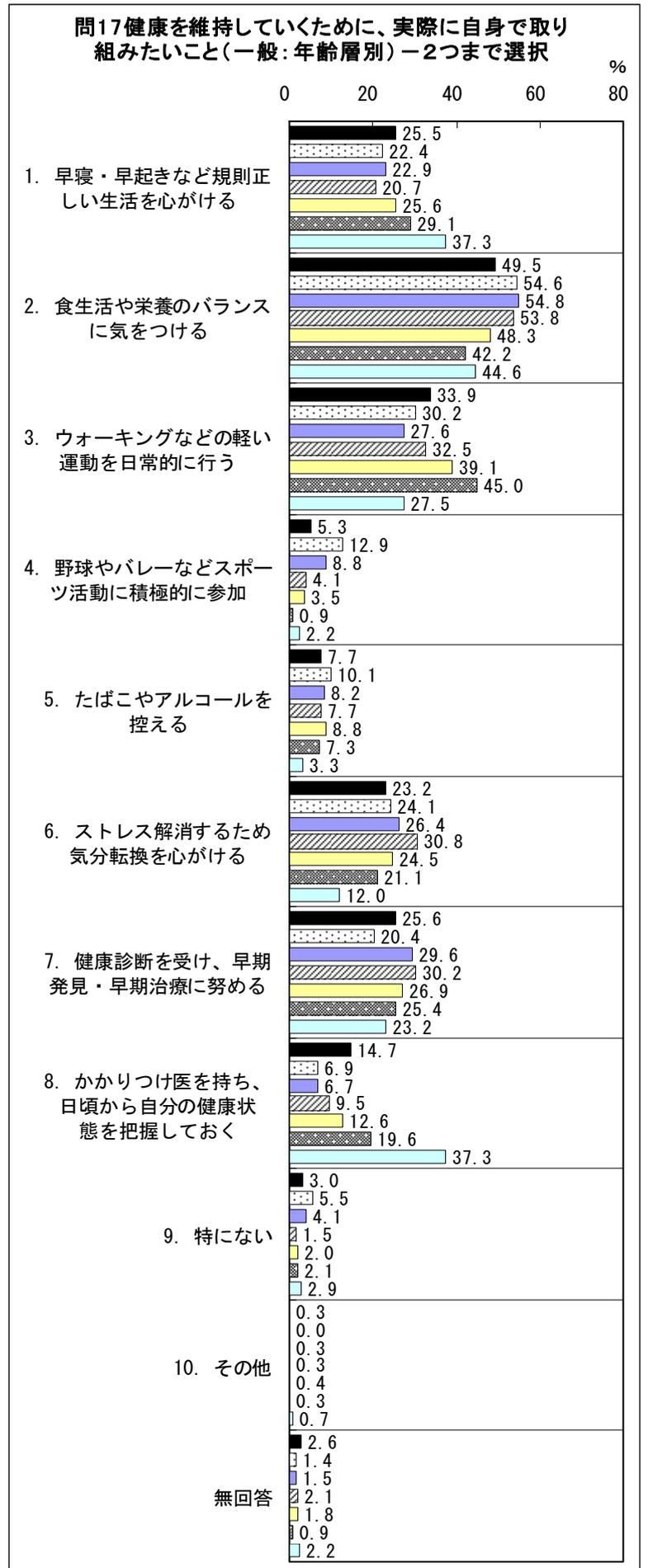
グラフ160

N=2179



グラフ161

- 年齢層別で見ると、ほとんどの年代で「食生活や栄養のバランスに気をつける」の割合が高くなっています。
- 年齢が高くなるほど、「早寝・早起きなど規則正しい生活を心がける」と「かかりつけ医を持ち、日頃から自分の健康状態を把握しておく」の割合が高くなっています。
- また、50～59歳、60～69歳では「ウォーキングなどの軽い運動を日常的に行う」（それぞれ39.1%、45.0%）の割合が他の年代に比べて高くなっています。



■ 総数 (N=2179)  
 □ 18～29歳 (N=348)  
 ■ 30～39歳 (N=341)  
 ▨ 40～49歳 (N=338)  
 ■ 50～59歳 (N=453)  
 ▨ 60～69歳 (N=327)  
 □ 70歳以上 (N=276)

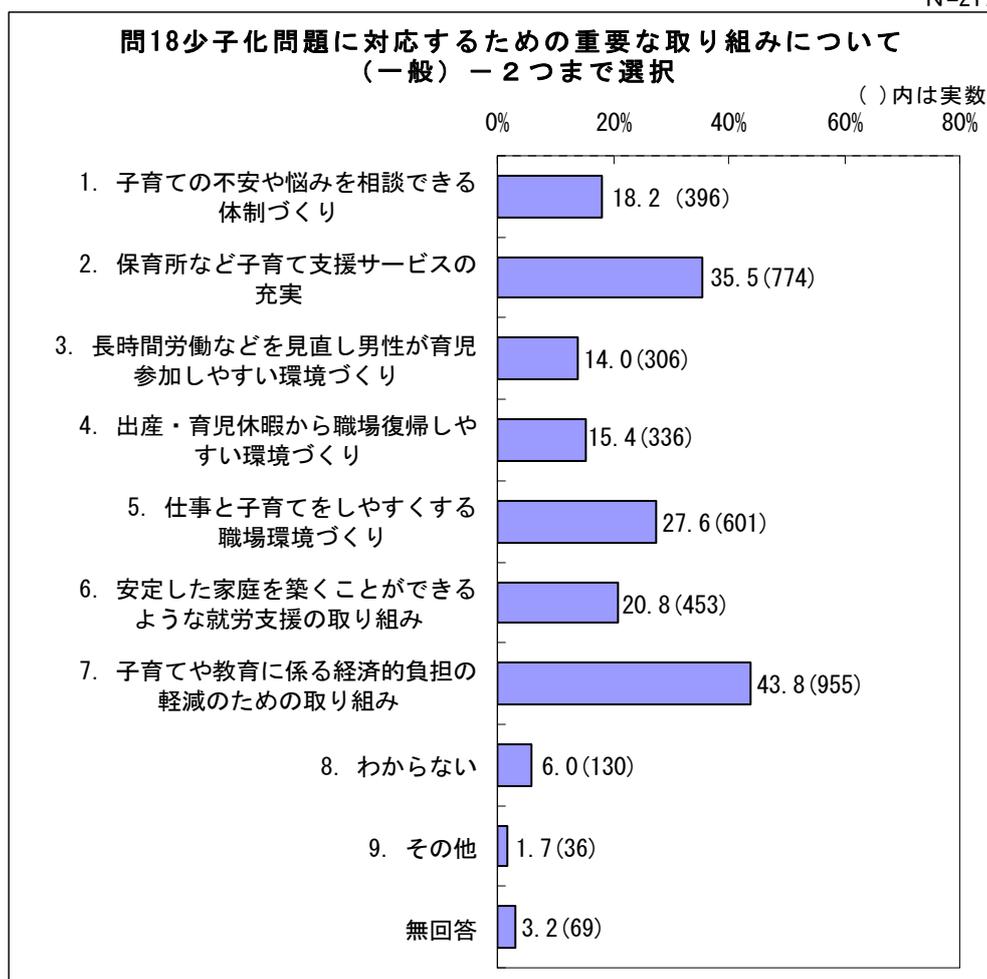
(2) 少子化問題に対応するための重要な取り組みについて

問 18 少子化問題に対応するためにどのような取り組みが重要と考えますか。次の中から2つまで選んで、番号に○印をつけて下さい。

- 「子育てや教育に係る経済的負担の軽減のための取り組み」(43.8%)の割合が最も高く、次いで「保育所など子育て支援サービスの充実」(35.5%)、「仕事と子育てをしやすいとする職場環境づくり」(27.6%)の順となっており、“経済的負担の軽減”、“子どもを預ける場の充実”、“就労環境の改善”が求められていると考えられます。

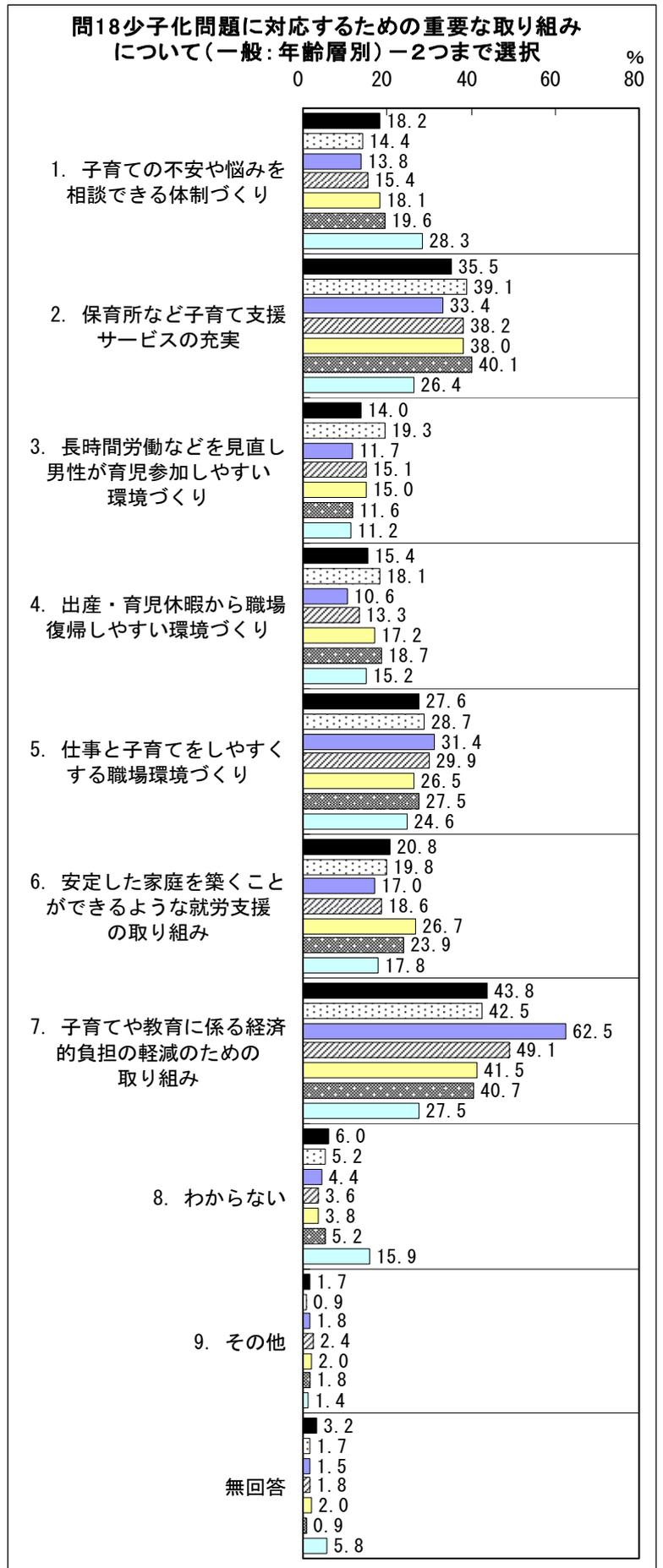
グラフ 162

N=2179



グラフ 163

● 年齢層別でみると、30～39歳、40～49歳では「子育てや教育に係る経済的負担の軽減のための取り組み」（それぞれ62.5%、49.1%）の割合が他の年代に比べて高くなっています。また、18～29歳では「長時間労働などを見直し男性が育児参加しやすい環境づくり」（19.3%）、50～59歳、60～69歳では「安定した家庭を築くことができるような就労支援の取り組み」（それぞれ26.7%、23.9%）の割合が他の年代に比べて高くなっています。



■ 総数 (N=2179)  
 □ 18～29歳 (N=348)  
 ■ 30～39歳 (N=341)  
 ▨ 40～49歳 (N=338)  
 ■ 50～59歳 (N=453)  
 ▩ 60～69歳 (N=327)  
 □ 70歳以上 (N=276)

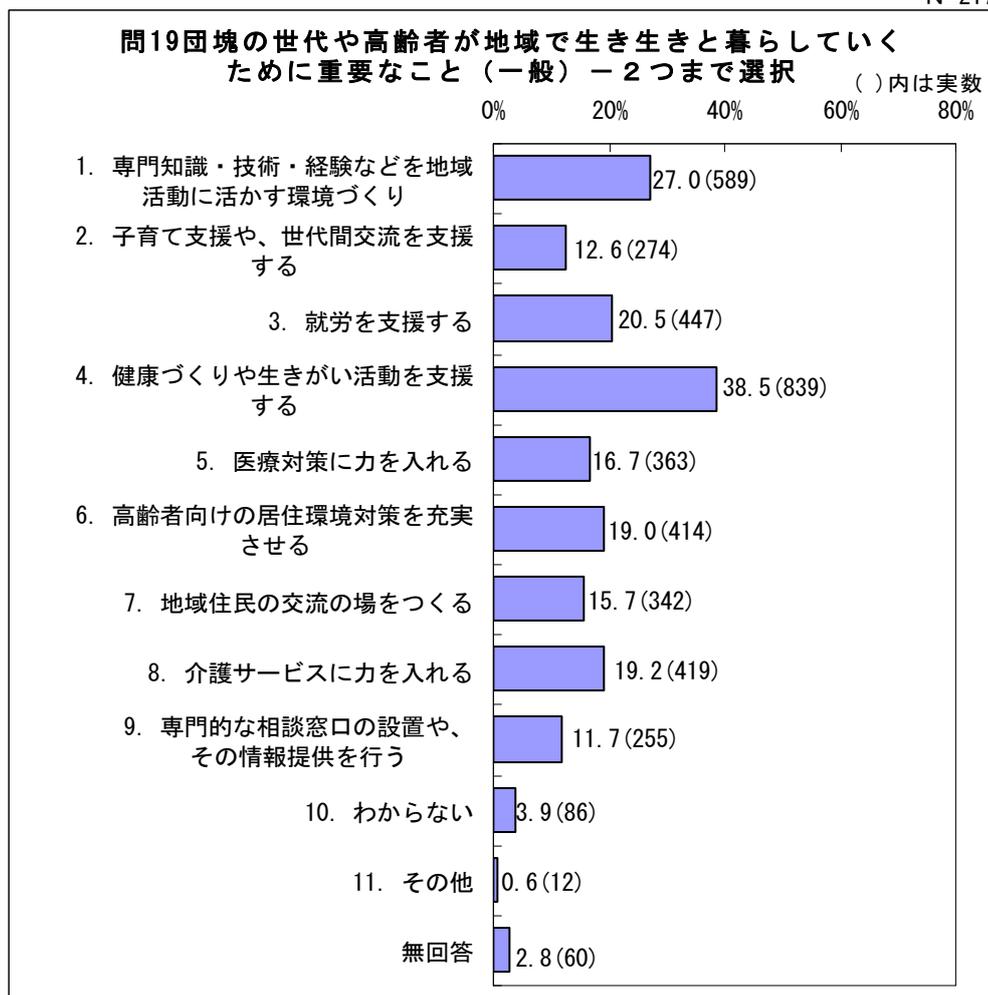
(3) 団塊の世代や高齢者が地域で生き生きと暮らしていくために重要なこと

問19 団塊の世代や高齢者が地域で生き生きと暮らしていくためにはどのようなことが重要  
 と思いますか。次の中から2つまで選んで、番号に○印をつけて下さい。

- 「健康づくりや生きがい活動を支援する」(38.5%)の割合が最も高く、「専門知識・技術・経験などを地域活動に活かす環境づくり」(27.0%)、「就労を支援する」(20.5%)、「介護サービスに力を入れる」(19.2%)、「高齢者向けの居住環境対策を充実させる」(19.0%)の順となっています。

グラフ164

N=2179



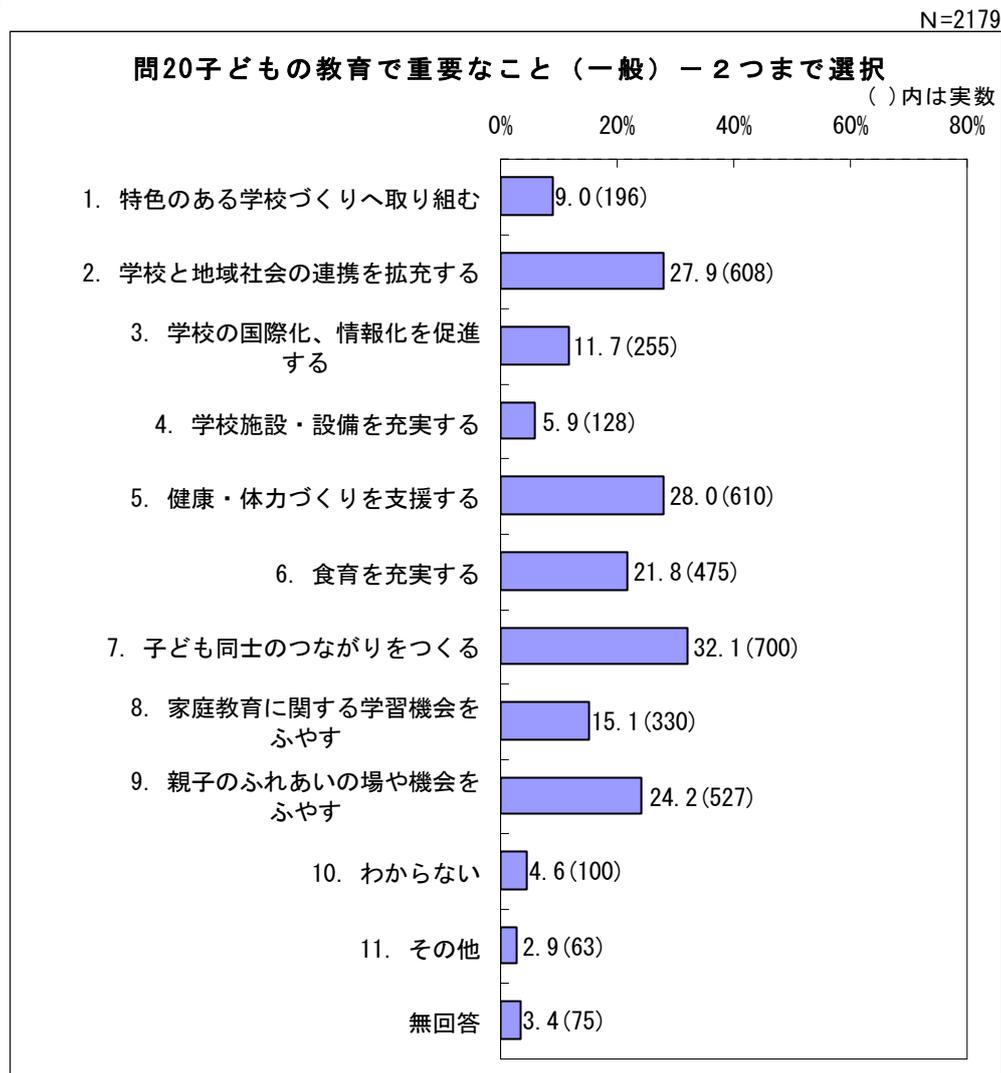
## 5 教育・生涯学習・スポーツ

### (1) 子どもの教育で重要なこと

問20 子どもの教育で何が重要だと考えますか。次の中から2つまで選んで、番号に○印をつけて下さい。

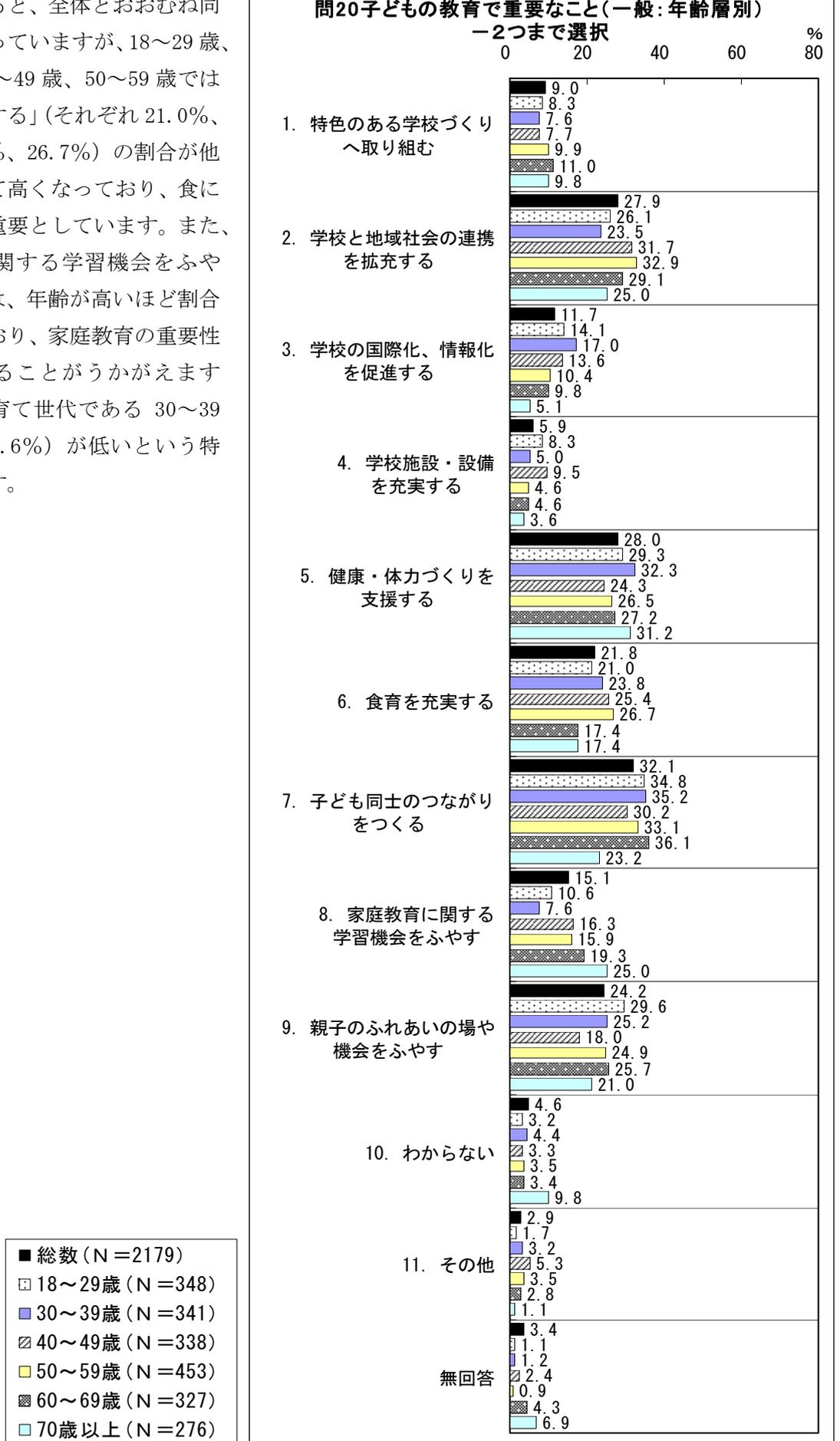
- 「子ども同士のつながりをつくる」(32.1%)の割合が最も高く、次いで「健康・体力づくりを支援する」(28.0%)、「学校と地域社会の連携を拡充する」(27.9%)の順となっています。

グラフ 165



グラフ 166

● 年齢層別で見ると、全体とおおむね同様の傾向となっていますが、18～29歳、30～39歳、40～49歳、50～59歳では「食育を充実する」(それぞれ21.0%、23.8%、25.4%、26.7%)の割合が他の年代に比べて高くなっており、食に対する教育を重要としています。また、「家庭教育に関する学習機会をふやす」については、年齢が高いほど割合が高くなっており、家庭教育の重要性を認識していることがうかがえますが、実際の子育て世代である30～39歳では割合(7.6%)が低いという特徴が見られます。



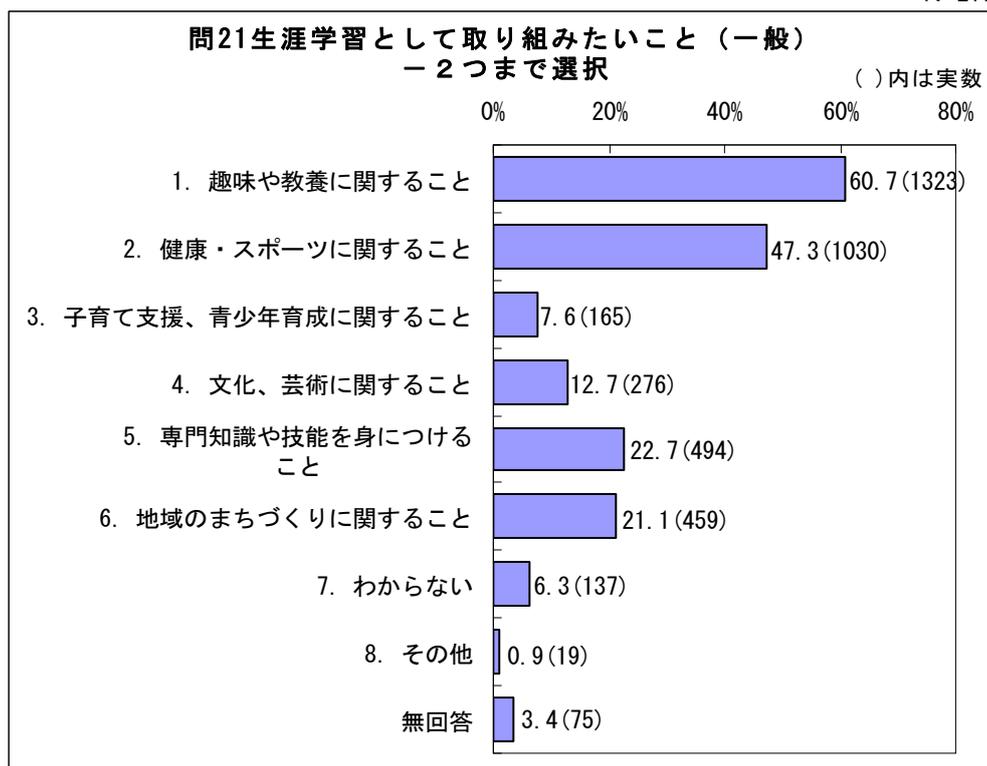
## (2) 生涯学習として取り組みたいこと

問21 生涯にわたって自分を高めるための生涯学習としてどのようなことに取り組んでいきたいですか。次の中から2つまで選んで、番号に○印をつけて下さい。

- 「趣味や教養に関すること」(60.7%)、「健康・スポーツに関すること」(47.3%)の割合が高くなっており、“趣味、教養、健康、スポーツ”への関心が高いことがうかがえます。

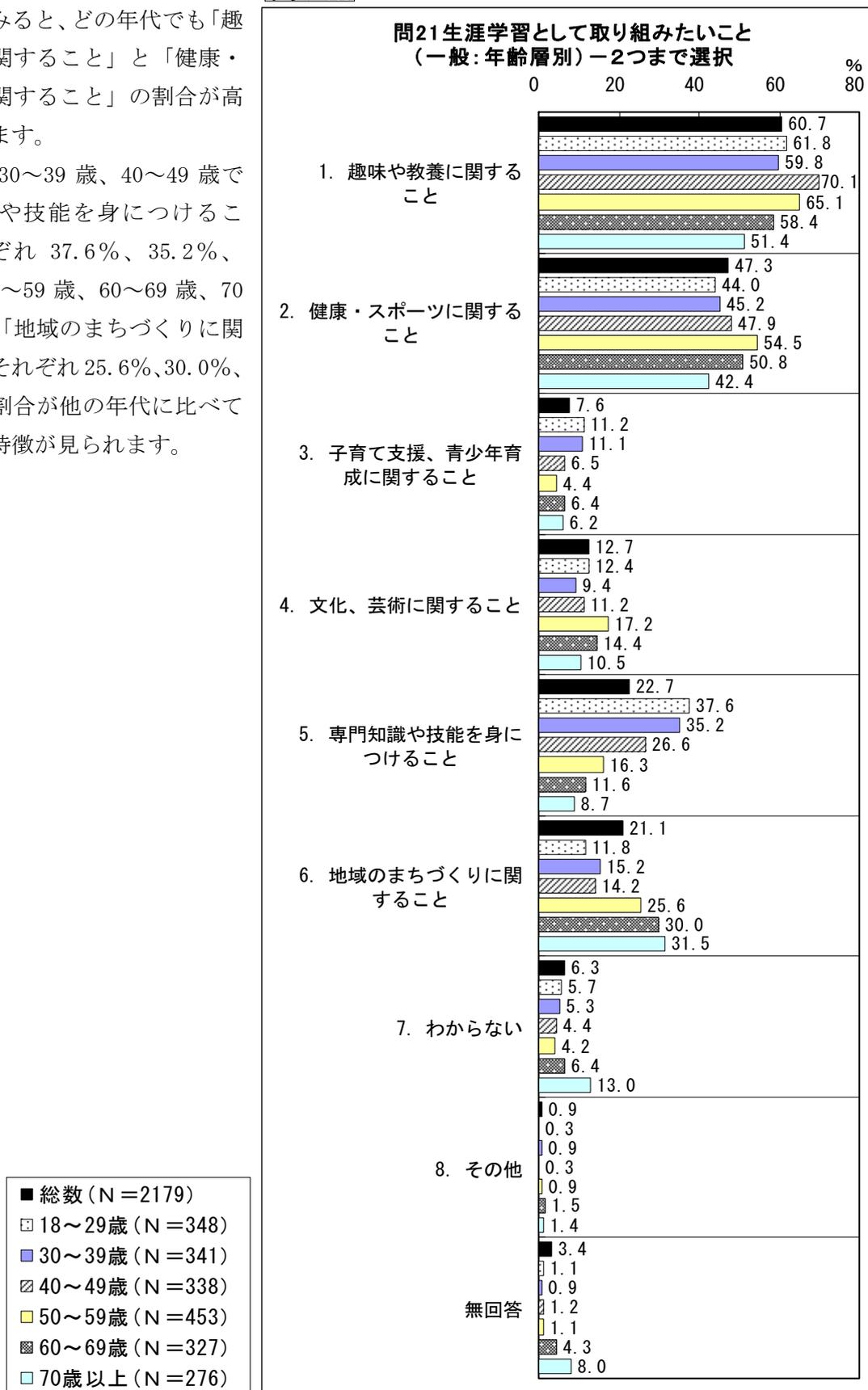
グラフ167

N=2179



グラフ168

- 年齢層別で見ると、どの年代でも「趣味や教養に関すること」と「健康・スポーツに関すること」の割合が高くなっています。
- 18～29歳、30～39歳、40～49歳で「専門知識や技能を身につけること」（それぞれ37.6%、35.2%、26.6%）、50～59歳、60～69歳、70歳以上では「地域のまちづくりに関すること」（それぞれ25.6%、30.0%、31.5%）の割合が他の年代に比べて高いという特徴が見られます。

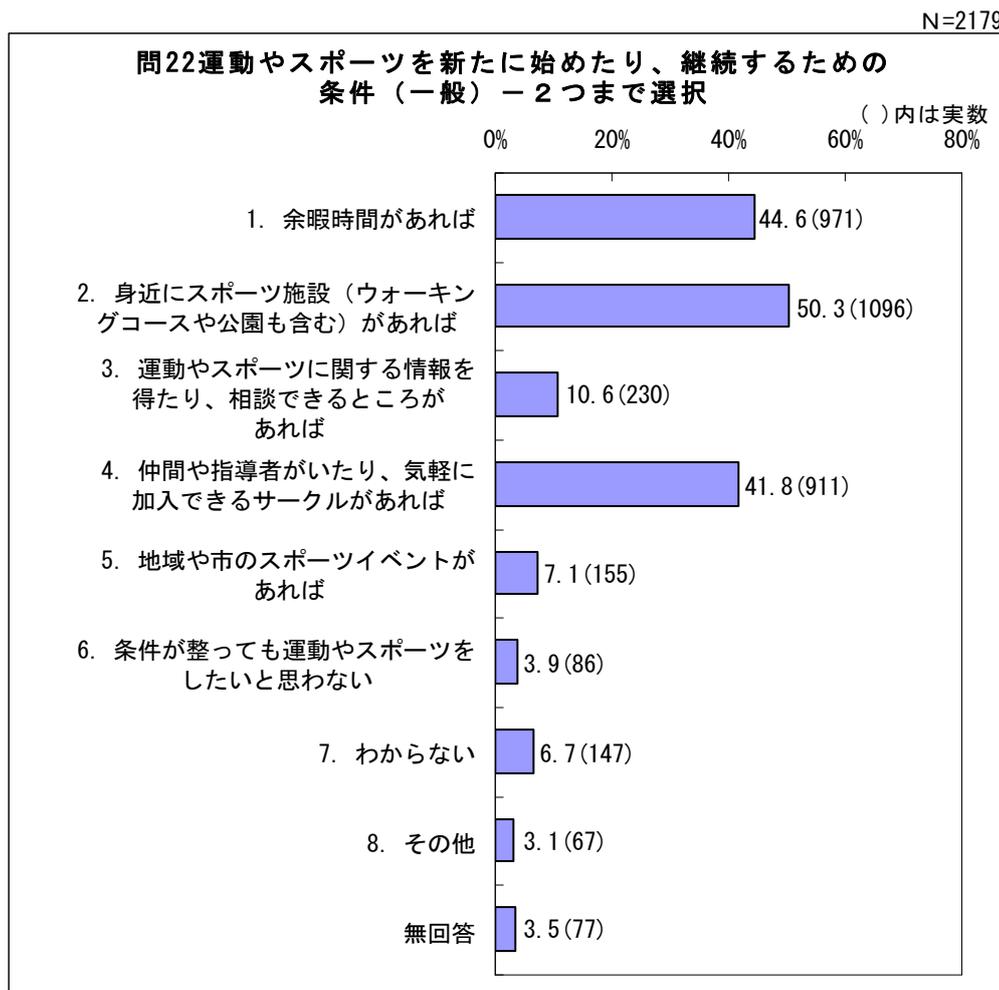


(3) 運動やスポーツを新たに始めたり、継続したりするための条件

問 22 今後、運動やスポーツを新たに始めたり、継続したりするためにはどのような条件が整えばいいと思いますか。次の中から2つまで選んで、番号に○印をつけて下さい。

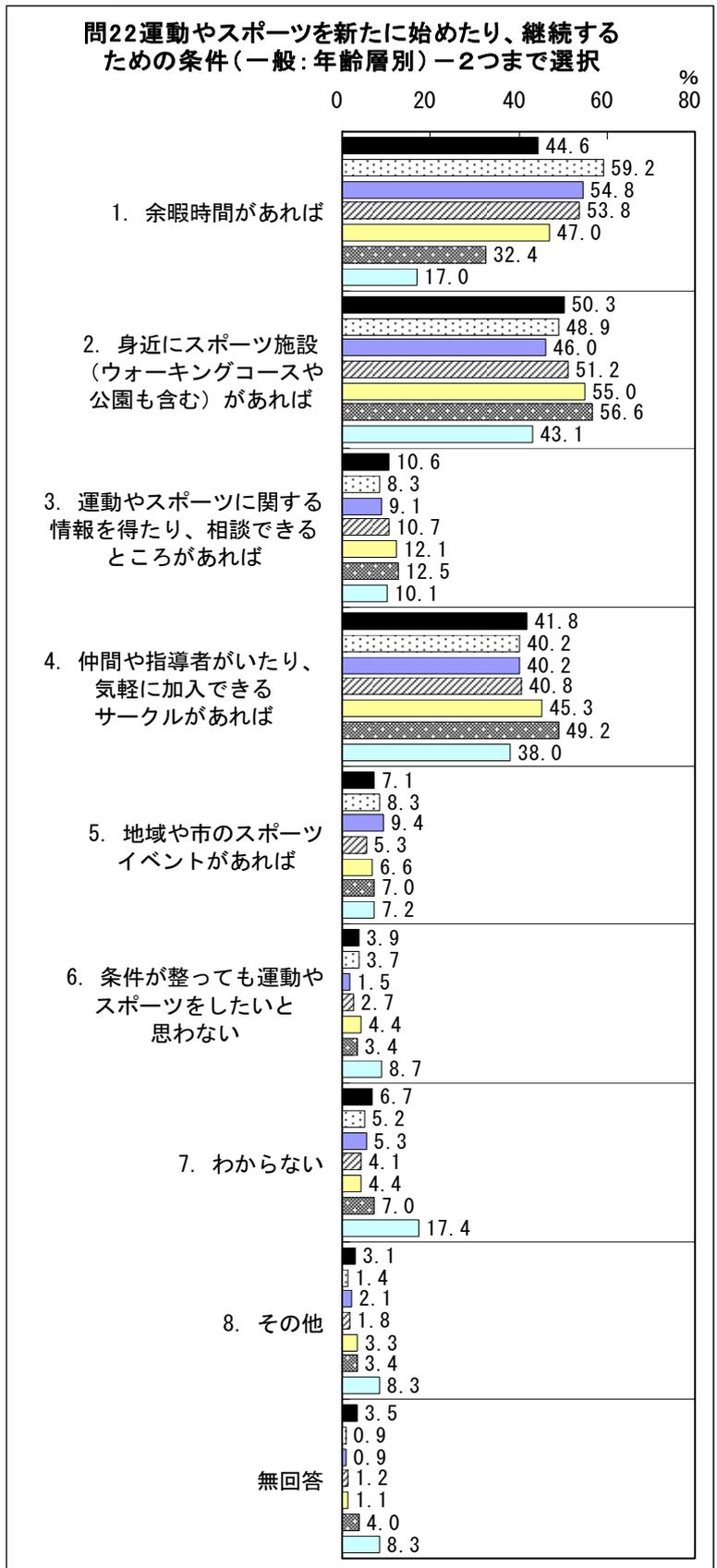
- 「身近にスポーツ施設があれば」(50.3%)の割合が最も高く、次いで「余暇時間があれば」(44.6%)、「仲間や指導者がいたり、気軽に加入できるサークルがあれば」(41.8%)の順となっています。

グラフ 169



グラフ170

- 年齢層別で見ると、年齢が低くなるほど「余暇時間があれば」の割合が高くなっています。
- また、50～59歳、60～69歳では「身近にスポーツ施設があれば」（それぞれ55.0%、56.6%）と「仲間や指導者がいたり、気軽に加入できるサークルがあれば」（それぞれ45.3%、49.2%）の割合が他の年代に比べてやや高いという特徴が見られます。



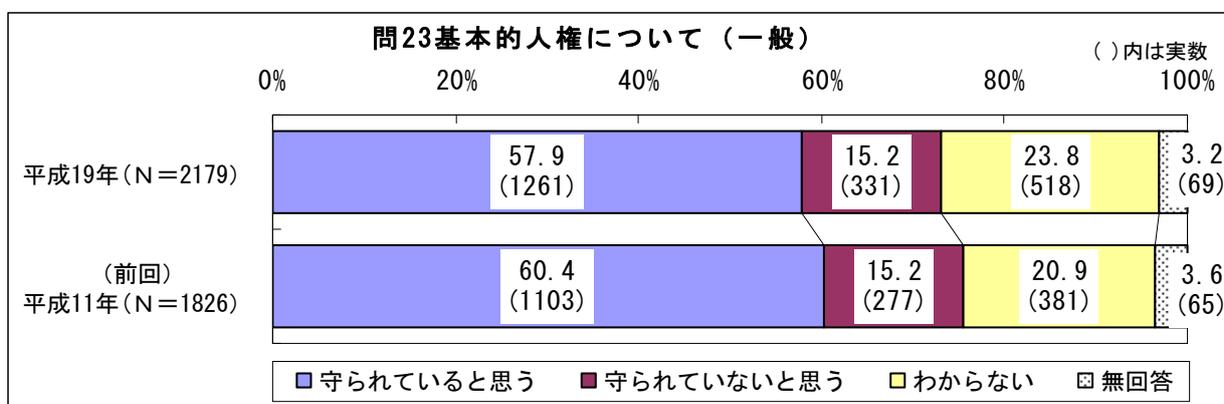
## 6 人権

### (1) 基本的人権が守られているか

問23 憲法では、すべての人が生まれながらに持っている権利（基本的人権）を守るため、個人の尊重、幸福の追求の権利、教育を受ける権利、勤労の権利などを定めていますが、あなたは自分自身の人権が守られていると思いますか。次の中から1つだけ選んで、番号に○印をつけて下さい。

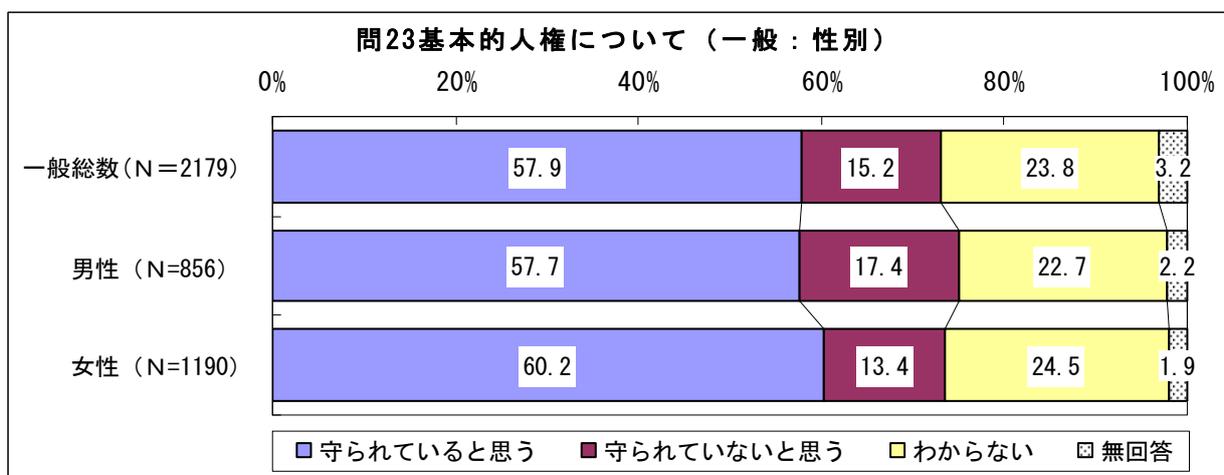
- 基本的人権について「守られていると思う」(57.9%) が約6割と最も高くなっており、「守られていないと思う」(15.2%) を大きく上回っています。平成11年と比較すると、「守られていないと思う」の割合は変わりませんが、「守られていると思う」の割合がやや減少し、その分「わからない」がやや増加しています。

グラフ171



- 性別でみると、全体と同様の傾向ですが、「守られていないと思う」の割合は、男性(17.4%) が女性(13.4%) に比べてやや高くなっています。

グラフ172



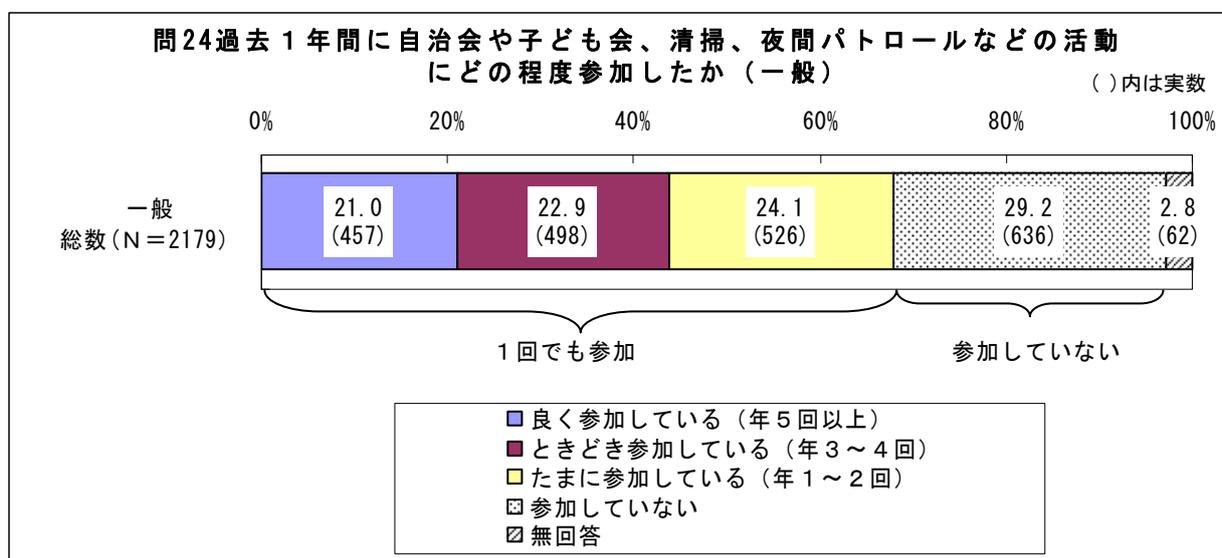
## 7 市民参画

### (1) 過去1年間の自治会や子ども会など地域活動や行事の参加状況

問24 あなたは過去1年間に自治会や子ども会、清掃、夜間パトロールなどの活動や行事にどの程度参加されていますか。次の中から1つだけ選んで、番号に○印をつけて下さい。

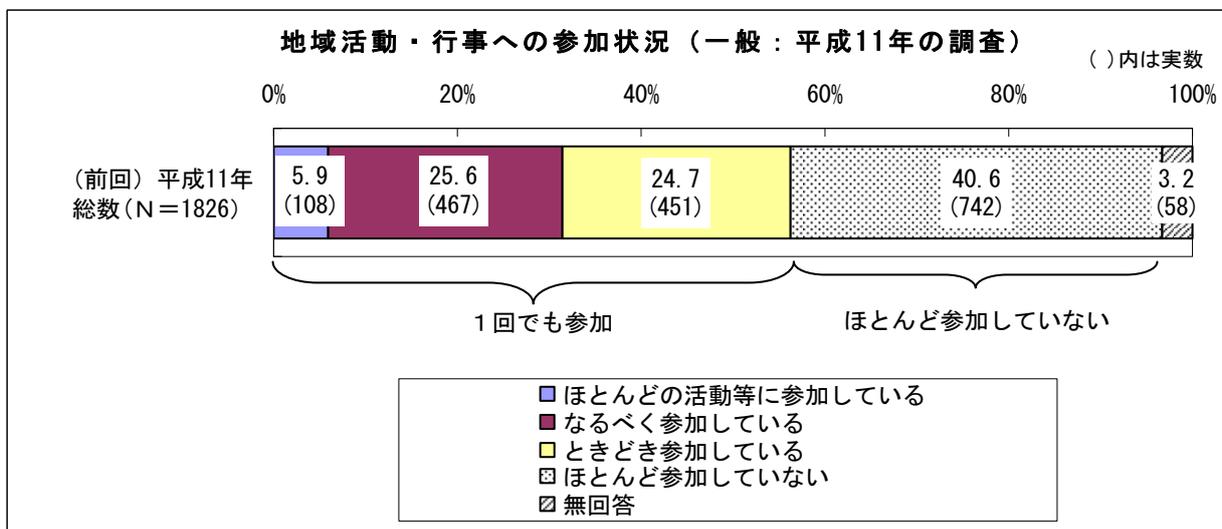
- 「良く参加している」、「ときどき参加している」、「たまに参加している」を合わせた『参加している』の割合は約7割となっています。（『参加している』は以下同様の意味で使用しています。）
- 回答の選択肢が異なるため単純な比較はできませんが、参考に平成11年の類似設問をみると、1回でも参加している人の割合は増加していると考えられます。

グラフ173



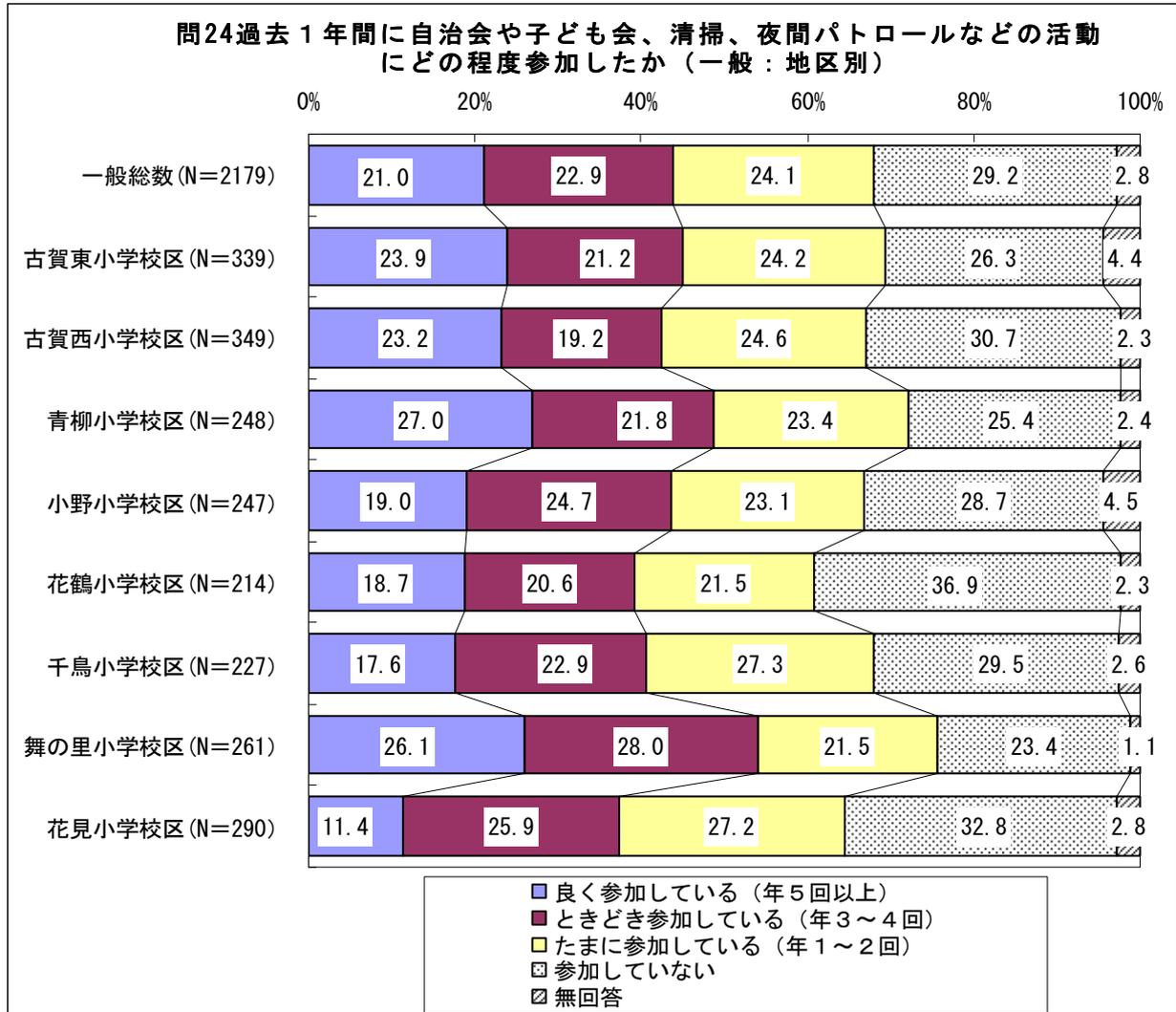
### 【参考】

グラフ174



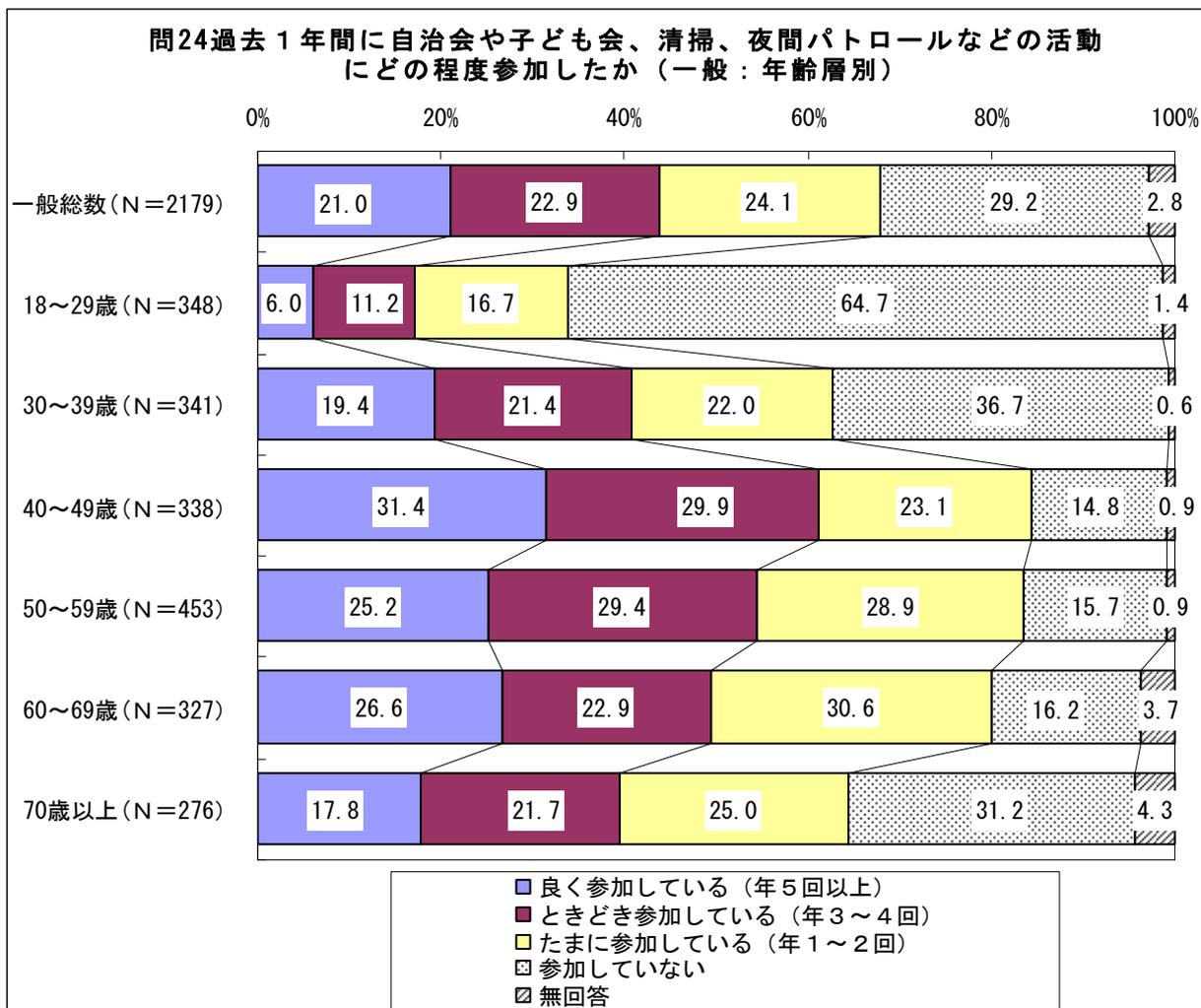
- 地区別でみると、舞の里小学校区で『参加している』（75.6%）の割合が他の地区に比べてやや高いという特徴が見られます。

グラフ 175



- 年齢層別でみると、「参加していない」の割合は18~29歳では約6割、30~39歳では約4割となっており、若い年代の地域活動への参加率が低くなっています。一方、『参加している』の割合は40~49歳、50~59歳、60~69歳では約8割となっています。

グラフ 176

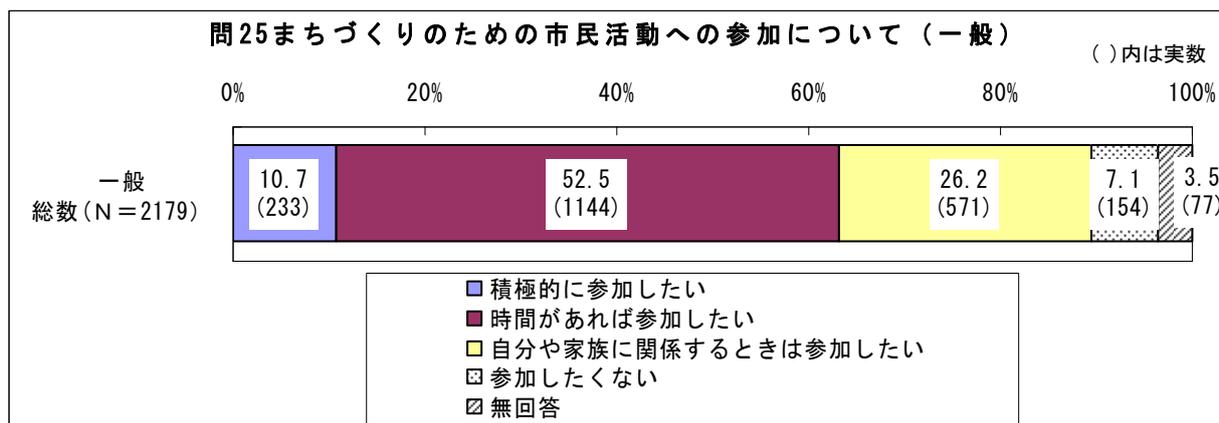


(2) まちづくりのための市民活動への参加

問25 まちづくりのための市民活動への参加（清掃・緑化活動、お祭りなど地域行事、通学の見守り、地域の福祉活動）についてどう思いますか。次の中から1つだけ選んで、番号に○印をつけて下さい。

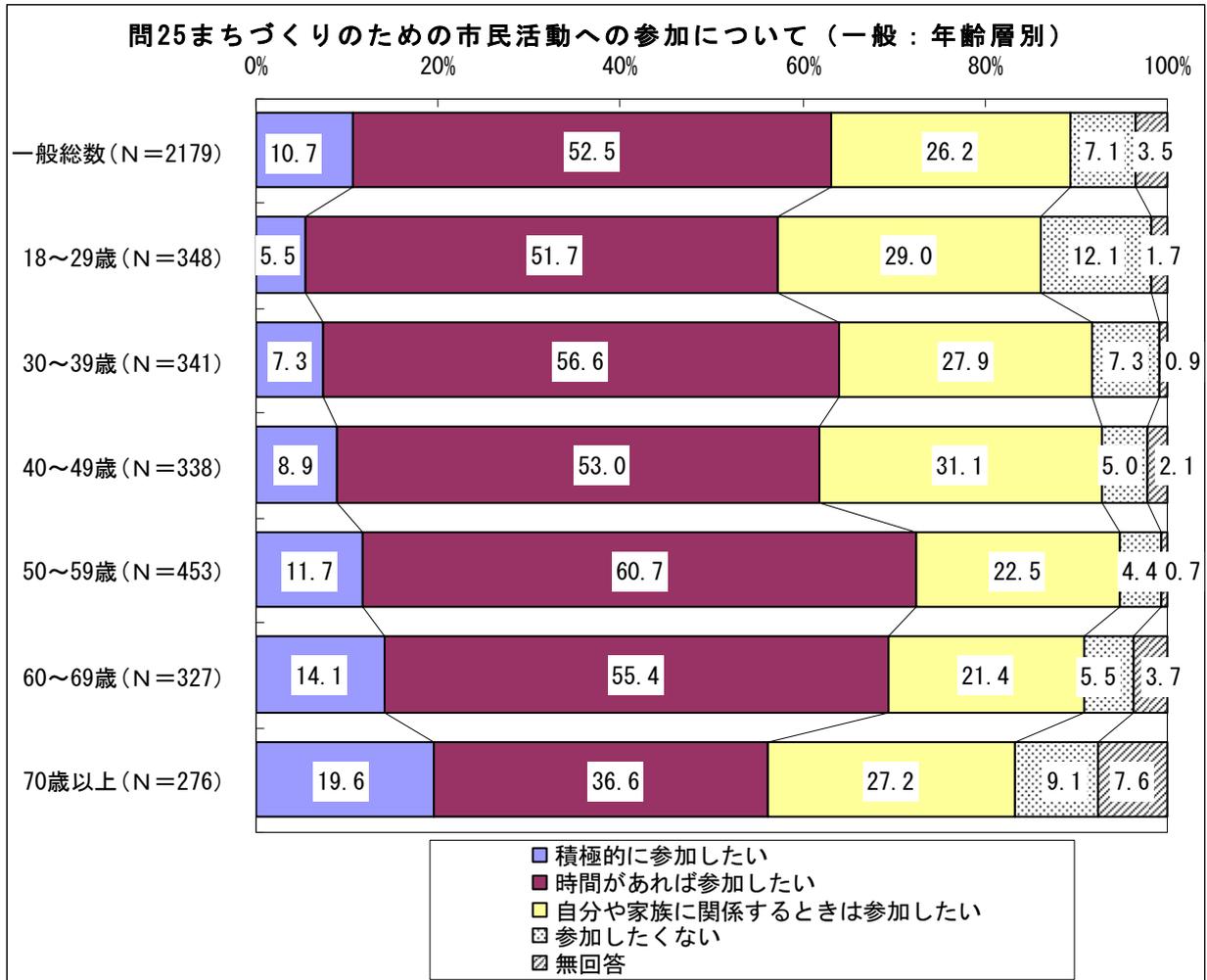
- まちづくりのための市民活動への参加について、約9割が参加したいとの意向をもっています。その内訳として、「時間があれば参加したい」約5割、「自分や家族に関係するときは参加したい」約3割、「積極的に参加したい」は約1割となっています。

グラフ 177



- 年齢層別でみると、年齢が高くなるほど「積極的に参加したい」の割合が高くなる傾向が見られます。また、50～59歳では「時間があれば参加したい」(60.7%)の割合が他の年代に比べて高くなっています。

グラフ 178

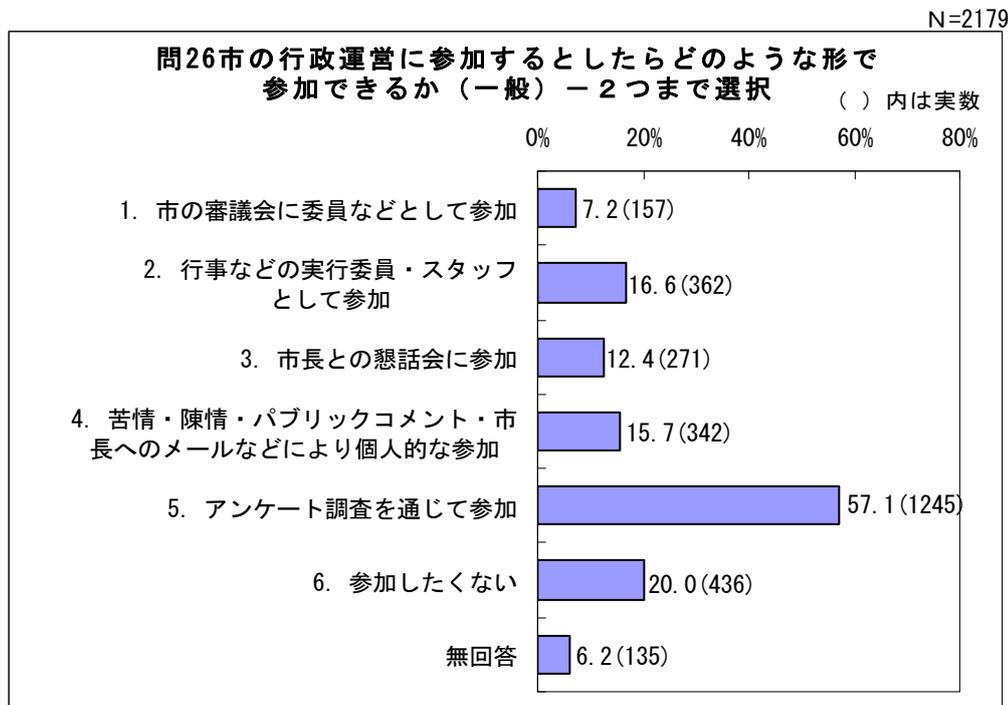


(3) 市の行政運営に参加するとしたらどのような形で参加できるか

問26 市の行政運営に参加するとしたらどのような形で参加できますか。次の中から2つまで選んで、番号に○印をつけて下さい。

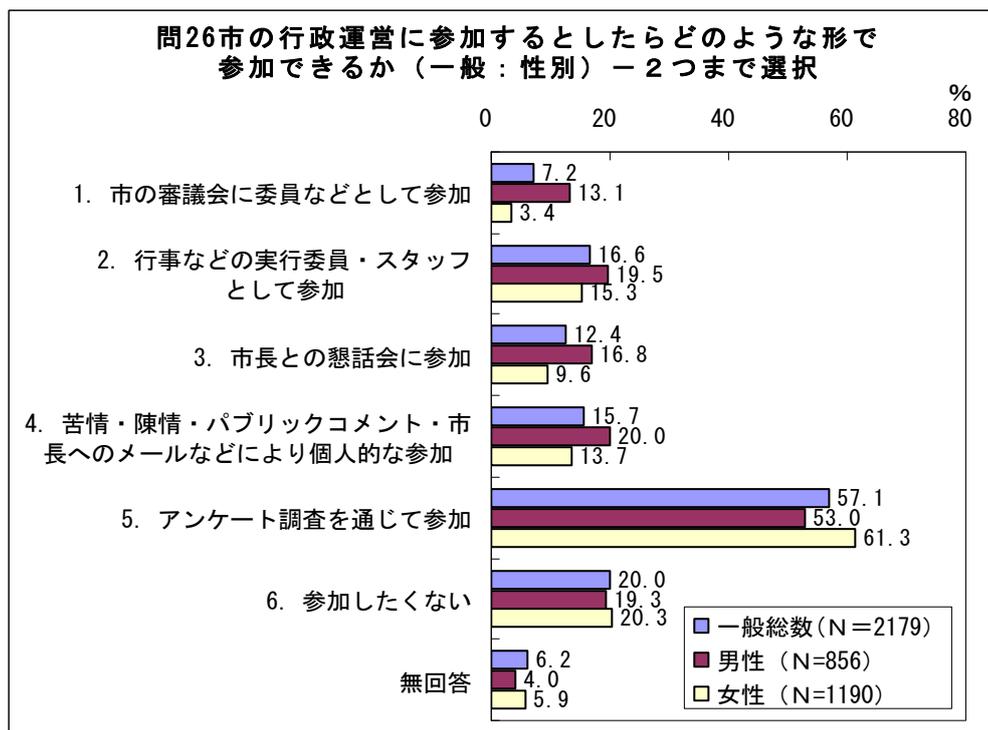
- 「アンケート調査を通じて参加」(57.1%)の割合が最も高く、次いで「参加したくない」(20.0%)、「行事などの実行委員・スタッフとして参加」(16.6%)の順となっています。

グラフ179



- 性別で見ると、「アンケート調査を通じて参加」の割合は女性の方が高くなっています。また、「行事などの実行委員・スタッフとして参加」、「市の審議会に委員などとして参加」などの割合は男性の方が高いという特徴が見られます。

グラフ180



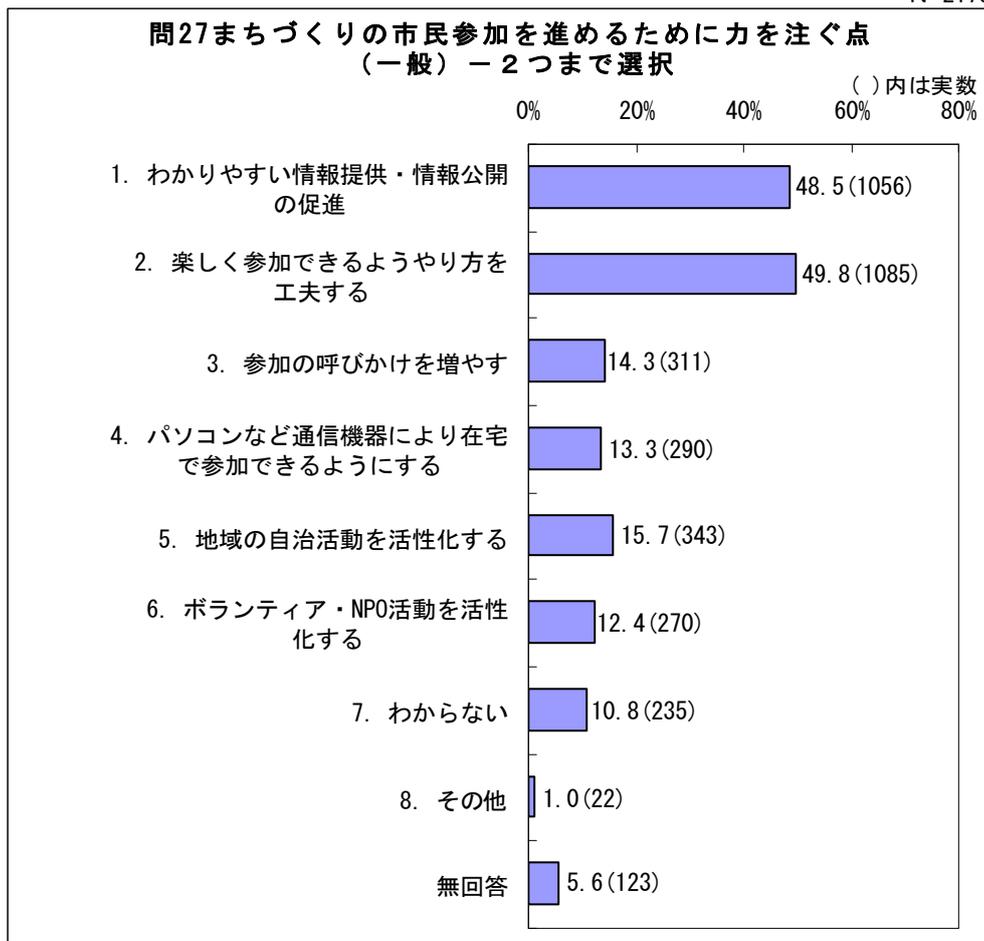
(4) まちづくりの市民参加を進めるためにどのような点に力を注ぐとよいか

問27 まちづくりの市民参加を進めるために、どのような点に力を注いだらよいとお考えですか。次の中から2つまで選んで、番号に○印をつけて下さい。

- 「楽しく参加できるようやり方を工夫する」(49.8%)、「わかりやすい情報提供・情報公開の促進」(48.5%)の割合が高くなっています。

グラフ181

N=2179



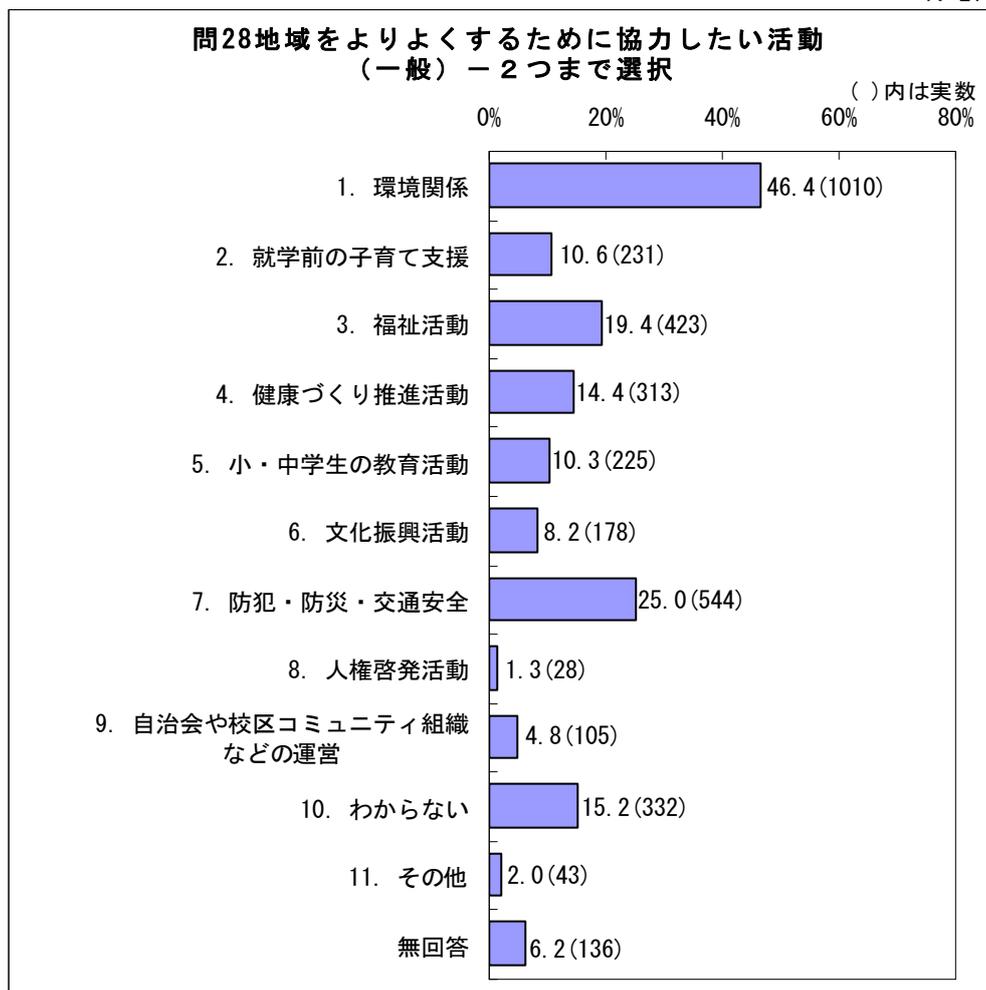
(5) 地域をよりよくするためにどのような活動に協力したいか

問28 まちづくりには、市民のみなさんの活動参加がとても大切です。そこで、地域をよりよくするために、どのような活動に協力したい(できる)とお考えですか、次の中から2つまで選んで、番号に○印をつけて下さい。

- 協力したい活動としてリサイクル活動、花いっぱい運動などの「環境関係」(46.4%)の割合が最も高く、次いで「防犯・防災・交通安全」(25.0%)、「福祉活動」(19.4%)の順となっています。

グラフ 182

N=2179



## Ⅶ まちづくりへの参加意向

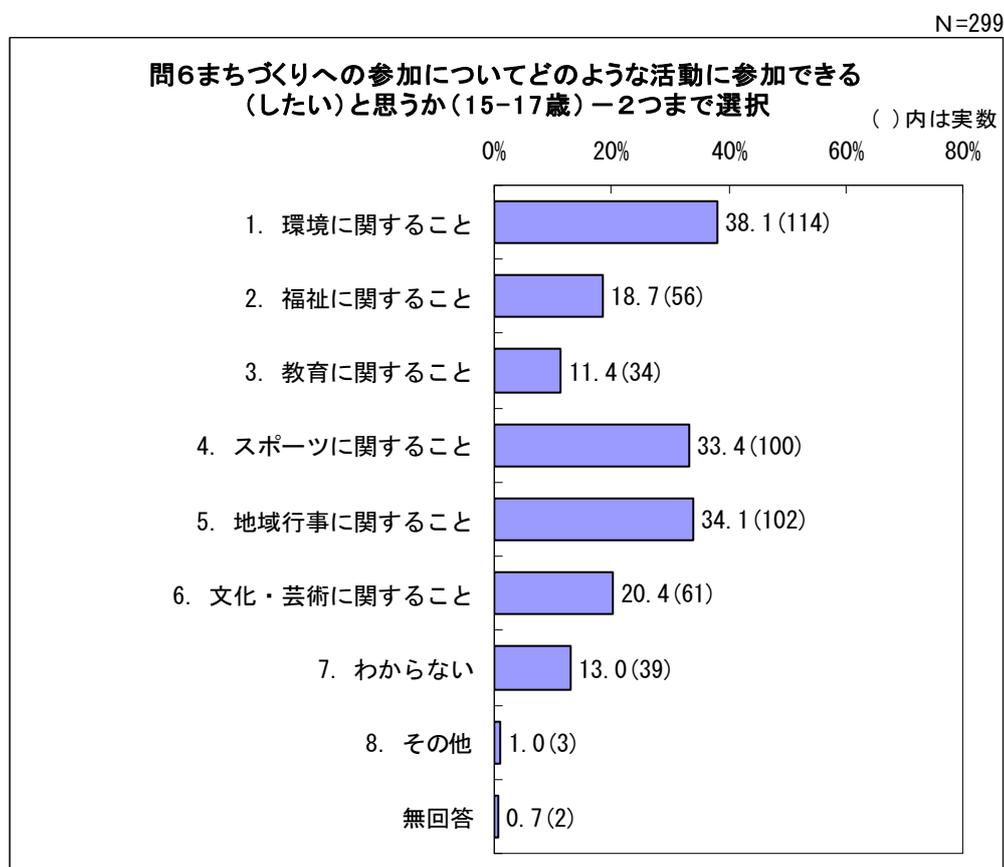
1 【15～17歳】まちづくりへの参加についてどのような活動に参加できる（したい）と思うか

【15～17歳】

問6 まちづくりには、市民のみなさんの活動参加がとても大切です。そこで、古賀市をよりよくするために、あなたはどのような活動に参加できる（したい）と思いますか。次の中から2つまで選んで、番号に○印をつけて下さい。

- 「環境に関すること」(38.1%)、「地域行事に関すること」(34.1%)、「スポーツに関すること」(33.4%)の3つが参加したい活動の主なものとなっています。

グラフ183



## VIII 調査結果のまとめ

### 1 「住みやすさ」と「定住意向」について

- 一般では、「住みやすい」、「どちらかといえば住みやすい」を合わせた『住みやすい』が半数以上となっています。また、積極的に住みやすいとは思わないが特に不満を感じていないと考えられる「普通」を合わせると、約9割が住みやすい、あるいは特に不満を感じていないと評価しています。一方、「どちらかといえば住みにくい」と「住みにくい」を合わせた『住みにくい』は約1割となっています。【P22 参照】
- 15～17歳では、『住みやすい』の割合は、一般に比べやや低いものの、約半数が住みやすいと評価しています。また、「普通」を合わせた割合は、一般と同程度となっています。【P22 参照】
- 一般では、「今の場所に住み続けたい」の割合が約7割と最も高く、「市内の別の場所に移りたい」の約1割を合わせると約8割が古賀市内に住み続けたいとなっており、平成11年の市民意識調査と傾向はほぼ変わりません。15～17歳では「住み続けたい」と「どちらかといえば住み続けたい」を合わせた『古賀市に住み続けたい』は約5割と一般より低く、定住意向は高くありません。住み続けたくない理由としては、“買い物や遊ぶ場所が少ない”、“独立して住んでみたい”となっています。【P25、34 参照】
- 市民の「住みやすさ」への評価は高く、一般の定住意向も高いといえます。一方、15～17歳では定住意向が低くなっていますが、これは“親元を離れてみたい”、“都会で暮らしてみたい”といった若年層特有の傾向が現れた結果とも考えられます。【P22、25、34 参照】

### 2 将来イメージについて

- 一般、15～17歳ともに市に望む将来のまちのイメージは、“便利・快適”、“美しい自然環境”、“安心できる子育て環境”、“健康”が上位にあがっています。一方、“活力ある産業のまち”、“多くの人を訪れる観光・交流のまち”に対する意向は低くなっています。このことから、市民が望む将来のまちのイメージは、産業や観光など「活力や賑わい」よりも、暮らしの場としての「利便性・快適性の向上」、「自然環境の維持保全」、「安心、健康」への期待の方が大きいと考えられます。【P35 参照】

### 3 人口政策について

- 「現在の人口を維持する」が約5割、「人口の増加が望ましい」が約2割、「人口の減少は仕方がない」が約1割となっており、約7割の市民が現状維持か人口増加が望ましいと考えていることが分かります。このため、全国的に人口減少基調にある現在の状況下では、定住化の促進や一定の人口増につながるような取り組みが必要であると考えられます。【P38 参照】
- 地区別でみると、市街地である古賀東、古賀西、花鶴、千鳥、舞の里小学校区では「人口の増加が望ましい」とする積極的な意向の割合が他の地区に比べて高くなっています。ただし、市街地の中でも花見小学校区ではその割合は低くなっており、この要因としては花見小学校区では住宅地が建て込んでおり、これ以上の人口増加の余地は少ないと感じる住民の割合が多いためではないかと考えられます。また、都市計画区域外の地域を含む青柳、

小野小学校区では「人口の増加が望ましい」とする積極的な意向の割合は他の地区に比べて低くなっており、都市計画区域外で進出した無秩序な開発に対する懸念が反映された結果と考えられます。【P38 参照】

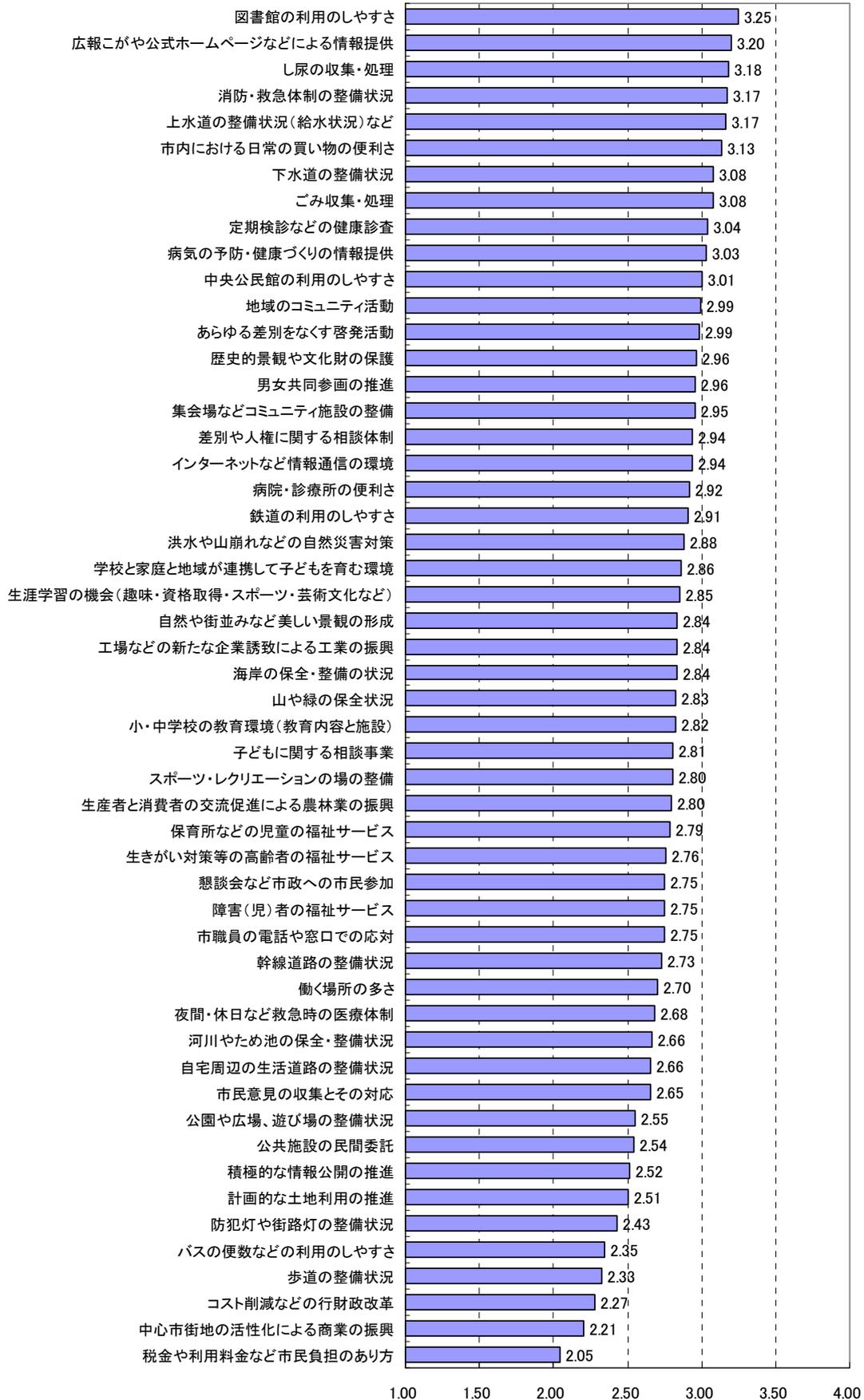
#### 4 満足度と優先事項について

##### (1) 総合的な満足度について【P40～73 参照】

生活環境や日常生活の満足度と優先事項について、8分野 52 項目について設問しています。満足度は、「満足」+5、「やや満足」+4、「普通」+3、「やや不満」+2、「不満」+1として加重平均【P42・表3 注釈参照】して指数化を行っています。

- 生活環境や日常生活の現状に関し、8分野 52 項目について満足度（指数）をみると、比較的数値が高いと思われる指数 3.0 以上の項目は 11 項目となっています。
- 上位の項目をみると、“図書館の利用のしやすさ”や“広報などによる情報提供”の満足度が高いとともに“し尿やごみの収集・処理”、“消防・救急体制”、“上下水道”など日常生活に直結するものも上位にあがっています。これらの項目については現在の行政サービスに対して一定の満足が得られていると考えられます。
- 一方、下位の項目をみると、“税金や利用料金”、“コスト削減などの行財政改革”、“公共施設の民間委託”、“情報公開”など、主に行財政運営分野に関することが目立ちます。このほか、“中心市街地の活性化による商業の振興”は J R 古賀駅前商店街の現状を捉えてのものと考えられます。また、“歩道や公園・広場”、“防犯灯・街路灯”、“バスの利用のしやすさ”なども目立っています。このことから、市民の満足度を高めるためには、行政運営の効率性・透明性の向上や、歩道、公園・広場、防犯灯など日常生活に密着する施設の整備、公共交通の利便性を高めることなどが求められていると考えられます。
- 地区別でみると、市街地と郊外部で満足度に差があり、古賀西、花鶴、舞の里小学校区では“上下水道”、“し尿処理”、“日常の買い物の便利さ”、“病院・診療所の便利さ”などで満足度が高くなっています。一方、青柳、小野小学校区では“バスの利用のしやすさ”、“歩道の整備状況”、“生活道路の整備状況”、“上下水道の整備”、“買い物の便利さ”、“病院・診療所の便利さ”で満足度が低くなっています。

総合的な満足度【一般(18歳以上)】



## (2) 優先して欲しい事項について【P40～73 参照】

- 最も優先して欲しい事項を分野別で見ると、「都市基盤の整備」の分野では“防犯灯や街路灯の整備状況”“歩道の整備”“バスの利用のしやすさ”、「生活環境の整備」の分野では“自然や街並みなど美しい景観の形成”“日常の買い物の便利さ”、「健康の増進と福祉の充実」の分野では“夜間・休日など救急時の医療体制”“高齢者の福祉サービス”、「生涯学習の推進と教育・文化の向上」の分野では“遊びやスポーツをする場”“生涯学習の機会”、「産業の振興」の分野では“中心市街地の活性化”、「人権の確立」の分野では“差別をなくす啓発活動”、「市民参画」の分野では“市民意見の収集とその対応”、「行財政」の分野では“適正な市民負担”がそれぞれ上位にあがっています。
- 地区別で見ても全体の傾向とほぼ変わりませんが、特に「都市基盤」と「生活環境」の分野について市街地と郊外部で傾向に差異が見られます。駅や商業地から離れた青柳、小野小学校区においては、「都市基盤」の分野では“バスの利用のしやすさ”、「生活環境」の分野では“日常の買い物の便利さ”が最も優先して欲しい事項にあがっています。
- 15～17歳の「まちづくりで力を入れて欲しいこと」では、“公共交通の整備・充実”、“公園や広場、遊び場の整備・充実”、“海や山、川などの保全”が上位にあがっています。特に、“遊び場”については、古賀市に住み続けたくない理由としてその少なさが上位にあがっています。【P74 参照】

## 5 分野別の意識・ニーズについて

### (1) 産業の振興について

- 「産業の振興」の分野で満足度をみると、「中心市街地の活性化による商業の振興」について満足度が低くなっています。優先して欲しい事項でも「中心市街地の活性化による商業の振興」の要望が最も高く、次いで「働く場所の多さ」となっています。  
【P60、61 参照】
- 地区別で見ると、舞の里、花見小学校区で「働く場所の多さ」について満足度が低くなっています。また、小野小学校区では、「工場などの新たな企業誘致による工業の振興」について満足度が低くなっており、工場など新たな企業誘致による工業の振興を求める意向がある一方で、そのことによる工場や住宅の混在化など生活環境の悪化への懸念もうかがえます。【P61 参照】

### (2) 土地利用について

#### ① 土地利用に対する評価について

- これまでの古賀市の土地利用については、「おおむね良い」とする割合が高くなっています。平成11年と比較すると、「おおむね良い」の割合が増加していると同時に、「計画性に欠けた秩序のない土地利用になっていると思う」の割合が減少しています。これは、鹿部土地区画整理事業（美明地区）や第5工業団地など、目に見える計画的な開発が行われたことが影響していると考えられます。【P75 参照】

- 地区別でみると、小野小学校区で「おおむね良い」の割合が他の地区に比べて低く、「山林や農地をつぶし過ぎた」、「計画性に欠けた秩序のない土地利用になっている」の割合が高い傾向にあり、都市計画区域外における無秩序な開発を懸念する意向がうかがえます。【P76 参照】
- 「好ましくない土地利用としてイメージする状況」について地区別でみると、小野小学校区などでは“山間部の自然環境や田園環境を失わせる住宅地等の開発”の割合が他の地区に比べて高く、古賀西、千鳥、花見小学校区などでは“生活道路の狭さ”の割合が他の地区に比べて高くなっています。このことから、市街地では“住環境や生活道路のあり方”、郊外部では“無秩序な開発”など、地域によって問題認識の差が表れています。【P79 参照】

## ② 土地利用規制について

- 「もう少し土地利用規制を強くすべき」と「現状程度の規制で十分」を合わせると約4割となっており、何らかの規制が必要であるとする割合が高くなっています。平成11年と比較すると、「今より規制を弱めるべき」の割合が減少している一方で「もう少し土地利用規制を強くすべき」の割合が増加していることから、全体としては土地利用規制については強化の方向への意向が高まっていると考えられます。【P80 参照】
- 地区別でみると、青柳、小野小学校区では平成11年と比較すると「もう少し土地利用規制を強くすべき」の割合が他の地区に比べて増加しており、都市計画区域外における無秩序な開発を懸念する意向がうかがえます。一方で、青柳小学校区では「今より弱めるべき」の割合が他の地区に比べて高く、開発意向が高い地区であることがうかがえます。この要因として、青柳小学校区は土地利用規制が厳しい市街化調整区域が多いことに加え、県道筑紫野古賀線沿線や古賀インターチェンジ周辺の土地の開発意向が高いことなどが考えられます。【P80、81 参照】

## ③ 計画的に進める土地利用について

- 一般、15～17歳ともに“JR駅周辺や幹線道路沿いの商業・便利施設の整備”、“JR駅周辺の道路整備”、“公園・スポーツ施設の整備”などが上位にあがっています。地区別でみると、古賀東、古賀西、花鶴、舞の里小学校区で居住地の近くに商業施設の立地を求める意向がうかがえます。また、青柳小学校区では「古賀インターチェンジ周辺の土地の有効活用」、小野小学校区では、「農地の区画整理や林道整備など農林業用地の整備」への意向が他の地区に比べて高いという特徴が見られます。【P83～85 参照】
- 一般について、平成11年と比較しても“日常生活により密接にかかわる施設整備”、“公園・スポーツ施設の整備”への関心が依然として高くなっています。【P83、84 参照】

## ④ 住んでいる地域（小学校区程度）の将来イメージについて

- “便利・快適”、“美しい自然環境”、“安心できる子育て環境”などが上位にあがっており、市全体に望む将来のまちのイメージとおおむね同様の傾向となっています。【P86～88 参照】
- どの地区でも「便利で快適に暮らせる地域」が約4割と高くなっています。小野小学校区では「美しい自然環境に包まれた地域」の割合が特に高く、現状の豊かな自然環境を維持したいという意向がうかがえます。【P86～88 参照】

### (3) 景観について

#### ① 景観を保全した方がよい場所

- 「生活環境の整備」の分野で最も優先して欲しい事項【P47 参照】として「自然や街並みなど美しい景観の形成」が約3割と最も望まれています。景観を保全した方がよい場所としては「白砂青松の海岸部の景観」、次いで「市東側の西山や犬鳴山系などの山々の自然景観」、「鹿部山公園など市街地に残っている緑地景観」の順となっており、「海」、「山」、「市街地に残っている緑地」の景観を保全した方がよいとする傾向がうかがえます。【P89 参照】
- 地区別でみると、「山々の自然景観」や「田園景観」に対しては小野小学校区、「海岸の景観」に対しては古賀西、花見小学校区、「市街地の緑地景観」に対しては花鶴、千鳥、舞の里、花見小学校区、「唐津街道沿いの景観」に対しては青柳小学校区、「河川沿いの景観」に対しては古賀東、花鶴小学校区と、それぞれ居住する地区周辺の身近な景観について保全した方がよいとする傾向がうかがえます。【P90 参照】

#### ② 景観に問題があり改善した方がよい場所

- 「大根川や青柳川などの河川沿い」や「緑がなくなっている山々」といった“自然景観”が約3割、次いで「国道沿いの看板」、「幹線道路沿いの電柱や電線」、「海岸近接部でマンションなどの高層の建物」といった市街地の“まち並み景観”が約2割と、比較的自然景観に対する関心が高いことがうかがえます。【P91 参照】
- 地区別でみると、保全した方がよい景観と同様に、居住する地区周辺の身近な景観の改善意向が高いことから、まず身近な景観から良くしていくような市民啓発活動が求められていると考えられます。【P92 参照】

#### ③ 古賀市の誇りになる景観形成の必要性

- 「必要だと思う」と「多少は必要だと思う」を合わせた『必要だと思う』の割合は約8割となっており、景観に対する取り組みの必要性が高いと多くの市民が認識していることが分かります。【P93 参照】
- 地区別でみると、青柳、花鶴小学校区では『必要だと思う』の割合が他の地区に比べて高くなっています。青柳小学校区では岳越山、青柳宿、五所八幡宮、花鶴小学校区では鹿部山公園、大根川が近くにあることなどが要因として考えられます。【P93、94 参照】

#### ④ 景観を良くするための必要な取り組みについて

- 「市と地域が話し合いながら景観づくりを行う」と「市が自主的な市民活動による景観づくり活動を支援する」を合わせると約7割と高くなっている一方、「市の主導によって景観づくりを行う」は1割未満と低くなっています。このことから、古賀市における景観を良くしていくためには、市民の自主的な活動を支援するとともに、市と市民が共働で取り組んでいくことが必要であると考えられます。【P94 参照】

### (4) 生活環境について

- 快適で美しい社会、資源循環の社会を保つための取り組みについて重要なことは、「地域のリサイクル活動」、「地域の環境美化活動」の割合が高く、次いで「地域の緑化活動」の順となっており、地域ぐるみの取り組みが重要であるとする市民が多いことが分かります。この要因として、「ごみの分別収集」、「環境美化行動の日」、「道路・環境美化」、

「花いっぱい運動」、「地域による松林保全活動」など、地域主体の取り組みが成果を上げ、定着しつつあることが考えられます。【P95 参照】

## (5) 健康・福祉について

### ① 健康を維持していくために、実際に自身で取り組みたいこと

- 全体的に「食生活や栄養のバランスに気をつける」、「ウォーキングなどの軽い運動を日常的に行う」という意向が高くなっており、生活習慣を見直すなど日頃からの心がけが大切であるとする市民が多いことが分かります。【P96 参照】
- 年齢層別でみると、ほとんどの年代で「食生活や栄養のバランスに気をつける」の意向が高くなっています。また、年齢が高くなるほど「早寝・早起きなど規則正しい生活を心がける」、「かかりつけ医を持ち、日頃から自分の健康状態を把握しておく」の意向が高くなっています。さらに、50～60 歳代では「ウォーキングなどの軽い運動を日常的に行う」の意向が他の年代に比べて高いという特徴が見られます。【P97 参照】

### ② 少子化問題に対応するための重要な取り組みについて

- 「子育てや教育に係る経済的負担の軽減のための取り組み」が約4割と最も高く、次いで「保育所など子育て支援サービスの充実」、「仕事と子育てをしやすい職場環境づくり」の順となっており、“経済的負担の軽減”と“子どもを預ける場の充実”、“就労環境の改善”が求められていると考えられます。【P98 参照】
- 年齢層別でみると、30～40 歳代では“経済的な負担”の軽減が最も高いという特徴が見られ、子育て世代としての直接的な声と考えられます。【P99 参照】

### ③ 団塊の世代や高齢者が地域で生き生きと暮らしていくために重要なこと

- 「健康づくりや生きがい活動を支援する」が約4割と最も高く、次いで「専門知識・技術・経験などを地域活動に活かす環境づくり」の順となっています。このことから、“心身の健康”を基本としながらも、“地域での活動の場づくり”が求められていると考えられます。【P100 参照】

## (6) 教育・生涯学習・スポーツについて

### ① 子どもの教育で重要なこと

- 「子ども同士のつながりをつくる」が約3割と最も高く、次いで「健康・体力づくりを支援する」、「学校と地域社会の連携を拡充する」の順となっており、学校内だけでなく子ども会などを通じた地域や家庭の教育力が求められているとともに、子どもたちの健康に対する関心が高いことがうかがえます。【P101 参照】

### ② 生涯学習として取り組みたいこと

- 「趣味や教養に関すること」と「健康・スポーツに関すること」の2項目の割合が高くなっており、“趣味、教養、健康、スポーツ”への関心が高いことがうかがえます。  
【P103 参照】
- 年齢層別でみると、どの年代でも「趣味や教養に関すること」と「健康・スポーツに関すること」の割合が高くなっています。これ以外では18～29 歳、30 歳代、40 歳代で「専門知識や技能を身につけること」の割合が他の年代に比べて高くなっており、就労や仕事に活かせる学習を求めていることが分かります。また、50 歳代以上では「地域のまち

づくりに関すること」の割合が他の年代に比べて高く、地域活動への参加意欲が高いことがうかがえます。【P104 参照】

- 「生涯学習の推進と教育・文化の向上」の分野で優先して欲しい事項をみると、「公園や広場、遊び場の整備状況」の割合が最も高く、次いで「スポーツ・レクリエーションの場の整備」、「生涯学習の機会」の順となっており、市民は“生涯学習の場や機会づくり”を求めていることがうかがえます。【P57 参照】

### ③ 運動やスポーツを新たに始めたり、継続したりするための条件

- 「身近にスポーツ施設があれば」が約5割と最も高く、次いで「余暇時間があれば」、「仲間や指導者がいたり、気軽に加入できるサークルがあれば」の順となっています。このことから、“身近な運動する場（空間）”、“余暇時間”、“仲間”の3つの間が整うことが重要と考えられます。【P105 参照】
- 年齢層別でみると、若い年代ほど“時間の確保”が課題となっています。また、50～60歳代では“仲間や指導者、気軽に加入できるサークル”を条件にあげる割合が他の年代に比べて高いことから、退職者などが新たに運動やスポーツを始める条件の1つとして考えられます。【P106 参照】

## (7) 人権について

- 「守られていると思う」が約6割と高くなっており、「守られていないと思う」を大きく上回っています。平成11年と比較すると、「守られていないと思う」の割合は変わりませんが、「守られていると思う」の割合がやや減少し、その分「分からない」がやや増加しています。【P107 参照】
- 性別でみると、「守られていないと思う」の割合は女性よりも男性の方がやや高いという特徴が見られます。【P107 参照】
- 「人権の確立」の分野で最も優先して欲しい事項をみると、「あらゆる差別をなくす啓発活動」、「差別や人権に関する相談体制」の順となっており、人権の確立のためには啓発活動の重要性が高いと考える市民が多いことがうかがえます。【P64 参照】

## (8) 市民参画について

### ① 過去1年間の自治会や子ども会など地域活動や行事の参加状況

- 1回でも参加した人を含めた『参加している』は約7割となっています。平成11年の類似設問と比較すると、今回の調査と同様に「参加していない」の割合が高いものの、前回よりは参加しているという傾向がうかがえます。【P108 参照】
- 地区別でみると、舞の里小学校区で『参加している』の割合が他の地区に比べてやや高くなっています。これは比較的新しい住宅団地であるとともに、自治会活動に積極的な40～50歳代の割合が他の地区に比べて高いことによるものと考えられます。【P109 参照】
- 年齢層別でみると、「参加していない」の割合は18～29歳では約6割、30歳代では約4割となっており、若い年代の自治会活動への参加率が低くなっています。一方、40～60歳代では1回でも参加した人の割合は約8割となっており、自治会活動に積極的に参加しているのは40歳代以上であることがうかがえます。しかし、年代が高くなるほど参加頻度は低下する傾向にあります。【P109、110 参照】

## ② まちづくりのための市民活動への参加

- 「時間があれば参加したい」が約5割、「自分や家族に関係するときは参加したい」が約3割、「積極的に参加したい」が約1割となっており、条件さえ揃えば大半の市民が参加したい意向を持っていることが分かります。【P110 参照】
- 年齢層別でみると、年齢が高くなるほど「積極的に参加したい」の割合が高くなる傾向が見られます。50歳代では「時間があれば参加したい」の割合が約6割と他の年代に比べて高く、条件さえ揃えば参加意向が高いことが分かります。【P111 参照】

## ③ 市の行政運営に参加するとしたらどのような形で参加できるか

- 自宅などでも自由に参加できる「アンケート」などによる参加方法の割合が最も高く、話し合いの場や活動に出向く（懇話会や実行委員会など）という参加方法を大きく上回っています。【P112 参照】
- 性別でみると、「アンケート調査を通じて参加」の割合は女性の方が高くなっています。また、「行事などの実行委員・スタッフとして参加」、「市の審議会に委員などとして参加」などの割合は男性の方が高いという特徴が見られます。【P112 参照】
- 「市民参画」の分野で満足度をみると、「市民意見の収集とその対応」、「懇談会など市政への市民参加」について比較的満足度が低くなっています。また、優先して欲しい事項をみると、「市民意見の収集とその対応」の割合が最も高くなっています。このことから、市民意見の聞き方とともに収集した後の計画への反映などの対応や、細やかな情報提供が求められていると考えられます。【P66～68 参照】

## ④ まちづくりの市民参加を進めるためにどのような点に力を注ぐとよいか

- 市民参加を進めるためにどのような点に力を注ぐとよいかについては、「楽しく参加できるようやり方を工夫する」と「わかりやすい情報提供・情報公開の促進」の割合が高く、多くの市民は“楽しさ”と“わかりやすい情報提供”を求めていることが分かります。【P113 参照】

## ⑤ 地域をよりよくするためにどのような活動に協力したいか

- 一般では、協力したい活動として「環境関係」が約5割と最も高く、次いで、「防犯・防災・交通安全」、「福祉活動」の順となっています。古賀市においては「環境関係」ではごみの分別収集や環境美化行動の日など、「防犯・防災・交通安全」では通学時の見守り活動や消防団など、「福祉活動」では高齢者・障害者支援や福祉社会活動などが既に定着しており、これらの活動へ更なる参加が期待されます。【P114 参照】

## ⑥ 15～17歳のまちづくりへの参加意向

- 「環境に関すること」、「地域行事に関すること」、「スポーツに関すること」の3つが参加したい活動の主なものとなっています。この中で「地域行事に関すること」への関心が高いことは注目すべき点であると考えられます。【P115 参照】

## (9) 行財政について

### ① 「行財政」に関する満足度と優先事項について

- 「行財政」の分野で満足度をみると、「市職員の電話や窓口での応対」は比較的満足度が高く、「税金や利用料金などの市民負担のあり方」については満足度が低くなっています。  
【P70 参照】
- 最も優先して欲しい事項をみると「税金や利用料金など市民負担のあり方」について要望が高く、次いで「コスト削減など行財政改革」の順となっており、“適正な市民負担のあり方”と“行財政改革”が求められていることが分かります。【P71 参照】

## Ⅸ 参考資料

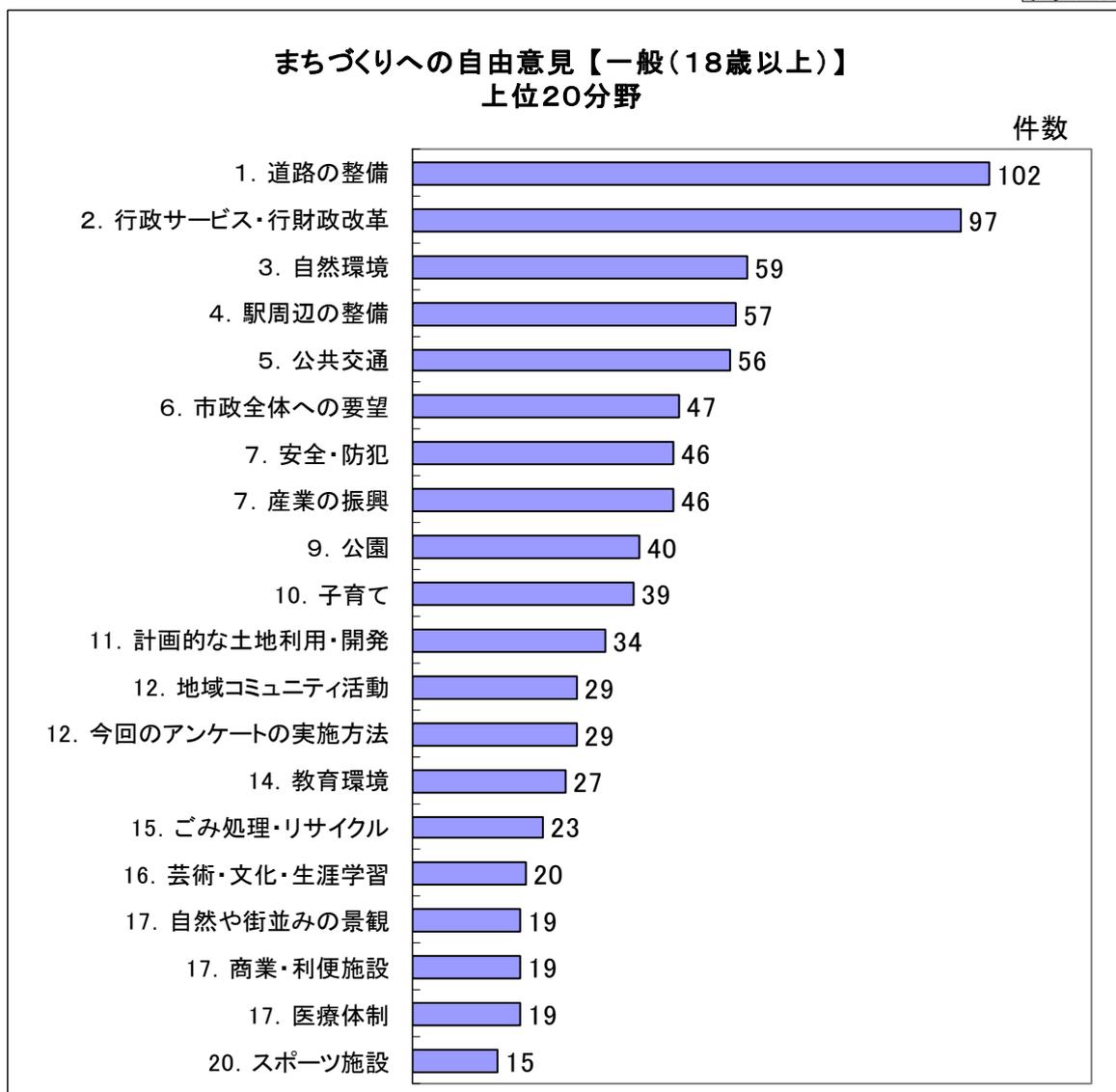
### 1 まちづくりへの自由意見

#### (1) 一般(18歳以上)

(10) 古賀市の今後のまちづくりや今後必要と思われるものに対するアイデアやご提案をはじめ、市に対するご意見がありましたら、自由にご記入下さい。

- 一般では、延べ929件の自由意見が出されました。
- 分野別で件数をみると、『道路の整備』が102件、『行政サービス・行財政改革』が97件、『自然環境』が59件、『駅周辺の整備』が57件、『公共交通』が56件、『市政全体への要望』が47件、『安全・防犯』、『産業の振興』がそれぞれ46件、『公園』が40件、『子育て』が39件の順となっています。【グラフ185参照】
- 意見の項目別で件数をみると、「歩道を拡幅するなど整備して欲しい」が39件、「防犯灯や街路灯を増やして欲しい」が27件、「道路を拡幅するなど整備して欲しい」が25件、「バスの増便・路線を充実して欲しい」、「身近な公園を設置して欲しい」がそれぞれ24件の順となっています。【表11-①～⑤参照】

グラフ185



分野	意見の項目	件数
道路の整備 (102件)	・歩道を拡幅するなど整備して欲しい	39
	・道路を拡幅するなど整備して欲しい	25
	・信号の場所・カーブミラーなど交通の問題を改善して欲しい	14
	・狭い生活道路を拡幅して欲しい	4
	・道路の騒音を解消して欲しい	3
	・踏切を改善して欲しい	3
	・歩道の草刈りや清掃が不十分のため歩道が汚く、狭い	3
	・道路の舗装をやりかえて欲しい	3
	・道路の草刈りの時期を見直して欲しい	2
	・歩道に街路樹や花などを植えて欲しい	2
	・大型トラック等が止まれる道の駅などが無い	1
	・側溝を整備して欲しい	1
	・歩道にトイレを整備して欲しい	1
	・一方通行の整備をして欲しい	1
	行政サービス・行財政改革 (97件)	・市民の意見をもっと聞いて欲しい
・市職員の対応を改善して欲しい		13
・経費を節約し、収入確保をして欲しい		11
・税金が高い		8
・行政改革に取り組んで欲しい		6
・市民との話し合いの場をもって欲しい		6
・窓口の開庁時間の拡大や土日の開放を検討して欲しい		4
・施設利用料が高い		3
・水道料金が安い		3
・ゴミ袋が高い		3
・情報提供の方法を見直して欲しい		3
・広報誌を読みやすくして欲しい		3
・健康保険税が高い		2
・民間委託の内容を見直して欲しい		2
・公共施設はバリアフリーにして欲しい		2
・行財政についてはわからない		2
・現場をみて欲しい		2
・災害、治安に関する情報を提供して欲しい		2
・職員の対応がよい		1
・清掃工場について情報公開して欲しい		1
・税金使途について情報公開して欲しい		1
・放送設備は意味がない		1
・ホームページが見にくい		1
・給食センターの活用を提案したい		1

表 11-②

自然環境 (59件)	・自然環境を保護して欲しい	16
	・川を整備して欲しい	11
	・海岸付近の整備をして欲しい	9
	・山や緑を保全して欲しい	7
	・松林などの保全をして欲しい	5
	・川沿いの草刈りをして欲しい	4
	・川の水をきれいにしたい	4
	・ため池の蚊対策をして欲しい	1
	・海岸のごみ対策をして欲しい	1
	・海をまちづくりに活用して欲しい	1
駅周辺の整備 (57件)	・駅周辺などで駐車場・駐輪場の整備をして欲しい	16
	・駅周辺の土地利用の見直しや再開発をして欲しい	11
	・駅周辺に利便施設が欲しい	9
	・駅周辺の環境改善をして欲しい	7
	・駅周辺の道路を整備して欲しい	5
	・駅のバリアフリー化をして欲しい	4
	・駅周辺の商店街の活性化をして欲しい	3
	・駅の案内板を改善して欲しい	1
	・駅周辺の景観を改善して欲しい	1
公共交通 (56件)	・バスの増便・路線を充実して欲しい	24
	・コミュニティバスを充実して欲しい	16
	・福祉タクシーなどを充実して欲しい	4
	・交通手段が無く困っている	3
	・バス停を改善して欲しい	3
	・鉄道の増便、快速を止めて欲しい	3
	・西鉄電車がなくなって不便になった	2
	・バスはたまに利用しており必要である	1
	市政全体への要望 (47件)	・福祉、教育、自然などソフト事業に重点を置いた市政をして欲しい
・子ども・若者が安心して暮らせるまちにして欲しい		5
・市の特徴づくりが必要		5
・地域に差がないまちづくりをして欲しい		3
・マナーについて啓発して欲しい		3
・市政への参加は難しい		3
・人口は現状維持がよい		2
・都市基盤や生活環境についてほぼ満足している		2
・市民の意識を啓発した方がよい		2
・施設整備よりも産業に力を入れて欲しい		1
・昔からあるものを大切にしたい		1
・全て見直し新しい市政にして欲しい		1
・希望のある明るい市にして欲しい		1
・市の将来像を示して欲しい		1
・平和を希求する市にして欲しい		1
・人口減少は仕方がないことではないか		1
・選挙に行くよう啓発して欲しい		1
・住みよい地域にして欲しい		1
・これからも古賀市に住み続けたい	1	

表 11-③

分野	意見の項目	件数
安全・防犯 (46件)	・ 防犯灯や街路灯を増やして欲しい	27
	・ 防犯に力を入れて欲しい	6
	・ 交番を設置して欲しい	4
	・ 違法駐車を取り締まって欲しい	4
	・ 駅周辺の防犯対策が必要	2
	・ 防犯灯や街路灯の色を白色にして欲しい	1
	・ 防犯灯や街路灯の点検をして欲しい	1
	・ 騒音を出さず交通を取り締まって欲しい	1
産業の振興 (46件)	・ 中心市街地を活性化して欲しい	11
	・ 農産物の地産地消を促進して欲しい	9
	・ 働く場所をつくって欲しい	6
	・ 企業を誘致して欲しい	6
	・ 市内の農産物を販売する場所をつくるべき	4
	・ 祭りや花火大会などイベントを開催した方がよい	4
	・ 温泉や自然など古賀市をPRした方がよい	3
	・ 遊休農地を活用した市民農園を設置して欲しい	1
	・ 観光として集客できる新しい施設が欲しい	1
	・ 産業の振興についてはわからない	1
公園 (40件)	・ 身近な公園を設置して欲しい	24
	・ グリーンパークの利便性を向上して欲しい	11
	・ 子どもが安全に遊べる場所が欲しい	4
	・ ドッグランを作って欲しい	1
子育て (39件)	・ 乳幼児医療控除の年齢を引き上げて欲しい	14
	・ 保育料を安くして欲しい	10
	・ 子育て支援をもっと充実させる必要がある	6
	・ 保育所・幼稚園を設置して欲しい	5
	・ 児童手当を増やして欲しい	4
計画的な土地利用・開発 (34件)	・ 自然を保全した土地利用をして欲しい	7
	・ 郊外部の土地利用を見直して欲しい	5
	・ 市街地の住宅開発を見直して欲しい	5
	・ 住宅や商業が密集している状況を改善して欲しい	3
	・ 自然保護地域や住宅地と工業地域を区別して欲しい	3
	・ 自然保護地域や住宅地と商業地域を区別して欲しい	2
	・ 公共施設の配置を見直して欲しい	2
	・ 農業への土地利用を進めて欲しい	2
	・ 土地利用について情報提供が必要	2
	・ 市街地の土地利用を見直して欲しい	1
	・ 市独自の施策が必要である	1
	・ 市街地の開発を進めて欲しい	1
	地域コミュニティ活動 (29件)	・ 地域活動には状況によって参加している
・ 地域活動にはなかなか参加できない		6
・ 地域活動に参加するきっかけづくりが必要である		5
・ 自治会活動の見直しが必要		5
・ 役割分担を決めて参加する仕組みが必要である		3
・ 地域活動への支援金が必要である		1
・ 地域のことを相談できる機関が欲しい		1

表 11-④

今回のアンケートの実施方法 (29件)	・アンケートの内容を見直して欲しい	14
	・名前入りの封筒使用では、無記名のアンケートとは言えない	11
	・アンケート結果を踏まえて対応して欲しい	2
	・アンケート対象の年齢を見直して欲しい	1
	・近所のことしかわからず参考にならないかもしれない	1
教育環境 (27件)	・学校と家庭と地域が連携して子どもを育む環境が必要	5
	・子ども・青少年へのしつけ教育が必要	4
	・心の教育をして欲しい	4
	・学校設備を改善して欲しい	4
	・保護者への子育て教育が必要	3
	・教育体制を改善して欲しい	3
	・登下校の見守り、集団登校を実施して欲しい	2
	・教育委員会の体制を改善して欲しい	1
	・教育で自然に触れる機会をつくる	1
ごみ処理・リサイクル (23件)	・分別収集を改善して欲しい	12
	・当番制の回収方法を改善して欲しい	4
	・不法投棄、ポイ捨ての対策をして欲しい	4
	・廃油の回収をして欲しい	2
	・デポジット制を導入して欲しい	1
芸術・文化・生涯学習 (20件)	・講座の情報をPRして欲しい	5
	・団塊世代、高齢者の生きがい対策をして欲しい	4
	・ボランティア活動サークルの情報を知らせて欲しい	2
	・大学を誘致して欲しい	2
	・自転車乗り方講座を実施して欲しい	1
	・環境に関する講座を実施して欲しい	1
	・学習施設を充実して欲しい	1
	・音楽事業をして欲しい	1
	・美術館を設置して欲しい	1
	・生涯学習施設に飲食施設が欲しい	1
・生涯学習については分からない	1	
自然や街並みの景観 (19件)	・住宅地の景観の改善をして欲しい	6
	・花や緑を植えて欲しい	5
	・看板の改善をして欲しい	3
	・ごみ処理場の景観を改善して欲しい	2
	・電柱を地下に埋設して欲しい	1
	・美化活動を促進して欲しい	1
	・屋外広告の撤去の頻度を増やして欲しい	1
商業・利便施設 (19件)	・商業施設が立地して欲しい	7
	・スーパーやコンビニを増やして欲しい	6
	・レジャー施設が欲しい	3
	・宿泊施設が必要	2
	・温泉センターが欲しい	1
医療体制 (19件)	・病院の専門分野や数を充実して欲しい	6
	・小児科など、子どもへの医療体制を充実して欲しい	6
	・夜間、休日など医療体制を充実して欲しい	5
	・病院の情報が欲しい	2

表 11-⑤

スポーツ施設 (15件)	・スポーツ施設を増やして欲しい	8
	・スポーツ施設まで遠い	3
	・球場が欲しい	2
	・テニスコートが欲しい	1
	・運動施設、コミュニティ施設は充実している	1
上下水道 (11件)	・上下水道を整備して欲しい	10
	・農業水路の整備は下水道と別にして欲しい	1
高齢者福祉 (10件)	・高齢者が安心して住めるまちにして欲しい	5
	・高齢者への経済的支援をして欲しい	3
	・介護支援を充実して欲しい	2
西鉄宮地岳線跡地利用 (10件)	・西鉄電車跡地を遊歩道にして欲しい	6
	・西鉄電車跡地を有効利用して欲しい	4
市議会 (10件)	・議員を削減して欲しい	6
	・議員の活動を知らせて欲しい	4
病気の予防、健康づくり (9件)	・健康づくりのための施設を充実して欲しい	6
	・定期検診を充実して欲しい	3
人権の確立 (8件)	・人権の確立を強調しなくてもよいのではないか	5
	・人権は守られていると思いたい	1
	・人権が守られていない	1
	・人権について一部乱用する雰囲気がある	1
社会福祉 (7件)	・福祉施設など福祉対策を充実して欲しい	3
	・社会福祉協議会の場所が遠い、わかりづらい	2
	・社会福祉協議会にもう少し支援が必要ではないか	1
	・生活保護行政について見直しが必要ではないか	1
市立図書館 (7件)	・本・CD・DVDの内容を充実して欲しい	4
	・机・イスを増やして欲しい	1
	・開館時間を9時からにして欲しい	1
	・図書館の周囲の清掃に取り組んで欲しい	1
ペット飼い主のマナー(6件)	・ペットの飼い主のマナー向上への対策が必要	6
市町村合併 (5件)	・合併をした方がよい	4
	・合併は反対である	1
障害者福祉 (5件)	・障害者が住みよいまちにするための啓発などして欲しい	2
	・障害者支援として手当や窓口の充実などに取り組んで欲しい	2
	・障害者支援についてサービスのしすぎという面もある	1
中央公民館 (4件)	・中央公民館の内容をPRし利用促進をして欲しい	2
	・研修棟の設備が悪いので改善して欲しい	1
	・研修棟の利用料は無料のままにして欲しい	1
その他 (14件)	・高齢や時間に余裕がないなどでまちづくりのことはわからない	3
	・意見は特にない	3
	・免許更新できる場所が近くに欲しい	2
	・住宅政策に力を入れて欲しい	2
	・市民の交流の場が欲しい	1
	・インターネットなど情報通信の環境を良くして欲しい	1
	・郵便ポストを増やして欲しい	1
	・住居表示を変えて欲しい	1

## (2) 15～17 歳

問7 古賀市のまちづくりについて、意見やアイデアなどがありましたら自由に記入して下さい。

- 15～17 歳では、延べ 187 件の自由意見が出されました。
- 分野別で件数をみると、『商業・便利施設』が 37 件、『公共交通』が 22 件、『自然環境』が 17 件、『道路の整備』、『安全・防犯』がそれぞれ 15 件、『市政全体への要望』が 14 件、『駅周辺の整備』が 10 件、『教育環境』、『スポーツ施設』、『産業の振興』がそれぞれ 8 件の順となっています。【グラフ 186 参照】
- 意見の項目別で件数をみると、「バスの増便・路線を充実して欲しい」が 17 件、「レジャー施設が欲しい」が 16 件、「商業施設が立地して欲しい」が 15 件、「道路や歩道を拡張するなど整備して欲しい」が 13 件、「自然環境を保護して欲しい」、「防犯灯や街路灯を増やして欲しい」がそれぞれ 11 件の順となっています。【表 12-①～②参照】
- 分野別で一般と比較すると、一般と同様に『公共交通』、『自然環境』、『道路の整備』、『安全・防犯』、『駅周辺の整備』が上位にあがっていますが、最も件数が多かった分野は『商業・便利施設』であり、買い物や娯楽などへの関心が最も高いことが分かります。

グラフ 186

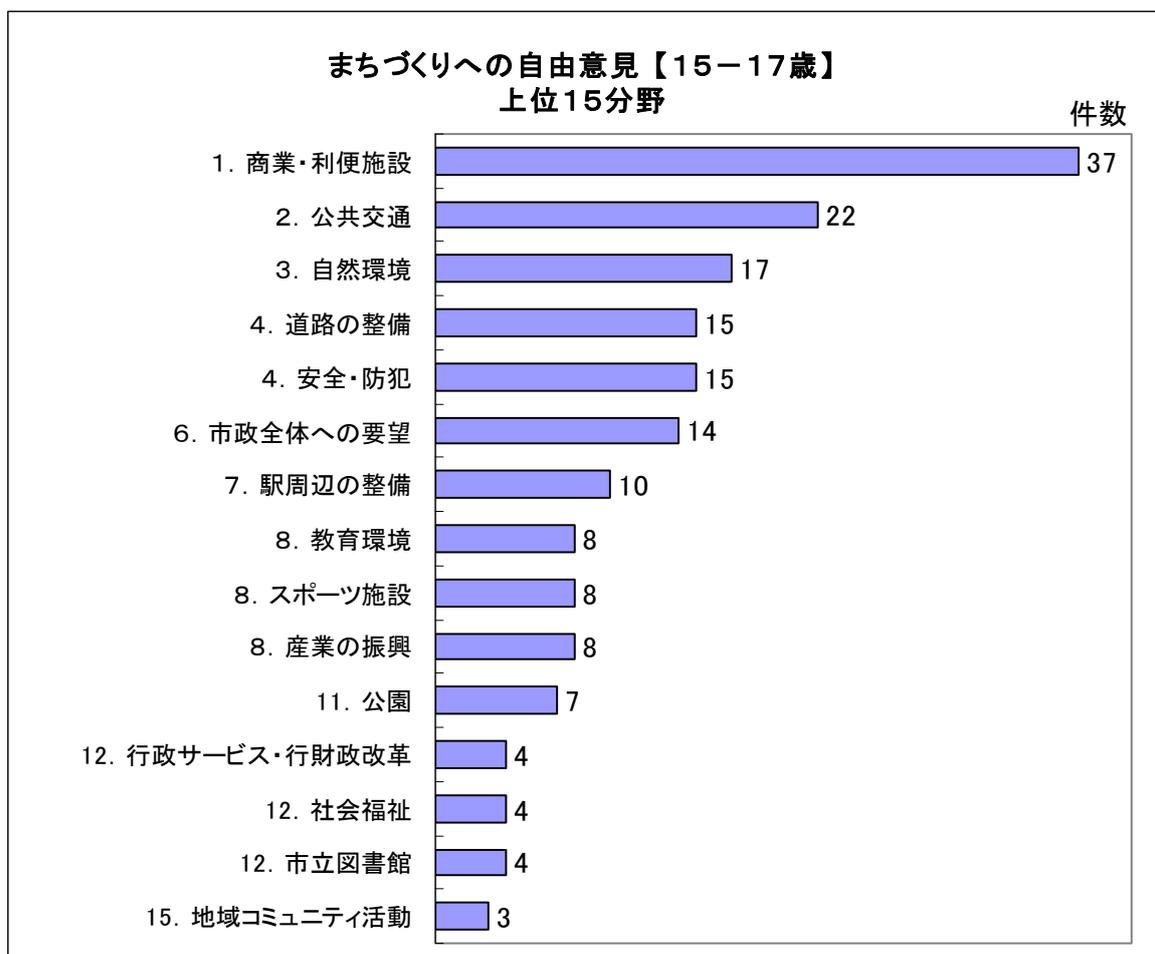


表 12-①

分野	意見の項目	件数
商業・利便施設 (37件)	・ レジャー施設が欲しい	16
	・ 商業施設が立地して欲しい	15
	・ スーパーやコンビニ等が欲しい	4
	・ 本屋が欲しい	1
	・ 温泉センターが欲しい	1
公共交通 (22件)	・ バスの増便・路線を充実して欲しい	17
	・ 鉄道の増便、快速を止めて欲しい	4
	・ バス停を改善して欲しい	1
自然環境 (17件)	・ 自然環境を保護して欲しい	11
	・ 海岸付近の整備をして欲しい	3
	・ 海岸のごみ対策をして欲しい	1
	・ ため池の蚊対策をして欲しい	1
	・ 川沿いの草刈りをして欲しい	1
道路の整備 (15件)	・ 道路や歩道を拡張するなど整備して欲しい	13
	・ 道路の清掃活動をした方がよい	1
	・ 信号機を増やして欲しい	1
安全・防犯 (15件)	・ 防犯灯や街路灯を増やして欲しい	11
	・ 交番を設置して欲しい	2
	・ 防犯灯や街路灯の点検をして欲しい	1
	・ 防犯に力を入れて欲しい	1
市政全体への要望 (14件)	・ もっと活気がある、住みたいまちにして欲しい	5
	・ 福祉、教育、自然などソフト事業に重点を置いた市政をして欲しい	3
	・ 市の特徴をつくった方がよい	3
	・ 地域に差がないまちづくりをして欲しい	2
	・ 教育・文化に力を入れて欲しい	1
駅周辺の整備 (10件)	・ 駅のバリアフリー化をして欲しい	3
	・ 駅周辺の商店街の活性化をして欲しい	3
	・ 駅周辺の環境改善をして欲しい	2
	・ 駅周辺の道路を整備して欲しい	1
	・ 駅周辺の土地利用の見直しや再開発をして欲しい	1
教育環境 (8件)	・ 学校と家庭と地域と市が連携して子どもを育む環境が必要	5
	・ 学校と学校設備を充実して欲しい	2
	・ 子ども・青少年へのしつけ教育が必要	1
スポーツ施設 (8件)	・ スポーツ施設を増やして欲しい	6
	・ 球場が欲しい	2
産業の振興 (8件)	・ 中心市街地を活性化して欲しい	3
	・ 働く場所をつくって欲しい	2
	・ 祭りや花火大会などイベントを開催した方がよい	2
	・ 農林業を振興して欲しい	1
公園 (7件)	・ グリーンパークの利便性を向上して欲しい	4
	・ 身近な公園を設置して欲しい	1
	・ 公園にトイレを作って欲しい	1
	・ 子どもが安全に遊べる場所が欲しい	1

表 12-②

分野	意見の項目	件数
行政サービス・行財政改革 (4件)	・税金の無駄遣いを止めて欲しい	2
	・市の情報提供の方法を見直して欲しい	1
	・市職員の対応を改善して欲しい	1
社会福祉 (4件)	・福祉施設など福祉対策を充実して欲しい	3
	・高齢者の福祉サービスに力を入れて欲しい	1
市立図書館(4件)	・図書館など勉強する場所を増やして欲しい	4
地域コミュニティ活動 (3件)	・地域の人の交流が必要	2
	・少子化により地区の祭りを一つにまとめるなど対策が必要	1
西鉄宮地岳線跡地利用 (2件)	・西鉄電車跡地を有効利用して欲しい	1
	・西鉄電車跡地を道路にして欲しい	1
ペット飼い主のマナー(2件)	・ペットのフンの後始末をするよう啓発して欲しい	2
その他 (7件)	・不法投棄、ポイ捨ての対策をして欲しい	1
	・自然や街並みなど美しい景観にして欲しい	1
	・住宅行政に力を入れて欲しい	1
	・マナーについて啓発して欲しい	1
	・テレビアンテナをよくして欲しい	1
	・市議会議員に頑張って欲しい	1
	・特にない	1

2 アンケート調査票

[ 18歳以上の市民用 ]

[ 15～17歳の市民用 ]

次のページより

## まちづくりに関する市民アンケート 調査ご協力をお願い

～ 古賀市の将来のまちづくりについて、あなたのご意見をお聞かせ下さい ～

古賀市では、『第四次古賀市総合振興計画・第三次国土利用計画（平成23年度～）』及び『都市計画マスタープラン（平成21年度～）』の策定にあたり、市民の皆さまのご意見やお考えを幅広くお伺いし、計画づくりに活かすとともに、市民の皆さまにも「まちづくり」に参画し、古賀市の将来について共に考えていただくことを目的としてアンケート調査を実施します。

お忙しいところ誠に恐れ入りますが、趣旨をご理解いただき、調査にご協力いただきますようお願いいたします。**なお、回答は無記名で、結果はすべて統計的に処理されるため、あなたのご回答が他の人に知られることはありません。**日頃お考えになっていることを率直にご回答いただきますよう重ねてお願いいたします。

平成19年10月

古賀市長 中村 隆 象

《ご記入にあたっての留意事項》	
1. アンケートの対象者	①18歳以上の市民から無作為に選んだ2,500人 ②15～17歳の市民から無作為に選んだ300人 <b>※この調査票は、①18歳以上の市民を対象としたものです。</b>
2. 記入方法	<b>■</b> 選択式の質問は、該当する番号に○印をつけて下さい。（設問により、○印をつける数が異なりますのでご注意ください。） <b>■</b> 回答内容については、ご家族の方などに相談していただいて構いませんが、あくまでも記入される方の意志にしたがって回答してください。
3. 調査期間と提出方法	<b>■</b> 記入後の調査用紙は、この封筒に入れて封をし、 <b>平成19年 月 日までに隣組長さんへ提出してください。</b>

このアンケート調査に関するお問合せ

古賀市役所 経営企画課・土地利用政策室 電話942-1113

【小学校区一覧表】

下の表は、古賀市内の小学校区と、そこに含まれる行政区との対照表です。

アンケートの中に、あなたの居住地区（小学校区）をおたずねする設問がありますので、お答えの際に参考にしてください。

小学校区	該当する行政区
青柳小学校区	今在家区、新原区、青柳区、小竹区、町川原1区、町川原2区
小野小学校区	谷山区、小山田区、薬王寺区、米多比区、薦野区、 筵内区（鶴組、峠組）
古賀東小学校区	筵内区（鶴組、峠組を除く）、庄北区、庄南区、久保区、 久保西区、中央区、古賀団地区
古賀西小学校区	鹿部区（鹿部1組、鹿部2組{美明二丁目及び同三丁目部分}、鹿部8組を除く）、古賀南区、古賀北区、日吉台区、中川区
花鶴小学校区	花鶴丘一丁目区、花鶴丘二丁目1区、花鶴丘二丁目2区、 花鶴丘二丁目3区、花鶴丘三丁目区、古賀東区、鹿部区（鹿部1組、 鹿部2組{美明二丁目及び同三丁目部分}、鹿部8組）
千鳥小学校区	病院区、千鳥東区、千鳥南区、千鳥北区、さや団地区、高田区、 千鳥タウンコート区
花見小学校区	花見南区、北花見区、花見東1区、花見東2区
舞の里小学校区	舞の里1区、舞の里2区、舞の里3区、舞の里4区、舞の里5区

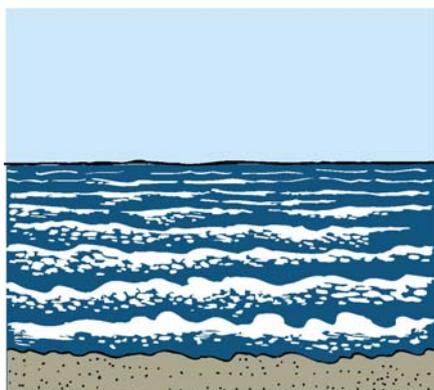


問4 将来の古賀市がどのようなイメージのまちになることを望みますか。  
次の中から2つまで選んで、番号に○印をつけて下さい。

1. 美しい自然環境に包まれたまち
2. 活力ある産業のまち
3. 多くの人を訪れる観光・交流のまち
4. 便利で快適に暮らせるまち
5. 健康で暮らせるまち
6. 教育・文化・スポーツ等の水準の高いまち
7. 市民同士がふれあい豊かに暮らせるまち
8. 防災・防犯体制が整ったまち
9. 子どもを安心して産み育てられるまち
10. その他 ( )

問5 古賀市の平成12年の人口は55,476人、平成17年の人口は55,943人（国勢調査より）と、ほぼ横ばいになっています。また日本全体の人口は平成17年を境に減少に転じています。これからの古賀市の人口政策についてあなたはどのように望みますか。次の中から1つだけ選んで、番号に○印をつけて下さい。

1. 人口の増加が望ましい
2. 現在の人口を維持する
3. 人口の減少は仕方がない
4. わからない



## 2. 満足度についておたずねします

問6 生活環境や日常生活に関して（1）～（52）の各項目について、現状をどのように感じていますか。それぞれの選択肢の中から1つだけ選んで、番号に○印をつけて下さい。

### ●都市基盤の整備

	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	わからない
（1）計画的な土地利用の推進	1	2	3	4	5	6
（2）洪水や山崩れなどの自然災害対策	1	2	3	4	5	6
（3）幹線道路の整備状況	1	2	3	4	5	6
（4）歩道の整備状況	1	2	3	4	5	6
（5）自宅周辺の生活道路の整備状況	1	2	3	4	5	6
（6）鉄道の利用しやすさ	1	2	3	4	5	6
（7）バスの便数などの利用しやすさ	1	2	3	4	5	6
（8）インターネットなど情報通信の環境	1	2	3	4	5	6
（9）消防・救急体制の整備状況	1	2	3	4	5	6
（10）防犯灯や街路灯の整備状況	1	2	3	4	5	6

「都市基盤の整備」の中で最も優先してほしい事項を上記（1）～（10）の中から2つまで選んで口に番号を記入して下さい。

--	--

### ●生活環境の整備

	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	わからない
（11）自然や街並みなど美しい景観の形成	1	2	3	4	5	6
（12）河川やため池の保全・整備状況	1	2	3	4	5	6
（13）海岸の保全・整備の状況	1	2	3	4	5	6
（14）ごみ収集・処理	1	2	3	4	5	6
（15）上水道の整備状況（給水状況）など	1	2	3	4	5	6
（16）下水道の整備状況	1	2	3	4	5	6
（17）し尿の収集・処理	1	2	3	4	5	6
（18）山や緑の保全状況	1	2	3	4	5	6
（19）市内における日常の買い物の便利さ	1	2	3	4	5	6

「生活環境の整備」の中で最も優先してほしい事項を上記（11）～（19）の中から2つまで選んで口に番号を記入して下さい。

--	--

## ●健康の増進と福祉の充実

	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	わからない
(20) 病気の予防・健康づくりの情報提供	1	2	3	4	5	6
(21) 定期健診などの健康診査	1	2	3	4	5	6
(22) 夜間・休日など救急時の医療体制	1	2	3	4	5	6
(23) 病院・診療所の便利さ	1	2	3	4	5	6
(24) 保育所などの児童の福祉サービス	1	2	3	4	5	6
(25) 障害（児）者の福祉サービス	1	2	3	4	5	6
(26) 生きがい対策等の高齢者の福祉サービス	1	2	3	4	5	6

「健康の増進と福祉の充実」の中で最も優先してほしい事項を上記（20）～（26）の中から2つまで選んで□に番号を記入して下さい。

--	--

## ●生涯学習の推進と教育・文化の向上

（※生涯学習とは、人が生涯にわたり学び、学習活動を続けていくことです。）

	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	わからない
(27) 公園や広場、遊び場の整備状況	1	2	3	4	5	6
(28) 小・中学校の教育環境 （教育内容と施設）	1	2	3	4	5	6
(29) 学校と家庭と地域が連携して子どもを 育む環境	1	2	3	4	5	6
(30) 子どもに関する相談事業	1	2	3	4	5	6
(31) 生涯学習の機会 （趣味・資格取得・スポーツ・芸術文化など）	1	2	3	4	5	6
(32) 図書館の利用のしやすさ	1	2	3	4	5	6
(33) 中央公民館の利用のしやすさ	1	2	3	4	5	6
(34) 歴史的景観や文化財の保護	1	2	3	4	5	6
(35) スポーツ・レクリエーションの場 の整備	1	2	3	4	5	6

「生涯学習の推進と教育・文化の向上」の中で最も優先してほしい事項を上記（27）～（35）の中から2つまで選んで□に番号を記入して下さい。

--	--

## ●産業の振興

	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	わからない
(36) 働く場所の多さ	1	2	3	4	5	6
(37) 生産者と消費者の交流促進による農林業の振興	1	2	3	4	5	6
(38) 工場などの新たな企業誘致による工業の振興	1	2	3	4	5	6
(39) 中心市街地の活性化による商業の振興	1	2	3	4	5	6

「産業の振興」の中で最も優先してほしい事項を上記(36)～(39)の中から1つだけ選んで□に番号を記入して下さい。

## ●人権の確立

	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	わからない
(40) あらゆる差別をなくす啓発活動	1	2	3	4	5	6
(41) 差別や人権に関する相談体制	1	2	3	4	5	6

「人権の確立」の中で最も優先してほしい事項を上記(40)～(41)の中から1つだけ選んで□に番号を記入して下さい。

## ●市民参画

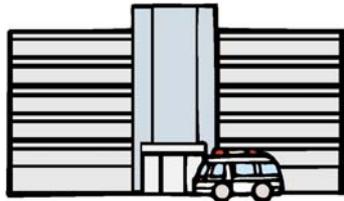
	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	わからない
(42) 男女共同参画の推進	1	2	3	4	5	6
(43) 地域のコミュニティ活動	1	2	3	4	5	6
(44) 集会場などコミュニティ施設の整備	1	2	3	4	5	6
(45) 広報こがや公式ホームページなどによる情報提供	1	2	3	4	5	6
(46) 市民意見の収集とその対応	1	2	3	4	5	6
(47) 懇談会など市政への市民参加	1	2	3	4	5	6

「市民参画」の中で最も優先してほしい事項を上記(42)～(47)の中から2つまで選んで□に番号を記入して下さい。

●行財政

	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	わからない
(48) コスト削減などの行財政改革	1	2	3	4	5	6
(49) 公共施設の民間委託	1	2	3	4	5	6
(50) 税金や利用料金など市民負担のあり方	1	2	3	4	5	6
(51) 積極的な情報公開の推進	1	2	3	4	5	6
(52) 市職員の電話や窓口での対応	1	2	3	4	5	6

「行財政」の中で最も優先してほしい事項を上記(48)～(52)の中から1つだけ選んで口番号を記入して下さい。



### 3. 分野別の意識・ニーズについてお聞きします

#### ①土地利用

問7 これまでの古賀市の土地利用について、あなたはどのようにお考えですか。

次の中から1つだけ選んで、番号に○印をつけて下さい。

1. 特に乱開発も見受けられず、おおむね良いと思う
2. 山林や農地をつぶし過ぎたように思う
3. 計画性に欠けた秩序のない土地利用になっていると思う
4. 山林や農地の保全に力を入れすぎたように思う
5. わからない
6. その他 ( )

※「1」または「4～6」  
を選んだ方は問9へ

※問7で「2」または「3」に○をつけた方にお聞きします。

問8 それはどのような状況をイメージされていますか。次の中から2つまで選んで、番号に○印をつけて下さい。

1. 国道3号や国道495号沿いに店舗等が建ち並んでいる
2. 県道筑紫野古賀線沿いに沿道施設が建ち並んでいる
3. 山間部や田園地帯で住宅地等の開発が進んでいる
4. 山間部の自然環境が失われている
5. 住宅地内にアパートやマンションが目立ってきている
6. 狭い道路のまま建物が増えてきている
7. その他 ( )

問9 土地利用については、都市計画法などの法律で規制されていますが、本市の土地利用規制について、あなたはどのようにお考えですか。次の中から1つだけ選んで、番号に○印をつけて下さい。

1. もう少し土地利用規制を強くすべきである
2. 現状程度の規制で十分である
3. 今より規制を弱めるべきである
4. わからない
5. その他 ( )

問 10 古賀市発展のために、今後、計画的に進めていくべき土地利用は、何だとお考えですか。  
次の中から2つまで選んで、番号に○印をつけて下さい。

1. 団地開発や区画整理などによる住宅地の整備
2. 商店街など商業地の整備
3. 国道3号や国道495号沿いなど幹線道路沿いの商業・利便施設の整備
4. 工業用地・工業団地の整備
5. 農地の区画整理や林道整備など農林業用地の整備
6. JR駅周辺の道路整備
7. JR駅周辺の商業施設や利便施設の整備
8. 古賀インターチェンジ周辺の土地の有効活用(流通施設など)
9. 観光・レジャー施設用地の整備
10. 公園・スポーツ施設などのレクリエーション施設用地の整備
11. わからない
12. その他 ( )

問 11 将来、あなたが住んでいる地域(小学校区程度)がどのようなイメージの地域になることを望みますか。次の中から2つまで選んで、番号に○印をつけて下さい。

1. 美しい自然環境に包まれた地域
2. 住まいと仕事場が近くにある地域
3. 便利で快適に暮らせる地域
4. 健康で暮らせる地域
5. 生涯学習やスポーツが盛んな地域
6. 住民同士がふれあい豊かに暮らせる地域
7. 防災・防犯体制が整った地域
8. 子どもを安心して育てられる地域
9. その他 ( )

## ②景観

問 12 古賀市内で景観上保全した方がよいと考えられるところはどこですか。次の中から2つまで選んで、番号に○印をつけて下さい。

(※景観とは、街並みや緑地などの人が眺める対象を示す「景」という言葉と、それを眺める人の感覚を表す「観」という言葉を組み合わせたものです。)

1. 古賀市の東側に広がる西山や犬鳴山系などの山々の自然景観
2. 古賀市の白砂青松の海岸部の景観
3. 鹿部山公園や千鳥ヶ池公園など市街地に残っている緑地景観
4. 青柳宿など唐津街道沿いのまちなみの景観
5. 国道3号より東側に広がる田園景観
6. 五所八幡宮や熊野神社など神社仏閣の建物と、これらを取り囲む樹木等の景観
7. 駅前や国道3号沿いのにぎやかな都市的な景観
8. 大根川や青柳川沿いの河川沿いの景観
9. 田園風景と調和した集落の家並みの景観
10. わからない
11. その他 ( )

問 13 古賀市内で景観に問題があり改善した方がよいと考えられるところはどこですか。次の中から2つまで選んで、番号に○印をつけて下さい。

1. 海岸近接部でマンションなどの高層の建物の景観
2. 国道3号や国道495号沿いの商業施設の看板や屋外広告物の景観
3. 幹線道路沿いの電柱や電線などの景観
4. 田園地帯と調和してない住宅地開発の景観
5. 緑がなくなっている山々の景観
6. 大根川や青柳川などの河川沿いの景観
7. ブロック塀などが建ち並び、潤いが乏しい既存住宅地の街並み景観
8. わからない
9. その他 ( )

問 14 古賀市らしい特色を活かした古賀市の誇りになるような景観(例：青柳宿の街並み景観の復元など)の形成は必要だと思いますか。次の中から1つだけ選んで、番号に○印をつけて下さい。

1. 必要だと思う
2. 多少は必要だと思う
3. 必要ないと思う
4. わからない

問 15 古賀市の景観を良くしていくために、どのような取り組みが必要だと考えられますか。次の中から1つだけ選んで、番号に○印をつけて下さい。

1. 市の主導によって景観づくりを行う
2. 市と地域が話し合いながら景観づくりを行う
3. 市が自主的な市民活動による景観づくり活動を支援する
4. 市が景観に対する意識を高める啓発活動を行う
5. わからない
6. その他 ( )

### ③生活環境

問 16 快適で美しい社会、資源循環の社会を保つための取り組みについて、どのようなことが重要と考えますか。次の中から2つまで選んで、番号に○印をつけて下さい。

1. 地域の環境美化活動 (クリーンデイ・道路環境美化など)
2. 地域のリサイクル活動 (分別収集・古紙回収など)
3. 地域の緑化活動 (植樹・育林活動、花いっぱい運動など)
4. 家庭・事業所で省エネ運動 (冷暖房温度調整、省エネ型製品を使用など)
5. 自然環境保護の取り組み (ほたるの会、松原ネットなど)
6. 環境教育の実施 (学校・地域で学習会など)
7. わからない
8. その他 ( )

### ④健康・福祉

問 17 できるだけ長く健康を維持していくために、実際に自身で取り組みたいことは何ですか。次の中から2つまで選んで、番号に○印をつけて下さい。

1. 早寝・早起きなど規則正しい生活を心がける
2. 食生活や栄養のバランスに気をつける
3. ウォーキングなどの軽い運動を日常的に行う
4. 野球やバレーなどスポーツ活動に積極的に参加する
5. たばこやアルコールを控える
6. ストレス解消するため気分転換を心がける
7. 健康診断を受け、早期発見・早期治療に努める
8. かかりつけ医を持ち、日頃から自分の健康状態を把握しておく
9. 特にない
10. その他 ( )



⑤教育・生涯学習・スポーツ

問 20 子どもの教育で何が重要だと考えますか。

次の中から2つまで選んで、番号に○印をつけて下さい。

- |                     |                     |
|---------------------|---------------------|
| 1. 特色のある学校づくりへ取り組む  | (学校毎の学校自慢づくりなど)     |
| 2. 学校と地域社会の連携を拡充する  | (余裕教室の活用、地域人材の活用など) |
| 3. 学校の国際化、情報化を促進する  | (ALT語学教育、パソコン教育など)  |
| 4. 学校施設・設備を充実する     | (校舎改築など)            |
| 5. 健康・体力づくりを支援する    | (スポーツによる体力づくりなど)    |
| 6. 食育を充実する          | (地産地消の給食づくりなど)      |
| 7. 子ども同士のつながりをつくる   | (異年齢児の交流の場づくりなど)    |
| 8. 家庭教育に関する学習機会をふやす | (親子家庭教育講座など)        |
| 9. 親子のふれあいの場や機会をふやす | (レクリエーション、公園など)     |
| 10. わからない           |                     |
| 11. その他 (           | )                   |

問 21 生涯にわたって自分を高めるための生涯学習としてどのようなことに取り組んでいきたいですか。次の中から2つまで選んで、番号に○印をつけて下さい

- |                      |                      |
|----------------------|----------------------|
| 1. 趣味や教養に関すること       | (読書、音楽、映画など)         |
| 2. 健康・スポーツに関すること     | (体操、運動、散歩など)         |
| 3. 子育て支援、青少年育成に関すること | (子ども会活動など)           |
| 4. 文化、芸術に関すること       | (絵画、郷土芸能伝承など)        |
| 5. 専門知識や技能を身につけること   | (資格取得など)             |
| 6. 地域のまちづくりに関すること    | (地区の行事、美化活動、介護、防犯など) |
| 7. わからない             |                      |
| 8. その他 (             | )                    |

問 22 今後、運動やスポーツを新たに始めたり、継続したりするためにはどのような条件が整えばいいと思いますか。次の中から2つまで選んで、番号に○印をつけて下さい。

- |                                       |   |
|---------------------------------------|---|
| 1. 余暇時間があればやりたい                       |   |
| 2. 身近にスポーツ施設（ウォーキングコースや公園も含む）があればやりたい |   |
| 3. 運動やスポーツに関する情報を得たり、相談できるところがあればやりたい |   |
| 4. 仲間や指導者がいたり、気軽に加入できるサークルがあればやりたい    |   |
| 5. 地域や市のスポーツイベントがあればやりたい              |   |
| 6. 条件が整っても運動やスポーツをしたいと思わない            |   |
| 7. わからない                              |   |
| 8. その他 (                              | ) |

**⑥人権**

問 23 憲法では、すべての人が生まれながらに持っている権利（基本的人権）を守るため、個人の尊重、幸福の追求の権利、教育を受ける権利、勤労の権利などを定めていますが、あなたは自分自身の人権が守られていると思いますか。次の中から1つだけ選んで、番号に○印をつけて下さい

1. 守られていると思う
2. 守られていないと思う
3. わからない

**⑦市民参画**

問 24 あなたは過去1年間に自治会や子ども会、清掃、夜間パトロールなどの活動や行事にどの程度参加されていますか。次の中から1つだけ選んで、番号に○印をつけて下さい。

1. 良く参加している（年5回以上）
2. ときどき参加している（年3～4回）
3. たまに参加している（年1～2回）
4. 参加していない

問 25 まちづくりのための市民活動への参加（清掃・緑化活動、お祭りなど地域行事、通学の見守り、地域の福祉活動）についてどう思いますか。次の中から1つだけ選んで、番号に○印をつけて下さい。

1. 積極的に参加したい
2. 時間があれば参加したい
3. 自分や家族に関係するときは参加したい
4. 参加したくない

問 26 市の行政運営に参加するとしたらどのような形で参加できますか。次の中から2つまで選んで、番号に○印をつけて下さい。

1. 市の審議会に委員などとして参加
2. 行事などの実行委員・スタッフとして参加
3. 市長との懇話会に参加
4. 苦情・陳情・パブリックコメント・市長へのメールなどにより個人的な参加
5. アンケート調査を通じて参加
6. 参加したくない





(9) 次に挙げる項目について、それぞれどこで購入またはどこを利用しますか。主な場所と交通手段について、それぞれ該当するものを1つだけ選び、○印をつけて下さい。

●場所	古賀市内				古賀市外			
	古賀駅 周辺	舞の里 周辺	花見 周辺	左記 以外	福津市	新宮町	福岡市	その他
1. 食料品	1	2	3	4	5	6	7	8
2. 衣料品	1	2	3	4	5	6	7	8
3. 家電	1	2	3	4	5	6	7	8
4. 病院	1	2	3	4	5	6	7	8

●交通手段 (主なもの)	徒歩	自転車	自家用車	バイク	バス	鉄道・ 電車	タクシ ー	その他
1. 食料品	1	2	3	4	5	6	7	8
2. 衣料品	1	2	3	4	5	6	7	8
3. 家電	1	2	3	4	5	6	7	8
4. 病院	1	2	3	4	5	6	7	8

(10) 古賀市の今後のまちづくりや今後必要と思われるものに対するアイデアやご提案をはじめ、市に対するご意見がありましたら、自由にご記入下さい

**※ アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。**

## まちづくりに関する市民アンケート 調査ご協力をお願い

～ 古賀市の将来のまちづくりについて、若い世代のご意見をお聞かせ下さい ～

古賀市では、将来のまちづくりの設計書となる『総合振興計画』『国土利用計画』及び『都市計画マスタープラン』という3つのプランをつくる準備を進めています。そこで、大人の意見だけでなく、将来を担う若い世代のご意見も参考としてつくるために15～17歳の市民の中から300人を無作為\*に選んでアンケートを行います。

古賀市の将来のまちづくりのため、調査に協力していただきますようお願いいたします。**なお、回答には名前を記入する必要はなく、あなたの回答が他の人に知られることはありませんので、あなたのお考えを自由にお聞かせください。**

平成19年10月

古賀市長 中村 隆 象

《記入にあたって気をつけること》	
1. アンケートの対象者	①18歳以上の市民から無作為*に選んだ2,500人 ②15～17歳の市民から無作為*に選んだ300人 <b>※この調査票は、②15～17歳の市民を対象としたものです。</b>
2. 記入方法	■選択式の質問は、該当する番号に○印をつけて下さい。(設問により、○印をつける数が異なりますのでご注意ください。) ■回答内容については、ご家族の方などに相談していただいて構いませんが、あくまでも自分の意志で回答してください。
3. 調査期間と提出方法	■記入後の調査用紙は、この封筒に入れて封をし、 <b>平成19年 月 日までに隣組長さんへ提出してください。</b>

(※無作為<sup>むさくゐ</sup>・・・意図的に手を加えることなく偶然に任せること)

このアンケート調査に関するお問合せ

古賀市役所 経営企画課・土地利用政策室 電話942-1113

【小学校区一覧表】

下の表は、古賀市内の小学校区と、そこに含まれる行政区との対照表です。

アンケートの中に、あなたの居住地区（小学校区）をおたずねする設問がありますので、お答えの際に参考にしてください。

小学校区	該当する行政区
青柳小学校区	今在家区、新原区、青柳区、小竹区、町川原1区、町川原2区
小野小学校区	谷山区、小山田区、薬王寺区、米多比区、薦野区、 筵内区（鶴組、峠組）
古賀東小学校区	筵内区（鶴組、峠組を除く）、庄北区、庄南区、久保区、 久保西区、中央区、古賀団地区
古賀西小学校区	鹿部区（鹿部1組、鹿部2組{美明二丁目及び同三丁目部分}、鹿部8組を除く）、古賀南区、古賀北区、日吉台区、中川区
花鶴小学校区	花鶴丘一丁目区、花鶴丘二丁目1区、花鶴丘二丁目2区、 花鶴丘二丁目3区、花鶴丘三丁目区、古賀東区、鹿部区（鹿部1組、 鹿部2組{美明二丁目及び同三丁目部分}、鹿部8組）
千鳥小学校区	病院区、千鳥東区、千鳥南区、千鳥北区、さや団地区、高田区、 千鳥タウンコート区
花見小学校区	花見南区、北花見区、花見東1区、花見東2区
舞の里小学校区	舞の里1区、舞の里2区、舞の里3区、舞の里4区、舞の里5区

**問1. 古賀市の「住みやすさ」についてお聞きします。**

あなたは現在の古賀市の「住みやすさ」についてどのようにお感じですか。

次の中から1つだけ選んで、番号に○印をつけてください。

1. 住みやすい
2. どちらかといえば住みやすい
3. 普通
4. どちらかといえば住みにくい
5. 住みにくい

**問2. 古賀市に「住み続けたいか」についてお聞きします。**

あなたは大人になってからも古賀市に住み続けたいと思いますか。

次の中から1つだけ選んで、番号に○印をつけてください。

1. 住み続けたい
  2. どちらかといえば住み続けたい
  3. どちらかといえば住み続けたくない
  4. 住み続けたくない
- 問3へ進んでください

「3、4」に○印をつけられた方にお聞きします。

住み続けたくないと思う理由はどのようなことでしょうか。

次の中から3つまで選んで、番号に○印をつけてください。

1. やりたい仕事がないから
2. 進学したい学校が近くにないから
3. 買い物をするところが少ないから
4. 遊ぶ場所が少ないから
5. 病院や公共施設などが整っていないから
6. 交通の便が良くないから
7. 自然環境が良くないから
8. もっと都会に住んでみたいから
9. もっと田舎に住んでみたいから
10. いろいろなまちに住んでみたいから
11. 親から独立して暮らしてみたいから
12. 近所付き合いがわずらわしいから
13. その他 ( )

**問3. 「古賀市の将来イメージ」についてお聞きします。**

あなたは将来の古賀市がどのようなイメージのまちになることを望みますか。

次の中から2つまで選んで、番号に○印をつけて下さい。

1. 美しい自然環境に包まれたまち
2. 活力ある産業のまち
3. 多くの人を訪れる観光・交流のまち
4. 便利で快適に暮らせるまち
5. 健康で暮らせるまち
6. 教育・文化・スポーツ等の水準の高いまち
7. 市民同士がふれあい豊かに暮らせるまち
8. 防災・防犯体制が整ったまち
9. 子どもを安心して産み育てられるまち
10. その他 ( )

**問4. 「力を入れて欲しいこと」についてお聞きします。**

あなたは今後の古賀市のまちづくりにおいて、どのようなことに特に力を入れて欲しいと思いますか。次の中から3つまで選んで、番号に○印をつけてください。

1. 道路や下水道の整備
2. 公共交通（バスや鉄道）の整備・充実
3. 防犯、防災の強化
4. 海や山、川などの保全
5. まちの景色の美化
6. 病気の予防や健康づくり
7. お年寄りや体の不自由な方への福祉の充実
8. 公園や広場、遊び場の整備・充実
9. 学校や図書館など教育施設の充実
10. 商業や工業の活性化
11. 農業の活性化
12. 人権の尊重
13. わからない
14. その他 ( )



**問7. 「まちづくりへの意見やアイデア」についてお聞きします。**

古賀市のまちづくりについて、意見やアイデアなどがありましたら自由に記入して下さい。

--

**問8. 最後に、「あなた自身のこと」についてお聞きします。**

(1) 性別	1. 男      2. 女
(2) 年齢	(                  歳)
(3) 居住地区 (小学校区)	1. 古賀東小学校区      5. 花鶴小学校区 2. 古賀西小学校区      6. 千鳥小学校区 3. 青柳小学校区      7. 舞の里小学校区 4. 小野小学校区      8. 花見小学校区  ----- (※お住まいの「小学校区」が分からない場合は、別紙依頼文書裏面の「小学校区一覧表」をご覧ください。)

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

**「まちづくりに関する市民アンケート」報告書**  
**平成20年6月**

[発行元] 古賀市役所

〒811-3192 福岡県古賀市駅東1丁目1番1号

[問い合わせ] 古賀市役所企画政策部

・経営企画課 (電話) 092-942-1113

(e-mail) k-kikaku@city.koga.fukuoka.jp

・土地利用政策室 (電話) 092-942-1268

(e-mail) tochisei@city.koga.fukuoka.jp

[古賀市ホームページ] <http://www.city.koga.fukuoka.jp/>

※この報告書は古賀市ホームページからもご覧になれます。